

県民意見整理台帳

「神奈川県内の公立中学校における部活動の地域移行に係る方針（仮称）（案）」に対する県民意見

- 1 意見募集期間 令和5年7月14日（木）～8月14日（月）
- 2 意見募集結果 意見提出件数 866件（内訳：電子860件、郵送3件、FAX3件）

(1)意見内容の概要

| | 区 分 | 延べ件数 |
|---|------------------------------------|------|
| 1 | 「Ⅰ はじめに」に関するもの | 6件 |
| 2 | 「Ⅱ 県内の公立中学校における部活動を取り巻く状況」に関するもの | 6件 |
| 3 | 「Ⅲ－1 基本的な考え方」に関するもの | 113件 |
| 4 | 「Ⅲ－2 地域移行を進める体制づくり」に関するもの | 187件 |
| 5 | 「Ⅲ－3 段階的な地域移行に向けた取組」に関するもの | 207件 |
| 6 | 「Ⅲ－4 大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」に関するもの | 41件 |
| 7 | 「Ⅳ 地域移行に向けて」に関するもの | 39件 |
| 8 | 地域移行全般について | 50件 |
| 9 | その他 | 217件 |

(2)県の考え方の概要

| | 区 分 | 延べ件数 |
|---|------------------|------|
| 1 | 方針に反映したもの | 35件 |
| 2 | すでに素案に盛り込まれているもの | 203件 |
| 3 | 今後の取組の参考とするもの | 539件 |
| 4 | 方針に反映できないもの | 18件 |
| 5 | その他（意見等） | 71件 |

意見の内訳（意見区分）

1 「Ⅰ はじめに」に関するもの / 2 「Ⅱ 県内の公立中学校における部活動を取り巻く状況」に関するもの / 3 「Ⅲ－1 基本的な考え方」に関するもの / 4 「Ⅲ－2 地域移行を進める体制づくり」に関するもの / 5 「Ⅲ－3 段階的な地域移行に向けた取組」に関するもの / 6 「Ⅲ－4 大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」に関するもの / 7 「Ⅳ 地域移行に向けて」に関するもの / 8 地域移行全般について / 9 その他

意見の反映状況（反映区分）

1 方針に反映したもの / 2 すでに素案に盛り込まれているもの / 3 今後の取組の参考とするもの / 4 方針に反映できないもの / 5 その他（意見等）

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|--|------|---|
| 1 | 5 | 校内外問わず部活動（クラブ・サークル）を推進するのは素晴らしいと思うが、例えばピアノやバイオリンなど、主に個人レッスンが主となる学習などへの支援などがあまり盛り込まれていない。「部活動」ではないので検討違いの意見で申し訳ないが、地道に活動している人にもスポットをあてるような案を盛り込んでほしい。 | 4 | この方針は部活動の地域移行に関するものであるため、個人の活動に関する御意見を方針に反映することはできませんが、子どもたちが持続的に文化芸術等の活動を行うことができるよう、地域の新たな環境の整備を目指します。 |
| 2 | 5 | 地域指導者が無償のボランティアのように感じる。大会や練習試合等の交通費は自己負担となるのか。県内の移動については、交通費の補助が必要である。また、指導者への謝金、保険加入費用、講習に要する費用、交通費、時間的負担への補助は、教員の給与（時間外手当）に相当する金額で保障すべき。 | 2 | 御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用・保険」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。 |
| 3 | 5 | 外部指導者の予算は確保できているか。 | 3 | 外部指導者の謝金に関する費用については、受益者負担を基本とすることから、参加者の会費から支払われることとなります。参加費の負担を軽減する取組については、今後、各主体において具体的な軽減策を検討した上で、必要な予算を確保してまいります。 |
| 4 | 6 | 大会運営は誰に任せるのか。 | 2 | 大会運営の人材は各主催団体が判断することになりますが、多くの大会運営に教職員が関わっていることから、負担軽減が図られるよう、県としては、今後も大会等の統廃合を主催団体に要請していきます。 |
| 5 | 4 | 兼職兼業でさらに教職員への負担は増加しないか。 | 1 | P16「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「学校の役割」に、兼職兼業の許可を得た教員等の負担が増加しないよう、適切な服務監督を行う旨を追記しました。 |
| 6 | 9 | 市町村に施策を投げ出さず、リーダーシップを発揮してほしい。 | 3 | 方針に記載した取組を推進することにより、広域自治体として各市町村の取組を支援していきます。御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 7 | 4 | 指導者の謝金の金額設定 | 1 | 外部指導者の謝金は、受益者負担が基本となると考えております。一律の謝金の額を示すことはできませんが、実践事例集の先行的取組における謝金額を示してまいります。（実践事例集P2～） |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|---|------|--|
| 8 | 4 | 部活動運営における情報共有、生徒のニーズ、生徒の評価基準、指導論のすり合わせの難しさ。不祥事・アクシデントが起きた場合の総合型地域スポーツクラブは運営自体に大きな影響を及ぼすこととなる。 | 2 | ○部活動運営における情報共有に関する御意見については、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「学校の役割」に記載しております。 ○生徒のニーズ等に関する御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。 ○生徒の事故防止に関する御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しており、それぞれの役割において、指導者の資質向上の取組を進めてまいります。 |
| 9 | 7 | 教師にとって部活動の負担は重すぎる。すぐにでも地域のスポーツクラブに運営を委託した方が良い。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見は今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 10 | 3 | 教員のやりがい、生徒に与える教育的意義など、現状を十分に理解したうえで、働き方改革にもつながる部活動地域移行を求める。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、持続可能な部活動環境の整備と教員の負担軽減に向けて取り組んでまいります。 |
| 11 | 4 | 指導者の確保に関しては、県で探すことと、もし教員にお願いする場合は、教員も登録できるようにしてほしい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。県が市町村の枠を超えた広域的な人材バンク等を整備し、教職員も含めた様々な関係者から子どもたちのニーズに応えられる指導者を確保してまいります。 |
| 12 | 4 | 県が責任を持って、指導者を探し、育成していただきたい。もしくは、県が予算を拡充して各市町村に配当してほしい。 | 2 | 指導者の確保・育成に関する御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。人材の確保・育成に取り組んでまいります。 |
| 13 | 3 | 地域によって違いの差が大きくなるように配慮する必要がある。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「地域の実情に応じた取組」に記載しております。地域の実情に応じて多様な手法の中から、それぞれの地域に適した方法を、できることから取組を進めてまいります。 |
| 14 | 4 | 市町村教育委員会へ任せるのではなく、県が責任を持って指導者を探すこと。ましてや、学校任せになるような事態は避ける。無責任極まりない行動ではなく、県が主体的に地域の行動の仕方を明示し、指揮し、市町村教育委員会も中学校も準備良く働けるようにすべきである。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。また、部活動の地域移行の取組は、「県」「市町村・学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」がそれぞれの役割を果たしていくことが、重要であると考えております。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|---|------|---|
| 15 | 4 | 子どもたちが望む部活動の人材の確保をお願いしたい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。県が市町村の枠を超えた広域的な人材バンク等を整備し、子どもたちのニーズに応えられる指導者の確保に努めてまいります。 |
| 16 | 5 | 指導者が指導のし甲斐を感じられる報酬をお願いしたい。 | 1 | 外部指導者の謝金は、受益者負担が基本となると考えております。一律の謝金の額を示すことはできませんが、実践事例集で先行的取組における謝金額を示してまいります。(実践事例集P2～) |
| 17 | 4 | 部活動の負担が大きいと分かっている中、部活動の地域移行のための財政が確保できず、教職員は今後もこの仕事を続けられないという不安がかなり大きい。地域移行するための人材確保を県としてよろしくをお願いしたい。今後変わっていかねばより教員の多忙化が加速していくと思う。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しており、ニーズに応えられる人材の確保に努めてまいります。 |
| 18 | 4 | 部活動の地域移行という大きな旗をふっているが、市町村規模によってリソースが異なっている。地域移行できない市町村に対して、適切な人材確保などの取組は国や県が責任を持って行うべきである。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。県が市町村の枠を超えた広域的な人材バンク等を整備し、子どもたちのニーズに応えられる指導者の確保に努めてまいります。 |
| 19 | 9 | 陸上部の顧問をしてる。今年からクラブチームに参加し、新しい雰囲気になった。子ども達にとって、運動する機会が増えたことは良いことである。 | 3 | これまでに培ってきた学校部活動の意義を継承しながらも、競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保し、子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができるよう、発達段階やニーズの多様性を踏まえた、持続可能な活動の環境の整備に努めてまいります。 |
| 20 | 9 | 部活動の地域移行は無理だと思う。部活動を受け持つ先生方の手当を増額(少なくとも5から10万円以上)し、なおかつ各校に在籍している先生方が指導できるものに精選すればよいと思う。 | 3 | 地域移行後、教職員等が引き続き部活動指導を希望する場合、兼職兼業の許可を得ることにより、指導に係る報酬等を受け取ることができるようになります。学校ごとに、部活動を厳選するなど工夫を行っているところもありますが、地域の実情に応じた方法で取組を進めてまいります。御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 21 | 3 | 日本のスポーツを根本から変えるような話なのに、「教員の働き方改革」が目的になっていることがおかしい。子どもたちのスポーツ環境をどうするのかという議論をしなければいけないはずではないのか。働き方改革は働き方改革でやるべきで、部活動を地域移行したところで、結局また教員に無駄な責務が増えて、部活が先生の手を離れただけで、その目的が達成できないことは目に見えている。目的と手段に整合性がない。 | 3 | 地域移行に当たっては、これまでに培ってきた学校部活動の意義を継承しながらも、競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保していくよう努めてまいります。また、子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|---|------|--|
| 22 | 5 | 県なのか、市町村なのか、教育委員会なのか、いったいどこが管轄して動いているのかわからない。おそらく多くの部署にまたがっているはずで、協議会等、横断的組織を立ち上げて、窓口を作って、進めるべき案件だと思うが、一向にその兆しささえ見えない。 | 2 | 部活動の地域移行の体制整備については、県及び市町村において、行政、地域のスポーツ・文化芸術団体等や学校関係者等からなる協議会等を設置して、取組を進めて行くことを記載しております。 |
| 23 | 3 | 総合型地域スポーツクラブのない地域(市区町村)や、外部指導員の確保できない地域などもあるはずなのに、なぜすべて地域移行にしてしまおうとしているのか。多様性といいながら、なぜ、トップダウンで右へ習えをさせようとしているのかわからない。地域の事情に応じた、いろいろな解決策があってもよいはずで、その中から生まれてくる知恵を再分配するような仕組みや工夫をなぜ考えないのか。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「地域の実情に応じた取組」に記載しております。また、積極的に取り組む市町村の先行事例を他の市町村にも波及させることで、県全体の地域移行を推進することとしています。 |
| 24 | 4 | 部活動をやりたくて教員になった人をなぜ切り捨てるのか。国まで動いているのなら、教員が継続的にかかわれるような仕組みをなぜ作らないのか。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「市町村の役割」に記載しており、希望する教員等が引き続き部活動を指導できるような仕組みづくりを進めてまいります。 |
| 25 | 1 | 部活動は教育の一環である。そしてそれは、子どもの成長のためだけでなく、教員にとっても指導力を身に着けるための研修となり、教育における重要な経験を積む場である点をなぜ議論の中に含めないのか。 | 3 | 御意見のとおり、部活動は教員の献身的な支えにより、子どもたちの学びの場として教育的意義をなしてきましたが、少子化や学校の働き方改革が進む中で、将来にわたる中学生の持続可能なものとしていくため、国において検討された結果、部活動の段階的な地域移行を図ることとされています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 26 | 9 | 地域の人に予算付けして部活動を見てもらうのであれば、教員を増やすことで仕事量を分配する方法だってあるはずである。なんなら、教員というプロであることの方が望ましい場合も少なくないはずである。 | 4 | 教員数は、義務標準法に基づく標準定数を標準として算定されており、教員定数について方針に記載することは考えておりません。指導者の確保に当たっては、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者の確保に努めてまいります。 |
| 27 | 4 | 本当に部活動を教えたい先生方も中にはいるが、一度教員全員に部活を持ちたいかアンケートを取っていただきたい。本当に部活動を教えたい人など中心に地域移行していただきたい。市で1チームなど、地域密着な活動でもいいと思う。このアンケートが現場の声を吸い上げ、実行していってくれることを切に願う。 | 2 | 御意見の趣旨については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「市町村の役割」に記載しており、アンケート等により実情の把握に努めてまいります。 |
| 28 | 4 | 部活動の地域移行は、子どもたちにとって選択肢が広がり、より世界が広がる良いものになることが想像できた。地域によって活動場所や指導者に大きな格差がでないように、県や国からの市町村へのサポートを期待する。 | 3 | 部活動の地域移行については、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」がそれぞれの役割を果たしていくことが、重要であると考えており、相互に連携して取組を進めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|---|------|--|
| 29 | 4 | 地域人材から地域クラブに参加しやすい環境が大切だと思う。小学校教員などでも、関われば関わりたいと考えている人がいると思うので、環境を整えて欲しい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「市町村の役割」に記載しております。地域クラブ活動での指導を希望する教員等を把握するとともに、指導を希望する教職員等が、円滑に兼職兼業の許可を得られるよう、規定や運用の改善について検討し、運用することとしております。 |
| 30 | 4 | 市町村教育委員会が主導で学校からヒアリングをし、近隣の学校ごとでチームを作る。愛川町なら3校なので地域移行がしやすいのではないかと思います。学校に部活動がなくても、近隣ならチームも組め、子ども達は好きな競技ができて喜び、保護者も子どもの活躍が見れて喜び、3校での顧問ならば、顧問も3週に一回土日に出るだけで他の週は体を休めることができるようになる。協会としっかり連携をとって3校に1人の指導者をつけ、その人に部活動指導員になってもらう。そのための予算確保を至急整理する必要がある。校長と教育委員会の部活移行の会議を行う必要がある。ブラックと言われる学校を今なんとかしないと、教員離れが加速し、質の高い日本の教育は維持されず、教員は体を壊し、心が壊れて、臨任もない最悪の状態をさらに最悪へとなることは間違いない。このアンケート結果が有益に活用されることを強く望む。 | 3 | 部活動の地域移行は、地域の指導人材や施設、生徒の規模などの実情に応じて、それぞれの地域に適した方法でできることから取組を進めて行くことを基本的な考えとしています。御意見については、愛川町にも情報提供させていただきます。 |
| 31 | 4 | 教員が部活に携わるままでいくのであれば、それに見合う給料を出すべきだと思う。休日を使い、家庭を犠牲にして指導にあたるため。地域に移行して、指導したい教員も地域指導者として携われるようにするべきだと思う。地域に移行するという事は、部活動指導で生活していけるくらいの給与を払う必要もあると思う。また、家庭の金銭負担も仕方ないことだと思う。教師の善意で成り立っている今の仕組みはおかしい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」と「市町村の役割」に記載しております。指導を希望する教職員が引き続き指導に当たることができる環境を整備してまいります。 |
| 32 | 5 | 土日も二時間だけだったり部活動の時間が少なすぎる。子どもは暇だとならぬ事をしないので、もっとたくさん部活動をやってほしい。 | 3 | 部活動指導が教員の負担となっていること、競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保する必要があることから、適切な活動時間の設定が必要です。各学校において部活動が適切に運営されるよう、県が策定した「神奈川県の学校部活動に関する方針」の周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 33 | 3 | 義務教育の中学校で部活動は多くの学びの場だと考える。その前提で公立中学校の部活動に指導者であったり、その地域による格差が出てこないか懸念している。 | 5 | 部活動の地域移行の基本的な考え方として、それぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めることとしており、地域ごとに対応が異なることを前提として考えております。 |
| 34 | 5 | 公立中学校という事でどんな家庭環境でも平等に参加できるが、家庭への費用負担が増加するなどがあれば、クラブチームへ加入する家庭と加入できない家庭がある現在、学校の部活動へもこのような事が起こるのではないかと？ | 2 | 御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」「市町村の役割」に記載しており、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|--|------|---|
| 35 | 7 | 受入出来る外部団体等がない場合の少人数での部活動等はどうなっていくのか?不安材料が多く、より明確にして欲しい。 | 2 | 部活動の地域移行の基本的な考え方として、それぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めることとしています。少人数の活動についても、近隣校と合同部活動を行う、外部指導者を活用するなど、様々な方法が考えられ、地域ごとに適した方法を検討していくこととなります。 |
| 36 | 5 | 吹奏楽のような大人数の文化部は今後どうなるのか?現時点では学校毎の環境にて格差が広がるようになるかと感じている。 | 3 | 運動部と同様に吹奏楽を含む文化部についても、地域クラブ活動を整備する市町村の状況や意向を把握しつつ、子どもたちが持続的に文化芸術等の活動を行うことができるよう、市町村の取組を支援してまいります。御意見については、今後の参考とさせていただきます。 |
| 37 | 4 | 指導をしたい教員の賃金の保障 | 1 | 外部指導者の謝金は、受益者負担が基本となると考えております。一律の謝金の額を示すことはできませんが、実践事例集で先行的取組における謝金額を示してまいります。(実践事例集P2～) |
| 38 | 9 | 過労しない部活動 | 3 | 部活動指導が教員の負担となっていること、また、子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保する必要があることから、適切な活動時間の設定が必要です。各学校において部活動が適切に運営されるよう、県が策定した「神奈川県中学校部活動に関する方針」の周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 39 | 5 | 保護者は部活動に対して月謝の実施 | 2 | 教員が外部指導者として指導する場合の謝金については、受益者負担を基本とすることから、参加者の会費から支払われることとなります。御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」「市町村の役割」に記載しており、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。 |
| 40 | 6 | 大会の削減 | 2 | 大会等に参加する生徒の健康と安全を守るため、大会等の開催時期や試合数などについて、生徒の体調管理を優先して実施するよう主催者と協議してまいります。御意見については、P20「大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」「市町村の役割」に記載しており、大会等の見直しを図ってまいります。 |
| 41 | 1 | この問題は市町村に任せるのではなく、神奈川県として動く必要があります。地区で協力してこの問題を解消し、令和8年度までに移行を進めなければいけないと思う。小学校の教員、保護者、地域住民も一緒に考えていければと思う。 | 3 | 部活動の地域移行については、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」がそれぞれの役割を果たして、取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|---|------|---|
| 42 | 4 | 指導者のなり手がいない。どんな方がいるのかリストが欲しい。どんな方がよいかも吟味する必要がある。ボランティアは無償ゆえに教員側も強く要望できない。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。県が市町村の枠を超えた広域的な人材バンク等を整備し、子どもたちのニーズに応えられる指導者の確保に努めてまいります。 |
| 43 | 5 | 顧問の校務を軽減し、部活動も教職員がやった方が安心。何でも先生に求め過ぎる。部活動を生徒とともに楽しむゆとりが欲しい。 | 3 | 教員の公務の多忙の要因として、御指摘のような状況があることは認識しております。学校の働き方改革の取組の一環として、まずは休日の部活動指導に係る教員の負担軽減を目指して取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 44 | 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・日頃部活動に携わってくださっている顧問の先生方には本当に感謝している。しかし、先生方にもプライベートの生活がある中で休日の部活動や朝練などこのままで大丈夫なのだろうかと考えることは多々ある。先生方の負担になるのであれば、地域の方々の指導等に移行していくことは賛成である。 ・真夏の部活動について。ここで書くべきことかどうかかわからないが、いつも心配しながら送り出している。せめて熱中症アラートが出ている日は休みにするなど出来ないものか。昔とは暑さの質が違うと思う。何かあってからでは遅い。これは先生も生徒もだと思う。現状も地域以降となった際も部活動の在り方として検討していただけるとありがたい。 | 3 | <p>学校における熱中症対策については、「熱中症予防運動指針」（公益財団法人日本スポーツ協会）に応じて、教員がどのような状況の時にどう判断し行動すべきか、危機管理マニュアルに沿って対応しています。</p> <p>外部指導者の資質向上に当たっては、生徒の命や健康を守る視点での内容を盛り込むことについても検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 45 | 5 | 地域移行賛成である。先生の負担も格段に減るし、専門知識の高い指導者から学ぶことにより子どもたちもより上達できるのではないかと思う。 | 2 | 子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備していくことで、教員の負担軽減を目指し、取り組んでまいります。 |
| 46 | 9 | 顧問の先生の家が遠いとかの理由で、休日の試合は会場に直行直帰、生徒とは別行動ということもあると耳にした。私達が子どもの頃は自校もしくは自校の最寄り駅等で全員集合してから試合会場に向かった記憶がある。こどもだけでの移動では安全面の不安を感じる。 | 5 | 生徒の安全面を確保しつつ、各団体や各自治体で柔軟な対応ができるよう体制を整備してまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|---|------|---|
| 47 | 5 | <p>今回の取組が運動系のものだけにフォーカスされているようで、文科系のものも合わせてテコ入れするのが筋ではないか。</p> <p>運動系に関して言えば、これまで人数が少ないことで大会等のイベントへ出場することができない子供も増えてしまうことも考えられ、興味をもつ機会を奪ってしまうこともあり得るとすれば、部活動の受け皿を増やすといった視点も必要ではないか。</p> <p>掛け持ちでの活動というのも考えるべきで、興味をそそるような新しい部活動も考えてあげる必要がある。</p> <p>例えば、子供達が興味を持っているようなもので、動画撮影・編集だったり、3Dプリンタを使った工作であったり、電子工作、簡単なプログラムというものも地域の人材を活用してできることが沢山あると思う。</p> <p>活動場所としては、過疎化地域でよくやっているような廃校を使った取組のように、中学校のスペースであったり機材や資産を充実させることで地域の活性化にもつながるのではないか。</p> | 3 | 御意見の趣旨のとおり、部活動の地域移行の取組を進めることにより、子どもたちの多様なニーズに応えられる、豊かなスポーツ・文化芸術活動の実現を目指して取り組んでまいります。 |
| 48 | 5 | <p>地域の人材を活用にあたっては、誰もがボランティアで休日を返上して動くわけではないので、見合った報酬なりは必要である。</p> | 2 | 外部指導者の謝金については、受益者負担を基本とすることから、参加者の会費から支払われることとなります。P19「地域クラブ活動等に係る費用、保険」の市町村の役割に、経済的に困窮する家庭に対する支援や、地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割に、保護者に過度な負担とならない適切な会費設定や寄付を受ける仕組みづくりの検討などを記載しており、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。 |
| 49 | 4 | <p>外部の方に委託した場合緊急時に対応ができるのかという不安がある。例えば病気や怪我等があったときなど、顧問の場合対応できたことを外部の方は同じようにできるのか？など。</p> <p>それと運動部に関しては外部の方に教えてもらうにあたって顧問としっかり連携とれるのか、練習メニューがきちんと部の方針に沿ってできるのかなど不安がある。実際わが子の学校では顧問がいての外部の方がたまに来ている。外部の方だけで練習するということが無いのですが、一方、室内の部活では顧問が掛け持ちしてるかなんかで忙しいのか、顧問は最後に少しか顔だして子供だけで部活やらせる日が多く部活の日は多く設けてても子供だけで部活する意味はあるのかと疑問に思っている。</p> | 1 | ケガの防止や緊急時の対応については、指導者の資質向上の研修において内容に含めて実施することを検討してまいります。また、緊急時の保護者との連絡等の対応について、P18「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に追記しました。 |
| 50 | 5 | <p>先生の負担を減らすには、良いと思う。部活動内での遠征中、帰りのトラブルが多いので、遠征中行き帰りの見守りもしていただきたい。先生がいない時間に部活動内のトラブルがあるので、特に親が関わると大変なことなことになるので、練習中は、誰か1人、見守りをするにも大切だし、水分補給や、体調管理などにも誰か1人、大人が声掛けするためにも、必要。外部コーチを入れるのは良いと思う。</p> | 2 | 子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備していくことで、教員の負担軽減を目指し、取り組んでまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|---|------|---|
| 51 | 9 | 運動部の場合、保護者も、子どもが強くなるために学校を選び、一部の学校では、強い部活動に入部するために、居住地の学校に対象の部活動があっても、居住地から離れた学校への通学も許されている。勝利至上主義の部活動となるくらいならば、学校には「部活動に入らなくてはいけない」という雰囲気はなくしてもらい、地域移行をお願いしたい。顧問の先生の仕事量も問題であり、週休2日をしっかりと守ってもらえるような体制にして欲しい。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。 |
| 52 | 4 | 思春期で多感な時期である中学生への指導に関し、部活動の指導者を地域からまかなうことは反対である。 理由 ・指導者の器にない方が指導に来られても困る。 ・変質者などが素養あるフリをして紛れ込んだ場合はどう見抜くのか？ ・そもそも部活動の指導者として最適な方が部活動の時間帯に居ないのでは？（地域高齢者の暇つぶしにされたら生徒がかわいそう） ・教えてもらう当人（子供達）の声を聴き集めるべき ・コーチングやティーチングの経験やスキル、理性を持った方に指導を仰ぎたい。 | 3 | 各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握するとともに、体罰やハラスメントのない適切な指導者等の研修を実施し、指導者の資質向上の取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 53 | 9 | 特になし | 5 | 各地域の実情に応じて取組を進めてまいります。 |
| 54 | 9 | このままでいいと思う | 5 | 各地域の実情に応じて取組を進めてまいります。 |
| 55 | 9 | 土日の部活動があると休めないのでもなくしてほしい | 3 | 各学校においては、部活動の方針を策定し、当該方針に基づき部活動ごとに計画を立てて実施しており、生徒にニーズに応じた適切な運営が行われるよう、県が作成した「神奈川県の学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。 |
| 56 | 9 | 土日の部活動はできるだけ減らしてほしい。 眠くて月曜日に授業中寝てしまいそうになるから | 3 | 各学校においては、部活動の方針を策定し、当該方針に基づき部活動ごとに計画を立てて実施しており、生徒にニーズに応じた適切な運営が行われるよう、県が作成した「神奈川県の学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。 |
| 57 | 9 | 部活動の地域委託について、反対する。教師が指導者だからこそ、内面的な成長、自立、その年頃の子供の心と向き合うことが出来るのが最大のメリットである。 現状、大変なのは部活動ではなくて、教師の仕事以外の事務作業で、事務作業専門の職員を増やして貰えばいいだけの話。部活動が負担だと感じている教師は少なく、教員の中には、その部活動の指導者をしたかったから、教員を目指した人だっているはずである。 部活動は先生と子供達だけで過ごすので、常に保護者のお手伝いがあるクラブチーム出身の子と、部活動出身の子が高校生になった時の選手としての自立度合が全然違う。それは、教育のプロだから成せる技だと私は思うので、敢えて部活を選んで。地域委託して、一般の大人が指導者になるというのは、非常に勿体無い話だと感じる。 | 3 | 関係機関と連携しながら指導人材の確保に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|---|------|--|
| 58 | 5 | 私立の中学校へ行ったほうが選択肢が多いのか、公立でも希望の部活動を作って活動することは可能なのか、部活を選択せず個人で活動したほうがいいのか。 スポーツライミング(ボルダリング)をしているが、(日々トレーニングを重ね、大会などにも出場している)部活動があるところはほとんどない。特に神奈川県は層も厚く、非常に強い子達が多数集まった県である。設備の問題もあり、部活動を校内でというのは難しい。平日も地域で活動ができるような場所があれば練習の幅が広がって伸びる子も増えると思われる。今後の展開に非常に期待している。わが子が中学生になる頃には素敵な形になっていることを祈って。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 59 | 5 | 人口減少、少子高齢化が進むなか、教職員の成り手も少なくなっている。本来教師としての仕事を考えるならば、部活動は、民間が行っているスポーツクラブ等にまかせるべきである。部活動に費やしていた時間を教師の資質アップの時間に代えてほしい。 | 2 | 部活動は教員の献身的な支えにより、子どもたちの学びの場として教育的意義をなしてきましたが、少子化や学校の働き方改革が進む中で、将来にわたる中学生の持続可能なものとしていくため、まずは休日の部活動について、段階的な地域への移行を進めてまいります。 |
| 60 | 5 | 地域移行に賛成。教職員の勤務体系は以前からブラックであると知られているが、近年、平日は4日間まで、土日はどちらか1日までと変わり、以前よりは減っているが、それでも教職員にとっては負担は大きい。試合など引率のときは仕方がないが、家庭を持つ教職員は、家族に多大なる負担を強いられている。また、強い部活動では、教職員も生徒も熱が入り、合同練習だったり練習時間の延長があり、負担は大きい。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、地域の実情に応じてできることから取組を進めてまいります。 |
| 61 | 5 | 生徒側の視点から考えると、やりたい部活動が本来行くはずだった中学校にないので学区を超えて長い時間通学しないといけない(数十分の差ではあると思うが)。昔とは違い、夏季には35℃の気温を超える日が毎日のようにあり、体調を壊す一つの要因にもなりかねない。地域移行し、中学生の年齢では、友人トラブルはつきものであると考える。学校単位の場合、普段の生活を見ている教職員が対応したり、内部で相談したりが気軽にできるが、地域移行した場合に、そのような問題が起きた時に、基本的には子どもたち同士で解決してほしいと思うが、解決できない場合には、誰が間に入り、調整を行うのか。負のエピソードでストレスは大きい。地域移行でスポーツの専門ではあるが、思春期の人間関係のプロではない。どこか相談できる場所があればいいと思う。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「市町村の役割」に記載しております。各学校においては、学校生活以外の生徒の悩みも教員が相談に乗ることができます。 |
| 62 | 9 | 好きな所に入れるのが子供のやる気が出ていいと思う。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|---|------|--|
| 63 | 5 | 地域スポーツに移行していくと、お金を払わないと練習に参加できなくなり、経済的状况によりできる子とできない子が出てくる。せっかく無料で学校でやれる部活動のいいところが無くなる。先生の中でも部活動をやりたい人もいて、やりたくない人もいる。外部コーチを雇ってお金が払えるなら、顧問の先生にも部活顧問料として給料を上乗せして、先生のやる気を高めたら、やってもいいかなと思う先生も出てくるんじゃないかと思う。今も部活動の活動時間や日数の制限をかけられてて、とても残念。 | 2 | 教員が外部指導者として指導に当たる場合の謝金については、受益者負担を基本とすることから、参加者の会費から支払われることとなります。一律の金額を示すことはできませんが、実践事例集において、先行的な自治体における謝金等の事例を示してまいります。 |
| 64 | 5 | 部活動を地域移行することは大会運営や人数の不足や偏り等があるため難しいと思われる。また部活動がクラブチームと同じようなものになってしまうと思われる。地域移行して働き方の見直しや職員の休みを取るのも理解できるが、休日の特勤の金額や週休をしっかりと管理することのほうが大切だと感じる。休日の賃金の低さを聞いて地域指導者が全ての部活動に出てくるとは思えない。 | 2 | 外部指導者の謝金に関する費用については、受益者負担を基本とすることから、参加者の会費から支払われることとなります。一律の金額を示すことはできませんが、実践事例集において、先行的な自治体における謝金等の事例を示してまいります。 |
| 65 | 9 | 教職員の負担を減らす意味でも土日の部活動は基本的に行わない方針として頂きたい。但し試合などの予定がある場合はこの限りではない。多様な生き方を重視し、強制的に何らかの部活動をしなければいけないなど、法的根拠もない決まりは即刻無くして頂きたい。地域移行は公務員の都合だけ考えられていると感じているので、地域移行は無いようにご検討をお願いします。 | 3 | 地域の実情に応じてできるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 66 | 3 | 先生方の負担の軽減につながるのであれば良いと思う。普段から忙しそうで、連絡したり個別の対応をお願いするのは躊躇する。生徒への余裕のある対応ができることを期待する。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、地域の実情に応じてできるところから取組を進めてまいります。 |
| 67 | 3 | 地域移行化した部活動が習い事のようにレベルに差が激しくなり、できない子たちの居場所がなくならないか心配である。保護者の負担も心配である。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。 |
| 68 | 5 | 生徒のニーズ、先生の負担はとても納得できる。部活動のシステムを変えることにより、部活動に入らないことを選択した子の差別が起きないように考慮することが必要だと思う。(部活単位での活動や進路の加点など) | 3 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しております。引き続き、平日の部活動は、学校において取り組むこととなります。 |
| 69 | 5 | 今子供が中学生だが、今の中学校は働き方改革とかで全然部活動に力が入っていないと思う。負け試合ばかり。外部に頼るのもあり。高校生と練習試合するのもあり。先生が段取り組んでくれれば当日は何人かの親だけでも順番で試合の当番するとかもあり。子供たちには強さ、勝つ喜びを感じてほしいので毎日でも部活動に取り組んでいただきたい。 | 3 | 部活動指導が教員の負担となっていること、また、子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保する必要があることから、適切な活動時間の設定が必要です。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|---|------|---|
| 70 | 3 | 現在の部活動の行い方では、教員の負担が大きすぎると思います。勤務時間が設定されているのに、部活動顧問になることは必須、そしてその活動は勤務時間を超えることが通常になっている現在の行い方はいかがなものかと思う。地域に移行する件に関して大いに賛成する。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、地域の実情に応じてできることから取組を進めてまいります。 |
| 71 | 5 | 保護者の金銭的負担が増えないのであれば良いと思うが、それにより負担が増えるとなると慎重に検討していただきたいところ。ただでさえ部活動を始めるにあたり、運動部であればユニフォームや道具を購入しなければならないし、部費や試合等の遠征費もかかる。メリットとなる事、デメリットとなる事を分かりやすく説明する場がほしいです。 | 3 | 地域クラブ活動に係る費用については、保護者にとって過度な負担とならない適切な会費設定や、県立施設の使用料を低廉な額とすること等を記載しています。地域移行のメリットやデメリットについては、県内外の様々な事例を収集し、情報提供してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 72 | 3 | 大賛成である。現在、中学校の野球部に息子が所属しているが、顧問の先生の負担は、とても大きいように感じる。野球を通して、もっともっと地域と繋がり、中学校という場所を開けた場所にしていくべきであると感じている。ぜひ！この法案が施行されますように！！ | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、地域の実情に応じてできることから取組を進めてまいります。 |
| 73 | 6 | 部活動の地域移行に賛成である。特に土日の試合への同行は負担が大きいです。地域移行と同時に大会への出場回数を見直しがあってもいいかと思う。記録会などは回数を減らせるのでないかと思う。また活動シーズンの見直しも必要かを感じる。 | 2 | 御意見については、P20「大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」「市町村の役割」に記載しており、大会等の見直しを図ってまいります。 |
| 74 | 3 | 現在、部活動は教員による無賃労働に近い働き方で支えられている。明らかにおかしい働き方である。部活動は地域に移行して、学校は子どもの学力向上に専念すべきである。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、地域の実情に応じてできることから取組を進めてまいります。 |
| 75 | 3 | 学校の先生が多忙の中いつも子供の面倒を見てくださっておりとてもありがたい。しかし、部活動そのものが学校の先生の負担になっているということもニュース等であり、この件はとても気になっていた。部活動が地域で行われて、学校の先生の負担が減りより子供のことを見てもらえるようになるのであれば大歓迎したいと思っている。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、地域の実情に応じてできることから取組を進めてまいります。 |
| 76 | 7 | 地域の団体が全て負担するようになると相応の金額になったりするのかなどと考えるとそれもまた難しい部分もあるのかなと思う。そのため、もし運営するのであれば市町村運営型が適しているように感じた。また、学校の先生の中には部活動をやりたいと言ってくさっている方もいるようなので、市町村運営型の任意団体設立型であればそういった先生方の力を借りることができるのかなと思う。また、地域団体・人材活用型もプロの方や専門の方の力を借りることができる点か利点だと思うので、地域団体・人材活用型や任意団体設立型など市町村運営型といった運営形式をその地域に応じて選択出来たらいいなと思う。 | 3 | 本方針は、現時点で考えられる方向性の方向性を示したものであり、様々な事情を抱える学校現場や地域において部活動改革を推進していくためには、複雑に絡み合う諸課題を解決していく「複数の道筋」や「多様な方法」があることを前提としています。国のガイドラインに示されている「地域クラブ活動への移行における運営形態の類型」は、あくまで参考であり、各市町村において地域の実情に応じた方法を検討し、取り組んでいくものと考えています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|--|------|--|
| 77 | 5 | お世話になっている。子どもの小学校からお知らせをもらったので投稿した。私達保護者が学生の頃と違って今は少子化で、先生方にもきちんと休養をとってほしいので、部活動の地域移行には賛成である。スポーツスクールやダンススクール等、その種目に特化した指導方法を活かして子どもたちが楽しく安全に活動できる場を作っていけたらと思う。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 78 | 5 | 心配なのは費用面の負担が大きすぎると家庭によっては参加したくてもできなかつたりと差が生じてしまうので、そこもしっかりと考えて決めていっていただけると助かる。 | 2 | 御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動に係る費用、保険」「市町村の役割」に記載しており、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。 |
| 79 | 5 | 公立中学校の部活動は、基本的に自分の学校での活動だから入っている生徒も多いと思うので、地域移行により自分の学区外での活動が増えるために、部活動に入らないという生徒が増えるのではないかと思う。結果として、部活動に入らず時間を持て余す生徒が増えることで無用なトラブルになる危険もあると思う。公立中学校に通わせる保護者としては、部活動以上に学習面に力を入れて、塾へ行かせている人も多いと思うので、部活動の運営が厳しいのであれば、塾講師を招いての補講など、個々人の学習のフォローを学校でお願いしたい。また、地域で活動できる団体も種類や数が都市部と田舎では偏りがあり、不公平感もあるので、地域移行したから部活動に参加する生徒が増えることはないと思う。具体的に現在の部活動がどの団体で受け入れてもらえるのか明確ではないので、地域の団体も受け入れ体制が整っていないではないか。現時点で、お金や時間(夜間の送迎など)がかけられる生徒はすでにクラブチームに入っているの、さらにそちらに流れると思う。下手でもお金がなくても活動できるのが、公立中学校の部活動だと思うので、勝ち負けに拘る学校対抗の試合をやめて、同じ市内で集まった生徒をチーム分けして試合をしたり、1人の生徒が複数の部活に所属できるようにするなど、柔軟に活動して行ってほしいと思う。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めていきます。また、各地域の実情に応じて、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 80 | 9 | 公立中学校に通わせる保護者としては、部活動以上に学習面に力を入れて、塾へ行かせている人も多いと思うので、部活動の運営が厳しいのであれば、塾講師を招いての補講など、個々人の学習のフォローを学校でお願いしたい。 | 4 | この方針は部活動の地域移行に関するものであるため、学校での学習支援について記載することは考えておりません。 |
| 81 | 5 | 地域で活動できる団体も種類や数が都市部と田舎では偏りがあり、不公平感もあるので、地域移行したから部活動に参加する生徒が増えることはないと思う。現時点で、お金や時間(夜間の送迎など)がかけられる生徒はすでにクラブチームに入っているの、さらにそちらに流れると思う。下手でもお金がなくても活動できるのが、公立中学校の部活動だと思うので、勝ち負けに拘る学校対抗の試合をやめて、同じ市内で集まった生徒をチーム分けして試合をしたり、1人の生徒が複数の部活に所属できるようにするなど、柔軟に活動して行ってほしいと思う。 | 3 | 多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|---|------|--|
| 82 | 5 | 部活動の顧問を外部の方へ移行するための早急な対応を強く望む。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「地域の実情に応じた取組」に記載してあり、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。 |
| 83 | 9 | 部活動は不要と考える。学校が管理運営する性質のものではない。学校の拘束時間を短くし本人の能力に見合う勉強を家庭でさせたく、その時間がほしい。(正直わが子にとって公立のカリキュラムは内容が薄い)早く家に帰してほしい。学校は地域のクラブチームに施設を貸与するだけでよい。 | 3 | 子どもたちの志向や体力の状況に適した活動の確保に努めてまいります。 |
| 84 | 5 | 賛成である。先生も仕事としてやるには負担が大きすぎるし、先生によってそれぞれのスポーツに関する知識によって、部活の強い弱いが決まってしまう。地域の少年団のコーチなどに指導していただいた方が、生徒にも先生にとってもそれぞれメリットがあるので、是非早急にしてほしい。 | 2 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。 |
| 85 | 5 | 先生方の負担を減らし、先生方が学習面での教育にもっと注力できるような環境にさせていただくのは、公立に通わせる子の親としても安心できる。一方で、外部委託されることで、部活動の時間が増え、塾との両立が、より大変になることを心配する。積極的な部活動を望まない親もいる。昔に比べ、部活動は、休んでも責められることは無いようだが、チームでプレイすることが多い運動部では、コロナ禍での、早朝から丸1日の他校との交流活動も参加せざるを得ず、コロナに感染し、塾の講習がすべて無駄になったこともあった。部活動の意味、意義、目的を、今の時代に合わせて再考し、いつ、どれくらいの時間を使い、どのように運営すれば、本来の目的に合った活動になるのか、熟考してほしい。学校が休みの日に、部活動をする必要があるのか？ | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めていきます。また、各学校においては、部活動の方針を策定し、当該方針に基づき部活動ごとに計画を立てて実施しており、生徒にニーズに応じた適切な運営が行われるよう、県が作成した「神奈川県の学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 86 | 5 | 地域のスポーツクラブに移行していくことには賛成である。ただバスケのクラブに入っていましたが、令和の時代に見合わない言葉の暴力があるクラブ、子どもの対応に慣れていないクラブ等もある。子どもへの対応の研修をお願いしたい。また、いろいろな種類のスポーツが体験できるクラブ、いろいろな文化を学べるクラブも魅力的だと思う。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。地域クラブ指導者を対象に日本スポーツ協会・日本パラスポーツ協会公認指導者制度等の周知を行うとともに、地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修を実施し、指導者の資質向上の取組に努めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|---|------|---|
| 87 | 5 | 先生の負担が減ることはとても良いが、指導できる人材がどれだけいるのか不安。地域移行でも学校との連携が必ず取れる仕組みをしっかりと作ってほしい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」、「P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。県が市町村の枠を超えた広域的な人材バンク等を整備し、子どもたちのニーズに応えられる指導者の確保に努めてまいります。また、保護者が安心して地域クラブに子どもを任せられるよう、活動に係る費用や健康・安全面、緊急連絡先の確認等、保護者との適切な連携体制を整備することとしております。 |
| 88 | 5 | 先生の負担を軽減させる為であれば全く異論はないが、部活動の縮小や減退は切に避けていただきたい。ただでさえ昨今の子供達は宅内遊びが主流であり、それに拍車をかける様にコロナによる自粛や規制、今時期は猛暑により益々運動の機会や経験が削がれた生活を何年もしてきており、体力や運動能力がかなり落ちてきていると感じる。地域移行にあたり金銭の発生は避けられないと思うが、それを保護者が負担せねばならないのも正直かなりキツイと思われる(実際に我が家は厳しいです…)、となると金銭的な問題で益々運動の機会が削がれる家庭も少なからずあると思われる。各市町村に投げる形では地域に差が生まれてしまうので(小児医療証制度や小学校の給食費支払いの手数料負担の有無などが各市町村で違うのが良い例である)しっかりと末端まで神奈川県が支援、把握して型にはめる形で進めていって欲しいと願う。 | 3 | 保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。本方針は、各地域の実情に応じ、それぞれの地域に適した方法を選択して取組を進めて行けるよう、地域移行の取組の方向性を大枠で示すこととしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 89 | 4 | 息子の通う中学校のバスケ部は活動が緩いうえに初心者の部員が多く大所帯である。息子はミニバス上りで、本気でバスケを頑張りたい人たちとバスケをしたいという理由からクラブチームに入ったが、バスケ部はクラブチームと部活動どちらも入るケースが多く、息子も学校のバスケ部とクラブチームを両立している。本人は部活動をやめたがっているが、内申書に響くのではないかと懸念している。正直、いっそ地域移行するならして欲しいと思っている。なるべく早く方針が固まることを願っている。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。 |
| 90 | 5 | 公立学校での教育活動の一部ということで(指導要領としては、自主的なものとしての位置付けのようだが)これまでは安心して子どもを預けることができた。地域移行するなかでより専門的な技術が習得できることに期待する一方、安全の担保、指導者の社会的責任に不安が残る。とくに、女子を預ける保護者としては、アスリートのユニフォーム姿を性的な目で見ると風潮がある中、どのような指導者が来校するのかなど不安がある。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。地域クラブ指導者を対象に日本スポーツ協会・日本パラスポーツ協会公認指導者制度等の周知を行うとともに、地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修を実施し、指導者の資質向上の取組に努めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|----|------|---|------|--|
| 91 | 5 | できるものからどんどん行い、教職員の本務である学習指導に注力できる環境をつくって負担を減らすべき。但し、子どもファーストで、それぞれの想いに沿った形で、行政や地域がお金、人、環境を整備することが必須となるので、各自治体や国の予算等のバックアップが絶対条件。 | 2 | 御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動に係る費用、保険」「市町村の役割」に記載しており、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。また、各地域の実情にあった地域クラブ活動の運営ができるよう、国に財政的な支援を要望してまいります。 |
| 92 | 4 | コーディネーターの存在が多く見られたが、そんなにコーディネーターはいるのか。私のいる環境でのイメージだが、コーディネーターはそういう職業というわけではなく、ほぼボランティアで子育て最中の当事者である印象を強く受ける。そういう専門職があるわけではないのに、そういった人に多くを依存（というよりも丸投げ）するような印象を受けた。 | 3 | コーディネーターは、各自治体で配置することになりますが、例えば元教員、スポーツ協会、民間有識者、総合型スポーツクラブ等、学校体育及び地域スポーツ・文化芸術等活動に関する知見を有する者が望ましいと考えます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 93 | 3 | 中学校の部活動が少ないのは私の子どもの場所も同じである。その中で「何かを選ばなければいけない」（絶対ではありませんが、何も選ばない、という選択ができるだけの環境があるとは言えない、無言の同調圧力のようなものはある）のは本人にとってもつらく、それこそ「体力づくり」「放課後にストレッチをする」だけの部活動のようなものがあればいい…と本人も言っている。本気で頑張りたいお子さんたちはそういう部活動で頑張ればいいのかと思うが、そのような放課後の縦割りの居場所があってもいいのではないかと思っている。そうすれば、先生方も縁もゆかりもない部活動の顧問にならなくてもいい、一緒に体を軽く動かす時間があれば十分…という形にもなれるのではないか。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 94 | 9 | 正直先生方もとてもお忙しく、例えば顧問をしている自分の学校が試合で負けたとしても、審判として駆り出される…というお話も伺っている。日常の学校生活の中で先生のミスが続き、子どもも「あの先生よく忘れるから…」などということもあり、部活動での負担のせいだけでそうなっているとは言えないが、部活動が多くの負担を占めているのは事実だと思っている。ただでさえ大変な先生が疲れていっぱいいっぱいな状態で子どもたちと接するのは、親としても心配がある…子どもも、先生自身の心身についても。自分の子どもにいてもおかしくない年齢の先生がこんなにやらなきゃいけないの？と見えてしまうこともある。私自身は1990年代の子どもが多く部活動も盛んだった時期を過ごし、それが間違いだったとかつらかったとかの思い出はないが、今思えば家族と過ごす時間の多くを私たちと過ごしてくれていた顧問の先生に対して複雑に思うこともある。その当時はそれが普通だったのかもしれないが、当時も先生方はかなり頑張って取り組んでくれていたと思っている。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 95 | 9 | 地域のスポーツクラブも、中学生になっても通える、という場所が最近増えてきた気はしているが、「中学生になったらとりあえず部活動」という雰囲気やまずなんとかしたい。小学生の間に通っていた習い事を延長するから部活動には入れません、という選択肢が普通にある・許される雰囲気があればいいなと思う。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 96 | 9 | 中学校の部活動の数が少ないため、選択肢が広がるといい。先生の負担が減り、生徒の可能性が広がるような動きになることを期待する。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 97 | 9 | 学校の部活動だからこそ意義があると思う。教員に負担がかかると言われていることについては、それは業務の範囲内としてこれからも頑張っていってほしい。地域クラブ活動がそのまま学校で行われるということだったら検討の余地はあると思うが、昔から続く子供達にとって貴重な事柄を大人の都合で無くしてしまうのは残念である。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めていくこととしています。なお、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 98 | 5 | 教員を無理やり顧問にしても教員も顧問も負担になるだけだと思う。先日の運動部の夏季総体で最低限の人数で参加しているチーム、ルールも把握していないようで(1年生？と顧問)観ていて可哀想だった。きちんとした指導者が必要なのでは？ また教員の負担も軽くすべきかと思う。 | 3 | 各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握するとともに、教員の負担軽減に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 99 | 5 | 外部委託に関しては学校の教員の負担を減らすためにはとても良い意見かと思う。しかし、部活動を指導したくて教員になった方もいると思う。その方への対応についても十分な検討をお願いしたいと思う。また、専門家の指導を子供達が受けられるのは大変有意義な事と思う。学校の指導の一環としていたものがクラブ活動に近い形になった際の対策の検討もお願いしたい。基本的には賛成の意見なので、良い形で実現していただくことを切に願っている。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「人材の確保」「県の役割」及び「市町村の役割」に記載しており、指導を希望する教職員が引き続き指導に当たることができる環境を整備してまいります。 |
| 100 | 5 | 担任もして、授業もして、部活動もして、土日試合して、いつ休むのか？土日休みのお役所仕事の人も体験してみても？出来るのか出来ないのか。部活動ではなく習い事みたいに月謝を支払うなら地域移行でも良い。中学の教員が全て担当するのは不可能に近い。教員以外にも補助員を増やしたりする必要があると感じる。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 101 | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の一般人ではなく、近隣のジムや教室などのスポーツ会社からコーチを派遣していただきたい。(責任の所在をハッキリさせて欲しい) ・幼稚園や保育園で体育を担当している会社は夕方空いているかも？(午後は園で課外教室を行うことはあっても、夕方や長期休暇は勤務に余裕がありそう) ・夏季、エアコンの無い体育館での運動は禁止して欲しい。高齢な指導者ほど、危険性を理解していない。特に放課後の体育館の暑さは異常。扉や窓の設置位置と風向きも合わず、無風。体調不良者続出でも関係ないようだ。 ・現状は、とにかく素人判断が横行し過ぎていろいろな意味で不安しかない。運がよく怪我や事故、事件が起きていないだけだと思う。顧問も専門性ないですが、根拠もない先輩生徒の謎ルールで練習したり、引退時にお古を元値と変わらない価格で売りつけられたり。 ・人件費や施設費が必要になるなら保護者負担も仕方ないと思う。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。子どもたちのニーズに応えられる指導者の確保に努めてまいります。また、保護者が安心して地域クラブに子どもを任せられるよう、活動に係る費用や健康・安全面、緊急連絡先の確認等、保護者との適切な連携体制を整備することとしております。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 102 | 9 | 部活動は、部活動の楽しみがあるので、ぜったい廃止にしないでほしい。 | 5 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。なお、当面は、学校部活動と地域クラブ活動が共存するものと考えております。 |
| 103 | 5 | 地域移行もさることながら、朝練、放課後練、土日練習と部活動の時間が長すぎる。先生も大変かもしれないが、同様に成長途中の子供の方が大変。何を求めてそこまで部活動に力を入れるのかよくわからない。高校受験の内申にひびくからと部活動に無理矢理入り、学業の時間や睡眠時間を減らすより、全体の学力を上げた方が将来の日本の社会に役立つと思う。よって地域移行にして子供が移動時間や休日の部活動に費やす時間が増えるなら、やらない方がいいと思う。今でも朝7時から部活、授業が終われば部活、帰ったら塾、家に着くのは11時、そこから食事、宿題、お風呂、2時就寝。多分、教師より子供の方が忙しい。子供ファーストの考えだが、先生も部活動の顧問をやりたくなければやらなくていいと思う。 | 3 | 各学校においては、部活動の方針を策定し、当該方針に基づき部活動ごとに計画を立てて実施しており、生徒にニーズに応じた適切な運営が行われるよう、県が作成した「神奈川県の学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 104 | 9 | 子供の中学校部活動が廃止され地域のクラブになる事について。やはり子供が地元で根付く一つの種は学校で行われる部活動で友情を培う事にある様に思っている。地域のクラブ活動に変われば高校受験時のポイントから外れたら子供の参加率も下がるかと。幾つになっても集まればいつでも昔の時間に戻れる仲間、そんな仲間が希薄になるんじゃないかと危惧している。 | 3 | 地域クラブ活動であっても、同じスポーツ・文化芸術等活動を共に楽しむ仲間として、良好な人間関係を築くことができると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 105 | 5 | 県内公立中学校の保護者である。生徒数減少による教員不足に伴い、3年程前にソフトテニス部がなくなった。現在、女子が入れる運動部がバスケ、バレー、陸上の3部活動しかない。男女平等にも関わらず、毎年2名程しか入部しない野球部を残し、2名以上は入部するであろうテニス部を廃部にした学校側には疑問が残る。このテニス部が地域移行のモデル校になるのは可能か。 | 3 | 各地域の実情に応じた取組を進めていくこととなりますが、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 106 | 5 | 顧問の先生が必ずしもその分野の専門とはかぎらず、学年主任になると部活動にほとんど参加出来ないなどがあるため、地域移行には賛成である。地域移行するからにはきちんとした顧問をつけていただきたいが、部活動はそれぞれやる気の温度差、実力差がある為、そこをどうするのか。また、小さい学校ではそのような生徒で一つのチームを組まなくてはいけない為、近隣の中学と合同でAチーム、Bチームと分けて練習をさせたい。 | 5 | P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 107 | 5 | 私は地域移行に賛成である。先生方のご負担は勿論だが、保護者としても同じように頻繁にある遠征の送迎等、負担に感じる事が多々ある。子ども達もまた、塾との両立が大変だと思う事もある。その多くは優勝を目指しすぎて楽しむ事より、勝つ事、上を目指す事ばかりになりがちである。勿論、モチベーションのためにはそれも必要だが、それ以外にも出来る事ならその地域の中の得意な人とのんびりゆったりと、その部活動を教わりながら楽しむようにした方がいいのではないかと思う。先生（教諭）としての仕事だけでも大変なのに、土日に部活動もやるのは今の時代にはそぐわないと思う。先生のなり手も少なくなるだけである。先生方にもプライベートは大切にしてほしいと願う。 | 2 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。 |
| 108 | 5 | 部活動を地域移行しても、全国大会、関東大会などに出場した場合、今まで通り宿泊費、移動交通費などを支給補助してほしい。 | 4 | 全国大会に係る宿泊費や交通費の支給補助等は、一般的には学校や同窓会等により行われているものと思われますので、方針に記載することは考えておりません。 |
| 109 | 5 | 民間スポーツ事業者との連携が、プロの指導者に見てもらえるので良いと思う。また、部活動で土日祝日と長期休暇が全部潰れると家族の時間が減ってしまうので、土日はどちらか、長期休暇期間（夏休みなど）はまとまった休暇を与えて欲しい。昭和のような、休めないプレッシャーも時代に合っていないと思うので意識変革も必要だと思う。 | 2 | 御意見については、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。 |
| 110 | 1 | 段階的に地域へ、と言っていたらいつまで経っても地域への移行はできない。いつからやるのか、はっきりしてほしい。また、顧問の先生の中で、希望しない先生は顧問をやらなくて良い制度をきちんと定めるべきである。 | 3 | 本方針は、当面、国が示した令和5年度から令和7年度までの3年間の改革推進期間を対象としています。また、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、地域ごとに段階的に取り組まざるを得ないと考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 111 | 5 | 教員の働き方として、部活動を地域へ移行することに対して賛成である。今後の部活動の運営として、持続可能なものである必要があると考えているため、教員の負担が重くならないよう、またライフワークバランスを大切にしたい取り組みになるように改革する必要があると思う。 | 2 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 112 | 5 | <p>元運動部顧問である。結論から申しますと、部活動は完全に地域移行した方がいいと思う。また先生方の希望性にするのが良いと感じる。</p> <p>理由は 1教員にとってはあまりにも負担が大きすぎるからである。本来の業務である教科指導や進路指導のための準備、研究などが“できない”。</p> <p>本来やりたかった、4年間かけて勉強した専門の教科指導は、運動部の顧問になると、“サブの仕事”にまわる。</p> <p>2部活指導に熱心な一部の先生（それ自体は大変素晴らしいことだと思っている。）のフォローをする形で、多くの新採用の若い先生やそのスポーツ未経験の先生が副顧問になり苦しんでいることが多いと感じている。（ぜひ現場にアンケートをとってみてください。またTwitter、snsなどにもこの手の話題は10年以上前から散見されています。文科省の#教師のバトンもぜひ関係の皆様ご覧ください）</p> <p>余談ですが、私の父は遠い昔中学教諭だった。運動部の顧問で、土日は必ず試合や遠征だった。勿論休みが全くなかったわけではないが、9割、部活動絡みの仕事で家を空けていた。部活離婚という言葉がある。私の両親の離婚の理由の一つにもこれが当てはまる。（私の家の場合は離婚の直接的な理由ではない。）</p> <p>乱文で大変恐縮だが、一度、未だ現場で葛藤なさっている現役の先生方のお気持ちを聞く機会を設けていただきたい。</p> <p>重ねて申し上げるが、部活動の意義は大変素晴らしいものである。だが、その意義を果たすために、多くの教員の皆様の本来の業務が後回しになっている現状や、教員を志望する若い世代が急激に減っている現状、部活指導の負担で過労死や病気になられた教員の皆様のご家族のお気持ちを加味して、より良い部活動の実施を目指していただけましたら幸いである。</p> | 2 | <p>御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。</p> |
| 113 | 5 | <p>現在、子どもが中学校に通い部活動もしている。現在の顧問の先生は、子どもたちの士気を高めて下さり、練習にも参加して下さっているようである。が、きっと放課後の時間をさき、子どもたちのために動いて下さっているので、顧問の先生の負担軽減も含め1週間に一度くらいは外部から指導してくださるコーチを呼んでの練習も有りなのかなと思う。ただ、もし顧問の先生が外部の方は必要ないと言われるなら、無理にまでは必要ないのかなとも思う。</p> | 2 | <p>御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。</p> |
| 114 | 5 | <p>地域スポーツ団体運営型に賛成。しがらみなく、地域の特色を活かしたスポーツを運営すればよいと思う。また、学校教員は希望すれば兼業で団体所属可能とすることで、自主性を尊重するとよいと思う。</p> | 3 | <p>部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 115 | 4 | 学校の顧問の先生と地域の活動方針に違いがないようにしてほしい。指導者によって活動方針、練習内容や指導方法が違えば、生徒も困惑すると思うので、うまく連携して行うことができるのであれば、地域移行するのはかまわないと思う。ただ積極的に部活動をやりたい先生がいるのであれば、わざわざ地域の人に頼む必要はないと思うので、全面的にやらなくてもいいのではないかと思う。先生も活動経験がないにも関わらず、顧問になってしまうと、最初から覚えたり、必要な物を買えたりと大変だと思うので、少しでも負担が減ればとは思。クラブチームや地域移行するなら部活動に入らず、そのクラブチームに入ればいいんじゃないかとも思うが、地域移行によって、生徒たちに負担が、かからないようにしてほしい。 | 2 | 御意見については、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「学校の役割」及び「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。なお、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。 |
| 116 | 9 | 作成された地域移行に係る方針というモノがどこにあるかわからないため意見ができない。何がしたいのかもっとわかりやすく提示してほしい。 | 5 | 県ホームページに掲載するほか、県内の各県政情報センターに配架しておりました。 |
| 117 | 5 | 私の子供も小学校でサッカーをしていたが、中学校にサッカー部がなく、卓球部に入った。中学校の部活動の課題を解決するためには、地域の高校生や大学生にアルバイトとして、中学生の部活指導をしてもらえばよいと思う。子供達もお兄さんお姉さんが大好きである。学生がアルバイトを始める前には、研修でコーチングの基礎を学ばせて、アルバイト代、交通費、研修費用や保険加入費なども全て県が負担すればよいと思う。監督者として地域の保護者にも報酬を払い、部活動の顧問を勤めてもらえば良いと思う。ボランティアで母校の部活指導の手伝いをしている学生もいると思うが、少数なので、アルバイト代をもらえるならば、雇用の創出と共に、もっと沢山の学生が応募してくれると思う。普段の練習は、子供達が参加しやすいように、それぞれ地域の中学校で行い、試合の時だけいくつかの中学校合同チームにすれば良いと思う。民間企業のクラブチームは費用が高く、経済的に入れない子供がいる。学校の部活であれば、皆平等に活動ができる。指導者育成や指導時の報酬は県が負担すべきだと思う。あとは、デジタル技術で、指導者が足りない部活動とアルバイトしたい高校生や大学生をマッチングさせるアプリを、神奈川県で作ればよいと思う。短期でも可能とすれば、学生も応募しやすいと思う。以上、ご検討よろしく願いたい。 | 3 | 指導者の報酬は、受益者負担が基本であると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して進めていくこととしています。また、保護者にとって過度な負担とならないよう適切な会費を設定することとしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 118 | 5 | 地域移行といっても、人口密度によって、できるものと、できないものがあり、地域特性により、移行すら難しい所もあるのではないかと。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「地域の実情に応じた取組」に記載してあり、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めることとしています。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 119 | 9 | 日々公立学校の教育環境向上のためご尽力頂き大変感謝している。「神奈川県公立中学校における部活動の地域移行に係る方針（仮称）（素案）」につき拝読させて頂いた。私個人としても、以前より公立中学校教諭の部活動・クラブ活動への関わり方には課題があると感じていた。中学生になると子供によって部活動・クラブ活動への考え方も異なり、そういった子供達に対して指導を行う教師の方々の負担は大変なものと思う。そのため、今回の方針案を策定されたこと自体に意義があると感じている。素案に対する詳細意見ではなく大変恐縮だが、引き続き検討を進めて頂ければと思う。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 120 | 5 | 地域移行を希望する。家族が教師をやっているが、土日に時間を取られ、さらに残業もすごく過労が本当に心配である。 | 2 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。 |
| 121 | 5 | やったことも無い部活動を担当しなくてはいけなかつたり、放課後や休日に見なくてはいけないので、先生達の負担を考えると、とても良いことだと思う。 | 2 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。 |
| 122 | 5 | 最近先生が減り部活動の種類も減ってしまったので入りたい部活が無かつたり、部活動のために遠い中学にわざわざ通つたり、生徒にとっても凄く良いと思う。 | 2 | 子どもたちの志向や体力の状況に適した適した活動を確保していくよう努めてまいります。 |
| 123 | 5 | 学校の教員の成り手不足の原因の一つである部活動をこのまま継続することは、現在1才の親としては、将来自分の子どもに質の高い教育を受けさせられるのかという心配がある。授業はしたいが部活動があるから教員にはならないといった考えの人は一定数いるため、そうした意欲のある人間が学校現場からいなくなるのは非常に危機感を持っている。また、このまま部活動が学校に残ると相対的に「部活動をやりたい教員」が学校現場に残り、子どもが部活動をやらないことに対する差別的な意見や主張をすることや（特に強豪校ではいまだにみられる）体罰が撲滅されずに残る可能性も否定できない。教師と生徒という関係のため黙って従わざるを得ないことや部活動を辞めても学校内で顔を合わせるため登校しづらくなることも考えられる。 しかし地域移行すれば、学校の中での教員と生徒の関係で作られている部活動ではなくなるため、合わない指導者がいるところには通わせないとといった選択肢を取れる。さらに、少子化が進んでいく中で、学校単位での大会の出場などが難しくなるため、地域というまとまりでチームを作り専門的な指導員のもと活動をする方がより健全で有意義な時間となる。教員の成り手不足解消や、働き方改革の面でも、多様な人間関係を作れるという面でも、またより専門的な指導を受けられるといった面でも部活動を地域以降することはメリットが多いと考えられる。金銭的に難しいというのは、教員への対価の支払いがないから成り立っているからであり、受益者負担として指導者に対してはしっかりとした対価を払うことを方針として県が出してほしい。 | 3 | 指導者の報酬は、受益者負担が基本であると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して進めていくこととしています。また、保護者にとって過度な負担とならないよう適切な会費を設定することとしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 124 | 5 | 中学生の行動できる範囲は想定よりも狭いので、学校外に出ること自体がハードルが高いため、公共または企業の機関のスポーツ施設を使うならばバスなどの交通機関を新たに設置する必要がある。 | 4 | 新たな交通機関の設置について方針に記載することはできませんが、生徒の移動について安全かつ費用負担の少ない交通手段を検討することを記載しております。 |
| 125 | 5 | 中学校教諭の負担ということが前提であるが、部活動の指導を目的とした教諭も多いことから、十分な給与面での保障があり、尚且つ人的不足が補われるような状況であれば現行での制度は継続可能と思われる。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。なお、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 126 | 5 | 十分に人材が揃っているのであれば、例えば試合するに値しない人数の部活動であっても近隣中学と合同で行う場合、教員が近隣校に帯同して連れて行くことも可能であると思われる。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。御意見のように合同チームで活動する方法も考えられますが、各地域の実情に応じ、それぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 127 | 5 | 交通や施設利用に関わる金銭的な問題は、すべて国や市町村で負担すべきと考える。希望する競技によって金銭的負担が左右することはあってはならない。競技的に必要な物品などについてもある程度の支援があっても良いと考える。総じて、金銭的な問題がクリアできれば良いと考えられる。指導者の質や希望云々に関してもすべて金銭が絡む。現在の政府は子供を増やそうとも考えていないし、十分な教育に対する政策も無い。もしそれがあれば、もっと予算を本当の意味で異次元というよりも桁違いに確保し、成長や教育に必要な人材や設備に投資すべきだと思われる。それなくして公立中学校だけ部活動を地域に放り出すようなことはしてはならない。民間を利用する前にまず公がしっかりと予算を組み、人材を確保し、人数を確保し、十分な給与を用意し、中学生に必要な身体活動をできる環境を整備することが先だと思われる。 | 3 | 部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 128 | 5 | 息子が20年程活動しているバレーボールクラブに所属している。やっと念願の中体連の大会出場できると思っていたのだが、バレー部門だけ、単独中学校の生徒のみのチームの出場は認めないとの細則があり出場できなかった。頑張っている生徒達、バレー部門だけのこのルールはおかしいと思う。改善を要望する。 | 3 | 大会の運営方法については、各主催者が判断することになるため方針には反映できませんが、必要に応じて、改善について主催団体に働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 129 | 5 | 公立中学の中3息子の担任(教諭3年目)は、息子の部活動の卓球部顧問もしている。部活動は毎年関東大会に出る様な強豪校で、今年の7月は、部活動の休みは3日しかなさそうである。新卒の教諭が1年目からいきなり経験の無い部活動(強豪校)の顧問になり、土日は丸一日子供達の遠征の引率をして下さっていた。かつ、今年は初めての中3のクラス担任でもあり、受験指導もある中で先生はとても忙しく、疲れているのが判る。3者面談時に、仕事のやりすぎを心配してますと声かけはしたのですが、真面目な先生は、なりたくてなった職業なので覚悟はしてますとの回答だった。先生が忙しさに潰れてしまわないか、先生の職業が嫌になって辞めてしまわないか、心配している。特に土日の部活動の地域移行にとっても賛成である。担任の先生には、自分の担当教科を教える事(生徒の学力の底上げ)や受験指導や生徒指導に専念して貰いたい。地域移行をする際には、顧問のなり手を増やす為に有償ボランティアにし、その為の予算を県にはつけて頂きたい。ご検討、宜しくお願ひしたい。 | 3 | 地域クラブ活動での指導を希望する教職員等については、兼職兼業の許可を得ることで、報酬を受け取って指導できるようになります。部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 130 | 5 | 岸田政権の増税政策やインフレによる家庭の負担が増える中、これ以上の家庭の負担が増えるのは望まない。地域の事業者を支払う対価は税金から支払うことになるのか、それとも家庭からの持ち出しになるのか議論が必要。経費が現在よりもかかりすぎると、利用できない学生もでてくるなどの心配もある。中学の顧問よりも、専門性の高い指導やコーチングが期待できるとしてのメリットは高いと思う。現在一部の部活動に学校以外の外部コーチがいると、噂では聞いた。中学顧問の意向や協力できる範囲での活動、柔軟に対応できるのが一番理想だと思っている。 | 3 | 保護者にとって過度な負担とならないよう適切な会費を設定することとしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 131 | 5 | 部活動の地域移行は平日・休日ともに早急に進めていただきたい。学校規模が小さくなっているなかで、部活動は存続が難しいと思う。子どもがスポーツ(eスポーツ含む)や文化的な取り組みを思う存分できるように地域で団体を作っていくべきである。お金については団体所属の保護者が所得に応じた負担をしていくことが良いかと思う。また、学校現場の様子からも地域移行によって教員の働き方改革を進め、教員の志望者を増やし、教育の質の向上に繋げていただきたい。将来の神奈川県をよりよくするために、地域移行は必要不可欠だと思う。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。また、地域クラブ活動への参加費は受益者負担が基本となると考えております。保護者にとって過度な負担とならないよう、適切な会費の設定や公共施設について利用しやすい環境整備に取り組むとともに、国に対しても財政的な支援を要望してまいります。 |
| 132 | 5 | 教員には教員しかできないことをやって欲しいので、部活動にかかわるのは負担がかかりすぎると思う。責任の所在ははっきりさせた方がいいが、実際の指導は地域の専門家に移行したほうが良いと思う。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 133 | 9 | <p>神奈川県公立中学校教員をしている。</p> <p>【結論】部活動を一刻も早く中学校教員・教育から切り離してほしい</p> <p>【理由】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教員の「人間らしく生活する権利」を保障するため 2 課外活動である部活動を、課内勤務要員である教員が行う矛盾の解消 3 部活動が民業を圧迫している可能性 4 身近な大人＝中学教員の姿が与える公立中学生への影響 <p>【詳細】</p> <p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給特法がすでに現代社会に合致しない仕組みになっている(業務過多) ・労働基準法で認められた「休憩」は全く保障されていない現状 ・休日であるべき土日祝日勤務が常態化 振替休日は余剰人員がいないためほぼ取得不可能 ・心身を疲弊した教員の療養休暇などが増加 残された教員の業務負担増加 負のスパイラル <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動はそもそも教育課程外活動 教員は「教科」授業人員として採用されている ・部活動終了時間が勤務時間外に設定されている矛盾が蔓延 ・部活動に熱心な教師＝よい教師という思い込み ・部活動の負担＝ブラック勤務の実態が報道されることによる、教員不足の加速 <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校は放課後の習い事にお金を支払う 中学校も同じにすべき ・部活動＝安価な習い事という意識を払拭させる <p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身を疲弊した状態で勤務する姿を見て、中学生は大人になることへのよい印象を持ってない ・土日放課後の部活動をなくし、余剰時間を創り、教員も広 | 3 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。 |
| 134 | 9 | 先生方が忙しく、部活動まで見られない、部活動の時間が減るのであれば外部への委託は賛成だとは思いますが、ただその場合、受験する際の部活動についての評価はどうなるのか気になる。 | 3 | 入試の選定に関する内容は本方針に反映いたしません。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 135 | 9 | 地域移行に賛成。教員の働き方改革に向けて、部活動による負担が大きいと思う。任せられる部分は外部に委託し、生徒指導や教材研究に時間を注げるようになってほしい。 | 2 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。 |

| No | 意見 区分 | | 反映 区分 | 県の考え方 |
|-----|----------|---|----------|---|
| 136 | 4 | <p>部活動の地域移行について、賛成である。課題は多いと思うが、ぜひスムーズな移行を希望する。素案を拝見したが、特にスポーツにおいては、どの場所でやるか、が大変重要かと思う。野球、サッカー、テニス、バスケなど、ある程度の広さと設備が必須である。これは現状通り、中学校の施設を使用することが最も重要だと考える。学生が集合しやすいスポーツができる広場は限られている。私は小学生の息子がスポーツ少年団に所属しているが、毎週グラウンドの手配がかなりの負担である。予約、鍵受け取り、受付は平日のみ等の制限があり、当日は遠方のため保護者の車での送迎が必須である。保護者の金銭的というよりは、労働面での負担が大きく、スポーツ少年団が敬遠される大きな原因の一つである。中学校での部活動は、中学校をベースに行い、そこへ外部コーチ、コーディネーターを招致する、という形が最も望ましい。学校の先生方の働き方改革のため、負担を減らすという面では逆効果のように感じるかもしれないが、まずは土日であれば、先生方ではなく学校管理者をそれぞれ学校に配置すれば対応できると思う。管理者、外部コーディネーターには賃金を県や市から支払うことで、人材も集めやすいと思う。指示系統も明確になる。ここで決してボランティアの保護者など入れないようにしないといけないと思う。労働関係がないためおかしな付度が発生し、あまりいい結果にはならない。子供たちを教育するという面においても、必ずプロを入れなければならないと思う。ぜひより良い方向へ向かうよう、期待している。</p> | 3 | <p>活動場所の確保については、地域、関係団体等と連携し、利便性の向上に努めてまいります。また、指導者の確保については、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者の確保に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 137 | 4 | <p>技術については、専門家の指導が受けられるのはよいと思う。ただ、部活動は精神面の成長を担う面も大きいと思うので、学校や家庭との連携をどうするのかも、はっきりあきらかにしてすすめるべきと思う。成長期特有の身体の問題もあるはずなので、そういった知識のある指導者を選ぶ指針も必要と思う。</p> | 2 | <p>御意見については、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。保護者が安心して地域クラブに子どもを任せられるよう、活動に係る費用や健康・安全面、緊急連絡先の確認等、保護者との適切な連携体制を整備することとしております。また、地域クラブ指導者を対象に日本スポーツ協会・日本パラスポーツ協会公認指導者制度等の周知を行うとともに、地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修を実施し、指導者の資質向上の取組に努めてまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 138 | 8 | <p>中学校の先生だから、生徒も親も話しかけやすかったり、相談しやすかったりする。地域移行になると、虐待や威圧的な態度をとられそうで親としては、安心して預けられない。学校の先生がやってくれるなら、中学から初めてスポーツ部に入っても、気軽に取り組みやすいが、地域になると、小さい頃からやっている人と同じチームになってしまうので、相当な努力しないと入れないと思うし、楽しめない。下手だからと、水面下でのイジメが進むと思う。結果、小さい頃からやってる人は伸びて、全体的にスポーツがうまくなるけど、一方では、運動ができない子からは、スポーツの機会を取り上げてしまうことになる。先生達の働き方改革で、地域移行としてしまうのは簡単だけど、子供にしわ寄せがよってしまう。少子化で、子供の人数が確保出来ないなら、隣の中学と合同で試合に出るとか、方法はあると思う。各学校によって、調整してほしい。親も協力してもいいと思う。どんな子供にも、スポーツの楽しさを経験させてほしい。</p> | 2 | <p>P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。</p> |
| 139 | 8 | <p>まず現在の中総体等の大会を無くす。体を動かしたい人には、現在の部活同様校庭や体育館等を開放し教師が管理する。（大会に向けた組織的な練習より個人の成長を促す練習）大会に出たい人は、地域のクラブに所属して出場する。地域にクラブが無いところは、校庭や教室等を貸すことを前提にクラブに来てもらう。学校の教師は、自分のところの生徒が居なくてもクラブチームに籍を置き指導を学ぶ。現在の夜間などバレーボールや剣道等地域に貸出をしているがこれは小学校のみ貸出に変更し、中学校や高校は生徒を受け入れる条件を飲んだクラブのみに貸し出す。</p> | 3 | <p>御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 140 | 8 | <p>神奈川県の方針である「達成までの道筋を一律に定めず、地域の実情に応じて、段階的且つ柔軟に取り組んでいくことを基本的な考え方」とすることに納得した。「地域の実情に応じて柔軟に取り組んでいく」ためには、教員にも選択肢が必要になってくると思う。「本県における地域移行について」で「県の役割」でも取り上げているように、「円滑に兼職兼業の許可を得られるよう、各市町村教育委員会に規定や運用の改善について情報を提供する。」ことが大事だと思う。さらに、早急に予算を付けていただき、熱心に部活動をやられている人から、適正な給与を支払い、また労働時間の是正につなげていくことで、地域移行していった際に、兼職兼業をする教師の働き方のモデルケースを作っていくことが必要だと感じている。昨年度、県が主催していた「地域部活動連絡会」でスポーツ協会の方から話を聞くと、「適正な賃金が支払われるならば、協力できる」という意見もあり、まずは教師の無償労働に頼った大会運営や部活動運営を適正な形にしていくことから始めるのが必要であると思う。また、各地域で取り組んでいくためには、他県の先行事例にもあるように、行政機関に専門の職員を配置することが必要であり、中心となって推進していく人が必要である。そのため、各市町村に、地域移行担当の設置を促す必要があると考える。</p> <p>逗子市立中学校では、令和7年度まで、2年の間に何ができるのか、段階的に移行していくために何ができるのか、考える時間を設けている。教員自身も部活動の在り方について考え、世の中の変化に対応できるようにできることから初めていくことが必要であると感じ、実行している。現在の活動を維持しながら、移行していくためにどれぐらいの予算が必要なのか、現在の活動時間が本当に適正なのか、それぞれの立場で検証し続けることが大事だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兼職兼業のシステムの明確化 ・部活動を運営するための人件費の費用拡充 <p>以上の2点を県から実現していただければ、それぞれの実情に合わせて部活動を運営していくことが可能なのではと考えている。</p> | 3 | 各市町村教育委員会に兼職兼業の規定や運用の改善について情報提供してまいります。また、各地域の実情にあった地域クラブ活動等が持続可能なものとなるよう、国に財政的な支援を強く要望してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 141 | 8 | <p>教員の業務量がオーバーなため、部活動の地域移行は良いと思う。専門性や安全面等配慮・検討する事は多いと思う。</p> | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 142 | 8 | <p>部活動は廃止して、習い事の1つとして行うことが良いと思う。保護者の金銭的負担が増えると、経済的な理由で参加できない生徒が増える。しかも事が内申に響いて高校進学に影響するとなると、さらに経済格差が広がる。これからは、放課後や休日は校舎を民間に貸し出して、その中で自由に参加できるようにすれば良いと思う。そして、その活動については学校側はノータッチで、もちろん内申にも関係なく。ただでさえ神奈川県は公立学校の何でも内申書に影響させて生徒を締め付ける方針はおかしいので、いい加減戦後の締め付け教育からの転換を進めるのはいかがか。長い間の決まり事を変えていくのは簡単ではないが、ご一考をお願いしたい。</p> | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動は学習指導要領に位置付いた教育活動の一環であるため、廃止はできません。なお、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 143 | 4 | 専門性が求められる競技やレベルアップになると教師では対応が出来ない部分もある。中学校は部活動顧問があるから小学校の教員免許を希望する大学生も周りにいるくらい。サッカーはクラブチームが盛んで部活動として成立してない。サッカー好きな父親がやっても良いと思う。囲碁とか将棋も地元のおじいちゃんに活躍してもらいたい。中体連加盟とか壁はあるかも知れないが校内、地域での交流を主として活動出来れば良いと思う。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。 |
| 144 | 5 | 厚木市、平塚市で体操教室を運営している。部活動の地域移行に関しては専門的指導者がいる為賛成だが、場所や広さ・指導員の数など現状は部活動を受け入れる事は現実的ではないと考える。事故発生時の責任・保険などスキームは出来ているのか。また、設備投資等の補助はあるのか？ | 3 | 保護者が安心して地域クラブに子どもを任せられるよう、活動に係る費用や健康・安全面、緊急連絡先の確認等、保護者との適切な連携体制を整備することとしております。また、各地域の実情にあった地域クラブ活動等が持続可能なものとなるよう、国に財政的な支援を強く要望してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 145 | 5 | 部活動を地域移行にするのは反対である。教員の中にも部活動の指導を生きがいや楽しく一生懸命やってる方々もいる。大会の役員なども地域移行する事により、その方々がやるようになると思うが、上手くいくとは到底思えない。結局は教員も駆り出される事になると思うし、部費などの管理などもしっかり出来るのか不安である。子供がこれから何年後かに中学上がった時、安心してお願いする事は難しいと思っている。教員の残業を減らしたいのであれば、普段の業務の雑務などの方を雇って欲しい。なので、断固反対する。 | 5 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。なお、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。 |
| 146 | 4 | 学校から地域に移行することで、先生方の負担を減らすということ必ず念頭に置いていただきたい。外部の人が学校に関わる時、そのほぼ全部で教員に新たな仕事が増える。地域の方の指導の仕方や生徒への接し方、何かあったときの対応、地域の方と生徒の架け橋…想像しただけでも、先生方が新たに直面する問題がありそうである。地域の方に指導していただくことには賛成だが、学校外の指導者は素性が良く分からない、免許もない、という、ある意味でどう信頼すれば良いのか…という不安感がある。県や市で責任持って採用、委託していただき、かつ、先生方の負担軽減になるようお願いしたい。 | 3 | 地域クラブ指導者等を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修を実施し、指導者の資質向上の取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 147 | 4 | 指導者については顧問の教師だけではなく外部の方も検討されているが、それ以外にもボランティアのような形でお手伝い出来る方法もあればと思う。小学校で「見守り隊」や保護者の授業手伝いを経験したが、中学の部活動でも地域の色々な大人の見守り、お手伝いは双方にとって有効なのでは思う。スポーツのみでなく、裁縫や料理(家庭科部)や、理科系に強い人(科学部)、生花(華道部)、音楽(吹奏楽部)等等。教えるだけではなく、近くで寄り添ってくれる、見守ってくれる大人が少しでもいることは生徒にとっても救いになることがあると思う。又沢山の労力の一部でもお手伝い出来れば、生徒や指導者の負担も減ると思う。登録制で沢山地域から募集してもらえたら、是非参加したい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握し、また市町村の枠を超えた広域的な人材バンク等を整備することで子どもたちのニーズに応えられる指導者の確保に努めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 148 | 5 | 平日に関しては、時間や経済面の待遇の関係で指導者の担い手確保が難しいと考えている。そのため、まずは休日の練習について地域移行を進めると同時に、土日の体育館やグラウンドの開放、経済的な補助金等が急務だと考える。 | 2 | 御意見のとおり、まずは休日の部活動の地域移行を進めてまいります。また、活動場所については、施設の利便性の向上に努めてまいります。 なお、県立学校施設の休日利用については、ニーズ等を踏まえ、必要に応じて検討していきます。 |
| 149 | 9 | 部活動はなくてもよい。生徒中心のサークル活動でよいのでは？ | 5 | 部活動は学習指導要領に位置付いた教育活動の一環であるため、なくすことはできません。 |
| 150 | 5 | クラブ活動の内容がとてもよくなると思います、すごくいいと思う。各学校によって、あるクラブと無いクラブがあり 中体連の大会に引率ができない、参加できない、ということも起きているのでそちらの方を、早急に検討していただきたい。 | 2 | 県中学校体育連盟主催の大会について、条件はありますが、令和5年度から地域クラブ活動等の大会参加を認めています。 |
| 151 | 5 | 中学校教員経験者である。授業研究、授業準備、クラスの生徒指導に加えて、やったことのない運動部の顧問の仕事は多忙に拍車をかけるものであった。土日のいずれかは必ず部活動。連休はほぼありませんでした。心身ともに疲れ果てていた。授業準備は帰宅後が当たり前、授業と授業の間の教室移動の時間に何とかするということもあった。意見をしたくても、言いづらい環境、本人の性格もあると思う。私は叱咤されること覚悟で直接管理職に話をし、土日に活動のない文化部の担当になったが、あのままだったら、自分がリフレッシュする時間もなく、結婚して家族のいる今の生活はなかったかもしれないと思う。地域移行後については、地域に暮らす様々な人が各々の得意分野で子どもたちと関わることができるようになると、部活動はこれまで以上に充実したものになるのではないかと期待している。 | 2 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。 |
| 152 | 4 | 地域在住の退職された方、現在大学生の方、他にも仕事をされていたり主婦だったり、様々な職業で、児童生徒の健全育成にご協力いただける方の中から、各部活動の経験があり、児童生徒の指導や育成に尽力出来る方を募集する。教員免許や保育士免許、資格、経験などを考慮し、講師料も支払う。定期的にアンケート等を実施し、生徒や先生からの評価を受け、次年度も協力して頂くかどうか、給与を上げるかどうかを判断する。定期的に顧問の先生とも連絡を取ったり、一緒に大会や練習に参加する。 | 3 | 各地域において専門性や資質を有する指導者を広域的な人材バンクを通じて発掘・把握するとともに、教員の負担軽減に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 153 | 5 | 外部の方に指導依頼することに賛成である。ただし、保護者と指導者との連絡方法がきちんと確立している事が必須だと思う。 | 1 | P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に、保護者との適切な連絡体制の整備について、追記しました。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 154 | 9 | <p>地域移行の意見ではないが・・・。</p> <p>1、現在は、基本的にテスト1週間前は部活動禁止となっているが、大会前はテスト前でも部活動がある。基本的にはなく完全禁止にしてもらいたい。</p> <p>2、三年生の部活動だが、完全引退する日程をすべての部活で統一してもらいたい。三年生は、受験も有るので皆同一条件にした方が良く思う。特に中学の吹奏楽部は、12月に大会が有るので12月まで引退できない。</p> | 5 | 部活動の実施計画は、大会等の日程や生徒の休養なども踏まえながら、部活動ごとに作成することになっています。 |
| 155 | 9 | 先生方の負担減に賛成である。土日の部活動、引率には休日手当をもっと支給すべき。 | 4 | 教員に支給される手当について、方針に記載することは考えておりません。教員の負担軽減につながるよう取り組んでまいります。 |
| 156 | 5 | 外部活動に参加するときの交通費電車、パスなど、今の状況は、塾は、学生定期を購入できるようだが、スポーツクラブには学生定期を購入することができない。土曜日や日曜日に、学校があった場合試合や練習による欠席は、校内部活動は、職員が同行するため公休扱いになるが、外部の活動は、欠席扱いになる。 | 3 | 御意見の地域クラブによる公欠の扱いの可否については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 157 | 7 | すでに実施している市町村の事例を参考に、生徒や指導教師、地域指導者が負担にならないような部活動になることを願う。 | 2 | これから地域移行に取り組む市町村の参考となるよう、本方針の実践事例集で先行事例を紹介してまいります。 |
| 158 | 5 | <p>現中学一年生の母親である。子供は現在部活動に所属している。(野球部)小学生の時に6年間スポ少に所属しており、中学進学時にクラブチームも進められたが、経済的負担、親の負担などの理由で部活動を選んでもらった。同じスポ少出身の先輩たちも、似たような理由で部活動に入っている家庭が沢山いる。我が家のようにクラブチームに入れることが出来ない家庭は部活動がなくなると、競技が出来る環境がなくなってしまう。部活動という形は残していただきたいと感じる。子供の卒業式の際も、小学生の時は家庭の都合でスポ少には入れなかったけど中学になったら運動部に入りたいと言っている子が沢山いた。先生の負担も承知しているが、現在我が子の顧問の先生は競技経験もあり、とてもよく面倒を見てくれている。そういう学校ばかりではないと思うので、地域移行もやむを得ない部分もあるかと思う。全部が全部地域移行ではなく、指導できる先生が居ない場合は外部に頼むなど、柔軟に対応していただきたいと思いい見を送らせていただきました。また、地域移行の際の人選ですが、ご高齢だとちょっと頑固であったり、子供に対して高圧的な感じが見られる。(うちの地域だけかもしれませんが)一緒に競技を楽しめる、動ける方だと嬉しいなど親目線では思っている。いち親の意見として送らせていただいた。</p> | 3 | 部活動の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して進めていくこととしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 159 | 9 | <p>地域移行賛成である。バドミントン部で活動しているが、体育館は1つしかなく、1週間に一度のみ使用。外での活動は体力作りのみ。羽を打つ事が満足にできない状況である。これでは練習にならない。先生方もお忙しいのは承知しているが、近隣の学校によっては地域の大会に参加したり練習を増やしたりしている。学校によって違うのは、先生の熱量かと思う。これでは隣の学校の熱心な先生の部活に行けば良かったと後悔している。</p> <p>一方で先生は土日仕事で、遠征、合宿、大会に行かなければいけないため、自分の子供達の運動会、発表会、参観はいっさい観れない。一度しかない子供達の成長期を観れないご家族のご苦労があるかと、申し訳ないとも思う。</p> | 2 | <p>御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。</p> |
| 160 | 9 | <p>今子供が県内中学校にかよってます。土日は、海老名？相模原？とか遠方まで練習試合にいき、強豪チームでもないのに、そこまで行ってやる意味あるのか？強豪で、やりたい子は、そもそも学校の部活動じゃなく、クラブチームとかに所属しているのだから、中学の部活動なんて、校内で、走ったり、体力付けたりと、とにかく体を動かすことに重きを置けばいいと思う。遠征の交通費は、家庭持ち。行かなきゃ行かないで、子供も、肩身の狭い思いするし、先生からもなんか言われるし。先生が1人で頑張っちゃってるせいで、迷惑である。早くその先生が他の学校へ飛ばされるのを今か今かと待ってる状態である。だから、学校の先生の負担のならないように、平日は、校内で、体力作り、たまに、市内の他校との練習試合、とかでいいと思う。わざわざ市から、でてまで、やる必要ないとおもう。もっと考えてほしい。ってか、教育委員会のひとで、そういう意見は出ないのか？頭の硬い人ばかりである。もっと、柔軟な頭の人、入れた方がいいと思う。電話して、この現状教育委員会に言おうとおもったので、ちょうど良かった。</p> <p>一保護者としての意見である。だから、結局、毎週遠征とかいくから、先生が大変なだけで、週3回とか、校内で体力作りすれば、先生の負担なんて、そこまでじゃないと思う。外部委託するとなると、その費用は、だれが出すのか？部活動に加入してる生徒か？そんなの、払ってまで、部活動でやる必要あるか？やるなら、その生徒が望めば、それでもいいとおもうけど、果たして、保護者と生徒の意見が合うかも分からない。そもそも部活動なんて、帰って、暇だと遊び行っちゃうから、やらせてるだけで、強くなって欲しい、上手くなって欲しいとか、全然思っていないし。べつに、上手い子が、教えてくれて、上手くなるのはいい事だし。それもそれで、勉強になるし。私なんて、中学の頃は、試合なんて、全然無かった？あんま行ってなかったから、わかんないけど、今みたいな朝も7時学校集合。練習とか、ないし。ってか、土日親だって仕事休みなのに、わざわざ起きて、送り出してとか、おかしいし。平日の学校行くより早く集合とか、ありえない。そもそも、そこがおいしい。マジ頑張りすぎてる先生、やめて欲しい。迷惑一とにかく、保護者が外部委託のためにお金出すのは、反対。ってか、なんで、土日？だけ外部委託？意味わからない。</p> | 3 | <p>多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 161 | 9 | 地域移行に賛成である。「部活動指導が辛い」との理由で教職を辞する方も少なくなく、原因を潰していかないと教育現場崩壊はすぐに起きると思う。神奈川県に期待している。部活動指導をしたくて教員になった方には申し訳ないが、やりたくないのにやらされている、やるとなったら土日でも潰れるレベルを期待されるという現状のままでは教科指導もままならない。 | 3 | 教員の負担軽減につながるよう、地域移行の取組を進めてまいります。 |
| 162 | 3 | 教員の負担が1番問題かと思う。土日祝日や連休等の試合の引率、県大会出場1、2名の為に種目ごとに日にちが違く、何度も行く、1日それで終わることに対して保護者として申し訳ない気持ちである。親なので子供の活躍の場は楽しみだが、顧問にとっては何度も1日そこで1日が無くなることは、休みもなく、大変の一言である。そして生徒のやる気の温度差。専門のコーチがいる所に、地区ごとに本当にやりたい子供たちが集まってやって欲しいと思う。 | 2 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。 |
| 163 | 4 | スポーツ、文化は行政が責任をもって。子ども育成にふさわしい団体をしっかり見極め、支援していく。学校ごとに部活動をするのではなく、子どもや、親が選べるように。 | 3 | 地域クラブ指導者を対象とした研修の実施、参加や資格取得の促進等、指導者の資質向上に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 164 | 4 | 地域移行は技術の継承という点では大いに賛成だが、仮にモラルを守れない指導者がいたとして、その方への注意・指導等は職員系統外となり見て見ぬふりにならないかが心配である。 | 3 | 各地域クラブ活動運営団体・実施主体が活動の運営方針、年間・毎月の活動計画、活動中のトラブルや事故の対応を含む管理責任等を明確にすることとしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 165 | 9 | 息子は現在小学6年生で来年から地元の中学校に通う。息子は現在小学校のクラブ活動でバドミントンに一生懸命に取り組んでおり中学入学後もバドミントン部に入部希望だが、残念ながら入学予定の中学校にはバドミントン部がない。バドミントンは同級生の中でも人気のあるスポーツだと聞いている。この場合、仮に新一年生で希望する生徒が複数人いれば新設は可能か？ | 5 | 学校に設置する部活動については、学校ごとの判断となります。 |
| 166 | 4 | 教員の負担軽減は急務であるため、この取組は基本的に良い方向だと思う。ぜひとも力強く推進していただきたい。外部人材を活用することで指導の質が上がり子供達にとっても良い効果が期待できそうである。指導者の報酬等少なからず費用が発生すると思うが、その限度によって成功度が変わってきそうである。 | 2 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。また、指導者の報酬は、受益者負担を基本とすることになると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。 |
| 167 | 9 | 中学の3年間は将来が変わる大事な時期に、なぜ部活動だけで通う範囲を限定されなければならないか？全生徒が望む学校に通えるようにしていただきたい。 | 4 | 学区に関することは、各市町村教育委員会の判断となります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 168 | 9 | 地域移行に係る方針とは関係が無いかもしれないが、給食後1度家に帰ってからまた2時半くらいに部活動のために学校に行かないといけない日があった。学校が遠い子は家に帰っても休む時間もなくまた学校へと向かわなくてはならず可哀想である。せめて学校で自習などさせて待機できるようにしていただくと助かる。 | 4 | 個別の学校での部活動運営に関する御意見を方針に反映することはできません。御要望の件については、お子様が通う学校に御相談ください。 |
| 169 | 4 | 各部活動の専門の人が外部から入ってくれることはいいと思う。学校の先生の負担もなくなりいいと思う。学校の先生以外が部活動に入ってくるとさまざまな意見や指導が出来、また専門であれば詳しく部活で頑張っている生徒一人一人にあったいい点、悪い点など改善が出てくるのではないかと。先生もいっぱいいてくれるとありがたいし、負担も少なくなると思う。外部からの人となると部活動費等も考えさせられるが、全生徒がお金を気にしないで部活動に望んでくれると嬉しい。 | 2 | 御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動に係る費用・保険」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。地域クラブ活動においては、保護者にとって過度な負担とならない適切な会費を設定することとしております。 |
| 170 | 5 | 学校の先生の部活動参加に関して日曜日は部活動の試合及び部活動自体をしないなど完全休日の確保が図られるのではないかと考えた。 保護者が心配なところは子供たちの管理監督だと思うので、関わることになる方々の紹介、報告など報連相と開けた情報開示などがより必要になるかと思う。 | 2 | 御意見については、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しており、学校、保護者との連携を図ってまいります。 |
| 171 | 9 | 部活動の外部委託は賛成。学習面においても高校への進学指導がほとんどなく、塾任せが現状。学習面も学校で補っていない現状があるので、一部外部委託してもいいのでは？ | 2 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 172 | 7 | 鎌倉の中二の娘の母である。先生の負担軽減につながるよう地域移行を推進していただきたい。その上で子どもたちの心のケアもできる指導者の選別には細心の注意を払って欲しい。昔と違って部活動の選択肢が多くはないため、ただ楽しみたいと思ってる生徒もいるよう。その辺りのバランスを取れる指導者が求められる。部活動に限らず、先生方の働き方改革が最優先ではないか。とにかく人数を増やし、そこに予算を使ってほしい。先生方が心に余裕を持って生徒に接することができる、そんな当たり前のことを大きな自治体である神奈川県でぜひ実現してほしい。「教育界の神奈川モデル」をぜひ！！その一つが部活動の地域移行。ぜひ推進をお願いしたい。 | 2 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 173 | 8 | 進学先の中学校により部活動の種類や実力に差があるため、地域移行はとても良いと思う。スポーツクラブで専門の指導を受けた方がメリットが多いと思う。先生の残業が多くさらに部活動が負担、と最近ニュース等で聞くため、地域移行が早く実現できると良いと思う。 | 2 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 174 | 3 | 中学のサッカー部は、試合に勝つ、強くなりたいという願いを叶えてもらえる場所との認識は薄く、クラブチームの入会を考えているようである。親としては、距離や学業との効率性を考えて、部活動に入って欲しいと思っているが、本人のサッカーに対する満足度を考えると、仕方ないのかなと思う。小学校まで真剣に取り組んできたスポーツを中学校の部活動でそのモチベーションを落とさず出来るのか、新しい取組は、そのの所を、網羅できるのか。 | 2 | P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。 |
| 175 | 7 | 20ページの検討フローについて、指導に外部団体の協力が得られなかった場合の流れとして、現状維持がある。これでは、結局何も変わらない可能性が高い。これを良しとするなら、そもそもこの検討を行う意味がない。絶対にあってはならないフローだと思う。 | 1 | P23「地域移行に向けた様々な選択肢」「学校部活動及び地域クラブ活動の環境整備に向けた検討フロー」「 <input type="checkbox"/> 検討フロー」の「現状維持」は、地域の環境が整わない状態での無理な移行によって生徒の活動に影響が出ないように、当面の間は現状維持もやむを得ないが、学校部活動として運営しつつ、外部指導者を活用するなどして、生徒活動の保障、教員の負担軽減等の取組を行い、中長期的に対応を検討していくことを想定しており、その旨追記しました。 |
| 176 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> 顧問教諭の負担軽減とあるが、複数体制を奨励することで、全員顧問制という名の顧問強制を行う学校が多くある。全員顧問制と称して、教諭に顧問を強制することの禁止を教育委員会から各校に通達することで、望まない顧問を強制されることのないようにすべきである。 外部の協力が得られるかどうかは、27ページにあるような民間のスポーツ団体に協力してもらえば、確実に得られるものだと思う。リーフラスなど、部活動の指導を行う民間の企業もある。 外部化を持続可能なものにするためには、しっかりとした指導者をしっかりと対価を支払って雇うことしか考えられない。そのためには、部費の徴収が必要となる場合があるだろうが、保護者に正しい認識をもってもらうためのアナウンスを行う責任は全体の方向性を決める教育委員会にある。 | 3 | <p>○教員の負担軽減に関する御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。</p> <p>○指導者の確保に関する御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しており、民間企業も含めて確保に努めてまいります。</p> <p>○指導者の報酬は、受益者負担を基本とすることになると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 177 | 4 | 地域移行に賛成である。先生方の負担軽減もあるが、専門の方に見てもらえた方がこちらも安心ですし、実力もつくだろうと考える。 | 2 | 関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者の確保に努めてまいります。 |
| 178 | 5 | 子供が中学で陸上部に所属している。部活動なのにある意味選手養成のような感じになっている感があり、違和感を覚えた。もっと速く走りたいと陸上部に入った子、体力作りのために入った子と思う。個人種目だが、みんなで応援しあったり、協力しあったり、助け合ったり、そういったことを育む場だと思う。例えば部活動に入部した後、それ以上にやっつけていける子のためにアスリートクラブを導入してやっつけていくべきだと思う。力に差がある以上、平等には見れない事もわかる。顧問不足もわかるが、子供を置き去りにした指導はやめてほしい。部活動中に事故は起こりうるものだが、対処するためにも、顧問は手厚くしてほしいと思う。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 179 | 5 | <p>少子化の時代の中で中体連とスポーツ少年団等と言った団体を分けて運営していることに強い違和感を覚える。中学校の部活動を廃止するのであれば、スポーツ少年団へ中体連を取り組む形で運営すべきと考える。しかし、指導者やチームのキャパシティ、実力差等があり、現状のままでは不可能なため、新チームを創設すべきである。スポーツ少年団の指導者も過去にそのスポーツに取り組んでいた人レベルのため(元プロ野球選手等ではない)、広く一般に公募若しくは創設の補助(必要な道具、保管場所等)を国・県としてすべきだと思う。</p> | 3 | <p>御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 180 | 5 | <p>中体連の部活動と大きく異なることは、費用である。各チームに何人の選手がいて、年間いくらの支出があり、選手からいくらかを徴収しているか把握しているか？部活動レベル費用ではない。中体連とスポ少を混ぜるのであれば、現存のチームとの差(選手の実力、各家庭での負担費用)が大きいため、やはり部活動レベルの活動ができる新チームを設立すべき。</p> | 2 | <p>御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動に係る費用・保険」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。地域クラブ活動においては、保護者にとって過度な負担とならない適切な会費を設定することとしております。また、これまでに培ってきた学校部活動の意義を継承しながらも、競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保してまいります。</p> |
| 181 | 5 | <p>グラウンドの利用についても、小学校・中学校・社会人と奪い合い状態ですので、運動施設を拡充すべきと思う。</p> | 2 | <p>御意見については、P17「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「市町村・学校の役割」に記載しております。地域クラブが利用しやすい工夫をする等、地域に開かれた環境づくりに努めることとしております。</p> |
| 182 | 4 | <p>顧問が、地域移行により一般の方になった場合、子ども達の間でのフォローをどこまでしていただけるのか心配である。顧問の方が不適切な指導をしないよう監督するシステムがあると安心である。</p> | 2 | <p>御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。地域クラブ指導者を対象に日本スポーツ協会・日本パラスポーツ協会公認指導者制度等の周知を行うとともに、地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修を実施し、指導者の資質向上の取組に努めてまいります。また、保護者が安心して地域クラブに子どもを任せられるよう、活動に係る費用や健康・安全面、緊急連絡先の確認等、保護者との適切な連携体制を整備することとしております。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 183 | 3 | まず中学の先生方が部活動を外部に依頼するのは賛成である。先生方は、休み時間の確保や、担当教科等への取組が最重要であり、部活動により上記が妨げられるのは結果的に先生方の身体的、心理的負担が生徒への対応に現れ、生徒への負担にもつながるからである。部活動は「必ず成果をあげなければならないもの」や「週に4回も5回も」行うものでもないと思う。県大会などを目指すことを強要され、日々怒鳴られ、毎日の参加でへとへとになり学業がおろそかになるのは本末転倒だと思う。(現状は入部は強制に近いので。)ある程度、個人個人の希望に沿った、部活動への参加をお願いしたい。 | 2 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。 |
| 184 | 5 | 地域移行は予算がつかないと無理。 1、予算をつけて、地域人材に任せる。 2、予算をつけて、教員が行う。(現状の継続) 国をはじめ地方自治体が教員の厚意に甘えてきた時代がずっと続いて、それを早期に改善すべきことは、裁判でも判決の中で述べられている。 どんな方法をとるにしても予算の確保が急務。 | 3 | 部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 185 | 8 | 部活動の地域移行に賛成である。授業時間以外のスポーツ活動や芸術活動は公立中学校の教員が担うべき仕事ではなく、地域のスポーツ教室や習いごと教室等に移行されるべきと考える。 | 2 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 186 | 5 | 受益者負担についても賛成である。一方で貧困家庭が不利益を被るという問題も生じる。貧困家庭のスポーツ活動や芸術活動については、就学援助制度を利用している家庭や生活保護受給家庭に対し、スポーツ教室や習いごとにのみ使えるクーポンを配付するなど、用途を限定した支援ができるのではないかと考える。 | 3 | 地域クラブ活動においては、保護者にとって過度な負担とならないよう適切な会費を設定することとしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 187 | 6 | 大会やコンクールについて、中体連・中文連主催の大会は廃止したほうが良いと考える。教員が大会役員となる大会ではなく地域のスポーツ教室や習いごと教室のコーチや講師に正当な報酬を出して大会役員をお願いし、その報酬は参加生徒の大会参加費から徴収することで賄う方針が良いと考える。 | 3 | 大会の運営方法等については、各主催者が判断することになりますので、本方針には反映できませんが、大会等の見直しについて主催者と協議してまいります。また、P20「大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」に記載のとおり、参加する大会の上限等について改善を図ってまいります。 |
| 188 | 8 | スポーツ教室や習いごと教室と学校との連携は不要である。例えば生徒の学習状況について学習塾と学校が連携をとっていない一方でスポーツ教室や習いごと教室とは連携することになると、偏った状況になると思う。学校外での生徒の活動をなんでも学校が把握するべき、とは思わない。大会参加生徒を学校で把握したり、入賞した生徒への表彰を学校で行ったりすることは、せっかく生徒が多様な場で活躍しているのに、結局はすべて学校なのかという思いを持たせてしまうという懸念がある。このような扱いは部活動の外部移行の妨げとなり、適切でない判断する。 | 3 | 部活動の地域移行は段階的な取組であり、平日の部活動は、当面学校が指導を担うこととなります。平日と休日の活動が円滑につながるよう、学校と外部指導者が情報共有を図ることは大切と考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 189 | 9 | 先生の負担が軽減され、良い改善方法だと思う一方、移行に伴う難しい課題も解決するには大変な案だと思う。 | 5 | 御意見の趣旨のとおり、教員の負担軽減に向けて様々な課題解決に向けて取組を進めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 190 | 8 | 学校の部活動は今後も存続してほしい。地域委託という形だと、現存するクラブチームの活動内容や活動方針が部活動とは異なるため、実際のところは難しいのではないかと思う。もし学校教員の負担を減らすために、この案が取り沙汰されているのであれば、子どもを地域に委託するのではなく、教員の代わりとなる指導者を地域、もしくは所定の組織より選出して頂き、協力を仰ぎながら、学校の部活動として位置付けられたら良いと思う。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 191 | 7 | 少子化のため中学校1校あたりの1部活動ごとの部員数が少なくなっている。野球やサッカーなど1チームを作れなくなっている。近い学校4校程度で1部活動をまとめて人数を多くし最低1チーム作れるようにしてほしい。人数が多いことで競走原理も働きお互いがスキルを高め合うこともより出きるようになると思う。 | 5 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。 |
| 192 | 4 | 部活動顧問は中学校の先生ではなく、地域やプロの部活動の有識者にやってもらった方が良いと思う。経験のある中学校の先生ばかりではない。地域やプロなど専門家に指導してもらった方が子どもたちのより良い成長や安全面などによいと思う。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。 |
| 193 | 4 | 生徒数の減少により単一の学校では部活動が十分に出来ない中、地域スポーツ団体として中体連行事に参加できることは、生徒や当該スポーツの普及に携わる者として有意義と考える。地域スポーツ団体では、指導者がボランティアで行っている状況も多く、平日昼間の会議や大会への出席のために休暇取得をする必要がある。日本では指導者として生計を立てられる者は少なく、多くの地域スポーツ団体がボランティアの指導者に支えられている。生徒の為にも、より多くの団体が参加しやすいようにご配慮頂ければ幸いである。 | 3 | 県中学校体育連盟の主催大会への地域クラブ活動等の大会参加要件の見直しが行われておりますが、不断の見直しについて、働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 194 | 4 | 我が子が入部した部の顧問は一人で指導しており、「昔ながらの」指導方法でかなり厳しい。ずっと一人の先生が顧問をしているなかで、今どきの指導に変えづらく、他の大人の目がないので行き過ぎた指導にもなりがちのような気もする。先生は多忙とは思いますが、顧問をするにあたって指導の仕方を学ぶ機会を作るべきだと思う。子どもたちが部活動をする目的は「友達と楽しい時間を過ごすため」という意見が一番多いのを目にし、やはりスポーツ指導のプロのお力を借りるべきだと感じる。先生にばかり負担が行かないためにも、一人の指導者しかおらず独壇場にならないようにも、これが実現できるよう切に願っている。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載をしており、指導者の資質向上に努めてまいります。 |
| 195 | 4 | 無理に全部の部活動を外部委託する必要はなく、高校のように、柔軟な対応ができれば良いのではないか。土日のみ外部コーチが対応するとか。実際、外部コーチを募集しても、なかなか集まらない。募集するのに苦勞する記事を先日みた。かえって学校の負担が増えるのではないか。 | 2 | 御意見のとおり、まずは休日の部活動の地域移行について取組を進めてまいります。また、指導者確保に当たっては、関係団体と連携し、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者の確保に努めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 196 | 8 | 徐々にでもいいので、完全に移行すべき。部活動は教員の趣味では無い。専門的な知識のないやる気のない教員に嫌々指導されるより、技術とやる気がある地域の方のもとで行った方が良い。教員の働き方改革を進めるためには部活動の地域移行をしないと始まらない。部活動がなくなることで教員は心身共に余裕ができる。 | 2 | 本方針は、「当面、国が示した令和5年度から令和7年度までの3年間の改革推進期間を対象」とし、「国の動向や改革推進期間における取組の進捗状況等を勘案し、改革推進期間終了後、適宜必要な見直しを行う」と記載しており、段階的な地域移行を推進するものとなっております。 |
| 197 | 5 | 少子化や教員の皆様のご負担を考え、部活動の地域移行は致し方ないとは思いますが、保護者の費用負担や、距離によっては子供の送迎等にかかる負担をぜひご考慮いただきたい。中学生の部活動が地域移行することにより、現在の小学生の部活動のように「部活動だったらやらせたけど…外部でやるのは金銭的に無理、距離的に無理」等で結果的に【何もやらないことを選択する家庭が増える】のではとの心配がある。 | 2 | 御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動に係る費用・保険」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。指導者の謝金を含めた参加費の考え方として、生徒や保護者、地域住民等の理解を得つつ、活動の維持・運営に必要な範囲で、保護者にとって過度な負担とならない適切な会費を設定することとしております。 |
| 198 | 4 | 部活動は、学校教育の一環で行なっていただきたい。地域で請け負うとなると、それはもはや習い事と一緒にだと思ふ。学校の仲間と一緒に体験するからこそ連帯責任や絆が生まれると思ふ。先生方が大変なようであれば、学校内にその部活動を請け負ってくれる専任講師を学校に派遣する方法を取ったらいと思ふ。 | 2 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。 |
| 199 | 3 | 中学校の部活動を早く地域移行していただきたい。教師の負担が大きく、疲弊している。 | 2 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。 |
| 200 | 5 | 部活動の地域移行は反対である。住んでいる場所によって選べる部活動が少なくなり、遠くに通う事になると親の負担も増える事になるからである。地域移行の具体的な内容もわからないので、従来通りの部活動を継続して欲しい。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。なお、地域クラブ活動に生徒が参加する際の移動については、安全かつ費用負担の少ない交通手段を検討を図ってまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 201 | 4 | 部活動に携わる教師の負担を減らす為にも、外部の運動指導者や保健師以外の医療の有資格者などを各部活動なのか学校に数人配置するなど行なってほしい。又、外部の指導者がボランティア活動が多い傾向がある為、指導者が減り、活動困難な運動部も多い事も改めて考え直して欲しい。 | 3 | ニーズに応えられる人材の確保に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 202 | 5 | 地域移行という事は、学校の部活が無くなるという事か？だとしたら、絶対に反対である。野球やバスケットやサッカー多くのクラブチームはある。しかし、部活動とは、比べるに当たらないほどのお金と親の負担がある。誰でも平等にスポーツをする権利があるはず。もっと具体的に案を示すべきだと思う。クラブチームへの月謝は？片親やチームに協力出来ない親は、いつも引け目を感じて試合を見に行けば良いか？成長期の子ども達にスポーツに打ち込める環境をどうか作っていただきたい。 | 2 | 御意見については、P19 「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動に係る費用・保険」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。指導者の謝金を含めた参加費の考え方として、生徒や保護者、地域住民等の理解を得つつ、活動の維持・運営に必要な範囲で、保護者にとって過度な負担とならない適切な会費を設定することとしております。 |
| 203 | 3 | いつも子供がお世話になっている。先生達、職員の方、学校運営に携わってくれている方々には大変感謝している。毎日授業があるだけでも大変な中、部活動まで面倒をみるとなると、先生の負担が大きすぎるのでは？と思う。私たち保護者が子供の頃は当たり前にあった部活動だが、あの頃から先生達みなさんの支えがあって成り立っていたのだなど、大人になった今、更に実感している。やはり、先生達職員方学校関係の皆さんの給料を上げる事が、1番なのでは？と思う。（ここに書いても意味はないかと思うが…県民意見のひとつとして、国に提出しても構わない。国の方でそのような動きをしてもらえたらいいなと思う。補助金など。） | 3 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。教員の給与については、国の動向を注視し、必要な要望を行ってまいります。 |
| 204 | 5 | 部活動に関しては、完全外部委託するのもいいと思う。部員1人月数千円、月謝のような形で支払ってもらって、部活動運営費の足しにする、顧問の先生や、外部委託費用の足しにするのがいいのかな、と思う。顧問の先生達も、昼間は授業がある中で、部活動までも、となると大変すぎる業務だと思う。ですが、全世帯が簡単にお金を出せる家庭ばかりではないのが今の時代の現実とも思う。なので、1番は国から委託費用を全面補助してもらおう形で、先生方の負担を除き、家庭の負担はかからない形で、子供達が部活動に楽しく取り組めるようになるといいなと思う。長くなりましたが、このような意見を読んでくださってる方々、みなさんにお礼を言いたい。子供達のためにありがとうございます。 | 3 | 地域クラブ活動においては、保護者にとって過度な負担とならないよう適切な会費を設定することとしています。また、各地域の実情にあった地域クラブ活動等が持続可能なものとなるよう、国に財政的な支援を強く要望してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 205 | 4 | 中学生は体も成長する大事な時期だと思う。心身の成長のために部活動は必要と思う。クラスの担任も顧問をしている場合…学校生活などの相談がしづらい。部活動に出てしまっていて。外部の指導者などもいる部活動もあるが、全体的にプラスアルファをもう少ししてもらえたらと思う。部員だけ例えばプラス毎月500-1000円位お支払いをして人件費としてもらうとか…勉強も大事、この多感な時期にコミュニケーションやチームとしてのあり方など、成人してからプラスになると思う。 | 3 | 活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、一律の金額を保障することは難しいが、事例集に県内の多様な事例を積み重ねていくことで、謝金等においても参考となるような資料を掲載してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 206 | 3 | 早く移行させてほしい。学校の先生がかわいそう。過労死をさせない教育委員会の対応を早急をお願いしたい。 | 2 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 207 | 3 | 神奈川県で教員をしている。部活動の地域移行について、市町村教育委員会より具体案は何も知らされていない。具体的な動きも見られない。また、日頃の活動にばかり注目されていますが、各校の顧問は、部活動に係る事務作業、生徒の引率、保護者との連絡など、多岐にわたって業務に追われている。生徒の指導に係る部分だけでなく、教員が担わされている雑務もどのように地域に移行していくのかも検討し、具体的に移行していただきたい。また、保護者の方にも教員ありきの部活動の在り方に対する考え方を変えていただきたい。保護者も地域住民である。保護者が運営することも視野に入れ、当事者意識を持っていただきたい。部活動は教員がやって当たり前ではない。 | 3 | 「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 208 | 3 | 私は反対である。私立ではないので、せつかくの公立高校の良さがなくなってしまう事。レギュラー選抜の時など父兄とコーチの癒着もでてくること。各地域でコーチの異動もなく地域差が出てくる事。学業が疎かになること。先生と生徒の関わりが希薄になること。子どもたちにはマイナスなのではないか。そのようなコーチの元やるのであれば、クラブチームに入れば良いのではないか。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 209 | 5 | 学校内で行う部活動を、地域クラブへ移行する事については賛成。部活動の指導も、仕方なくやる様になってしまうのは違うと思う。ただ、学校の部活動だから出来ていた家庭もあるので、費用面でどう救済するかが大きな課題である。学校への金銭的サポートや運用には学校で柔軟な対応が出来るシステムが出来ると良い。何より子供が選択できる部活動の種類が無い事に限界がある。 | 3 | 地域クラブ活動においては、保護者にとって過度な負担とならないよう適切な会費を設定することとしています。また、各地域の実情にあった地域クラブ活動等が持続可能なものとなるよう、国に財政的な支援を強く要望してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 210 | 3 | 従来の仕組みが続くようであれば、中学になってからも部活は所属せず、現在のスイミングスクールに引き続き通う予定である。地域移行することで、経験豊かな指導者に指導していただけるようになる仕組みに変われば、部活動に所属したいと考えている。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 211 | 3 | 先生方の働き方改革に伴い、部活動の時間が削られてしまい部活動よりもクラブチームに入ったほうがやりがいを感じる。それなら先生ではないコーチなどを迎えて練習を見てもらったほうが良いのではないかと思います。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 212 | 5 | 地域移行の前に。運動部の子を持つ親である。教職員と保護者の負担を減らすため、朝練を減らす、なくす等の措置はないか。夕方の部活動後に、塾がある日もあり、十分な睡眠を取れないまま、また翌朝に朝練となると、授業がしっかり受けられていないのではないかと心配である。中学生は勉強をしてこそその、部活動ではないか。子どもに、疲れている時は部活動を休むよう伝えても部活動の予定が入っている以上、休み辛いようである。土日の練習も、毎週ではなく、大会前だけに限定するのも良いのではないかと。指導してくださるのは大変ありがたいが、家族で出掛けたくても、部活動を優先したい子どもの気持ちを大切にしたいと、なかなか出掛けられない。短期集中型の部活動を望む。 | 5 | 各学校においては、部活動の方針を策定し、当該方針に基づき部活動ごとに計画を立てて実施しており、生徒にニーズに応じた適切な運営が行われるよう、県が作成した「神奈川県の学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 213 | 3 | 部活動と習い事の線引がどうなるのか気になる。習い事だから習い事の伝統、掟に従いつづけるべきか、ボトムアップの為に、裾野を広げ部活動のようにするのがいいのか問われると思う。 | 3 | 大会や発表会への参加は生徒本人の意向により判断すべきものであると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 214 | 3 | 専門の先生が教えた方が強くなるかも。先生の負担も軽くした方がいい。 | 2 | 御意見については、P2「方針策定の趣旨」及びP13「基本的な考え方」に記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。 |
| 215 | 4 | 基本的には賛成である。全ての教員に、部活動の顧問をしたいかしたくないかのアンケートを取り、したいと答えた教員には部活動手当を付けて顧問を依頼し、顧問をしたくないと答えた教員には一切顧問は持たせない(副顧問もさせない)ようにすべき。全ての教員が顧問をもたないといけないという現在の風潮は即改善すべきだと思う。顧問をもっていないからといって不利益のないように配慮していただきたい。その競技の経験者で専門性のあり、きちんと指導ができる人に教えてもらいたい。そのための費用を支払うのは親として当然だと思う。専門家に指導してもらうのに、無料で教えてもらえると考える方がおかしいと思う。 | 3 | 部活動指導に係る負担軽減や外部指導者の確保ができれば、顧問を希望しない教員を顧問に付けないことも可能になると考えます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 216 | 3 | 地域移行になることによって、クラブチームのようになってしまわないか不安である。積極的に活動する生徒は良いが、そうではない生徒が参加しにくくなりそうな気がする。部活動とは本来なんのために行うのかそこから考えるべきではないか。先生への負担を考えているなら中体連のあり方も考えてはどうかと思う。逆に積極的に活動したい生徒には専門的な指導が入ることでメリットはある。しかし、そこに指導者への委託資金が発生するなら、クラブチームに個人がお金を払い指導を受ければ良いと思う。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。外部指導者の謝金については、受益者負担を基本とすることから、参加者の会費から支払われることとなります。 |
| 217 | 9 | 公立中学校の部活動において、顧問やコーチを地域の方をお願いするのに賛成である。教職員の方の負担の軽減とその部活動に専門的な指導者をお願いするのは、どちらにも良い面があると思う。とにかく、教職員の激務に配慮を願う。 | 3 | 方針策定の趣旨及び基本的な考え方において、「教員の負担軽減」について記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 218 | 9 | 外部から講師を招き、指導、監督をしてもらうが良いと思う。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 219 | 9 | 学校の先生の負担になってしまうのであれば地域の力を借りるのは良いと思う。先生が担当するより専門性のある人が教えてくれている方が親としてはうれしい。 | 3 | 方針策定の趣旨及び基本的な考え方において、「教員の負担軽減」について記載しており、「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 220 | 4 | 地域移行には基本賛成である。大きな理由としては、激務を強いられている教員の負担軽減。少子化の中、もっと広い人材が生徒と学校を支えてもいいのではないかと。一方、課題が多いのも現実だと思う。生徒に直接指導する人材にも信頼性、責任の重さを熟知してくれる人を選ばなくてはならないし、雇用する為の財源の確保必須でしょう。それでも、この動きに賛成する。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」及び「市町村の役割」に記載をしており、指導者の資質向上に努めてまいります。さらに、各地域の実情にあった地域クラブ活動の運営ができるよう、国に財政的な支援を要望してまいります。 |
| 221 | 9 | 顧問の先生の残業も問題だと思う。たいして上手くない顧問に教えられても上手くなるはずがない。感情的に怒ることも多々あるようである。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 222 | 5 | 中学生が誰もがスポーツや文化部に入って活動できることを続けられるように考えて頂きたい。お金がなければ部活動も出来ないのでは、子どもたちの未来が暗い気がする。そのためにもしっかりと地域移行に関しては、国県市がしっかりと負担をして、貧富の差なく活動が続けられるよう努力して欲しい。一律のやり方は難しいのかもしれませんが、検討を頂きたい。 | 2 | 御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動に係る費用・保険」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。指導者の謝金を含めた参加費の考え方として、生徒や保護者、地域住民等の理解を得つつ、活動の維持・運営に必要な範囲で、保護者にとって過度な負担とならない適切な会費を設定することとしております。 |
| 223 | 5 | 娘が小学校6年である。ソフトボールのチームに入って活動しているが、学区の中学校にソフトボール部がない。また、住んでいる場所から1番近くのソフトボール部がある中学校に行くという決まりがあるが、その中学校のソフトボール部の部員は2から3名程しかいない。いま、クラブチームで熱心に充実した練習を行っていて中学校へ行ってもソフトボールを頑張りたい！と意欲があるのに近くの中学校でのその人数では充実した練習が望めない。少し離れた中学校でしたら部員も多く練習も充実している。なぜそちらを選ぶ事が出来ないのか。そうなるようなら、地域へ移行する事で複数の中学校から人数を集め、どの学校でも変わらない差のない、どの子供達にも満遍なく充実した練習が出来るのではないかとと思う。真剣に部活動をする子供達にとって名前だけの顧問はいらない。 | 3 | 部活動の地域移行は、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、地域に適した方法で、できることから取組を進めていくこととしています。単独でチーム編成ができない学校については、近隣の学校と合同部活動を実施するといった方法も考えられ、各市町村において、実情に応じた方法の検討が進められると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 224 | 9 | 多忙すぎる教員達の働き改革を考えたら、部活動などの地域への移行、外部委託には大賛成である。教師達には学校以外での仕事以外にも、愛する家族や自らの生活があることを神奈川県ではどんどん主張して頂きたい。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 225 | 9 | すみやかに部活動の地域移行をすすめてほしい。活動場所は従来通り中学で、熱意のある講師が中学にきてもらうのが望ましいと思う。人数等の都合でそれが不可能な場合は、自宅からあまり遠くないところで活動するのが理想的だと考える。現状、中学教師は忙しく、部活動が負担なようなので、地域移行する際は無理することなく、必要であれば名前だけお借りするかたちでどうか。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択できるよう、方針は取組の方向性を大枠で示すこととしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 226 | 9 | 中学教師は、部活動の負担がなくなれば、本業の勉強の指導に全力投球できるようになるか。部活動は地域移行したのに、高校受験は塾任せ（現状通り）というのはご勘弁いただきたい。部活動の負担をなくしても、まだ高校受験（特色検査含めて）を塾任せにするのであれば、教師のカリキュラムを見直し、教師の質を高めてほしい。 | 4 | この方針は部活動の地域移行に関する方針であるため、教員の資質の向上に関する取組を記載することは考えておりません。教員の負担軽減につながるよう取り組んでまいります。 |
| 227 | 9 | 先生方のご負担を考えると、お休みの日の部活動を地域の方に見ていただくのはとても良いことだと思う。先生方と子どもたち、地域の方の連絡をしっかりと取ることが大切だと思うので、連携を確実にしてほしい。子どもたちは家族以外の方との交流ができていいと思う。子どもたちの楽しい、嬉しいを1番に考えて進めて頂きたい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。子どもたちのニーズに応えられる指導者の確保に努めてまいります。また、保護者が安心して地域クラブに子どもを任せられるよう、活動に係る費用や健康・安全面、緊急連絡先の確認等、保護者との適切な連携体制を整備することとしております。 |
| 228 | 9 | 先生方のご負担を考えるととてもよいことだと思う。先生方と子どもたち、地域の方との連絡を密にして、子どもたちが楽しく過ごせるように願っている。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。子どもたちのニーズに応えられる指導者の確保に努めてまいります。また、保護者が安心して地域クラブに子どもを任せられるよう、活動に係る費用や健康・安全面、緊急連絡先の確認等、保護者との適切な連携体制を整備することとしております。 |
| 229 | 9 | 現在高校生と小学生の子を持つ保護者である。高校生の子が中学時代、学区の中学に本人のやりたい水泳部がなく、とはいえ部活動には入部した方が内申点にも影響する、学校としても部活動はなるべく入るような方針だったこともあり、興味はさほどないが部活動に入部しつつ、地域のスイミングクラブにも通う日々であった。このように本人が望む部活動がない、中学に部活のバリエーションが少ない中で選択せざるを得ない現状、私立高校受験において内申で部活3年間で点数が増すことなど、部活動における問題は色々あると思っている。教員の方々のご負担も考えつつ、幅広い選択肢や、生徒たちのマイナスにならないような方向性でご検討いただきたく思う。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 230 | 9 | <p>妹が中学で剣道部に入っている。今は学校選択制が無くなったからと言って必ずしも一ヶ所に剣道が上手い子が集まらない訳ではない。なんらかの方法で集まればその学校は強いし、道場の先生が加われば公立でも全国に行けると思う。公立イコール弱いが無くなる。専門の方に教えてもらった方が上手くなるし、先生も職務もあり、合間に子供達だけでやっている練習時間も無くなる。しかし、新しく中学の部活動から始めた初心者や他の道場の子供達は居づらいのでは。学校の先生も道場の意見などの対応に返って大変になると思う。道場だと学校とは違って月謝も発生する。部活動も勝利至上主義になりかねない。私立と違って部活動目的で集まる子供達ばかりではない。不公平が出ると思う。しっかりとした決まりも無く子供達の可能性を奪いかねないので、早まって進めないで欲しい。</p> | 3 | <p>御提案の方法も手法の一つと考えますが、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択できるよう、方針は取組の方向性を大枠で示すこととしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 231 | 9 | <p>部活動中のケガや熱中症について。中学2年生と高校1年生がいる。サッカー部高校1年生の男子が恥骨疲労骨折。整形外科を受診。ただ恥骨の痛みだけでなく39度の熱。整形外科より総合病院を紹介され検査するも熱と痛みの因果関係が分からない。その話をママ友にしたところ、同じく高校1年生のサッカー部の男子が似たような症状で2週間の入院をしていることが分かった。感染症の疑いとのことだが、そちらもよく原因は分かっているようである。このように病院に行き、いろんな検査をしてもはっきりした原因が分からず、対処療法で終わり、他に同じような症状の患者がいるかどうかの情報もなくモヤモヤして病院をあとにしましたが、同じ環境下にある人に話すとたいいてい一人ぐらい、似たケースの話が出てくる。部活動ではケガがつきものだと思うので、いろんなケースがあると思う。スポーツの種類によって内容も様々だと思う。たいいていは地元の病院にかかると思うので、このような症例の情報を指導者、選手、保護者と病院がシェアすることで、迅速に対応出来ると同時に予防にもつながるのではないかと？</p> | 4 | <p>この方針は部活動の地域移行に関するものであるため、部活動によるケガ等の症例について方針に記載することは考えておりません。なお、様々な症例がスポーツ医・科学の分野で研究が進められており、そのような情報を指導者が把握することは大事なことでと考えております。</p> |
| 232 | 9 | <p>中学教師不足やITの悪影響での教師の過大負担で部活動指導にまで手が回らず、地域移行に頼らざる負えない状況となっている。親は月謝が負担となり、子どもにも強要せざるを得ない。子ども達のストレスがさらに負担され、生活が悪循環になることが目に見える。市や国が教師不足解消し、子どもへのスマホ規制など、軍事費増加よりの優先すべき事だと強く思う。</p> | 4 | <p>教員不足やスマホ規制に関する御意見については、方針には反映できませんが、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。</p> |
| 233 | 4 | <p>教員の中には部活動を指導したい人とそうでない人がいる。そうでない人にとっては、本当に助かる。最近の保護者はやってもらって当たり前で文句も言うため、経験の無い先生はストレスも多く大変である。保護者会でわかってもらえていると思っても、自分の子供が試合に出られ無いことで苦情をもらったこともある。また、生徒たちを指導する上で、生活指導や精神面等の面でも必要とすることはあり、言葉の使い方や挨拶、簡単に諦めない事、思いやる気持なども同時に指導している先生方も多くいるが、教室や学校での様子もわかっているからこそ指導できる事もある。部活指導する上で上手ければよい、強くなればよいと言う主義の方々もいる。指導者のあり方、体調面の管理などの対応なども含めてきちんとやってもらえるような指導者研修を年間の中で何回かやっていると勝つことだけに執着した指導になりかねないのが心配。</p> | 2 | <p>御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」及び「市町村の役割」に記載をしており、指導者の資質向上に努めてまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 234 | 9 | 金銭面の負担が一番心配である。部活動で楽しめればいいが、人間関係で辛い思いをして部活動が負担になってる子供がたくさんいると思う。もっと、部活動に入らなくてもいい雰囲気になって欲しい。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 235 | 9 | 人の手当てをするにはお金がかかる。東京都大田区では1か月20万円で（平日3日＋土日）指導者を募集している。神奈川県でも同様の方策をしていかないと人材は集まらないと思う。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 236 | 5 | 現状で校長判断等で、学校施設が綺麗なので地域のクラブチームには、学校施設を使わせないといった事があると耳にする。部活の地域移行は良いと思いますが、学校施設の貸出等を、勝手な校長判断で規制するような事は無いように徹底してほしい。学校施設は市民の物で、校長の私物ではない。 | 2 | 御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「市町村の役割」に記載しております。 |
| 237 | 5 | 素案について、概ね賛成する。小学生の子供が学童軟式野球のチームに参加している。活動場所が遠方になり、子供が自力で活動場所に行けない状況となる事を懸念する。送迎は保護者にとってかなりの負担増。また、活動の為の費用も、高額にならない配慮も必要。共働きやひとり親、祖父母の協力が得られない家庭の子供でも、部活動を選択し、活動出来る環境作りをお願いします。 | 2 | 御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」「市町村の役割」及び「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。 |
| 238 | 8 | 地域移行には賛成。教諭負担の軽減、部活での専門的な指導が受けられる等に繋がると良い。ただし安全の確保、正しい指導が行われるようにして欲しい。 また、 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。地域クラブ指導者を対象に日本スポーツ協会・日本パラスポーツ協会公認指導者制度等の周知を行うとともに、地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修を実施し、指導者の資質向上の取組に努めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 239 | 8 | <p>公立学校における人員確保や予算の確保及び部活動の存続においても経年からの課題であることを素案より伺うことができた。また、地域における活動の違いは上記理由からも差が出ることは仕方ないと感じる反面、生まれ育った地域より、教育的な格差が生じることには疑問を抱く。ほか、地域の活動における協力体制の中に保護者が入るのは納得いかない部分もある。現在学校の保護者活動を担っていますが、予算の問題であるであろう課題による保護者の負担が尋常ではない。日本全国の共働き世帯には、過酷であり、既存の取組体制の見直しがなされない中で、協力体制のみを周りに委ねるのは、教員の負担をスライドさせたに過ぎず、根本的な解決とは言えない。そこで、子どもの数がなぜ減少しているのか、なぜ保護者や教員がここまで疲弊し切っているのか、子どものためという看板を盾にボランティア精神に訴えるのではなく、部活動を子どもが自由に選択し、取り組むために何ができるのか、既存の活動維持ではない新たな取組方法を提案してほしい。現在の方針だけでは、子どもの活動がなぜここまで大変になったのか、根本的な原因説明と解決方法が拝読する限り全く示されていない。子どもの学習環境は多様化され、国際的にも日本は遅れをとっている環境で、教員始め、子どもも保護者も疲弊している。部活動とは何をすべきところなのか、学校の授業とはまた違う子ども同士の活動に意味を見出すためであり、学業の一環とはいえ、教えるならばプロが入るなど、委託業者などへ受託金を出すなど神奈川県だけではなく全国の取組が必要。予算の確保即ち納税者の確保になるが、国の増税に圧迫されているのは保護者である。それを賄うために、より保護者は忙しく、子どもたちにかかる時間がない。働くことと世話をする事、矛盾した要求を突きつけているのが今の国であり、学校はじめとした地域であることを忘れずにいてほしい。その中で、一部の改革推進だけでは歪みが生じる。全体的な視点での部活動の見直しと、予算拡充、専門人材の確保を検討し直していただきたいと思う内容であった。検討会に関わる多くの方のご尽力は大変なものだということは重々承知しているが、今一度、子どもを取り巻く環境がどうなっているのか、理想はどうであるのかを真剣に考えてほしい。未来を担う子どもたちが、のびのびと活動する裏で、誰かの負担と労力が犠牲になっては本末転倒。未来を担う子どもたちが同じ犠牲をいずれ払うことになれば、ますます神奈川県だけではなく日本人そのものが縮小していくと思う。日本を見限られないように、今いる大人が真剣に考えてください。</p> | 3 | <p>○子どもたちの育成に当たっては、様々な主体が係わる必要があり、当然保護者にも係わっていただく必要があると考えており、運営形態の類型で示した保護者の役割は、出欠連絡や会費の支払い等、これまでも行っている役割です。</p> <p>○部活動の地域移行に関する原因説明と解決方法については、中央教育審議会や国会等において既に議論がなされてきたことであり、県の方針において新たためて記載することはいたしません。</p> <p>○部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 240 | 9 | <p>国では部活動の地域移行を推進しているが、顧問の先生によっては、未だ以前と変わらず熱く指導している先生がいる。有難くもありますが、国の方針とは異なる闇部活と言われる様な指導の仕方に戸惑いを覚える。クラブチームを作って顧問が指導。当然先生も休みがないが、生徒側も休みがない。テスト期間前でも自主練、またクラブチーム活動と称して練習や遠征がある。学校側も知っている様だが、あの先生だから、部活動で成果を出しているからと黙認している。高校で自己選択してやる部活とは異なり、中学の部活としては、やり過ぎ感が否めない。先生によっては地域移行に不満がある先生も多いかと思う。地域に受け皿があっても、一部の先生によって地域移行が進まない、ということもあるのではないかと？そういう事がない様、先生側の意識改革も進めていただきたい。また部活動が廃部されてしまったため、先立って地域でクラブチームを作り活動している団体があるにも関わらず、一校の生徒のみで編成されている為に中体連の登録が出来なかった、という事を聞いた。では、学校で部活として新設してくれるかと言うと難しい。今後もその様なチームがあるかもしれない。中体連への登録をスムーズに行うシステム作りが必要かと思う。または地域移行に伴い、中体連の大会そのものの在り方も考え直した方が良いのではないかと？</p> | 5 | <p>各学校においては、部活動の方針を策定し、当該方針に基づき部活動ごとに計画を立てて実施しており、生徒にニーズに応じた適切な運営が行われるよう、県が作成した「神奈川県在学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。また、県中学校体育連盟の主催大会への地域クラブ活動等の大会参加要件等の見直しが行われておりますが、不断の見直しについて、働きかけてまいります。</p> |
| 241 | 8 | <p>すでに地域移行されている学校のネットの記事を読んだが、良いと思う。子供は顧問の先生とのコミュニケーションも出来ていて、より楽しく学校に通えているが、地域移行でそれが無くなり心配とは思わない。先生の残業などが問題と思う。先生の負担は生徒や先生の生活にも影響を及ぼす。先生は大変そうに見せず(本当は大変だとしても)、ほんとに子供のためにやってくれている。でも近年、先生のなり手が減っているというニュースを見ると、今の先生に更にしわ寄せが行ってしまうのではないかと心配である。また、私自身が、中学の頃は、フォークソング部だったが、クラブ活動のような雰囲気では指導者は先輩でしたが、すこし教わったらあとは自主練。先輩がいないときは、自分達で何をするか決めて活動していた。発表の場は学校の中のみでしたが十分楽しめていた。部活に入っていない子供や親御さんは、部活に対してどういう風に考えてるのだろうか。部活動の良さは、子供が何かに気軽にトライできる、そしてその中で新しい関係が出来、新たな自分を発見できる機会だ。地域移行によって、先生の働き方を改革でき、部活動の良い面を継続できるよう進めて欲しい。</p> | 5 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。</p> |
| 242 | 9 | <p>とても良いと思う。ぜひ進めていただきたい。</p> | 5 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。</p> |
| 243 | 4 | <p>指導者もだが、ただ大人が居ればいだけなら、協力したい大人はたくさんいると思う。広く周知することが大事なので、どう周知していくかも知りたい。 生涯学習ボランティアのように、付き添える大人の登録制もありではないかと思う。 やりたい子どもがやりたいようにできるために、大人が最大限努力する姿を見せてあげたい。そうなるように願っている。</p> | 3 | <p>指導人材の確保以外にも、各市町村において部活動ボランティアの協力を得ている取組等もあります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 244 | 4 | 学校の顧問の先生の負担は本当に大きいと思う。土曜日か日曜日が休みだったとしても、勤務時間はブラックではないか。先生が経験のない部活の顧問になると、生徒もとまどい、先生にも生徒にも負担が大きいのではないかと思う。部活動を指導したい先生もいると思うが、先生にも、家庭や自分自身も大切にしてほしい。外部の方に指導に来てもらえれば、雇用も増え、先生の負担も減り、子ども達もしっかり技術を身につけられると思う。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 245 | 7 | 教職員の負担軽減、指導者レベル、地域との交流の観点から部活動の地域移行大賛成。少子化に加え、中学受験等で公立中学校の児童減少は今後も続くと思われる。鎌倉市立の中学校ではサッカー部員が集まらず次年度は休部の危機と聞いている。現在小6でスポ小サッカーをしている子どもがいるが、中学校でもサッカーを続けたいとなると、現状はクラブチームしか選択肢がない状況。費用面、遠方への送迎、学業との両立を考えると、我が家ではクラブチームは断念せざるを得ない。子どもも中学校の部活動でサッカーを続けるのを楽しみに頑張ってきただけに、ショックを受けている。せめて近隣の中学校と合同で、地域での部活動継続ができないか？ | 5 | 部活動の地域移行の基本的な考え方として、それぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めることとしています。少人数の活動についても、近隣校と合同部活動を行う、外部指導者を活用するなど、様々な方法が考えられ、地域ごとに適した方法を検討していくこととなります。 |
| 246 | 8 | 中学教員の夫を持つ妻である。平日は帰りも遅く、土曜日は部活練習、日曜日は試合等で夫が急がしく不在のため、私自身も疲弊している。また私も部活指導した経験もあるが、仕事が増えるだけでなく、休みまで削られ本当に疲弊する。地域移行を強く希望する。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 247 | 9 | 学校で部活動をやる必要がない。運動は各家庭で判断して行えばいい。もし、地域ボランティアで地域活動として行うのであれば、そこに学校を関与させないでほしい。活動で起こる喧嘩や人間関係トラブルなど、学校に報告する必要もないし、連携をとる必要もない。現に、塾で起きている問題を学校には連絡して来ていないのだから。学校教育の改革をお願いします。 | 5 | 部活動は学習指導要領に位置付いた教育活動の一環である以上、完全に学校から切り離すことは現時点では難しいと考えます。 |
| 248 | 9 | 今は幼少期からクラブチームに入っている生徒が多く、中学生以上では部活と掛け持ちも珍しくないで、地域移行は現代に合っているかもしれない。中学校の先生は、心身共に疲弊しないかと思うほどの激務であり、負担軽減になるのであれば大賛成。しかし、体制のイメージを見ると先生の関わる内容が変わるだけで、本当に負担軽減になるのか疑問である。また、保護者の役割が増えており、それが理由で入部できない生徒が出てくるのでは。多額の税金を投入するのであれば、サービス労働者を増やすだけのやり方は賛成できない。 | 3 | 運営形態の類型に示したものは、あくまで参考として示したものであり、保護者の関わり方も実情を踏まえて検討されていくものと考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 249 | 9 | 社会環境の変化に伴い、部活動のあり方も抜本的に変更すべき喫緊の課題であると認識している。大半の子供達が部活動を行う主目的である友人づくりや基礎体力の育成を目的とした活動であれば、朝練の禁止や夏季の酷暑中の活動禁止などを踏まえて、週数日の自主的な活動として学内で実施していくことも良いと思う。その際は外部人材の登用や、参加する教員の適切な体制の構築など、教員負担を極力減らした形で、また教員が対応するのであれば好意や熱意に頼らない形で継続することが望ましいと考える。 | 3 | 各学校においては、部活動の方針を策定し、当該方針に基づき部活動ごとに計画を立てて実施しており、生徒にニーズに応じた適切な運営が行われるよう、県が作成した「神奈川県中学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 250 | 9 | 娘の通っている中学校では、教員の確保ができないため、外部のクラブチームがない種目の運動部が3年間で3つ（ソフトテニス男子、卓球、陸上競技）廃部の方向になった。地域移行の体制が整う前に次々と廃部になってしまっていることに、正直憤りを感じている。陸上競技部は、外部でサッカーや野球、水泳等をやっている子どもたちも多く所属しており、基礎体力を作るためにも一役買っていた。また、陸上競技は外部に中学生を受け入れているクラブがないため、陸上競技がやりたい子どもたちは露頭に迷うことになる（今の1年生までは部活動はできることになってはいますが、新入部員がないため、駅伝やリレーは諦めるように言われている）。隣の中学校は、陸上競技部があるので、そちらの選択は可能となっているが、兄弟姉妹の問題や通学の距離的な問題もあり、そう簡単には学校を変えるのは難しいと保護者としては考えている。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 251 | 9 | 教員の負担や考えられる問題について、よく検討されているが、実施に移すには一体何年かかるのか？すでに、部活動を縮小している中学校が出てきている中、今しかない子どもたちに対して手が打てなければ、意味がない。部活動の縮小を検討、または決定している中学校に対して、廃部になる部活動を続けていくための策を示さなければ、結局困るのは子どもたちであり、時間がある大人に振り回されることになる。保護者としても、何とかしてあげたいが、学校の方針に納得するしかない。とても悔しいが、これが現状。廃部が決まった陸上競技部の中でも、保護者に競技経験者がいたり、引率ならできると言っている人もいる。その意見を無視して廃部を決めてしまう学校のやり方に納得いかない保護者も多くいる。責任の所在をはっきりさせなくてはならないのは勿論だが、今は学校が一人で抱え込んでいて、保護者に話してもらえない現状がある。閉鎖的な部分を取っ払い、お役所だけの仕事ではなく、子どもを第一に考えた、早急な対応が必要だ。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、できるところから取組を進めてまいります。御意見は今後の取組の参考とさせていただきます。なお、学校に設置する部活動については、市町村教育委員会や各学校が決定することであり、その決定方法については、県が関与することはできません。 |
| 252 | 5 | 少子化のご時世、部活を行うにあたり満足な活動をするためには人数が集まらないと厳しいのは大いに理解できる。また、どうにか顧問の負担を減らしていかなければ生徒にとっても顧問にとってもより良い部活にならないのだろうと思った。近隣の学校の部活が合同で活動するのに賛成である。が、合同で行う分、活動方針などよく話し合っただき、トラブルにならないよう注意して欲しい。同じ方向を向かなければ折角合同にする意味がないので。 | 3 | 御意見のように、近隣の中学校で合同部活動を実施することも考えられますが、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 253 | 9 | 現在6年生の親です。来年からの部活動を非常に心配している。運動部に入れて良いのかとさえ思ってしまう。昔とは暑さが違う。 1 例えば、30度を超えたら、15分以上継続しての運動は禁止、32度を超えたら部活動は試合も含めて中止。などのようにきっちりルールを決める。湿度も考慮すると良い。(気温湿度は専門家が決める)。室内で行う運動部、文化部、それぞれ考える。 2 現在の暑さでは夏の大会が現実的ではない。3年生の引退試合は春休みやGWに行う。(希望する3年生は秋の大会の出場を許可するなどすれば良いと思います) 生徒だけでなく顧問の先生や保護者の健康のためにも、早急に思い切った決断をお願いする。 | 5 | 熱中症対策については、各自治体が示す熱中症予防の指針等に基づき、体制を整備するとともに、予防策が講じられていると認識しております。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 254 | 8 | <p>土日の部活動の地域移行は、型にはめず、その部活動や、個々の先生方の意向を重視した上で、臨機応変に対応してほしい。週末の部活動は負担が大きいかも知れないが、平日に生徒たちをみている先生方が練習試合や試合に対応することが、生徒とのコミュニケーションやメンタル面含めて大切な関係であるため、必ずしも地域移行が全てではないと思う。スポーツの試合は週末しかできない。週末だけくる地域指導者が、生徒の何を知って試合に出場させ、指導するのか、甚だ疑問だ。専門的な知識や技術力向上においては、地域の専門の方々の指導はとてもありがたく、子どもたちにとっても先生方の負担を考えても賛同できる。しかし、あくまでも部活動は教育の一環であり、技術力向上のためだけのものではないこと、縦横のつながり、チームの結束力、先生と生徒との関係性を築く大事な時間とも考える。土日に限らず、平日も大切な部活動の時間のため、指導者がコロコロ変わるのも子供達の不安につながるため、技術的なアドバイスは外部、部活動の活動方針や活動自体はあくまでも教師が指導者であるべき。子供が部活動で先生や仲間と切磋琢磨し日々努力している姿を見てきただけに、その関係性をなくしてしまうことは反対。本来の部活動の醍醐味がなくなるややり方で進めて欲しいと切に願う。指導できない、したくないという先生方しかないなら、平日もきちんと対応できる体制、また都度都度指導者が変わるようなことは避けて欲しい。</p> | 3 | <p>部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。また、御意見のとおり、部活動の意義の継承は大切です。平日と休日の指導者がことなる場合には、円滑につながるよう、顧問教諭と外部指導者間で情報共有を図るなど、工夫してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 255 | 5 | <p>中学生保護者です。運動部に所属しているが、自分のチームの顧問は未経験者なので、試合中でも顧問やコーチが応援やアドバイスしてくれる学校がうらやましいと言っていた。先生は、授業に専念できる環境を作り、希望する先生には、外部として報酬と共にお願いする。土日だけでなく、学校の先生以外で部活動をまわせるような形を作れないか。土日だけでは、結局先生方の平日の残業がへらないと思う。多様な仕事の合間に、責任のある部活動をみななければならないブラックな仕事は、この先なり手がどんどん減り、教員の質も下がってくるだろう。今の先生方は、よくやっている。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 256 | 5 | 部活動は、先生方の善意で成り立っている。ほとんどの学校は、なかば強制である。校長先生から、人が足りない、みんなでなんとか乗り越えていかなければ、あなただけ名前を入れないわけには、とかいわれて、なっている。それで、やりたい先生が、希望の部活動についていれば、先生も生徒も幸せでしょう。しかし、大部分はそうではない。家庭をおろそかにし、自分の子供をほったらかして、学校の部活動の時間に縛られている。土日だけ地域移行など、意味がない。結局、平日にかかわっているから、試合や演奏会にいかざるを得ない。だから、ほぼ休日はない。しかし、他県・他地域で、先生が部活動をもつことが希望制の地域があると聞いた。だから、子育て中は、部活動をしない先生もいると聞いた。放課後は、授業準備等に集中できるそうである。その地域に、希望だそうかなと考えている先生もいる。他県・他地域でも、良い政策の記事がどんどんでている。このままでは、出遅れた地域は、良い先生が流失したり、先生方がどんどん倒れていってしまう。当方、田舎のため、部活地域移行は遅れてくるのではと思っているが、1日でも早く進めていかないと、先生方の欠員は加速している。一時しのぎの非常勤がきても、他の仕事はやれない。とにかく、たりていない。教育委員会は、この件について、今後の展望についても何も音沙汰なしである。これだけ国が騒いでいるのに。先生のなり手がいないのに。これで良いのか。 | 3 | 「県」「市町村」「学校」「地域クラブ活動運営団体・実施主体」が、それぞれの役割において、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 257 | 5 | 公立中学校における部活動は、中学校教員の負担を減らすため、可能な範囲で外部委託やボランティア等を募り運営することが望ましい。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、それぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 258 | 9 | 外部に移行するのは反対である。 理由は ・指導者の確保が、拘束時間的に難しい ・部活をやる場所までの生徒たちの移動が大変 ・毎日部活動できなくなる ・各部の人数が多くなることで、子どもたちのやる気が削がれる 先生の負担を減らすためには、専門の指導者を雇い、各学校で部活動を行えば良い。その分の出費は、税金で補うか、部活に入っている生徒の学費の口座から均一に引き落としにすれば良い。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、それぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 259 | 9 | そもそも、先生の人数を増やして早遅日勤等のシフトにできないものか？全ての事をキツキツの人数体制でやろうとするから余裕がうまれない。現在の保育士問題と同じことが言える。人数が増えれば、精神的負担が軽減されるので、担任を複数担任にして、シフト制にすれば、部活を外部発注しなくて済む。 | 4 | 教員数は、義務標準法に基づく標準定数を標準として算定されており、教員の増員に関する御意見は方針に反映することはできませんが、指導者確保に当たっては、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者の確保に努めてまいります。 |
| 260 | 9 | 中学校だけでなく、高校の部活動も地域移行すべきなのではないか。 | 3 | 高等学校段階においては、多様な教育が行われている状況や、部活動が学校の特色となっている場合等もあることから、実情に応じて取り組むこととしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 261 | 8 | 部活動の負担から教員志望者が大幅に減少している状況に鑑み、早急に地域移行にうつるべきだと思ふ。 | 2 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 262 | 5 | 公立中学生の部活動の地域移行は先生方の負担軽減、指導の幅が広がるので賛成である。ただ心配なのは指導者をどのような人にするかという事である。その道に特化した指導者、若い人ならば部活動指導だけで生活できる報酬がなければ可哀想である。 | 3 | 地域クラブ指導者を対象とした研修の実施、参加や資格取得の促進等、指導者の資質向上に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 263 | 5 | 各部活動の経験者や指導が出来る方が部活を見るべきと考える。部活動の部費を集めて外部委託する方が素人の教諭が担当するよりも子ども達の為になる。何より、働き方改革と世間が変化している中で公務員、教諭の働き方改革が進んでいない実情は問題視されるべきであり、部活の負担を無くすことで軽減の一手となると考える。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、それぞれの地域に適した方法を選択していくこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 264 | 5 | 茅ヶ崎市の中学校に子供が通っているが、市内の公立中学校で水泳部があるのは1校だけ。例えば、近くの数校合同の部活というのが可能なら、市内で1校という状況は防げるのではと思う。子供の選択肢を狭めることがないよう、地域移行に関しては積極的に考えていただきたい。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、それぞれの地域に適した方法を選択していくこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 265 | 5 | 部活動の地域移行について、県が懸命に方針を策定したとしても、国が示しているガイドラインに基づいて行わざるを得ない今回の改革は机上の空論だと感じている。その根拠は圧倒的な予算不足である。国が確保している予算額では各都道府県、さらには市町村へ配分したところでそれぞれが本当に求めている金額には到底達していない。例えば指導者を採すにしても、おそらく退職教員を頼るケースが多いのではないかと。そもそも部活動の指導者として負わなくてはならない責任から想定すると謝金が見合わないと思う。かといって、県・市町村が予算を上乗せできるほど余裕があるとは思えない。さらに、学校で行われている部活動の種類をカバーできるほど外部クラブ等が成熟しているケースはほぼ無いため、結局教員の兼業で賄うケースが想定されるが、恐らく事務作業が増えるだけで、本来の目的の一つである教員の負担軽減にも反している。結局、国が本気で地域移行を達成したいと考えるならば、部活動という文化を変えるだけの予算を継続的に確保する覚悟が問われていると思うので、県としてできる限られた選択肢は、他都道府県と協力して、十分な予算を確保するよう何度でも働きかけていくことしかないのではないかと。これから先、改革推進期間の終わりが近づいてくるにつれ国のトーンが下がることも考えられ、予算も県・市町村任せになってしまうようであれば、難しいとは思いますが、国のガイドラインとは異なる方向性を目指す方がよほど現実的な対応が可能であるようにも感じる。関係団体も多岐にわたり難しい調整になることが目に見えているが、現状では、県・市町村教育委員会が主導してこの問題に引き続き取り組んでいただきたい。 | 3 | 部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 266 | 6 | 現在、中学3年生の息子がおり、この度ようやく部活動引退となったが、多忙な中学生教諭が顧問を担い、運営していくのは時代に即していないと感じる事が多々あった。ただでさえ、中学教諭という職業としての実態は、残業が当たり前のいわゆるブラック職種であるとの認識を目の当たりにする機会もあり、一生懸命に職務を全うしようとする先生方、また子供達を見てきた中で、1日も早い地域移行をと願うばかりだった。ぜひに政策の実現を叶えて頂きたい。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 267 | 5 | 最近外部からのコーチを取り入れているようだが、顧問との意見の違いなどで子ども達に混乱を招く事がある様だ。強化する事も大切だと思うが、中学生においては仲間と話し合い、自分達で考えて築き上げていく事が最も重要ではないか？部活動は色々な事を学ぶ場所であるという事をもう一度担任に考えてほしい。 | 2 | 御意見のとおり、外部指導者等と顧問教諭の情報共有は重要と考えており、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「学校の役割」及び「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。 |
| 268 | 9 | 部活は先生方の仕事ではないと思う。半強制的に部活に時間や労力を取られて、授業の準備ができない、取るべき休みが取れないのは常識的にありえないと思う。ブラックすぎる。こんな状態では先生になりたいと思う人はいなくなる。すぐにでも改めるべき。部活は先生方の仕事ではない。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 269 | 9 | 保護者として、部活動で活気盛んな子ども達を預かってくれるのは非常に助かるが、部活動の運営が中学校の教員のボランティアにより成り立っている現状に非常に危機感を覚える。部活動における子ども達の成長は著しいと思うが、教員の就労環境を整えてほしい。外部へ委託し、中学校教員は17時までの参加、もしくは一切部活動に関与しないなどの対策を進めてほしい。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 270 | 5 | 子ども達の部活動が地域や専門家による指導を受けられること、先生方の負担軽減につながる事には賛同する。ただ、文化部に関する記述は少ないのが気がりである。吹奏楽部やクラシックギター部など、文化部であっても運動部並みの活動時間や先生方への負担がある、楽器の運搬など先生や保護者の協力が必要な場合も多くある。ぜひ検討頂きたいと感じる。また、県内では数少ない部活動が、継続されるかどうかも気がりである。クラシックギター部は30年以上の歴史があり、50名以上の部員もいて、OBとの繋がりも深く活動が続いている。少数の部活動であっても、今までの活動の歴史を重んじて頂き、継続されることを切に願う。 | 3 | 運動部と同様に吹奏楽部やクラシックギター部を含む文化部についても、地域クラブ活動を整備する市町村の状況や意向を把握しつつ、子どもたちが持続的に文化芸術等の活動を行うことができるよう、市町村の取組を支援してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 271 | 4 | 方針素案では、P.14地域移行を進める体制づくりの目標として、「すべての公立中学校の生徒が、持続的にスポーツや文化芸術活動を行うことができるよう、地域移行の新たな環境の整備を目指す」としているが、予算措置に関する記載がなく、自治体の財源に頼った体制づくりでは、目標の達成はできない。また、p.13「1基本的な考え方(3)地域の実情に応じた取組」に示されている、「できるところから」という考え方では、地域移行は進まない。加えて、素案の中で示されている課題「自校だけで活動できない場合の環境整備」では、校外での活動も増え、交通費がかかります。外部人材の活用についても報酬が必要になる。公共の施設を利用すれば、使用料もかかる。国の微々たる予算内で十分な支援がされるとは考えられない。県としての十分な予算措置がなければ、地域移行は実現することはなく、市町村教委や学校現場から切り離すことは不可能である。県の役割として、十分な予算措置を求める。 | 3 | 部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。また、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 272 | 5 | 【P.16「3 段階的な地域移行に向けた取組」(1)適正な運営体制の整備について】 方針素案では、段階的な地域移行に向けた取組の目標として、「教員の働き方改革に資する取組を継続的に進める」としていますが、労務管理に関する記載がない。厚労省「副業・兼業の促進に関するガイドライン」において、「市町村教委、学校長が責任をもって兼職兼業を含めた労働時間を把握、管理すること」が示されており、本方針においても、その旨を明記する必要がある。そのうえで、働き方改革の観点から、週1日週休日が確実に確保できるようにするなど、土日の地域移行も含めて労務管理を徹底することが必要である。 | 1 | 御意見については、P16「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「学校の役割」に、兼職兼業の許可を得た教員等の負担が増加しないよう、適切な労務監督を行う旨を追記しました。 |
| 273 | 4 | 教職員が兼職兼業で地域クラブ活動に従事する際、教職員としての身分保障がされなくなり、保険についても自己負担するなど、教職員の負担はさらに増大するだけである。これが教職員の部活動での負担軽減をはかることも目的とした地域移行と言えるのか。身分保障及びに保険費公費負担等、条件整備を求める。 | 3 | 兼職兼業の制度は、地域クラブにおいて指導を希望する教職員等の申請に基づき適用するものです。地域クラブ等に所属する指導者として報酬を得て指導を行うこととなりますので、部活動指導に限らず、これまでの兼職兼業の考え方に準じて運用することが基本となります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 274 | 6 | 【P.19「4 大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」について】 クラブ活動を運営するためには、スポーツや文化芸術活動の指導だけではなく、生徒の引率や会議への参加、関係者との連絡調整、スケジュール管理等、多岐にわたる役割が必要になる。また、現状の部活動の顧問は、大会運営役員や協会登録、資格の取得を含む審判等、周辺業務も担っている。活動を維持するために、最低限どのような役割があり、どれだけの人員が必要か整理しなければ、地域移行の実現はあり得ない。地域クラブ活動として学校から部活動を切り離すのであれば、これらの役割を誰が担うのか明記しなければならないと考える。 | 2 | 御意見については、P21「大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 275 | 5 | <p><P.16「3段階的な地域移行に向けた取組」(1)適正な運営体制の整備について></p> <p>部活動の地域移行において、市町村の役割として「地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実を支援する」とあるが、現状、教育委員会のみが懸命に取り組んでおり、各行政部門・機関が協力して取り組めていないとの声が聞かれる。国の施策として取り組む中、市町村教委がその役割を一手に請け負うことになると、結果としてその役割は学校に戻ってくることとなり、地域移行の目的を果たすことはできない。社会教育や生涯学習の観点から、各行政部門や機関をこえた連帯のもと、他団体に働きかけ、取組を進めることが重要であり、市町村各行政部門・機関が連携して取り組むことを本方針に明記する必要がある。そして、体育振興会や〇〇協会等、社会体育の振興に関わる団体に働きかけ、各部1名は実施主体に参画する者を指名する等の体制を整えることで、市町村全体でそれぞれが責任をもって取組を進めることができると考える。</p> | 1 | 御意見については、P14「地域移行を進める体制づくり」「協議会等の検討体制の整備」「県の役割」及び「市町村の役割」に、協議会等を設置し、連携体制を構築するとともに、各関係者がそれぞれの役割において取組を進める旨を追記しました。 |
| 276 | 8 | 先生方の業務量が多すぎることで、疲弊しているように思う。一刻も早く部活動の地域移行に繋げて欲しい。学校関係の改革が遅いとも情報が上がっていると思う。これからの未来のためにも、全力で動いて欲しい。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 277 | 6 | 地域のスポーツクラブの大会参加を可とする緩和について書かれているが、大会運営を教員がする場合、負担が余計に増えるのではないかと。中体連主催の大会をなくす・減らす・小規模化するなど、抜本的な部分を変えていかないと、教員の負担軽減にはならないと感じる。 | 3 | 中学生が参加する大会等の全体像を把握し、生徒や指導者の過度な負担にならないよう、大会等の統廃合を主催者に要請するとともに、生徒が参加する大会数の上限の目安等を定める等、主催団体に対し働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 278 | 8 | 基本的な考え方のところ「休日の部活動指導に係る教員の負担軽減を目指す」という文言があるが、平日に関しても定時は16時半なのに18時まで部活動があるということだった。ほぼ毎日定時を過ぎて18時まで部活動をしているのに、部活動終了後に授業をつくるという状況もあるようである。学校の先生方の一番大切なお仕事が授業だと私は思っている。このような状況では、大切なその授業の準備が後回しになってしまい、良い授業をつくる気力もなくなるのではないかと推察する。授業がいい加減になってしまえば、将来を担う子どもたちにも良い教育を受けさせられず、悪循環が続くと思う。良い教育を子どもたちが受けられなければ、今後の日本の社会はよりよいものにならないと思う。日本の未来、神奈川の未来のためにも、ぜひ、平日の部活動の負担軽減の具体策を盛り込んでほしい。 | 3 | 本方針は、平日の部活動地域移行の取組を否定するものではありません。しかし、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 279 | 9 | 学校の先生も部活動までみることは大変ですし、外部が担当してもよいと思う。 | 2 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |

| No | 意見 区分 | | 反映 区分 | 県の考え方 |
|-----|----------|--|----------|---|
| 280 | 4 | 1) パワハラ問題など起こさないよう指導訓練を受け資格等のある民間団体や個人を当てる。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しており、それぞれの役割において、指導者の資質向上の取組を進めてまいります。 |
| 281 | 7 | 2) 地域格差が生じないよう補助の充実。 | 3 | 本方針は、現時点で考えられる方向性の大枠を示したものであり、複雑に絡み合う諸課題を解決していく「複数の道筋」や「多様な方法」があることを前提としています。各市町村が地域の実情に応じてできるところから取り組んでいく上で、地域ごとの違いが生じるものと考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 282 | 3 | 中学校教員の部活動指導者は経験値の差が大きく、指導時間も限られている。部活動を地域への移行となった際に、ジュニアチーム上がりの子が集まるチームができれば、教員の進学の手続きの手間や、過重労働にもならず、更に遠方の強豪校を選ばず、子供の負担にもならない地元の地域で活動ができるので、部活動を地域移行に賛成する。 | 3 | これまでに培ってきた学校部活動の意義を継承しながらも、競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保し、子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができるよう、発達段階やニーズの多様性を踏まえた、持続可能な活動の環境の整備に努めてまいります。 |
| 283 | 8 | 地域移行に賛成である。子供の活動の充実と地域の人材の活性化が望めると思う。推進してほしい。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 284 | 9 | <p>部活動の地域移行は、我が家にはデメリットが多いと感じている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多子（ほぼ年子で3人以上）世帯であるが故の経済負担の増加。 2. 中学での部活動は内申点に影響してきた経緯がある。部活動の地域移行により、習い事の半強制になることを懸念。 3. 部活動の地域移行により、部活動の選択肢が増加する可能性はあるが、増加した分だけ顧問を確保することになる。仮に、活動に学校側の顧問が同行しない場合、「個人的な習い事での活動を部活動として報告する」との違いが不明瞭。もし「個人的な習い事での活動を部活動として報告する」が認められる場合は、社会的な不公平感の発生がないよう「〇〇を満たせば部活動として認める」など、基本的には認める方針とし、各学校や講師による解釈に違いのない、はっきりとした線引きの提示が必要。 <ul style="list-style-type: none"> ・部活動として認められにくい例としては、「競技人口の少ない個人競技」や「独奏楽器」があるが、サークルに参加/弾き合い会などへの参加などで団体活動や成果発表は可能。（ただし、この条件が有料の場合がほとんどになる可能性） 4. 多様性への対応方針が不明瞭。部活動の地域移行により、活動が民間への委託となった結果、活動に参加できなくなる発達障害（と、その傾向を持つ）児童が発生する可能性がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後デイサービス等での活動を部活として認めるなどの対応が必要。 5. 活動範囲が校内に縛られないことにより、地域格差が発生すると考えられる。また、各家庭による送迎の必要性ができれば、共働き/ひとり親/多子世帯は対応できない。 <ul style="list-style-type: none"> ・親の都合で、兄弟が同じ部活動に入らなければならない可能性がある。 ・学童保育での活動を部活動として認めるなどの対応が必要。 <p>以上、部活動の地域移行は、これまで学校側が負担してきた内容を、家庭が肩代わりする内容になりやすく、部活動の幅</p> | 3 | <p>○保護者負担に関する御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」「市町村の役割」及び「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しており、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。</p> <p>○これまでに培ってきた学校部活動の意義を継承しながらも、競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保し、子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができるよう、発達段階やニーズの多様性を踏まえた、持続可能な活動の環境の整備に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 285 | 4 | <p>部活動を専門性の高い人が教えるのが生徒のためになると思う。教員が意欲的な場合は、その先生にお願いし、そういった先生がいない場合は、外部の専門性の高い人に指導をしてもらう形が良いと思う。謝礼が発生する事は当然である。私の夫は元プロスポーツ選手で現在、パン、ケーキ職人。専門性の高いプロに（もしくはプロに近い人に）子どもは教えてもらえたらいいと思う。</p> | 2 | <p>御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しており、ニーズに応えられる人材の確保に努めてまいります。</p> |
| 286 | 7 | <p>中学校教員である。部活動は、教員にとって物理的、精神的な負担になっており、一部の教員以外は疲弊している状態。民間スポーツ団体（例）ユナミスポーツ）が本部となって統括するのが現実的と思う。指導のノウハウもあり、どれくらいの収入があればやっていけるかも経験上計算が立っているからである。財源に関しては、部活動手当分をそのまま地域指導者に渡るように調整することで、満額とはいかないまでも確保できると思う。また、部活動を指導したい教員も、地域指導者に名を連ねることによって指導ができる。これからも、現場の職員を救うため、生徒の笑顔を守るため、地域移行の議論を前進させてほしい。</p> | 3 | <p>地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 287 | 3 | この案に賛成である。自分達が育ってきた頃とは違い、子供の数、先生の数、先生方の働き方、子供達の体力やスポーツへの関心意欲も違ってきているのだと思う。我が家の子供たちは野球ですが、中学では競技・大会への志向が強い子で尚且つ親が協力出来る子は外部のクラブチームへ。そうでない子や、親の負担が難しく希望が叶わなかった子は部活動へ、の傾向があるように思う。我が家は息子たちでどちらも経験したが両極端で、やはり昔のように部活動として思いっきり満足のいく活動が3年間出来るという事はないし、クラブチームも勉強時間の確保、親の負担はとても難しいものがあった。指導者からのいじめのようなものもあり、辛い思いもした。これから中学校にあがる息子たちは、親もだが、その兄達の経験を身近で見えてきて、何が正解かわからなくなっている。こういった機会に細部まで見直して頂けて、子供たちの明るい未来を大人たちが考えて頂ける事をととても嬉しく思う。プロ野球選手にして欲しい訳ではないが、もっと色々な方向性を大好きなスポーツを通じて発見出来るくらい、打ち込めるものがあって欲しい！新しい形でより良い貴重な3年間になる事を願っている！ | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 288 | 4 | 専門性の高い人がコーチになってくれるのはありがたい。先生が異動になっても同じ方針で続けられるのはありがたい。しかし、自分たちでコーチが選べない分、変な人がコーチになってしまうと、何年も変わらないと思うので困る。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。地域クラブ指導者を対象に日本スポーツ協会・日本パラスポーツ協会公認指導者制度等の周知を行うとともに、地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修を実施し、指導者の資質向上の取組に努めてまいります。 |
| 289 | 5 | 中学校の教員で部活動の顧問をしている。中学校の教員にとってもっとも負担になっているのは部活動である。働き方改革を学校現場で実感したことはない。部活動をやりたくないならやらなければいいと言う人もいるが、やりたいと思っている生徒や保護者がいる中で、仕事ではないので土日の練習をしませんとか、練習時間を減らしますとかとても言えない。やらなければ、あの教師はやる気がないダメな教師だと言われる。子どもたちのためにということで、結局自分の時間を犠牲にして部活動をしている状態。中学校は早く部活動を手放し、授業に集中できる環境を作るべき。とにかく早く地域移行の実現をお願いします。 | 3 | 部活動指導が教員の負担となっていること、また、子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保する必要があることから、適切な活動時間の設定が必要です。各学校において部活動が適切に運営されるよう、県が策定した「神奈川県中学校部活動に関する方針」の周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 290 | 5 | 先生方の拘束時間を少しでも減らしてあげれるのはとてもいいことだと思う。しかし、部によるが、勝ちを目的とし、出来ない生徒を蔑るにしたり、細かい子供のケアをしてもらえないような不安もある。先生方はそこをしっかりと見てくださっている。外部の先生と学校の先生は常に学校の先生方が主となり進めて行かなくてははいけないと思う。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」及びP18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「学校の役割」及び「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載のとおり、外部指導者の資質向上及び顧問教諭と外部指導者間の連携に取り組んでまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 291 | 8 | 地域移行に賛成である。少子化により、小規模校は部活動の選択肢が少なくなる。何か新しい事を始めたくても、その選択肢がないのは残念に思う。顧問の先生も土日に試合等に時間を費やし、ご家族の時間をとれないのは保護者として申し訳なく思う。また、競技経験のない先生が人員の関係で顧問になれるのも申し訳なく思う。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 292 | 3 | 外部のコーチが来た方が、子供のやる気は出ると思う。中学の部活動の先生だと、ホントに先生にやる気を感じられない！親としては他校のやる気のある先生が羨ましい。しかし、そこまでしてやりたい子が居るならば部活動などなくていいと思う。個々でチームで活動した方がかなり強くなると思うし、先生の負担が全くなくなるし、学校も費用がかかるのでは？勉強をする場所として中学生活でもいいのでは？と思ってしまう。そもそも女子があるのに男子が同じ部活動ないとか、そういうのも外部が来たらなくなるか？やるならしっかりと指導してほしい！日にちだって、外部の方も仕事あるし、土日のみとかになるのでしょうか？土日のみとかになるなら、他に習い事もあるだろうし、先生がやりたくないから他に頼みたい感しか思えない。 | 3 | これまでに培ってきた学校部活動の意義を継承しながらも、競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保し、子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができるよう、発達段階やニーズの多様性を踏まえた、持続可能な活動の環境の整備に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 293 | 5 | 中高時代の部活動とは、その時期の青春である。先輩後輩の縦の繋がりを持つことや、仲間と過ごす時間はかけがえのないものである。一方、教師の負担はある。すべてを学校から切り離さず、週末や祝祭日は活動しない等と縮小の方向の方が理解できる。また、部活動→地域へというのは、運動クラブチームに所属であったり、お稽古のような形となるのであれば、金銭的支援をお願いしたいところである。私の周りも含め、多数の兄弟児をかかえている家庭においては先々を考えると部活動の代わりとなる活動に月謝はかけたたくてもかけられないところがある。 | 2 | 御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」「市町村の役割」に記載しており、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。 |
| 294 | 9 | 部活動は、とても大事である。これからも、先生は大変だがやってほしい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「市町村の役割」に記載しており、希望する教員が引き続き部活動を指導できるような仕組みづくりを進めてまいります。 |
| 295 | 4 | 指導をする人には、コーチングを習うことを必須としてほしい。少なくとも、日本スポーツ協会で公開しているホームページのグッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの動画やワークブックを見てほしい。 | 3 | 地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修を実施し、指導者の資質向上の取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 296 | 5 | 部活動をスポーツクラブや民間団体などに移行するのはとてもいい案のひとつだと思う。従来のように放課後すぐに自校の施設（グラウンドや体育館、各教室など）を利用できることや、その学校の中でチームを組む事は、学生や保護者側としたら移動に費用がかからず、時間目一杯まで施設利用できるのでメリットが大きいと思う。また、学校で顔を合わす仲間との絆を強め、協力しあえるというのも強みである。しかし少子化で部員数が減っていたり人数を満たせずチーム編成ができない点や、教職員の方の負担、指導力や指導方法の個人差などを考えると、部活動の在り方も、これからの時代に合わせて変えていかねばならないと思う。もしくは、スポーツクラブ等での練習と併せて、地域の自治会や地域の社会人スポーツチームにも協力してもらい、学校施設での練習も組み込み、週何度かコーチをしてもらうなどの方法も良いのではないかな？と思った。教えてもらうというよりは、自主練習のような感覚で、一緒にやってみる、くらしいの感覚で協力してもらえたら、とても良いのではないかな。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 297 | 5 | 中学校の教員の負担を軽くするには、部活動の地域移行はやむを得ないと思う。しかし、全ての地域、全ての部活動において地域移行は難しいと思う。公共機関を使って広範囲の中学生在が集まって、可能な場所で行えるようにする必要もある。 | 2 | 御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」「市町村の役割」に記載しており、広範囲の活動について、支援してまいります。 |
| 298 | 5 | 先生たちが子供たちに部活動を教えたい場合は、先生に任せてもいいのではないかな。地域移行でお金が払えず部活に入れない、続けられないというふうにならないようにしてほしい。指導者としてしっかりと見れる人なのか、そうでない場合変更は可能なのか分かりやすくしないと難しいと思う。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「市町村の役割」、P19「段階的な地域移行に向けた取り組み」「地域クラブ活動に係る費用・保険」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。地域クラブ活動での指導を希望する教員等を把握するとともに、指導を希望する教職員等が、円滑に兼職兼業の許可を得られるよう、規定や運用の改善について検討し、運用することとしております。また、費用については、生徒や保護者、地域住民等の理解を得つつ、活動の維持・運営に必要な範囲で、保護者にとって過度な負担とならない適切な会費を設定することとしております。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 299 | 5 | <p>中学1年の秋、陸上競技部から男子バレー部に転部した。部員の大半は小学生のクラブチームの出身者である。毎日の部活動の練習にはクラブチームのコーチ（地域）が来て指導している。私が問題だと感じているのは以下の点である。</p> <p>1 子どもが十分に休めていない 2 部活動と勉強の両立 3 家庭への経済的負担</p> <p>学校の部活の規定では、土日のうち1日は休み・練習時間も決められている。実際は土日のうちどちらかは、午前中学校の部活の練習、午後は地域の練習で一日練習である。教育の働き方改革には賛成である。こどもは十分な休息日がない。練習も休みづらい雰囲気があるので、休めない。十分に体を休めないと疲労により怪我もしやすくなる。部活動と地域の練習日を合わせると練習時間・日数共に多く、勉強すると睡眠時間が6時間位になり、中学生の睡眠時間としては充分だと思えない。</p> <p>次に勉強時間の確保が困難な点である。「一生懸命打ち込めることがあるのはいい事だ」という意見もあるが、こどもは自立し自分で稼ぎ生きていく。親は中学3年間だけを見るのではなく、その先の進路なども考えるので部活動により勉強がおろそかになるのは不安である。</p> <p>最後に経済的問題である。地域活動は遠征などが多く朝早く帰りも遅くなる。遠征費も掛かり月一万円掛かる時もある。長期休みなど県外へ宿泊を伴う大会の参加や合同練習もある。我が家はこどもが参加したくても金銭的余裕がないので参加させることが出来ない。教育の貧困格差があるように、スポーツでも貧困格差はあると考える。お金があればいい塾に通わせることが出来、お金があれば地域のスポーツ活動にも参加できる。この制度が子ども主体で考えているようには思えない。何が子どもにとっていいのか、どうしたら平等に学びや好きな事をできる環境に出来るのか、我々大人はもっと子どもに可能性を与えるために出来ることを考えたいと思う。</p> | 3 | <p>○各学校においては、部活動の方針を策定し、当該方針に基づき部活動ごとに計画を立てて実施しており、生徒にニーズに応じた適切な運営が行われるよう、県が作成した「神奈川県各学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。</p> <p>○費用負担に関する御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」「市町村の役割」に、経済的に困窮する家庭に対する支援や、地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割に、保護者に過度な負担とならない適切な会費設定や寄付を受ける仕組みづくりの検討などを記載しており、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。</p> <p>御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 300 | 1 | <p>「1 はじめに」に「本方針は、次代を担う子どもたち一人ひとりの個性やよさを大切に育てるため、「地域」「家庭」「学校」「行政」「民間団体」「企業」「大学」などそれぞれの立場、役割を自覚しながら、連携・協力し合って、豊かなスポーツ・文化芸術等活動を実現するための考え方や取組の方向性を示すものである。」と記載されているように、本方針が部活動の地域移行の羅針盤となると承知している。</p> <p>P.16「3 段階的な地域移行に向けた取組」「(1) 適正な運営体制の整備」では、部活動の地域移行において、市町村の役割として「地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実を支援する」とある。しかしながら、市町村教委の動きは見えるものの、市町村長部局等の働きかけが感じられない。市町村長部局もふくめ、市町村が一体となって取組を進めるよう、本方針でメッセージを発信すべきである。実効性のある改革を求める。</p> | 2 | <p>部活動の地域移行の体制整備については、県及び市町村において、行政、地域のスポーツ・文化芸術団体等や学校関係者等からなる協議会等を設置して、取組を進めて行くことを記載しています。</p> |
| 301 | 5 | <p>公開された方針素案には、予算措置に関する記載が一切見られなかった。県として、十分な予算を措置したうえで、市町村の実態に合った柔軟な取組が生まれるのではないかと。県の役割として、予算措置を求める。</p> | 3 | <p>部活動地域移行に係る予算については、県の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 302 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員の働き方改革としては賛成。 ・外部指導者は、経験、専門性もあり、メリットがある。 ・ただ、中学生の部活は、初心者や全くの未経験者が入部しやすいのがメリットであるため、その環境は壊さないでほしい。 ・今の部活は同中学内で行えるため、移動なし、活動場所費用は無し。 <p>これが、他に移動となると移動時間、交通費、場所代等費用面がかかるのが大変になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の費用を考えると入部するのを躊躇する可能性もある。 <p>実際、小学生の頃はスポーツクラブに通わせたくても、初期費や付き添いができなくて諦めてたが、中学部活では、運動部に希望している。</p> <p>部活ではある程度の初期費用はかかるのは当たり前だが、それ以上に外部移行に関しての費用の概算が先に知りたい。</p> <p>パターン別に、出していただけると、地域の特性もあるでしょうが、判断材料になると思う。</p> | 3 | <p>移動に関する御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」「市町村の役割」に記載しており、広範囲の活動について、支援してまいります。また、地域クラブに係る費用については、参考となるよう先行的に取り組み自治体の事例を紹介してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 303 | 5 | <p>そもそも部活動指導は教員の仕事ではないので、部活動を学校から切り離すことが第一に行うべきだと思う。段階的ではなく一気に切り離し、その上でどの位の受け皿があるかを模索して貰いたい。場所や指導者についても、先ずは地域に投げかけをお願いする。財政面で苦慮するかと思うが、低賃金で教職員が部活動を見ていることを考えれば早急に対応していただきたい。</p> | 3 | <p>地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源などの実情や課題は様々ですので、地域の実情に応じて多様な手法の中から、それぞれの地域に適した方法を、できるところから取り組んでいくこととしています。無理な移行によって生徒の活動に影響が出ないように、配慮して進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 304 | 9 | <p>中学校教員をしているが、部活動に時間ばかりが取られ、本来すべき・したい業務が十分に進められない。</p> <p>「子どもの安全のために、基本的に部活動中は活動場所に行って見守る」</p> <p>「大会引率は顧問だけでなく、副顧問も一緒に行き、応援する」</p> <p>やらないよりはそうした方がいいのかもしれないが、その結果、ただただ時間ばかりがなくなっていく。</p> <p>教員の中には部活動を指導したい人もいるが、そうではなく、自身の専門性を生かし子どものために教育活動をしたいと思って教員になっている人もいる。</p> <p>(専門でもない)部活動の練習を見守るために半日グラウンドに立ったり、朝早くから集合して丸一日生徒の貴重品を預かって大会が終わるのを待ったりするような土日過ごすのは、不毛だと感じる。</p> <p>部活動の地域移行を進めるとともに、教員の部活動への関わりを選択制にしてほしい。</p> | 3 | <p>部活動指導が教員の負担となっていること、また、子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保する必要があることから、適切な活動時間の設定が必要です。各学校において部活動が適切に運営されるよう、県が策定した「神奈川県中学校部活動に関する方針」の周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 305 | 6 | <p>部活動の地域移行について、課題となるのは、中体連組織である。学校や市町単位で地域移行をしても、中体連で行っている大会の運営については、多くの学校職員が関わっており、地域移行が進んだとして、大会運営を誰が担うかという大きな課題について、特に取り上げられていない点が非常に気になる。中体連に関わる出張の多さを教育委員会は把握しているか。大会運営役員の出張に関しては、生徒引率が伴わなければ、特殊勤務手当も出ない。休日に連続で8時間以上拘束されている。教職員のボランティアによって大会運営が成り立っている事を理解していただきたい。また、休日に手当が出ない勤務をした場合振替を取れるが、授業がある日に部活動の振替を取るのは本末転倒で、振替は夏季休業中でしか取れない。県大会は関東大会、全国大会につながる大切な大会で、頑張っている生徒が活躍出来る場として存続出来ればと思うが、現状の運営のあり方では、教職員に過度な負担がかかっている。外部講師や地域が大会運営にまで携わらなくては、地域移行は実現しない。教職員の「生徒のため」という心意気に頼って、教職員を無償で奉仕させている現状をどうにかしてほしい。中体連の問題ではなく、県教委としても考えていただきたい。教職員の手がなければ大会運営が成り立たない現状をご理解いただき、地域移行の素案にも加えていただきたい。</p> | 3 | <p>大会運営の人材は各主催団体が判断することになりますが、多くの大会運営に教職員が関わっていることから、負担軽減が図られるよう、県としては、今後も大会等の統廃合を主催団体に要請していきます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 306 | 9 | <p>学区内の中学でサッカー部に入りたかったが、サッカー部がなく、わざわざ遠い隣の中学に通いサッカーを続けている子や、地域のクラブチームにセレクションを受けても入れず、やりたい部活動ができない為、仕方なく他の競技をやる子、別の競技の部活数も少ない為、諦めて部活に入らずサッカーを辞めてしまった子も多々いる。 また、中学の先生の中にも部活動に熱心な先生方もいるが、本来の業務と部活動の兼務が厳しい中でも、身を削って指導しているのに、部活動時間の少なさに子供たちも部活離れが増えている。サッカーだけに関わらず、他の部活動も同じ事が起きています。それに目を向けない教育委員会…。これだけ部活動を衰退させておいて、今更、地域移行は手遅れなのではないか。部活動の外部指導者を入れてとの話も、学校によって対応が違う。やる事が遅い！！</p> | 3 | <p>地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 307 | 9 | <p>やりたい部活がなく仕方なく入るのであれば、地域移行は部活の幅が広がり、安い会費は助かる。子供が安全に過ごせるならば、学校にこだわらない。目標に向かう生徒の温度差もある。吹奏楽部は保護者がコンクールなど楽器運びをさせられているが、地域移行後も保護者が関わっていく事はあるのか。地域移行によって今の部活のあり方、保護者の役割、昔からのやり方は変わっていくのか。</p> | 5 | <p>子どもたちの育成には、地域、家庭、学校、行政、民間団体等がそれぞれの立場から連携・協力しあう必要があると考えております。</p> |
| 308 | 7 | <p>誰が生徒の活動の責任を負うのかがはっきりわからず、これだと今まで通り教員が負担を強いることになる。また、地域によって差ができ、生徒や保護者の不満がでやすくなってしまう現状維持や合同部活動はやめた方がよい。県は思い切って地域スポーツ、文化芸術団体等運営型か市町村運営型に統一してほしい。これならば、それぞれのクラブが独立して運営できるし、設立にあたって責任の所在も確認することができる。生徒もどこに入るか検討することが可能となる。また、教員も参画しやすいのでは。</p> | 3 | <p>地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 309 | 6 | 自分が学生時代に行っていなかったスポーツの顧問をやらなければいけない先生も一定数いる。そういった先生方は技術指導や保護者対応で苦勞することもある。そのため地域移行について賛成である。一番大きな課題は大会運営だと考える。大会を運営するにあたっては今までの学校ではない組織が運営する必要がある。スポーツ団体や行政がリーダーシップを発揮していくことが大切。 | 3 | 大会運営の人材は各主催団体が判断することになりますが、多くの大会運営に教職員が関わっていることから、負担軽減が図られるよう、県としては、今後も大会等の統廃合を主催団体に要請してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 310 | 4 | スポーツや学校を取り巻く環境が変化していつているなか、昔ながらの指導をする方は遠慮願いたい。また、各競技協会登録や中体連への登録、部費の管理、行事申請の届けなど事務的な手続きも煩雑で、競技によっては、二重登録の課題も残っている。この事務処理をどうしているのか、整理してほしい。地域移行というより、ドイツのブンデスリーガのように、トップチームから幼少チームのようにつながりのある組織を整備してほしい。地域に開かれ、地域の人が関わることも大切だが、コーチングスキルはもちろん、選手の人権問題や、トレーニング学や栄養学、教育学一般などの『指導をきちんと受けたコーチ』から、『きちんと習うことのできるスポーツ選手』を育成した方が良い。 | 3 | 地域クラブ指導者を対象とした研修の実施、参加や資格取得の促進等、指導者の資質向上に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 311 | 9 | 教員の夫をもつ30代である。働き方として、勤務時間外まで仕事が延長するケースは、致し方なく発生してしまうことはあるが、日常的に部活動で勤務時間を超えて働いている労働環境は異常である(残業代が発生しているなら別だが)。土日の部活動も、ガイドラインを守れていない部活動があるのが現状である。休日の勤務に対しての手当も、民間からすると「子供のお小遣い？」とってしまう。働き方改革を謳うのであれば、まずはその部分のメスを入れなければいけない。部活動の在り方を直ちに变える(外部に委託など)か、残業代をしっかりと出すか、人を増やすか...やるべきことははっきりしている。外部指導者に委託することは簡単ではないが、子供達も専門的な技術指導が受けられる可能性が増すので、メリットが大きい。学校の先生は「生徒の応援者」の立場で試合の応援に行ったり、第三者の立場から相談に乗ったり...このような関係性の方がより良い関係を築けるのではないか。専門外の部活動を持たされて、生徒や保護者とうまく関係ができずに悩まれている先生がたくさんいるという。部活動の悩みが大きく、本来のお仕事の授業準備や学級に関わるのが手薄になっているということもよく耳にする。また、働き方を改善しないと、教職員の質が下がってしまい、いずれ子供達に影響がいく。今の教職員の働き方を知れば「学校で働きたい！」と夢を持って教員を目指す若い方が減ってしまう。部活動の外部委託は今すぐにでも取り掛からなければいけない教育現場の課題である。未来の子供達のためにも、先生方が本来の業務に集中できる労働環境をつくるためにも、部活動の在り方についての問題は早急に進めて頂きたい。 | 3 | ○部活動指導が教員の負担となっていること、また、子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保する必要があることから、適切な活動時間の設定が必要です。各学校において部活動が適切に運営されるよう、県が策定した「神奈川県立の学校部活動に関する方針」の周知に努めてまいります。 ○地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 312 | 3 | <p>ストレス解消や仲間との絆、何かに打ち込んだという経験づくりに部活動はあった方がいい。支援級在籍生徒にも、そういう機会が選択できればいい。ただ教員の負担も考え、部活動の数を減らしたり、活動時間制限設けたり、大会同行した分の休みを確保する、説明会、提出書類などの手続きを簡略化する、外部委託する、合同で活動を行う、月に何日か休日を作るなど配慮や規定が必要。活動中の安全の確保ができていないかがポイント。部活動の中でグループ分けし、1日の参加人数を少なくして監督する教員の数を減らしたり、部活動のみの職員を採用するのもあり。</p> | 3 | <p>これまでに培ってきた学校部活動の意義を継承しながらも、競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保し、子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができるよう、発達段階やニーズの多様性を踏まえた、持続可能な活動の環境の整備に努めてまいります。また教員数は、義務標準法に基づく標準定数を標準として算定されています。人材確保に当たっては、関係団体等と連携し、生徒のニーズに応えられる人材の確保に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 313 | 8 | <p>働き方改革の一貫ではあるのですが、子供たちへの指導という面でも早く地域移行してほしい。特に小規模地域では長期携わることで先生同士の馴れ合いみたいなのが見られる。ワンマンな先生だと人の意見を受け入れないということもあるので、地域移行して多くの大人の目があることが望ましい。</p> | 3 | <p>地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 314 | 4 | <p>保護者の立場として、各学校においてレベルに差があるのは、やはり指導者によるものだと思う。放課後、休日とかなりの時間を部活動に充てている。その時間、きちんと指導してもらえたら価値もあるが、顧問はほとんど生徒に任せっきりで、危機対策などしているように思えない。有料でもクラブチームの方が安心。多少費用が発生しても構わないので、安全にきちんと指導してほしい。</p> | 2 | <p>御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」及び「市町村の役割」に記載をされており、指導者の資質向上に努めてまいります。</p> |

| No | 意見 区分 | | 反映 区分 | 県の考え方 |
|-----|----------|--|----------|--|
| 315 | 9 | <p>学校部活動において、子どもたちに伝えたいことはその競技や活動の楽しさだけではない。同じ学校の、今まで話したこともない人たちとも、学校の職員とで三年間密な時間を過ごしていくことで得られるものがたくさんある。また、部活動と生徒指導はとても密接な関係にあり、学校だからこそ、なにか起きて解決を目指していける。教室内で起こったこと、部活動内で起こったこと、すぐに共有して連携して対応しているが、この方針の通り地域クラブに移行し、そこでなにか起きたとき、指導はクラブに携わる地域の方たちが担うの？その連携をしっかりとってくれるのか？経営に関しても、国の補助を、とあるがそんなお金があるのか。部活動手当を時給換算した場合、1000円にも満たない金額でしか出せない県、国にそのようなお金があるとは思えない。平日の部活動の話をするなら時間外に1時間であろうが2時間であろうが活動しても500円しか支払われない。でも、教員はこのお金ほしさに部活動をしているわけではない。子どもたちが学校で活動することで得られるものが大きくあるからやっている。そのお金を人材が不足している教員の人員確保に使えないのか。教員が充分なほどいれば、それだけで部活動を苦に思う人は減る。本ガイドラインのデータにもあるように、平日業務では部活指導の約4倍の時間を学校運営に関わる業務が占めている。人材が確保できればその仕事を分担していくこともできる。部活動が苦で教員にならない人よりも、むしろ部活動のよさを知っていて教員になっている人は多いのでは。教員の働き方改革を基に動いているのなら、まず地域移行よりも先に人員の確保に努めて欲しい。</p> | 4 | <p>教員の増員や教員に支給される手当について、方針に記載することは考えておりません。なお、指導者確保に当たっては、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者の確保に努めてまいります。</p> |
| 316 | 3 | <p>地域移行のお知らせに伴い子どもが行っている部活動のクラブチームが経験者保護者らにより地域に立ち上げられた。顧問の先生の負担軽減や練習場所、時間など今より先生も子どもたちにもより良いものになるなら賛成だったが、実態はクラブチームとして中体連から試合への参加が可能になったため、クラブチームは実力のある子や、強くなりたいと長時間の練習をしたい子の集まりとなり、そのレベルに達していない子、そんなにガツガツやりたい訳では無い子は今まで通り部活動に所属している。さらにクラブチームには地域以外の学区外からも実力ある子が集まってきていて、立ち上げ当初より部活動との格差が生まれている。他の地域の保護者に聞いてもだいたいどこも同じようで、クラブチームと部活動の二分化になっただけで、部活動の地域移行には全くなっていない。このまましっかりと実態が把握されないまま移行されるのは不安でしかない。</p> | 3 | <p>これまでに培ってきた学校部活動の意義を継承しながらも、競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保し、子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができるよう、発達段階やニーズの多様性を踏まえた、持続可能な活動の環境の整備に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 317 | 7 | <p>もう少し具体的な質問があると回答しやすい。学校での部活動は、社会的背景や先生たちの働き方改革等でこれまでのように維持するのが難しかなっているのは理解できる。その上で、習い事としてクラブチーム等で活動している事自体を部活動の一環として認める形が取れば良い。また、それ以外にこれまでの部活動のように参加できる環境も必要なので、近隣学校との合同活動が良い。特定のNPOやクラブチームを限定した連携は好ましくない。そのような団体に委託した場合は、そのチームの方針や考え方が合わない場合に生徒を苦しめてしまう。今は、種目や活動レベルなどさまざまな選択肢が社会的にあるので部活動だけを内申に反映させるといふことに疑問を感じる。</p> | 3 | <p>地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 318 | 9 | 現在、中学校によって部活動の種類に差があるので、地域移行に賛成。生徒数が少ない学校は選択数も狭まるといった不公平がないように欲しい。また、教える教員がいないので、部活動がなくなる、といった生徒には全く関係のない事情で部活が廃止になるのも避けて欲しい。教員がいなければ、外部の方に指導いただけるよう制度を変えていって欲しい。 | 3 | これまでに培ってきた学校部活動の意義を継承しながらも、競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保し、子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができるよう、発達段階やニーズの多様性を踏まえた、持続可能な活動の環境の整備に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 319 | 7 | 教員不足による負荷の軽減の為は理解できるが、部活動廃止による環境格差は拡大する。外部委託で対応できるのではないか。 | 3 | 部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 320 | 8 | どのような方向性になるのか、早くまとめてほしい。校長は、今年の入学式で「2年後には部活動がなくなります。これは決まっています」と明確に話していた。部活動という仕組みはなくしてほしい。合同チームの仕組みをしっかり作り、育てたいと思っているコーチを手放さずに、もっと効率の良い部活動の運営をしてほしい。部活動とスイミングスクールなどの外部の仕組みでは、得られる学びが全く違う。部活動にお金がかかってもいい。お金がなくても入れる部活動があればいい。部活運営費で十分賄える部活動もある。合同チームの具体的な検討をお願いしたい。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 321 | 5 | 先生たちの負担がなくなることはとても良い。だが、部活動をしたくて先生になられた方、大変だがやりがいをもってやって頂いてる方、希望している先生方には今後も継続してできるようにしてほしい。外部の方と希望している先生方と協力してできる体制にしてほしい。金額は部活動なので、あまり高額にならないといい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「市町村の役割」に記載しております。また、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」「市町村の役割」に、経済的に困窮する家庭に対する支援や、地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割に、保護者に過度な負担とならない適切な会費設定や寄付を受ける仕組みづくりの検討などを記載しており、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。 |
| 322 | 5 | 先生の負担が一向に減らないので、基本的には地域移行して良い。特にスポーツ関連の顧問はコーチ能力のある方、美術や音楽などの顧問は芸術系のプロフェッショナル、天文部などはその地域の天文館スタッフ等が行ってもいい。学校の先生が顧問をしたい場合に地域対応か教師の対応か、選択制にする。または顧問ほどの労力を割かなくていいので、地域スタッフが活動中に犯罪行為（暴力、セクハラなど）に手を染めていないか確認するため、時折見回りに行くなどの対応はあってもいいかもしれない。 | 3 | 各地域クラブ活動運営団体・実施主体が活動の運営方針、年間・毎月の活動計画、活動中のトラブルや事故の対応を含む管理責任等を明確にすることとしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 323 | 5 | <p>教員に強制的に労働を強いている現在の部活動は持続可能ではない。このままでは部活動どころか学校がこわれる。しかも現在の部活動は時給も発生していないと聞いている。土日も強制労働させ、時給も支払わない。部活動は即座にアウトソーシングすべきである。お金が無いのならば、廃止の一択だと考える。</p> <p>そもそも、習い事に親が月謝を支払うのは当然。月謝をとって、指導者に還元する。</p> <p>学校の先生もやりたければ副業で指導者をやればいい。それには平日に絶対に残業が無い仕事量にしないと無理である。一刻も早く教員に顧問をやるかどうかの選択アンケートを実施して、顧問を希望しない教員には強制的に顧問にしない制度をつくっていただきたい。</p> | 3 | <p>教員が部活動指導に従事する場合には、勤務時間に応じて特殊業務手当が支給されています。地域クラブ活動での指導を希望する教職員等については、兼職兼業の許可を得ることで、報酬を受け取って指導できるようになります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 324 | 9 | <p>学校の部活動は廃止し、地域で活動しているスポーツ団体や文化団体への加入を促すことが経済的にも効率的にも良い。</p> <p>理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新たに作るよりも既存のものを活用するほうが受け入れる方も送る方もストレスなく移行でき、どちらにもメリットになる。 2. 新しく合同部活動をはじめたり、地域指導者を入れると結局、教員の負担や人件費が増えることになり、効果としては逆になることが予想される。 3. なぜ学校で部活動をやらなければならないのか。昔は生活指導面で全員加入制度がありましたが、今はそのような効果よりも、純粋にスポーツを楽しんだり健康面で加入する生徒、保護者の意識のようなので、学校でなくても良い。 4. 学校で部活動よりやらなければならないことに教員も生徒も時間を使えるようになる。委員会活動の充実や地域社会への参画等が期待される。 5. 生徒は地域の団体に所属することにより、学校内の交友関係だけでなくコミュニティを広げられ、より地域社会に根ざした生活ができるようになる。 <p>これ以上教員の仕事を増やさない政策を願う。</p> | 3 | <p>部活動は学習指導要領に位置付く教育活動の一環であることから、廃止は困難です。</p> <p>部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 325 | 5 | <p>地域スポーツクラブへの移行に賛成。しかし、様々な課題がある。そもそも設置部活動が少ない種目は移行に際して受け皿が見つからない可能性が大きく、廃部となってしまうのではないかと。教師の兼職兼業についても、平日の会議や夏休みの大会などは本来の業務を年休を使って参加する事になるのでは。現在、クラブチームで教えている教員がクラブチームを引率して大会参加する場合は年休としてボランティアで参加している現状がある。部活動顧問なのかクラブチーム顧問なのかで身分が異なっている現状を解決してほしい。多くの課題を解決して、段階的ではなく県のイニシアチブのもと、実施に移してくれることを期待している。</p> | 3 | <p>地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 326 | 4 | 地域の部活動になる事は、子どもの減少、先生の業務負担、部活動以外のクラブチーム加入など、様々な状況があるので、しょうがない。部活動くらいの費用で活動できるのか。授業後の移動手段など、親は送迎できないので、自分たちで出来るのか。今、在学中の中2の子には直接関係ないかもしれないので、下の子(現在5年生)が中学に進学する前に、直接話を聞ける機会があるといい。 | 1 | 地域クラブ活動の会費については、運営主体ごとに設定されます。また、生徒が参加する際の移動については、市町村ごとに安全かつ費用負担の少ない交通手段を検討してまいります。 P15「地域移行を進める体制づくり」「協議会等の検討体制の整備」「市町村の役割」に、地域移行の取組を進めるに当たり、学校や地域等に対し、地域移行に係る理解を深めるための説明会等を実施することを追記しました。 |
| 327 | 9 | 部活動の移行賛成である。事務処理の簡略化。小中の給食時間指導の外部委託。清掃指導の外部委託。成績処理を学期中はテストの点数と出欠のみを知らせ、学年の成績のみ出す形に。観点別の即時廃止。5段階評定のみ。全欠は成績の無記入。職員会議の簡略化と月2回まで。県教委や市教委が現場の声の聞き役に徹するべき。県からの現場への文書が多すぎるので、これの簡略化とペーパーレス化を。 | 5 | 御意見の趣旨は部活動以外の教員の業務軽減に関するものであり、方針に反映いたしかねますが、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 328 | 3 | 子どもが吹奏楽部に入っているが、顧問の先生は何人かいるが、実際に指導している先生は1人。コンクールや演奏会など学校以外での活動時は他の先生も引率している。熱心に活動したい先生はよいが、負担になっている先生方も多い。ただでさえ学校での拘束時間が長い。また、外部指導者に来てもらっている学校、とりあえず顧問が指導している学校等があるが、同じ義務教育で専門の指導が受けられる学校、受けられない学校があるのは異論がある。その外部指導者への指導料はそれぞれの市や区から出ているのか？吹奏楽など、その差がありながらコンクールなどがあり審査されるのは何か違うのではと思う。指導者が入れば上達すると一概には言えないが、義務教育であるならばそこは公平にする必要がある。選べる選択肢が増えるのは、いろいろな生徒への柔軟な対応に繋がっていきける。生徒は部活動をもっと楽しみ、先生は負担が減っていきけるようになっていけたらと願う。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 329 | 9 | 部活動自体の在り方を考えるべき時期。平日も遅くまで部活動をし、そのあとで勉強や習い事で子供達は疲労している。休日も夏休みも部活動。部活動中心の生活がおかしい。教師も同じように遅くまで部活動、休日も部活動。行き過ぎた指導。子供も教師も家族との時間を持ち、勉強と部活動が両立できる環境整備が先である。 | 3 | 各学校においては、部活動の方針を策定し、当該方針に基づき部活動ごとに計画を立てて実施しており、生徒にニーズに応じた適切な運営が行われるよう、県が作成した「神奈川県在学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 330 | 4 | 顧問の先生が忙しいので最後だけ顔を出すと言う日がどの部活動も多く見受けられる。練習は生徒のみで行うようになってしまうので、外部の指導者がいてくれれば、技術の向上は もちろん、怪我などのアクシデントにもすぐに対応出来ていい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 331 | 6 | <p>綾瀬市柔道協会の指導者である。本市には、中学校の柔道部がないため、本協会が中学生で柔道をする者の受け皿になっている。本協会では、近い将来の部活動の地域移行化に向けて、今年度より週2回（水・土）の稽古日を1回（月）増やして週3回体制としている。来年度からは、綾瀬市柔道協会というチーム名で中体連に参加したいと考えている。しかし、現時点で中体連の団体戦に参加できるのは、中学校・地域スポーツ団体とも、1チーム（5名）までとなっている。本協会は、13名の中学生を抱えているため、2チームは出したいと考えているが、それができない状況となっている。せっかく、中体連の試合に地域スポーツ団体が参加できるようになったのに、上記のような制約があるため、地域スポーツ団体としての参加を諦めざるを得ない。本協会として望むことは、中体連の試合に、1団体当たりの団体戦出場チームを2チームまで拡充していただきたいということ。1チームにした理由は、2チームにすると強豪校が2チーム出てしまうことになり、他の中学校の枠がそれだけ少なくなってしまうからというものだったが、柔道人口が大幅に減少している現状には、合わない制約であると考えている。部活動の地域移行化に向けて、中体連には、柔軟に対応していただきたい。</p> | 3 | <p>県中学校体育連盟の主催大会への地域クラブ活動等の大会参加要件の見直しが行われておりますが、不断の見直しについて、働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 332 | 4 | <p>先輩方から教員の1番の仕事は授業だと教わり、日々生徒にわかりやすい授業が出来るよう心がけている。専門教科だけでなく、道徳や総合学習など学びの範囲は多岐にわたっている。さらに今問題となっている部活や保護者の要望などやる事が多いのに、業務のつらさがピックアップされて、現場から人がいなくなってしまっていることが一番の問題だ。人を増やすか業務を減らすか考えた時、仕事の辛さから療養休暇を取らざるおえない先生方を見ていると業務を減らすことが最優先だと感じ、部活動の地域移行実現を強く支持する。熱中症アラートが厳重警戒でも全力で実施している大会運営、教員とそうではない方による指導のスタンスの違い、教員の中でも意識の違いがある、などを鑑みると現状の部活動をそのまま地域移行する事は困難である。強引に行うならば2年の移行期間後に部活動は廃止を基本とする。なくなる部活動とやりたいという一部の大人の思いで残る部活動に分かれ、そこから新しい形がスタート(一部の大人だけでも実施出来る形)していく。教育行政にはまず教員は一度部活動から離れて良いんだよ！という強力なメッセージを発信していただき、神奈川は働き方改革を全力で応援しているという立場を見せることが第一歩だと考えている。かなり強引な提案だが、そのくらい学校現場は逼迫している。部活動を維持するために職員が疲弊し、授業の自習が増えていく現状は生徒全体を見た時に幸せとは考えられない。最後に学校現場では一度も部活動について職員に部活動について聞き取りや顧問の希望有無についてアンケートがない。まずは神奈川の先生の部活動の考えを把握してはどうか。</p> | 3 | <p>御意見のように部活動指導が教員の大きな負担となっていることは認識しており、地域の実情に応じた方法によりできることから地域移行の取組を進めることとしております。 なお、P14「協議会等の検討体制の整備」の市町村・学校の役割として「アンケートやヒアリング等を実施し、保護者や子どもたちのニーズや課題の把握に努める」こととしております。 また、地域クラブ指導者を対象とした研修の実施、参加や資格取得の促進等により、事故等の予防や緊急時対応等も含めて、指導者の資質向上に努めてまいります。</p> |
| 333 | 4 | <p>先生方の負担が大きいので外部から指導者が来て頂きたい。ただ、部活動指導が好きな先生もいると思うので、先生に委ねる。</p> | 2 | <p>部活動指導が教員の大きな負担となっていることは認識しており、地域の実情に応じた方法により、できることから地域移行の取組を進めてまいります。なお、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 334 | 4 | 方向性は間違っていないが、入学の1～2年前には知らせるべき。部活動は教育か否か、教師の仕事か否か。そんなことは生徒たち＝未来を担う子供たちには関係ない。 | 1 | P15「地域移行を進める体制づくり」 「協議会等の検討体制の整備」「市町村の役割」に、地域移行の取組を進めるに当たり、学校や地域等に対し、地域移行に係る理解を深めるための説明会等を実施することを追記しました。 |
| 335 | 6 | 先生が大会やらコンクールやらの運営をしている時点で、もうダメだと思う。ここをまずどうするのか真剣に考えることが必要。中体連とか〇〇連盟とかが諸悪の根源。 昔からやってるとか、それだけの理由で続けているなら、やめた方がいい。先生たちで何か部活動で嫌かといったら、書類を出せとか、会計簿出せとか、練習計画出せとか、引率届出せとか。そして、保護者には丁寧に対応しろとか、そんなの全部負担してきたから、授業そっこのけで部活動中心の先生が存在してきてしまった。先生は部活動から離れる勇気が必要。指導したいなら、先生を辞めて指導者になればいい。 とにかく、休日のみならず部活動からは先生は一切手を引く、それが大原則。運動部だけでなく、吹奏楽部というかなりやばい部活動もなんとかしてあげないといけない。 | 3 | 大会運営の人材は各主催団体が判断することになりますが、多くの大会運営に教職員が関わっていることから、県としては、負担軽減が図られるよう主催団体に要請してまいります。 なお、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 336 | 3 | 現在通っている学校でサッカー部の人数が少なく他校との合間でチームを結成している。上手な子やお金がある子は、クラブチームに所属しているので、学校自体の部活動に人数が集まらない。また、先生の労働時間や負担を考えると地域移行が望ましい。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 337 | 6 | 部活動を中学からはじめた人たちが上位を取れる大会がなくなってしまう、部活動としての意味がなくなる。やる気も減ってしまうし、部活動に加入する人数も減ると思う。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めていくとともに、大会等の見直しを図っていく中で、大会の多様性についても検討するよう働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 338 | 6 | 最後に試合に残るのがやっぱりジュニアの人達になってしまう可能性がとても高いし、みんなで部活動の中で上達していったり学んだりしていきたい。それぞれの学校にジュニアの子が部活動として入ってくるような今の環境がいい。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めていくとともに、大会等の見直しを図っていく中で、大会の多様性についても検討するよう働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 339 | 6 | 大事なことは結果だけではないが、やっぱり結果を気にしてしまうので大きな大会に出にくくなってしまうのは嫌である。中学から始めた人とジュニアでは、やはり経験の差がとても出てしまうのではないか。ジュニアの方々が来ると、勉強にはなることは分かっているが、最初から諦めてしまう人などが出てきてしまうかもしれないし、上位はほとんどジュニアの方で埋まってしまったら中学から始めた人は全然楽しくない。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めていくとともに、大会等の見直しを図っていく中で、大会の多様性についても検討するよう働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 340 | 4 | 休日の部活動は、教員だけでなく子供にも負担が大きい。週末は家族と過ごしたり休息する日の為、学校活動は体育祭などの大きな行事以外は選択制か廃止した方が良い。部活動の指導者は専門性の高い人に担当してほしい。将来的に継続する子供も多く、基礎を学ぶ最初の時期に正しい技術を習得する必要があるため。 教育現場での性被害が増えている現在、外部から指導者を確保する場合は、子供と接しても問題のない人物か、犯罪歴が無いかなど確認する必要がある。また、定期的に生徒にアンケートを行ったり指導者の研修を行うなど、指導者をしっかり管理する別の大人が必要。 | 3 | 地域クラブ指導者を対象とした研修の実施、参加や資格取得の促進等、指導者の資質向上に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 341 | 6 | 元々やっていた人達が上位を取ってしまい、中学から始めた人達が良い思いが出来なくなる。元々やっていた人達は別枠、又は特別なシードなど設けるようにしてもらいたい。 | 3 | 大会の運営方法については、各主催者が判断することになりますが、必要に応じて、改善について主催団体に働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 342 | 8 | 先生方の労働時間が問題なのは重々承知していますが、外部指導に委託するだけでは不十分な対策である。一番の課題は指導者がいないこと。経験者なら誰でも指導者になれるわけではなく、その上、様々な責任問題が付いてくる仕事なら、そんなに指導者が集まるとは考えにくい。それなら数少ない指導者を部活動を各学校単位ではなく、市内中学単位、もしくは近隣中学単位でまとめたらよいのではないかと。部活動のために越境入学する生徒がいるが、本来の公立中学の姿ではないと思う。しかし、自分のやりたい部活動(高校でも続けたい部活動)が学区内の中学にないために、仕方なく学区外の中学へ通うしかない。もし、各学校単位でなくなれば、普段の学習生活は本来の中学、部活動は指導者のいるよその中学へ生徒たちが移動することになる。中学の部活動は、高校受験にも少なからず影響がある。市内なのに各中学で格差があるのではなく、市内、地区、単位ではなく平等に部活動が出来るようにしてほしい。地元の中学はこの1、2年で部活動が半減した。金銭的な問題で皆がクラブチームなど外部に通えるわけではない。学校としての部活動を存続してほしい。 | 3 | 御意見のように、近隣の中学校で合同部活動を実施することも考えられますが、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 343 | 3 | まず、生徒の利益を第一に考えるべきである。学校や家庭の事情に関わらず、生徒たちがそれぞれ好きなことに打ち込める環境整備が重要である。それを進める上では、中体連や中文連は不要である。これらが定めているルールや規約が地域移行化を阻み、生徒の利益に反している。これらの組織や枠組みを解消して地域移行化や外部指導者等へ委託する。費用については、受益者負担の観点から保護者負担を原則にして公費を補助する。学校施設を地域やクラブに開放して学校で活動を行うことで、会場確保に係る手間や経費を削減できる。部活動を行いたい教員は、勤務時間内の活動は教員の業務として、時間外や休日は外部指導者として活動する。 | 3 | 御意見のような方法も手法の一つと考えられますが、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 344 | 3 | 地域移行はしないでほしい。中学の部活動で運動の楽しさを知ったり、仲のいい友達ができたりしたが、地域移行すると部活動が身近な存在では無くなってしまいうから。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 345 | 3 | <p>楽器演奏などの文化系部活動は専門性が高く、活動場所(楽器の有無、防音施設)も限られるため、スポーツよりも優先して、地域活動と連携した方が良い。幅広い年代との地域交流の活性化にもつながると考えられる。</p> | 3 | <p>楽器演奏を行う吹奏楽などを含む文化系部活動の状況は、活動場所等、地域や学校により異なりますので、地域クラブ活動を整備する市町村の状況や意向を把握しつつ、県内で効果的に地域連携・地域移行している文化系部活動の好事例を他市町村に事例提供しながら、市町村における文化系部活動の地域連携・地域移行を支援してまいります。</p> |
| 346 | 4 | <p>教員の手から離れ、地域に移行することは賛成。校務に追われ、名ばかりの顧問で指導や監視もなく、大会の場所や時間も把握せず間違った会場に児童を集めるなんてこともなくなる。部活動に立ち会うこともないのでイジメが横行し、ただダラダラと時間が過ぎるのを待つだけの毎日。それなら週の実施回数を減らした方が効率も良く、受験勉強にも時間を充てられるのではないかと。顧問の意欲によって部活動間の格差も、学校間の格差も広がり、なんの魅力も感じられない。教員が忙しいことは周知の事実なので、部活動が教員の手から離れることにはおおむね賛成。しかし部活動の指導をしたくて教員を目指す人も中にはいるので、校務は減らし部活動メインという働き方もあっていい(担任は持たず、受験指導もないなど)。また地域への移行は、地域ボランティアや保護者有志などではなく、専門の企業などに任せるべき。地域のサッカーチームやミニバスなどが採めているのはご存知か。保護者ボランティアが指導する、運営するが故に組織だって機能することができずトラブルに繋がっている。地元のしがらみなど何もなく、参加する児童がみな平等に扱われ、平等な活動ができるよう、専門の企業や団体に依頼すべき。</p> | 3 | <p>御意見のような方法も手法の一つと考えられますが、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 347 | 5 | <p>市立中学校の教員である。部活動に対しては、とても意味を感じている。生徒が大会を進むために一生懸命に取り組む姿、勝った時の表情や思いなどは近くで同じ景色を見せてもらいうれしかった。近年の体力低下のことなども考えれば、部活動は必要であると考え。その一方で気になることもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我々は「教科指導」を基に採用試験受け、採用させていただいている。しかし、部活動時間で実際の教材研究の時間が無くなり、授業の質が低下したままなのはと強く感じる。授業準備をしている先生は遅い時間、休日など学校で仕事している。私たちは授業を通して、将来活躍する生徒を育てるのが本当の目的であると考え。部活動をやりたくて教師になったと公言している先生もいる。神奈川県としてどう考えるか。 ・部活動は校長からお願いされるものであり、当たり前かのように配属されていることは違う。顧問がいなのは困るけど、拒否権がないのはどうか。「部活動を選択制」に進めてはいいか。いつまでも教員の善意に頼らないでほしい。生徒だけでなく家族もいる。生徒のためにやろうとすればいくらでもできてしまう。だからこそ自分で選択するという方向が良いのではと思う。活動できなくなる部活動は思い切って「廃部」か「地域に移行する」というほうが良い。 | 3 | <p>外部指導者が十分に確保できれば、御提案のような方法も手法の一つであると考えます。指導者の確保に当たり、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘する一方、地域クラブ活動での指導を希望する教員等を把握するとともに、指導を希望する教職員等が、円滑に兼職兼業の許可を得られるよう、取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 348 | 4 | そもそも部活動の存在自体が教職員のボランティアで成り立っている現状を受け止めるべきである。ここでボランティアと言及するのは最低賃金以下の手当しか支払われず、違法労働と認識するべきであるからだ。部活動は全て地域移行するべきであり、保護者の気持ち、生徒の気持ちは関係ない。合法であるか、違法であるかしか労働環境整備を行う場合には論点は存在しないはずである。少なくとも部活動を残す場合、地域に移行する場合2つの選択肢が残っていくのであれば、同時に教職員には部活動指導を断る権利を明確に示すべきである。 | 3 | 外部指導者が十分に確保できれば、御提案のような方法も手法の一つであると考えます。指導者の確保に当たり、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘する一方、地域クラブ活動での指導を希望する教員等を把握するとともに、指導を希望する教職員等が、円滑に兼職兼業の許可を得られるよう、取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 349 | 5 | 先生方の残業などを考えると、地域移行も必要。しかしながら、部活動については学校教育の一貫であり、先生方の顧問としての関与は引き続き必要である。地域移行についてもボランティアではなく、予算化して指導料など支払いはある程度固定化をしないと生徒の育成に繋がらない。安定的な指導が可能であるならば、地域移行も賛成。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 350 | 9 | 強い部活動の顧問の担任クラスは、先生の負担があり手薄にならないのか不安がある。先生方も運動をする機会になるのなら少し顧問としてやっても良さそう。メンタル安定には運動が効果的というので。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 351 | 4 | 県として方針が出されたが、それを受けて各市町村がいつまでにどのような方針を出してくるのか不透明。現場は一刻も早い対応を求めている。トップダウンではいつ移行されるのかわからない。かといってボトムアップができるほど現場に時間がないし、権限もあるのかわからない。 | 5 | 国のガイドラインでは、県や市町村は、地域移行の取組の背景や方針、具体的な取組の内容等を分かり易く周知することとされており、各市町村は方針等を策定することになると考えております。すでに検討を進めている市町村もあると思いますが、県の方針を参考にするため、今後策定するところが多いと考えています。 |
| 352 | 4 | 部活動は、教師ではなく外部委託を希望する。それぞれの生徒、学生の選択の幅も広がる。教師の無償奉仕時間をなくすことも出来る。地域の活性化にも繋がる。 | 3 | 外部指導者が十分に確保できれば、御提案のような方法も手法の一つであると考えます。指導者の確保に当たり、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘する一方、地域クラブ活動での指導を希望する教員等を把握するとともに、指導を希望する教職員等が、円滑に兼職兼業の許可を得られるよう、取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 353 | 5 | <p>教員の負担軽減という点から言えば賛成だが、実際には下記の点にとっても不安を感じる。不安が拭えない限り地域移行には断固反対である。</p> <p>1. 今までより金銭的負担がかかってしまう事による貧困家庭への負担。辞めざるをえない子が出る、入部を断念する子がいる、そのような状況を作ってしまうのは絶対に避けていただきたい。</p> <p>2. 部活動というのは教育の一環なので、各スポーツの研修などの前に教育者としての研修を受けるべき。外部コーチの態度、失言は酷く、既に現時点で課題が山積み状態。合理的配慮や少数派の子どもたちを受け止めるための学びの機会など作るべき。</p> <p>3. 学業に差し障るほどの部活動に反対。土日や長期休暇などの、休みの日に行われる部活動に関しては、部活動にもよると思うが、過度に活動することには反対。子どもたちの育つ場所は、学校と部活動以外にも地域の中にたくさんある。学校と家の往復だけの学生生活に本当の学びは存在しない。</p> | 3 | <p>地域クラブ活動においては、保護者にとって過度な負担とならないよう適切な会費を設定することとしています。また地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修の実施し、指導者の資質向上の取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 354 | 4 | <p>学校関係で働いており、部活動を教えたくて中学校の先生になった方がいる。生徒の中には、最初は友達と楽しく部活動をやりたと思ったけど、次第にもっと上を目指したいと思う生徒もいる。この学校の〇〇部に入りたくて、学区を変えた（引っ越してきた）生徒もいる。部活動の指導方式は、選択制がいい。部活動を教えたい先生は、引き続き継続。負担が大きいと感じる先生は、地域のクラブにお願いする。それよりも、先生の日常業務軽減をお願いしたい。校務パソコンが遅くて仕事にならなかったり、GIGA構想によるICT授業の負担、人材を増やすなど。先生方は、生徒ともっと関わる時間をとりたいと思っており、部活動も、その1つなのではないか。</p> | 3 | <p>外部指導者が十分に確保できれば、御提案のような方法も手法の一つであると考えます。指導者の確保に当たり、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘する一方、地域クラブ活動での指導を希望する教員等を把握するとともに、指導を希望する教職員等が、円滑に兼職兼業の許可を得られるよう、取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 355 | 5 | <p>自由な休みがない部活だった。うちは無理やり休ませたが、顧問にその後小言を言われたり休みを申告する時に物凄く嫌そうな顔をされ次第に休めなくなった。うちの子ではない子が、塾やその他習い事で早退を繰り返した所ユニフォームをその子だけもらえず。それを目の前で見せられ誰も休みや早退出来なくなり、体調不良でも無理に出る子が大勢いた。また別の子ですが祖母が亡くなったのに葬儀で休む事を許されず。みんなの前で顧問が「〇〇(休む子)がいないとみんな困るよね?」と言ったから。怪我をすると通院に1時間以上かかる病院を紹介された子もいた。そこの医者とは知り合いなのか、少し良くなれば練習や試合に出してもOKだと診断される病院だったから。また表立っては県の部活の指導要項の違反はなかったが週末は1日休みを半日+半日で取る、平日1日の休みにミーティングを入れていて心も体も全く休めなかった。引退した今、子供は自分が何が好きだったのか、やりたかったのか分からず。3年弱まともな休みをもらえず、自由に他の事を体験、考える時間が無ければ当然そうなる。小学校を終えたばかりの10代前半の子供達が自由もなく体を酷使して、これが部活動の素晴らしさなのか？子供達は競技を嫌いになった。これでは競技人口が増えるどころか減るばかり。</p> | 5 | <p>各学校においては、部活動の方針を策定し、当該方針に基づき部活動ごとに計画を立てて実施しており、生徒にニーズに応じた適切な運営が行われるよう、県が作成した「神奈川県各学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 356 | 5 | 部活動における教職員の負担軽減という点において、本方針の制定に肯定的な意見であるが、あからさまな営利目的による私設団体の参加に関しては罰則などを設けていただきたい。また、半強制的に参加を強制される中学校の方針をそのまま継続し、金銭的負担が発生するにも関わらず、参加の強制という方針は避けていただきたい。学校の教員が行ってきたからこそ、生徒の芽生えるやる気や部活動への参加意欲が、どのように変化していくのかは未知数であるが、塾の強制という体制だけは避けていただきたい。文章では言い表し難いが、学校というコミュニティーであったからこそ形成されるプラスの部分が損なわれない様に十分に留意していただきたい。 | 3 | 地域移行に当たっては、地域クラブ活動運営団体の協力なくして成しえませんが、地域クラブにはそれぞれの運営方針がありますが、国のガイドライン、県や市町村の方針、各競技団体や文化芸術等団体が策定する指針等を遵守し、生徒それぞれの志向に合った活動や、誰もが一緒に参加できる活動を行うなど、適切な運営が行えるよう、規約の策定、人員体制の整備等に取り組むよう働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 357 | 3 | 先生方の負担軽減、子どもたちの技術向上のために、ぜひ取り入れてほしい。また指導者が増えることにより、部活動の種類が増えることも期待している。 | 3 | これまでに培ってきた学校部活動の意義を継承しながらも、競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保し、子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができるよう、発達段階やニーズの多様性を踏まえた、持続可能な活動の環境の整備に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 358 | 4 | 子は中学でバスケットボール部に所属しているが、中体連に所属しているクラブチームである。中学校の部活動として、認められているので公式戦にも出られる。中学の顧問の先生はいるが、指導者は外部コーチである。クラブチームの役員は保護者が行なっているため、顧問の先生とコーチとの連絡は保護者を通して行なっている。保護者の負担が多いため、普通の中学の部活動のように部員がなかなか集まらない。子どもがやりたくても親の介入が多く負担に思うから。親を通すことなくやりとりができればいいが。先生たちの負担も軽くなることを願っている。 | 3 | 部活動の地域移行については、地域、家庭、学校、行政、民間団体等が連携し、それぞれの役割を果たしていくことが、重要であると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 359 | 9 | 委託先は顧問に一任されているのか。保護者の意見も取り入れてほしい。 | 3 | 地域移行を進める上で、学校や部活動の実情を鑑み、保護者と相談しながら取り組んでいくことも考えられます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 360 | 4 | <p>とても期待している。正直草案のすべてを読む時間もなく詳細までは把握していないが、少しでも中学校の部活動、特に顧問の先生方の負担が減ると良いと思っている。草案自体というよりは関連する意見となってしまうが、常日頃から強く感じていた事を記載させて頂く。</p> <p>子供が武道の習い事で夜間の小学校、中学校の体育館や武道場を利用させて頂くようになって実感したことである。夜間に行くのだが、小学校も職員室の明かりがついていることは多々あるが、中学校は職員室の様子が少し拝見できるのだが、毎回夜遅くまで沢山の教員の方が仕事されている姿が見られる。これは部活動とは関係なく本業の残業だと思うが、あまりに長時間労働だと本当に他人だが、とても心配になった。部活動の顧問の先生も、やりがいと責任感を感じて土日にかまわずに子供達の指導に当たってくださっている。朝は生徒の登校前の早くから、夜遅くまでの勤務が登校前だと思う。草案にある勤務時間の内訳の実情よりも実際はもっと長時間の拘束がされていると思う。先生方はいったいいつ休んでいるのか？と感じる。これは正にブラック企業、過労なのは明白だと思う。部活動からは話が反れてしまうが、先生も当たり前だが、人間だし、ご自身の健康と私生活の充実があつてこそその仕事だと思う。こんな休みもろくにないような長時間労働、拘束の生活では、先生方の精神の健康が損なわれてしまう。それは教育にもいい影響があるとは思えないのはすでに多くの方が分かっていることなのに。朝早くから夜遅くまで働く姿を拝見して、自分の子供には、中学校の先生にはなつて欲しくないと思った。この勤務では、子育て世代の先生の勤務は非常に厳しいのは明らかである。とても強靱な精神と熱意のある先生か子育てが終わった世代の先生が多いと見受けられる。いつからこんなになつたのか。部活動に熱心ではない先生ももちろんいる。適当に済ませてしまっている先生も。子供は最初は美術部に入った。もちろん美術に興味があつたからである。しかし実際は先生方はやる気の全くない方々で、ほとんど放置で子供たち任せだつた。</p> | 3 | <p>教員の負担軽減が図れるよう、指導者の確保に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| | | <p>デッサンも基本はおろか、美術部らしい活動は皆無とって過言ではなかつた。ただひたすら友達と話をしたり、描いてもアニメの延長のようなイラスト止まり。子供はあまりの退屈さと怠惰な部活動生活に失望し、1年で転部を決意した。好きな書道部を創設しようと、先生に部活動の創設の相談をしましたが、明らかに消極的な対応をされた。</p> <p>何故か。教員の先生が不足している。専門の先生がいない。先生方も時間もないのに面倒なことはしたくなかつたのだと推測された。子供の熱意だけではどうにもならない事情があると感じた。</p> <p>部活動がその学校に勤務している先生に大きく左右されるのはある程度仕方ないと思うが、せめて部活動に合った、専門知識もある先生が担当する事が指導員にも、生徒にも理想なのは明白である。先生方の事情も同情するものがあるので現状を飲み込むしかなかつた。子供の中学はマンモス校なのに文科系の部活動はとても少なく、増設もされず、熱心な顧問の先生がいる吹奏楽部だけが文科系で部活動らしい部活である。</p> <p>部活動の話からは反れてしまっているが、先生方が希望、任意で部活動の顧問をされるのは良いと思うが、仕方なく従事するのは先生方も生徒にも良いことはないと思うので、”校外の人材バンクからの指導員、顧問を迎える”というのは、本当に切望されるシステムだと思う。こういう所に税金なり補助金を有効に使って頂きたい！</p> <p>教員の方々の部活動による長時間労働を解放し、健全な精神で本来の業務に従事できる環境になるよう、このシステムによりかなうことを切に願っている。</p> | | |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 361 | 9 | 地域移行すべき。教師は勉強だけ教えておればよい。部活動の指導に熱心になり過ぎて、勝敗にこだわって、怪我をしている子どもでも平気で試合に出させる輩がいる。子どもの将来よりも目先の勝ち負けにこだわり、塾や模試などで部活動を休むといじめのようなことをする輩。 | 3 | 教員の負担軽減が図れるよう、指導者の確保に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 362 | 4 | 先生に頼るのではなく外部講師を頼むべき。 | 3 | 教員の負担軽減が図れるよう、指導者の確保に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 363 | 4 | 先生方は、熱心にみて下さる方とそうでない方の差が激しくて、その差が子供たちのやる気の差にもつながっている。やる気のない先生が担当になることは、子供たちにとってもマイナスになるので、外部のきちんと指導できる方にみてもらった方がいい。ただ、指導するにあたりモラハラや指導の行き過ぎがあるといけないので、指導者の定期的な研修は必要。また、日々の練習については、教員による見回りも必要。一人の教員が一つの部活動をみるのではなく、交代でいくつかの部活動をみて回った方が客観視でき、また先生方の負担も減るのではないか。 | 3 | 地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修の実施し、指導者の資質向上の取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 364 | 4 | 学校の先生方の負担がとて大きいとお世話になっていて感じている。先生方のワークライフバランスのためにも、外部コーチを雇ったりできるよう予算を作ってもらいたい。予算なしでは学校が廃部を検討しかねないので、各部に割り当てられるような予算編成をお願いしたい。 | 3 | 部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 365 | 4 | ほとんどの生徒は中学校で初めて行う競技だと思う。顧問の先生は全てがその競技の経験者ではなく未経験ながら頑張って指導してくれていることは保護者の目からも十分に伝わっている。しかし、初心者ながらももっと上を目指す生徒が多い事を考えると外部の専門指導者の力を借りられることは保護者としては嬉しく思う。全ての学校に外部指導者を招く難しさもわかるが、前向きに検討し色々な学校で試してもらいたい。 | 3 | 指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 366 | 4 | 業務委託を頼むなら既存の先生に賃金払って続ける方が把握と連携がとれると思う。怪我などもあるし、先生も賃金もらえるならやる気が違うと思う。賃金もらいたければやればよいしやらなきゃ賃金払わなければ平等だと思う。 | 3 | 地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、報酬を得て指導を行うことが可能です。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 367 | 5 | <p>地域のスポーツ少年団に属している、小学生の保護者。中学生の部活動が地域に移行するのは、現状厳しい。スポーツ少年団は保護者のボランティアで、運営されている。中学生の部活と一緒にやる余裕はない。ボランティアに参加してくれる小学生親子も仕事を理由に年々減っている。中学生の保護者は、運営のボランティアに参加してくれないでしょうし、子供のためにと頑張っている小学生の保護者が、中学生のためにわりをくうのが心配。しかしながら部活がなくなるのは、習い事のできない貧困の子供が色々なスポーツをする機会が減るという事は理解できる。(子ども食堂の運営や、冒険遊び場の運営にもボランティアで関わっているので、貧困や居場所がない子は思っている以上にとっても多いと実感している。) 青少年の育成にスポーツはとても大切だと思うし、学生時代の思い出や青春という真っ先に部活を思い出す人も少なくないと思う。子供達からスポーツする機会を奪わないためには、地域に丸投げではなくまずは予算をしっかりとつけてもらいたい。専属のコーチを雇えるくらいの予算が必要。子供は未来である。どうか子供からスポーツする機会を奪わず、私たちの税金が正しく未来を育てるために使われるよう願っている。</p> | 3 | <p>地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。また、部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 368 | 4 | <p>顧問の負担軽減になる為、賛成。ただ平日練習や、休日練習と顧問がいないと活動出来ないのは廃止して欲しい。サッカー部であれば、小学校のボランティアチームがあるので、まずはそこの連携、依頼が重要。全スポーツ地区スポーツチームがあるので、小学校並の連携が中学校でも必要と感じる。現状平塚市でいえば、地元地区の部活数が少ない、他地区に比べて活動が少ないなどの理由で、隣地区の中学校へ入学し部活を行うなどしている為、在校生の人数を増やすことが出来ない。出て行くばかりなので、増やしようがない。生徒数の問題もあるが、中学校毎の部活動の活動の格差がありすぎる。特に1小1中の地域から他地区への流出は危機感を持った方が良い。</p> | 3 | <p>御意見のような方法も手法の一つと考えられますが、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 369 | 5 | <p>息子がサッカー部だが、教員の働き方がブラック過ぎて尋常じゃないと感じている。校内でも担当する部活動によって働き方に大きな差があるのではないかと、保護者視点でも心配である。中途半端に地域支援員を入れて、余計に担当職員の負担が増えることのないよう、きちんと予算を確保してほしい。</p> | 3 | <p>御意見のような方法も手法の一つと考えられますが、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。また、部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 370 | 8 | <p>地域のスポーツクラブやクラブチーム等と連携して活動できると良い。教員の負担も減るし、専門の先生に教われば技術向上が期待できると思う。</p> | 3 | <p>御意見のような方法も手法の一つと考えられますが、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見 区分 | | 反映 区分 | 県の考え方 |
|-----|----------|---|----------|--|
| 371 | 6 | <p>綾瀬市住在中学2年生バドミントン部。地域移行を進めてほしくない。その理由は4つある。</p> <p>1つ目：部活動を盛んにするなどと言っている地域があるが、全国大会に出たりするジュニアと中学校で部活動を始めた人が当たってしまったりすると、ジュニアと当たるくらいなら部活動に入らなくて良いという考えが生まれてしまうと思ひ、部活動に入部する人数が減ってしまうと思う。</p> <p>2つ目：同じ中学校の友達と一緒に頑張ることが友情関係と部活動の両立につながり、学校であれば先輩後輩関係も築くことができると思う。</p> <p>3つ目：〇〇中学校対〇〇中学校だからこそ同じ学校での高め合いや部活動の雰囲気ですしの強さを逆転したらすることができると思うが、ジュニアチームは小学校の頃から練習をしているので強いに決まっている。なので、ジュニアチームと部活動チームの差が生まれてしまうため、県央大会、県大会などは中学校ではなくジュニアチームが上位を占めることになってしまうと思う。</p> <p>4つ目：顧問の先生や学校の友達と切磋琢磨し、わからないところなどがあれば学校で顧問の先生にすぐ聞けたり、いろいろな利点があると思う。</p> <p>以上のことから、地域移行を進めず、学校の顧問の先生、友達と切磋琢磨し、中学校の大会として中学校で始めた人たちが上位を取れるような大会を作りたい。</p> | 3 | <p>県中学校体育連盟の主催大会への地域クラブ活動等の大会参加要件の見直しが行われておりますが、不断の見直しについて、働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 372 | 3 | <p>うちの息子は、小学校の時にバドミントンを習っていたが、中学にはなくて、続けることができなくなり、不平等さを感じている。隣の中学にはあるが、それが理由で隣の学区の学校に通うことは不可と言われた。それなら、地域でのクラブ活動なら、可能になるなら、早く移行して欲しいと思っている。教員の負担もあるし、また、専門の方でない方への負担は多大なストレスにもなるかもしれない。教員が、本業に専念するためにも早期に実現して欲しい。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 373 | 9 | <p>最大の目的は、不安定になりがちな思春期の生徒の心身の健康の確保と理解。これを踏まえると、生徒本人や先生が持ちうる時間の上限を念頭に、通学する学校をベースに活動することを基本としつつ、休養日の平日確保とともに、朝練、土日祝練（大会を除く）への参加などは不要（もしくは競技志向の高い本人と先生のみ任意）でよいのではないか。</p> | 3 | <p>御意見のような方法も手法の一つと考えられますが、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 374 | 4 | 地域と学校が協力し、次世代の子どもたちに積極的に絡めるのは子どもにとっても大人にとっても大変良い繋がりになると思うし、本来の地域の在り方、教育の在り方であると思う。関わる指導者がしっかりとした学校教育の一環としてのプランと、培ってきた人間性が認められる方がいるのであれば不足している学校や希望する地域に配置していくべきと思う。クラブチーム等は、金銭的な面で難しいという家庭もある中で、そういう救える仕組みの枠として部活動があると思うが、あまりにもその他の業務や対応で教員自体の時間がなさ過ぎる点も含めれば、教員もある程度の時間を確保してあげべき。40代世代だと、私も含めて教員になりたくても空きがなく道半ばで諦めるしかない人もいたが、それでも子どもたちと関わるために、休みの日は地域スポーツで指導をしているという人もいる。是非、地域に潜む志がある人達と協力してこの改革を進めて欲しい。私もその中で関わりたいと思う。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しており、多方面からの指導者の確保を進めてまいります。 |
| 375 | 9 | 塾頼みの公立中学になっている現実を考えると、部活動くらい先生方の負担を減らし、塾に行かなくても勉強がわかるように指導していただきたい。経済的に厳しいから公立なのに、蓋を開けてみると塾に行っていない子がほぼ居ないのは異常。部活動だけでなく、先生の補佐をする事務の方を雇うのもいい。とにかく教育にお金をかけないこの現状は、この国の未来を揺るがすもの。先生方の教材研究等、子ども達が勉強楽しいと思えるような授業ができるように、先生方にとってもよりよい学校作りができるよう、予算を組み入れて欲しい。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 376 | 7 | 先生たちの負担軽減は必須。土日出勤した際、給料がきちんと支払われていれば別だが、そうでないとすれば外部の方を頼んだり、部活動をなしにしてもいいのではないか。中学生も忙し過ぎである。土日はゆっくり自分の時間を持てるように変えてもいいのではないか。 | 2 | 御意見のような方法も手法の一つと考えられ、素案でも、まずは土日の部活動の移行を進めて行くことを基本的な考えとしております。 |
| 377 | 3 | 現在通っている中学校は子供の人数が少なく、運営している部活動がわずかである。また性別によってない部活動があるため、興味のある活動に参加できない状況である。地域差や学校、収入などでも状況は変わるが、別の問題として顧問の先生の働き方改革もある。現在では当然の権利として時間外労働を減らしたり、先生自身の子育てとの両立を促す方針があると思う。これを当然の権利であると考える一方で、生徒は先生不在での活動が増え、また急な部活動中止もあり、では何を目標にどういった意義を見出して部活動を設けるのかという根本的な疑問にもぶつかる。地域移行は選択肢が増える期待、また場合によっては校外や他年齢の生徒ともコミュニティができ、学びが増える期待を持って賛成。ただ、未だに進学の際の内申書で部活動の参加や継続したかを見る学校もある。固定した活動をやらない、フレキシブルなものが選択できて良い。教員という資格でなくても、子どもたちのやる気やエネルギーに応じて指導してくださる方をぜひ迎えて、フレキシブルな学びの場が開かれることを期待している。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 378 | 5 | 平日ほぼ部活動があるなか、土日まで練習をする必要がない。土日はたまにある練習試合と試合で十分。そうすれば、教員の負担も減る。勉強も昔と違い評価の方法も変わり大変で、今の子は塾に通ってる子も多いし、ただですら送迎で大変な中、もし離れた場所で練習になったら、塾に間に合わせるために迎えに行ったり、親子共々負担が増える。平日に地域の方が来て色々指導してくれるなら有難い。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 379 | 9 | 一年生ですが、実際に部活動が始まり、顧問の先生方の忙しさを痛感しており、地域移行には賛成である。先生方が熱心なのはありがたいことだが、この時季は熱中症も心配なため、練習を減らしてもらいたいぐらいだが、運動は中止するようにとの警報が出ていても今のところ中止になったことはなく、気がかりである。地域、民間に移行することで、こうしたことも改善すればと思う。 具体的には、次のようなことを期待します。 -暑い時季の活動（練習、練習試合、試合など）は可能であれば冷房のある施設を借りて行う（毎回ではなくとも、何回かに一回でもありがたい） -心身の健康を守りつつ活動できるようモニタリングや、保護者アンケートの実施 -単発であればお手伝いできる保護者は案外多いので、ボランティア登録できる仕組みを作る（部活に限らずPTA活動全般を対象に） | 3 | 本方針は、地域移行の方向性の大枠を示すものであり、部活動運営に関する御意見については、方針に反映できません。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 380 | 5 | ・ 学校単位での活動ではなく、地域単位で活動を行うことで「浅く広く」を実践する。 → 多くの指導者や過度な指導が不要 学校単位だけではない地域単位での活動は、活動時間にも制限がかかる（週に2、3日）ことになり、部活動だけではない時間の使い方も学ぶことができる。（それこそ、自主的に練習することや勉学に時間を費やすこともできる。自然と自主性が養われることが期待できる。） | 2 | 御意見については、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しており、適切な運営が図られるよう周知してまいります。 |
| 381 | 6 | ・ 上位大会を廃止する。 → 上記を実践するにあたり、上位大会は廃止、多くの子供が参加できる大会を模索 → ランクやレベル等に合わせて、県大会あるいは地区大会までの大会を開催など（全員参加） → 上位大会があることで一部の子どものしか大会参加できない状況があり、不公平 → 若年時は様々な活動を行うことで基礎を固めて活動そのものを楽しむ、好きになることが重要 → 過度な指導によるハラスメントなども防げるのでは 上位大会があることで、オーバーワークになりがち。その結果、ケガをしたり競技から遠ざかってしまう子供がいることもまた事実。心身の成長著しいジュニア期は、体育活動や文化活動についても、やはり基礎を徹底的に固め、「浅く広く」活動することが大切だと思う。また、指導者も、上位大会がなくなれば、指導につい力が入る、ということもなくなり、長期的な目線で指導ができるのではないかと。日々の部活動に費やす時間に余裕ができれば、たまに行われる休日の大会にもゆとりをもって参加できることを期待する。（もちろん報酬は支払われる。） | 3 | 大会の運営方法については、各主催者が判断することになりますが、必要に応じて、改善について主催団体に働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 382 | 5 | 部活動の指導は労働であることに考えを改める。 → 部活動の指導はほぼ無償奉仕と言われている状況は早急に改善する → 公務員への適用がないとはいえ、厳しく制限されている民間と比較して労働環境が悪すぎる → 部活動は教員の副業として認める → 地域の指導者と教員は同等の扱いとする（部活動の指導に対し報酬を支払う） 顧問の先生には感謝しかない。ほとんど休みがない先生方のご家族のことを考えると、手放しでは喜べない。 | 2 | 地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能であり、規定や運用の改善・検討に努めてまいります。 |
| 383 | 6 | 各大会にはそれぞれの活動団体に協力を仰ぐことも必要。（例：陸上競技協会など（こうなると各団体の改革も必要でしょう。））日本はとにかく慣習や伝統を変えていくことに抵抗する勢力がある。子どもの数が減り、心身を疲弊させている教員が増加している今、現代にそぐわない慣習や伝統を継続していく余地はない。上位大会があることが、子どものスポーツ振興や教員の減少に少なからず影響があるのであれば、やはり見直すべきと考える。部活動の地域移行と大会関係の見直し、部活動指導への報酬支払いはセットで考えるべきと考える。 | 3 | 大会等の見直しを図っていく中で、大会の多様性についても検討するよう働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 384 | 5 | 持続可能な活動環境を整備するためには、施設の利用料や、指導者の人件費・資格取得のための費用など、財政の確立が必要かと思えます。国の財政的支援も重要かと思えますが、県としても予算措置をし、明記していただけたらと思えます。 また、学校と学校外の指導者との情報共有などの点で、円滑な部活動地域移行を行える方法についても検討し、必要に応じてコーディネーターの十分な配置（何人？）や情報共有のシステム確立などの観点からも、県として予算措置を講じていく必要があると思えます。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。また、部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 385 | 9 | 先生方のご負担を考えるに地域移行は賛成である。文化部についても同じように地域移行していただくよう強く望む。娘が通う中学校でも地域移行が進んでいるが、娘の所属する文化系の部活は指導者がいないとの理由で廃部にしていく方向にある、と新たに部の担当になられた先生に一方的に告げられ、娘達は困惑していた。探せば地域では教えたい方もいらっしゃると思うので、地域と学校が協力して子供達の部活動を支えていけたらと考えている。 | 3 | 運動部と同様に文化部についても、地域クラブ活動を整備する市町村の状況や意向を把握しつつ、県内で効果的に地域連携・地域移行している文化系部活動の好事例を他市町村に事例提供しながら、市町村における文化系部活動の地域連携・地域移行を支援してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 386 | 9 | 教員への負担があるため移行は賛成！しかし、部の運営を出来る状態を維持したまま移行することが出来ないとダメだと感じる。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 387 | 4 | 財源が確保できるなら、是非地域移行した方が良いと思う。教員の業務があまりに多すぎ、授業の準備や採点など本来業務を後回しにして部活動に時間を割くのは最も改善すべき点だと思う。また、外部指導員が入ることで、学校、教員、生徒共に、地域社会とのつながりが発生し、多くの大人の目があることも利点だと思う。活動の専門性も高くなる点もメリットだと思う。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 388 | 9 | この暑い中、エアコンの無い部屋での部活はどうかと思う。熱中症になってからでは遅いので、なる前に何らかの手段をとってほしい。 | 5 | 部活動の活動場所は、学校内で調整すべきことと考えます。部活動運営において、生徒の安全管理は重要であることから、適切な熱中症対策を講ずるよう、引き続き周知を図ってまいります。 |
| 389 | 8 | 地域移行をしても全ての学校に専門の方が見てくれる保障はないと思う。また、休日を返上してまで指導していただける方も少ないのではないかと思う。月謝など、家庭が負担しなければならないのも厳しい。指導力のある先生方がいるのだから、3、4校で協力して地域移行（クラブ化）をできないか？グラウンドや体育館でA校は野球とバスケ、B校はサッカーとバレー、C校は陸上とバドミントンといった形で行えば、顧問（コーチ）の数も少なくすむと思う。それでも足りない場合は、地域の方に頼るしかないと思うが。また、活動時間も17時から19時までとすれば、先生方も指導しやすいでしょうし（会議なども終わってる？コーチになっていただける先生方の学校での仕事を減らしてあげてもいいと思います）、夜の地域の活動にも支障がないと思います。冬場はナイター設備のないグラウンドは厳しいと思いますが、全校ナイターを設置していただければ解決します。中学生の活動なので、成長の妨げにならないように19時には終わり、早く就寝させてあげたいです。先生方に頼ることで、保護者の金銭的な負担はなくなります。残業時間が増えてしまうかもしれませんが、出勤時間を遅らせたり、休日を増やすという方法もあると思います。そして、先生方にもコーチとしての研修の時間を確保させてあげたいです。子どもたちが目標に向かって健全に成長でき、その競技が世界で戦えるレベルに成長してくれることを願っています。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つであると考えますが、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 390 | 9 | バレーボール部で応援に行ったが、とにかく暑かった。子供達はそんな中試合をして、熱中症の心配になった。実際熱中症の疑いで早退した話を聞き、練習試合相手も熱中症疑いの子が居たとの事。給水時間は配慮されてる様だが、高温対策が足りないと感じている。お弁当持参の時、残す事が多い。食べれる量だけど、時間が足りないとの事。早く食べれるようおにぎりにしてるけど、もう少し時間を長く設けてもらえないか。 | 5 | 部活動運営において、生徒の安全管理は重要であることから、適切な熱中症対策を講ずるよう、引き続き周知を図ってまいります。 |
| 391 | 4 | とても良いと思うが、外部に委託するにあたりその指導者の素行調査などを徹底して欲しい。 | 4 | 指導者の採用に関しては、地域クラブ活動の各実施主体が行うものであるため、本方針には記載しておりませんが、いただいた御意見は今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 392 | 3 | 先生方の負担が大きく感じる。先生方には思春期の生徒の様子や勉強に集中してほしいと思うので、どちらかといえば賛成。だが、地域移行というのは具体的にどういった移行になるのか明確にしてほしい。地域移行するにあたり、学校や先生を挟まなければならない場合もあると思うが、どっちつかずの曖昧なままの方針では意味がないと思う。 | 3 | 本方針は、現時点で考えられる方向性の大枠を示したものであり、様々な事情を抱える学校現場や地域において部活動改革を推進していくためには、複雑に絡み合う諸課題を解決していく「複数の道筋」や「多様な方法」があることを前提としています。このため、各市町村が柔軟に対応できるような示し方としています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 393 | 3 | 知り合いの小学6年生が続けている競技が、就学指定中学校に部活動がないとのことで、教育委員会に指定校変更を希望したが、部活動の有無による変更の理由は認められないとのことだった。その競技を続けるためには、私立中学や県立中等教育学校へ就学するか、自宅から遠い市外にあるクラブチームに入団するしか方法はないと悩んでいた。神奈川県は生涯スポーツを推進していますが、子供たちがやりたい競技、好きな競技を諦めることがないよう続けられるような環境が整うことを願っている。 | 3 | 御意見のような状況が改善できるよう、子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができるよう、発達段階やニーズの多様性を踏まえた、持続可能な活動の環境の整備に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 394 | 4 | 中学校における部活動をクラブチーム等に移行する案につきましては、大賛成である。しっかり指導料金を支払い、安全安心な指導をしてもらい、活動していただきたい。費用を支払う事で、真剣に取り組む生徒が集まるかと思う。また、クラブ活動中のトラブルも避けられる。他の地域の生徒と交流も出来る。保護者の立場から思う事は、安全安心で、指導者や生徒間、先輩後輩等の上下関係など、トラブルがない事を、強く希望する。 | 3 | 活動の運営にかかる費用は、受益者負担が基本であると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して進めていくこととしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 395 | 9 | 先日、小学4年生の子供が「かながわジュニアアスリートプロジェクト」のスポーツ能力測定会に参加させて頂いた。最新の測定機器で運動能力を測り、測定結果を基に向いているスポーツを提案して頂いたり、個別相談では具体的なトレーニング方法を教えて頂き、大変有意義な機会だった。そこで感じたことは、「中学でどんなスポーツや部活動をやったら良いか分からない」というようなスポーツ未経験者や新しい競技をやりたい人を対象に、小学6年生や中学入学時に運動能力を測定し、向いているスポーツを提案してもらったり、興味や関心のあるスポーツについて相談し、子供の特性に応じた競技をみつけることができる機会があると良いなと思った。 | 3 | 指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 396 | 9 | 県立中高一貫は今まで中高一貫の良さを活かして生徒主体(高校生が運営)で部活動等も活動してきたが、ここ数年顧問が連れてくる外部指導者により勝利至上主義のような形になっている。部活動の試合で勝つこと、功績を残すことも大事だとは思いますが、高校生と中学生の交流や高校生になった時に集団の運営力を培うことに魅力を感じ受検した家庭としては残念に思っている。部活動以外も生徒主体から教員の言うことを聞いて合格実績を伸ばす学校に移行しており、中高一貫校である意味が見出せない状態になっているように思う。 | 5 | 各学校においては、部活動の方針を策定し、当該方針に基づき部活動ごとに計画を立てて実施しております。各学校において、生徒にニーズに応じた適切な運営が行われるよう、県が作成した「神奈川県の学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 397 | 4 | 部活動は、顧問の先生が初心者であったり専門外であることも多く、運動部は特に厳しい訓練をしていても成績が伴わなかったり、顧問の先生の生徒に対する好き嫌いに委ねられることもあり反対している。地域の専門の人に頼ることはとても良いと思う。（部活動の参加が内申に関わるから入っている、もしくは辞められない子供も多かった）また、先生の負担も、授業準備以外での休日返上の業務はとても負担であるし、専門外のことを任されることも負担であると思います。休日返上し、訓練や自家用車で遠征に付き合うことにお給料も全然伴っていないと聞きます。現状の状態は辞めるべきだと思います。 | 3 | 指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 398 | 4 | 各学校にある部活を全部地域に移行することは難しい。クラブチームや地域団体が多い運動部は可能性があっても、文化部を地域移行という話題は聞こえない。地域指導者という職業が確立し、ある程度の報酬がなければ、先生方の負担を減らすことの実現は難しいのではないかと？教員の指導においては、人間関係、生徒指導、保護者対応、教育的なことも多く、だから地域移行も難しいのでは。部活動を先生が見続けるならば、先生方の仕事の負担をもっと減らすことはできないの？土日部活で休みなく働いている姿をみると、いつ休まれるのだろうと感じる。例えば、教員の数を増やす、一クラスの生徒の人数を少なくする、二人担任制にするなど、先生方の負担を減らすことを優先しないと、いつまでも進まない地域移行に、変わらない現状では、先生方がかわいそう。 | 3 | 教員の負担経験が図られるよう、関係団体等と連携して専門的な指導人材を確保するとともに、研修や資格取得等を通じて指導者の資質向上に取り組んでまいります。教員数は、義務標準法に基づく標準定数を標準として算定されており、増員は難しいと考えますが、御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 399 | 5 | 今回の地域移行の趣旨についてはわかりやすい資料となっていた。ただ、実施にあたり費用面はどのように変わるのか不明瞭だった。運営形態によって、利用できる国の支援についても変わってくるかと存ずる。住んでいる地域の自治体がこれからどの運営形態をとるかも分からず、各自自治体の方針も知りたいところである。また、実施にあたり、まずは休日の部活動について移行されていくようですが、やはり指導者と生徒のみの閉鎖的空間だとハラスメントの問題も起きやすいのではないかと。オープンな口コミサイトを運営事務局側で作成するなど、第三者の目が向きやすい体制を作ことを期待する。 | 3 | ○国のガイドラインでは、県や市町村は、地域移行の取組の背景や方針、具体的な取組の内容等を分かり易く周知することとされており、各市町村は方針等を策定することになると考えております。○活動の運営にかかる費用は、受益者負担が基本であると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して進めていくこととしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。○ハラスメント等の防止については、P15「指導者の確保」において、県及び市町村の役割に、地域クラブ指導者を対象とした研修の実施、参加や資格取得の促進等の記載をしており、指導者の資質向上に努めてまいります。 |
| 400 | 3 | 反対である。学校内での部活動を通じて仲間意識や助け合いの感情が育まれると思う。そこに教育現場での管理者が関わっていただくことで、子供達の成長が促せると思う。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 401 | 9 | 中体連という組織を変えない限り地域移行は難しいと思う。夏の大会についても熱中症になる可能性が高いのにそこでやる意味や意義はなんなのか、本当に子どもの事を考えているなら時期を変えるなりして欲しいと常々思っている。 | 4 | 外部団体の組織運営に関する御意見については、本方針に反映することはできません。なお、大会における熱中症対策は、主催団体が工夫しながら講じています。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 402 | 4 | お陰様で、部活動に熱心な中学に通わせていただき、大変感謝している。しかしながら、時間外、土日の先生の負担は大きいと思う。地域には、保護者含めて、そのスポーツに詳しい方がいる。仕事を持っている方もいると思うので、頼りきるのは危険ですが、ボランティアをお願いすれば、少し先生の負担が軽くなるのでは？と思う。もしくは、費用を支払って、部活動専門の方を雇う方法もあるのではないかと思う。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 403 | 4 | 地域移行したと仮定し、人件費の費用はどう賄うのか？特に専門知識がある人員に依頼すれば人件費かかる可能性があると思うが、どう考えているのか？そもそも地域で見られる人員の確保が可能なのか？足りなければ活動したくても出来ない部活が出てきてしまうのではないか？ | 2 | ○指導者の報酬は、受益者負担を基本とすることになると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。 ○指導者の確保に関する御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しております。 |
| 404 | 3 | 移動を伴う場合、様々な危険が伴うため、通っている中学でサービスが受けられるなら大賛成。学校の先生が関わる場合はきちんと手当を出すべきだし、休みたい時に休める仕組みづくりが必要だと思う。また、基礎体力づくりのための所属や、ヨガなどの柔軟性を上げるストレッチなども取り入れてほしい。試合に勝つためのだけの練習で、時間が勿体無いからと、準備体操も整理体操もしない部活に入っていて体のメンテナンスがすごく大変、体を壊した。エンジョイ枠をしっかり設けてほしい。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 405 | 9 | 指導者選びの際、学校もしくは地域に親族がいないなどの徹底をお願いしたい。よく、その人物について調査してから採用して欲しい。 | 3 | 指導者を選ぶ基準等については、各実施主体の判断となりますが、いただいた御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 406 | 9 | 地域のクラブチームでは、親の手伝いが必須である。平日練習、道具の管理、スケジュール管理、監督、コーチへの昼食の用意や、お歳暮、お中元、車出し、練習場所の確保、など。また、練習時にも付き添いは必須です。親の覚悟と掛ける情熱や時間、手間が違いすぎる。部活動の子どもたちの親も手伝い参加できるか？月謝は払うのか？クラブチームでも平日練習はあるし、レベルもスポーツに掛ける気持ちや情熱も違うと思う。クラブチームで一生懸命レギュラーをとりたくて日々自主練をしている状態である。部活動とはレベルが違いすぎるし、意識も違う。一緒に練習など、迷惑なだけなので、やめていただきたい。土日は試合や、練習試合がほとんど。部活動の子どもたちも試合に出すのか？連れて行くのか？とにかく子供だけを預けてスポーツする、ではない場所である。親の協力が必須である。クラブチームの親の負担が増えるように感じるのでご遠慮願う。 | 3 | 地域クラブ等の役割として、生徒の志向に合った活動や、誰もが一緒にできる活動を提供することを記載しており、周知を図るとともに、ニーズやレベルに応じた適切な指導を行えるよう、指導者の資質向上に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 407 | 5 | もうすでに、教員による部活指導は限界に来ている。昔からの軍隊式指導しかできない大多数の教員の元、今の時代に合っていない部活動が行われている。それを改善するきっかけになるのであれば地域移行は、賛成である。しかし、子供たちが通う学校では、部活動指導員や教員がハラスメントを起し問題になっている。それを校長以下素人の大人たちが、調査し説明を行っているので保護者には不満がたまっている。地域移行が進んだとき、教職員でない人物によって引き起こされたハラスメント問題に対応できるとは思えない。きちんとした法律家や調査権限を持った機関と提携しなければ、ハラスメントに合った子供たちが犠牲になるだけ。子供の部活動の発展のためには地域移行は必要。問題が起こった時にきちんと対応できる仕組みづくりが大切。 | 3 | 各地域クラブ活動運営団体・実施主体が活動の運営方針、年間・毎月の活動計画、活動中のトラブルや事故の対応を含む管理責任等を明確にすることとしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 408 | 5 | 先生達の負担を減らし、さらに学校生活の質が上がるならとても良い。ただ問題は費用の面で家庭の事情で入部を諦める子供が出ないようにする事。それが起こらないように所得制限付きの補助金や、費用の負担が少ない部活動の設置が必要。中学に入る前からずっと続けている習い事を続けたいが、その部活動がない。何かに入らないと内申に影響するから、という悩みもよく耳する。好きであっても特別な能力がなければ部活動に入らず外部での習い事を続けるという選択がしにくい。その環境も変える必要がある。例えば、校内部活動と校外部活動の2種類のカテゴリを作って、校外活動部（ダンス部、水泳部、空手部など）は、基本活動はそれぞれの場所でそれぞれが行い、例えば2ヶ月に1度など練習に影響がない範囲で集まって意見交換、近況報告、大会応援など、部にする事で仲間意識を持つのもすごく良い。校内校外部という第3の部を作るのも良い。サッカーなど外部のチームにも所属したいが、学校は毎日練習があるし、外部は練習日が少ないし、という悩みも聞く。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 409 | 6 | 移行は先生の負担をなくすので基本賛成である。ただ、民間からの派遣もお仕事をしてなかなか部活動に来てくれない、逆に熱心にみてくれる、指導の能力の差はどうなるのか。今現在でも中学においてよい環境を求めて越境する生徒がいます、先生の下宿も、これが義務教育の一貫なのかと疑問です。バドミントンなのですがチームで出ること今年から大丈夫になり、正直強い子集めて、これで、全国大会に行ったらどこの中学代表なのか全く意味がわかりません、そこまでお考えなのか？ | 3 | 県中学校体育連盟など各大会主催者によって、参加要件の緩和が進められています。生徒にとっては、学校で参加するか、地域クラブで参加するか、選択できるようになっていくと考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 410 | 4 | <p>部活動移行といっても各市町村で具体的な説明がない。学校に聴いてもあいまいな返事が返ってくる。中学校学区ごとに関連する地域スポーツ団体（少年団指導者等）に説明してほしい。方法としては、地域のスクールへ登録して活動することも考えられるが、上層部で話がいっているのかクラブチームが中体連の大会へ出場してもかまわないと言っているがどのような市町村の取組があって進んでいるのかが説明がない。現在、クラブチームが優勝するという現状もある。教職員は文句はないのか。中学校大会ではなく中学生大会と名称を変えたほうがいいのではないか。クラブチームと部活動では練習の状態も異なる。中には優秀な子どもが集まり大会を制覇する現実もある。各学校で人数が集まらない場合、合併して大会に出場させていくことが最初ではないか。課題は多いと思うが種目の中では、中学生対象の大会も存在している。部活動移行体制は中学校中心に流れているが、種目によってはジュニアスポーツにも影響があり組織体制を変えないといけない状態になる。</p> | 1 | <p>P15「地域移行を進める体制づくり」「協議会等の検討体制の整備」「市町村の役割」に、地域移行の取組を進めるに当たり、学校や地域等に対し、地域移行に係る理解を深めるための説明会等を実施することを追記しました。 なお、大会の名称などに関する御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 411 | 4 | <p>教員の学習指導と生徒指導への集中及び労働環境の改善のため部活動の地域移行に賛成。適法だからといって、こんなに働かせるのは人道にもとると思う。</p> <p>1 新聞の他地域の例。週に数回、数時間の契約では報酬が少なく、片手間で教える人（単なるそのスポーツなどの経験者でしかない定年後の人）しか参入できない。これではまともな指導を臨めない。</p> <p>2 実体験。中学生の自分の子供の地域移行したある神奈川県下のある市立中学との練習試合で目撃した。その指導者は道具をまるで体罰の道具のようにちらつかせ、自チームの生徒を罵倒するとんでもない人だった。指導法、生徒たちへの接し方、倫理などの教育が必要。「問題」を起こした場合は当然のこと、教育として不適切な指導をする人がいたらすぐに指導もしくは解雇することもできなくてはいけないと思う。</p> <p>3 予算が必要。教師を無償・激安で働かせてきたのだから、地域移行に適正な給料を出せば今より金がかかるのは当然。教員のまともな労働環境と生徒たちの健全な成長のために神奈川県、各市には頑張って欲しい。</p> | 3 | <p>地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修の実施し、指導者の資質向上の取組を進めてまいります。また、各地域の実情にあった地域クラブ活動の運営ができるよう、国に財政的な支援を要望してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 412 | 4 | <p>地域移行に賛成。以前の顧問の先生は業務があるからと子供達にメニューを言うだけで全然見に来ないのがほとんどだった。今の顧問もあまり見に来ないし、見に来たと思えば「俺は金をもらってないのにお前達をみてやってるんだ！！やる気がないなら帰れ！！」と毎回そう言って怒鳴る。子供達からは「金、金ってほんとうるさい！やる気がうせる」と数人の子から聞いている。先生の言い分も分からなくもないが、そんなお金の事を子供達に言うのは違う。親からしてもそんなふうに見てないのによく言うなあと思う。先生が見に来ないって、それは部活動をする意味があるのか？先週もすごい暑い日なのにまったく見に来ず5時間近くもやっていて、皆んなへろへろになっており、これは流石に熱中症も危ないと3年生が判断し解散をした事もあった。地域移行であれば、指導者の方の自覚が、先生が顧問としてやるのとでは全く変わってくると思うので賛成。</p> | 2 | <p>御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 413 | 4 | 先生が忙しく大変だとは分かるし、顧問をしてくださりありがたいと思っている。息子に話したら 顧問が先生じゃなくなるのは嫌だなあと saying いた。学校の先生だから相談とかもしやすいし 安心して頑張れると言っていた。確かに小学生の頃スポーツクラブでコーチが保護者だったのだが、自分が気に入った子には優しく接している様に見えることや嫌な事もあったので出来るなら学校の先生に顧問を続けてお願いしたい。 | 3 | 部活動指導が教員の負担となっている現状があることから、子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 414 | 4 | 中学校の部活動地域移行について、中学校学区ごとに地域スポーツ指導者に具体的に説明がほしい。各市町村ごとに異なる。学校に問い合わせても「わからない」という返事がかえってくる。地域スポーツに中学生が参加してスポーツ活動をさせることは賛成であるが、中体連の大会に出場するのはどうかと思う。顧問がクラブをつくり大会に出て優勝してしまうケースもある。ジュニアスポーツ出身でチームをつくとそのような状態がみられる。クラブチームと部活動では、練習時間も異なる。クラブ有利になる。中学現場の先生が声をあげてほしい気がする。種目によっては、クラブ大会等があり、その大会に参加している種目もある。課題が多いが市町村での中学校学区ごとに説明会を早急に開いてもらいたい。 | 1 | P15「地域移行を進める体制づくり」「協議会等の検討体制の整備」「市町村の役割」に、地域移行の取組を進めるに当たり、学校や地域等に対し、地域移行に係る理解を深めるための説明会等を実施することを追記しました。 |
| 415 | 7 | 多くの競技で既存のクラブに中学生から入れないケースが多い。レベル、保護者の協力、場所の確保など様々な問題がある。入れる場合はある程度のレベルを要求され、中学生から競技を始めた子が入れるチームはないとあってよい。学校の部活動ごとにクラブを作るケースがあるが、クラブチームがある学校とそうでない学校があり、公平さに欠ける。クラブを作り、練習を増やすと競技レベルの差が開き、勝利至上主義を加速していると思う。従来通りクラブで競技をしていた子を中学校が大会出場を認めるケースについても、引率の先生を派遣できないという理由から、出場できない不公平なケースがある。大人の都合で子どもたちが不公平な扱いを受け、誰のため大会か疑問に思う。クラブチームでの出場に関しても市町村により異なり不公平だ。人数の制限や各種協会の登録費など、市の大会に出るだけで登録が必要となりクラブだけ要求されるのも不公平である。クラブチーム団体戦の出場を認めてしまうと、クラブチームに強い子が集まってしまい、本来の部活動の目的すらわからない。レベルによる入部制限、部活の有無、練習場所と全ての環境が整わない事には疑問に思う事ばかりだ。 | 3 | 県中学校体育連盟の主催大会への地域クラブ活動等の大会参加要件の見直しが行われておりますが、不断の見直しについて、働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 416 | 9 | 公立中学校の先生の負担を考えると部活動の地域移行は賛成だが、田舎で指導者が確保できず地域移行が進まない地域は子供達が運動できる機会が少なくなる懸念がある。地域移行はスポーツチームが多くある都市部が有利になるので、地域格差が生まれ、都市部への人口集中の要因になりかねる。地域移行ができない地域は、複数の中学校が合同で活動し、各校から複数の顧問がローテーションで子供を指導するなど、一人の顧問の負担を減らす工夫が必要。また週末手当や時間外手当に相当する管理休暇が取れるなど、先生への待遇を変える必要もある。 | 3 | 現状として、部活動指導が教員の負担となっており、軽減するためにも部活動の地域連携や地域移行の取組を進めて行く必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 417 | 4 | <p>外部の方が親としては安心だし、コンタクトも取りやすいと思う。今はボランティアで学校の先生が週末もご指導くださっていて、感謝はありつつ、要望できない複雑な気持ちがある。公立の先生の中には、昭和生まれの私たちがやっていたような古い練習法をされており、無駄にあり得ないほど泥だらけで、膝も擦りむけて帰ってくる。そこまでやらなくても上手くなるはず。泥まみれになれば頑張ってる、みたいな指導があるようだ。また対戦相手の指導者にモラルがなく、対戦校の監督に我が子は侮辱されていて辛くなった。暴言はせめてチーム内でおさめてそこで議論してほしいけれど、その指導者も公立の先生で最近の指導法は理解されていないのでしょうか。スケジュールもなかなか出て来ず。ある程度、親の支え合って（週末の早朝の対応や度を超えた泥の洗濯）部活動も成り立っているの、保護者と部活動の指導者との連絡はスムーズであって欲しい。外部の方だと、専門にされているから、このような思いをすることもなく、またあったとしてもご相談できるので安心である。</p> | 3 | <p>地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修の実施し、指導者の資質向上の取組を進めてまいります。また、保護者が安心して地域クラブに子どもを任せられるよう、活動に係る費用や健康・安全面、緊急連絡先の確認等、保護者との適切な連携体制を整備することとしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 418 | 9 | <p>中学生の時期の部活動は、親以外の大人とのつながり、年単位でなく関わりを持ち指導してもらえる貴重な機会だと思っている。親からの自立の一步として、部活動の機会を捉えてもらえるなら、どんな環境でも良いと思うが、やはり先生に指導してもらえると、生活状況と繋がりをもって関わっていただけるので、その方がよい。先生も部活動の指導の意欲を持って、この職種につかれる方もいらっしゃるかと思うので、そこは考えていただければと思う。</p> | 2 | <p>御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「市町村の役割」に記載しており、希望する教員が指導できるよう取り組んでまいります。</p> |
| 419 | 5 | <p>競泳をしている中3の息子が、まさにこの地域移行という名の民間クラブへの丸投げ？への改革状態に巻き込まれ、過渡期とはいえ複雑な心境である。中学校先生方のお仕事の大変さ、理解しているつもりである。絶対にお仕事を他に振り分けるべきだとも思っている。しかし、競技が上手い子も下手な子も地域の子も達と一緒に活動し、お互いを理解し、上下関係など人間関係も学ぶ部活動の場を民間のクラブへお願いするのはいかがなものかと思う。民間クラブの1番の目的はクラブの懐が潤うこと、そのようなクラブは、クラブの名を上げるために子どもの気持ちを考えず、大人の都合でただ勝てばいいという指導になるのではないか？上手い子ばかりが目され、下手な子は嫌な思いばかりするような中学生への指導は正しいのか？そして民間クラブのコーチは教育者としての資質があるのか？もう一度部活動をする意味を考えて欲しい。民間クラブのコーチに中学校の部活指導をお金が払ってお願いするなら理解できるが、クラブチームの名前で全中出場など、中学校の大会ではなくクラブチーム対抗戦をするようなものである。</p> | 3 | <p>地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修の実施し、指導者の資質向上の取組を進めてまいります。また、子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができるよう、発達段階やニーズの多様性を踏まえた、持続可能な活動の環境を整備してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 420 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・放課後のみの委託？ <p>放課後、試合、すべて地域の方が引率するのか？サッカー一部は、土日試合も多いが。中途半端だと子供達が混乱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術のあるコーチに教えてもらいたいが、入部は月謝にもよると思う。 | 2 | <p>御意見については、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「学校の役割」及び「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。また、費用に関する御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」「市町村の役割」に記載しており、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 421 | 9 | ジュニアが入ると初心者が勝てなくなり、バドミントンの人口が減ると思う。中学生の場に小学生は入れないでほしい！ | 3 | 大会の運営方法については、各主催者が判断することになりますが、必要に応じて、改善について主催団体に働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 422 | 8 | 地域での活動へ移行することには賛成だが、部活動として合理的で、生徒に過度な負担がかからないように学校側が配慮できる体制を整えてほしい。例えば、入部退部の自由を保障するとか、金銭面の負担について教育委員会が関与するとか、ハラスメントなどの訴え先の明確化などを対策して欲しい。地域に移行すれば、学校にない活動に参加を希望している生徒は選択の幅が広がるし、野球やサッカーなど多数のチームから所属したいチームを選べる利点があって良いと思う。また、部活動自体に参加をたくない生徒もいると思いますので、学校内の活動に限らなくなれば、不所属の生徒さんも帰宅しやすくなって良いと思う。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。また、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「市町村の役割」に、様々なトラブルに対する相談体制を構築する旨を記載しております。 |
| 423 | 5 | 要領の得ない長い素案で分かりづらい。教師の残業や負担軽減が目的なのに「生徒のため」と回りくどいためにこのような素案になるのか。チャートで教師に意欲があり、バランスよく出来てるなら現状維持と、改革とねじれが生じている。今年、子供の部活動の顧問が代わり、まさに改革が始まるので！と「国からの指示で、守らないと私が校長から罰せられる」と保身ともとれる形で1日2時間の活動となった。この素案通りの改革を振りかざし「クラブチームや公民館で追加練習すればいい」と。お金の負担には黙り込み、特に地域との橋渡しをすることもしない。移行期間なら地域と連携を取って欲しい。部活動は時短にされたが、地域のチームを紹介など移行のために努力することは学校からなかった。地域での活動の移動も検討中、お金の負担がかからぬようにと言いつつ検討中。何も決まってないので、その点は改善ししっかりと対応策を述べて欲しい。教師によって2時間の部活動の定義も違う。準備、片付けを含めて2時間とする部活動、別にして練習のみに2時間を費やす部活動。教師も理解出来てない素案、分かりやすくして欲しい。 | 3 | P23「学校部活動及び地域クラブ活動の環境整備に向けた検討フロー」の「図検討フロー」における「現状維持」は、地域の実情により外部に移行することが困難な場合には、無理な移行によって生徒の活動に影響が出ないように、当面の間は現状維持とし、中長期的に検討を要することとしています。その間にも、外部指導者を活用するなどして、生徒活動の保障、教員の負担軽減等の取組を行うこととしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。また、部活動の活動時間については、市町村単位で方針を策定していますので、市町村教育委員会に定義を確認してください。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 424 | 4 | <p>合同部活動の可能性があるならサッカーや野球は市でチームを作り練習しやすい場所を確保する。クラブチームでも部活でも内申は平等にし結果が出なくても努力を認める。県内のスポーツ教室、クラブチーム、文化団体（自治会の保存会等も含む）を全て記載された冊子を作り小中学生に配る。その冊子で興味があるスポーツ、文化団体を見つけ小学生もしくは中学生から始める。部活に入らなくてもスポーツ、文化団体に所属していれば部活をしていることにする。幼児期や小学生から始めたスポーツや文化系の習い事は部活を考え小学校卒業で辞める子供が多くもったいない。幼児期や小学生から始めたスポーツや文化系の習い事は中学、高校、大学へ進級進学しても同じ団体で続けられる様にし、下の学年の手伝い等しながら資格を取り将来の指導者も同時に育成する。クラブチームのセレクションは小6の早い時期から始まり、家族で考える時間が必要なので小学生の保護者にも知らせる必要がある。楽しく部活動をしたく部活へ入部したが、勝負したい。と考えを変えた子供の為にクラブチームへの移籍のチャンス（セレクション）を与えるかクラブチームからのスカウトがあると良い。</p> | 3 | <p>御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 425 | 5 | <p>現在他県での部活動の地域移行に関わっている。現行の部活動をそのまま外部のスポーツ団体に任せる、というのはこれまでの学校部活動の責任の重さが著しく、すんなりとは進まないという実感がある。これまで学校の先生方が苦勞して担ってきた部活動という業務はそう簡単に第三者が担えるものではない、というのは学校側も外部のスポーツ関係者もわかっているはずで、その活動の規模や参加人数など、ボリュームを縮小しなければ地域のクラブ等では対応することが難しいと思う。現行の部活動の形でそのまま外部に移行するのではなく、地域のスポーツ団体や民間事業者が実施しやすい形態での活動の展開をまずは行う必要がある。特に中学校は全生徒が何かしらの部に入らなければならない、とする学校が多い印象だ。現行の部活動を整理し（人数の少ない部活動は他校と合同になるような受け皿を作り移行するなど）、興味関心の湧きそうなプログラムを外部に用意し、段階的に学校から外部へその活動を移すような工夫が求められていると思う。</p> | 3 | <p>御意見のように、地域団体や民間事業者が実施しやすい方法など、各地域の実情に応じた手法により、段階的に取組を進めて行くことが大切であると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 426 | 4 | <p>現状で1番解消したい問題は教員の土日の負担の様に思われる。その解消にあたり、部活動をどう捉えてどの様な位置付けにするかが素案の中で非常に曖昧なように感じた。専門性の高い指導だけ外部のコーチに依頼して、土日の試合の引率は顧問を決めず輪番制で行うなど工夫すれば、学校の枠の中の部活動としてもやり方はあるように思うが、各部活ごとにその方針にした場合お金がかかりすぎるように思う。個人的には、民間に委託し、学校単位ではなくある程度のまとまりでチームを作った方がレベルも高くなり受託する民間会社の利益にもなる。学校の枠を超えた友人関係ができるのはとても良いと考えている。</p> | 3 | <p>御意見のような方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 427 | 9 | <p>とてもいいと思う。</p> | 5 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 428 | 4 | 生徒の安全面へ最大限の配慮をお願いします。行きすぎた指導による怪我やハラスメントの防止措置、女生徒へのハラスメント防止といった対策及び指導人材の選定、トレーニング徹底をお願いします。 | 2 | P15「指導者の確保」において、県及び市町村の役割に、地域クラブ指導者を対象とした研修の実施、参加や資格取得の促進等の記載をしており、指導者の資質向上に努めてまいります。 |
| 429 | 4 | 地域の方といっても、部活の専門性もあり一定の資格は必要と思う。また、顧問の先生とは現在信頼関係もあり、引き続き先生の指導は大事になってくる。将来、中学の先生になりたいと思っている子の中には、部活の顧問をやりたくと希望しているという点も重要だと思う。先生達の意見も尊重して、負担のない範囲で引き続き指導してほしい。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。なお、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能であり、規定や運用の改善について周知を図ってまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 430 | 5 | 中学校教諭の時間外労働が社会的問題になっており、部活動の地域移行には賛成。小学生のサッカーやラグビーチームなどは地域の父兄で運営しており、とても円滑かつ熱心に運営している。すでに活動されている運動チームの地域の活動の様子をヒアリングするのはどうか。 | 3 | P14「地域移行を進める体制づくり」「協議会等の検討体制の整備」「市町村の役割」にアンケートやヒアリング等を実施し、保護者や子どもたちのニーズや課題の把握に努める旨を記載しておりますが、好事例等の把握にも取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 431 | 9 | 女子バレーボール部に関して、バレー部顧問は部活説明会時、神奈川県バレー協会理事で中学選手選抜を選ぶ権利を持っていると説明。当時、本来の学区ではない中学から通い、学区内に住所を移し、居住しているかのようにし、実際は毎朝親が送り迎えをしているという現状であった。校長も把握のはず。秋頃に保護者が急に開かれ、顧問、校長、教頭との質疑応答があったが、集められた保護者は何の集まりかも聞いておらず、保護者が始まるや否や、顧問がバレー部なら髪を切れ！勉強なんかしなくてもいいからバレーをやれ！など生徒に言った事を謝罪し始めた。女子バレー部は皆一斉に髪を切りました。校長は学区内から通っているか調べて報告する。と言って未だ報告なし。学区の意味は？本来のバレー部の生徒の心のケアは？ | 5 | 方針に関する御意見ではありませんが、該当する市町村に情報提供しました。子どもたちの多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。 |
| 432 | 5 | 外部の監督の力量や信頼関係によるが、全て外部委託になるのは反対である。 | 3 | まずは休日の部活動指導等の負担を軽減することとしており、当面は平日の部活動には教員が関わることを考えております。また、地域クラブ指導者を対象とした研修の実施、資格取得の促進等により、指導者としての資質向上に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 433 | 5 | 川崎市立中学校の吹奏楽部でお世話になっており、部活動の地域移行に賛成である。運動、芸術といずれも専門性とそれらに取り組む熱意や時間を考えると教科や学級担任を掛け持つのが難しいというのは理解できる。中途半端にそれらと働き方改革を進めることで子供のお世話になっている部活では練習日は減られ、先生は指導に来ない、それらの影響か子供たちも全然本気でない。コンクールの前々日に部活動がないなど、時代の変化なのか。そんな部活動で子供たちの貴重な時間をただらと使わせることが非常に非効率に思われる。費用が掛かるとしたら、予算を組んでほしい。ただ、部活動によっては遠征など普段から負担している家庭もあり、習い事同様、親家庭に時間的・金銭的余裕がないとその機会が与えられないのはあってはならないと思う。 | 3 | 保護者に過度な負担とならない適切な会費設定や寄付を受ける仕組みづくりの検討等、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 434 | 4 | 部活動の部員数も全体的に年々減少傾向にある。大会にもクラブチームの参加も増えているため、部活動というものを廃止して地域移行できるとよい。また、専門分野でない競技を教えるのは負担であり、技術指導が行われないことが子どもたちの不安感にもつながるので、専門知識を持った人が技術指導を行える環境を作るべきだ。 | 3 | 現状として、部活動は学習指導要領に位置付いた教育活動であり、廃止はできませんが、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 435 | 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・クラブチームと部活の良い面、悪い面を把握して、お互いを認め合う学生生活を送って欲しい。 ・いつでもクラブと部活の方向転換できる体制を希望。 ・チームスポーツの大会は参加団体を増やす為にクラブチームと部活の混合大会は必須だと思うが、個人スポーツ大会（卓球、テニス、水泳等）はクラブチームの子供達が参加するとタイトルを全て持っていく可能性があるため、部活の子供達の活躍するチャンスが無くなる事が心配。 ・競技の特徴に合わせた大会方法で開催して欲しい。 ・子供が楽しく学生生活を送り努力し前に進み立ち止まりお互いを認め合う、そんな沢山の経験ができることを願う。 ・子供のために保護者として部活改革と働き方改革に協力していきたい。 | 3 | 大会の運営方法については、各主催者が判断することになりますので、本方針には反映いたしかねますが、御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 436 | 4 | 先生の意見を1番に考えてほしい。部活動に熱い志をもつ先生もいる。部活動を教えたくて先生になった方にとって、日頃の業務が忙しくて時間が取れないならば、日常の業務改善を希望する。外部委託も取り入れて部活動を存続する希望が先生からあれば、柔軟に対応してほしい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「市町村の役割」に記載しております。 |
| 437 | 4 | 是非、各分野の専門家による指導者を部活の顧問監督者にしたい。猛暑や各生徒の身体的特徴、スポーツ医療に詳しい循環器など理解した専門家に子どもの生命を託したい。教員は、先生であっても、各スポーツや文化分野では素人だ。安全性面では、医学的知識や対応能力を持たない方に我が子の命を預かってもらうのは、怖い。科学的でないトレーニングや練習で、全国で痛ましい死亡事故や後遺症など後を絶たない。これ以上、運動や文化分野の素人に事故を起こして欲しくない。 | 3 | 指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 438 | 8 | 部活動の選択肢が増えるのなら賛成である。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 439 | 9 | <p>藤沢市在住である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市にこんなにスポーツ少年団があることを知らなかった。地域移行するなら、今の段階で部活動とクラブ少年団を比較検討して入れるように情報を同じ土俵で公開して欲しい。 ・サッカーなどは、昔と違い、中学校から始めていい雰囲気ではありません。スポーツはいつからはじめてもいいという雰囲気にもって欲しい。 ・地域移行後、体験入部や転部がしやすいような環境を求める。 ・今までの部活動は種目を特化していた。運動が好きだがいろいろやってみたい子供向けのなんでも文化部、なんでも運動部みたいな部活を設置してほしい。究める必要はないが、いろいろチャレンジしてみたいという子もいるはず。(昔からなぜ日本にはないのか疑問だった) | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 440 | 9 | <p>部活動の地域への移行に関しては非常にいいことだと思う。その上で配慮してほしいことがある。まず、娘が中学校の運動部をやっているが、活動の時間に問題がある。プロの運動選手でも1日のトレーニング時間は2時間程度だと思う。今の活動は休日に4時間など長くなっているのが気になる。運動部の場合、時間がとられすぎるというのも活動をする人が少なくなっている要因の一つだと考えられる。また、何故時間がとられるとやらなくなるかというと、現状で塾に通う子が大半となり、活動時間が長すぎて塾にいけなから運動部に入らないということも起きている。部活動を自由にできる環境を作るうえでも、指導をする人の負担を考える意味でも活動時間を短くすることを考えてはどうか？</p> | 3 | 部活動指導が教員の負担となっていること、競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保する必要があることから、適切な活動時間の設定が必要です。各学校において部活動が適切に運営されるよう、県が策定した「神奈川県の学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 441 | 9 | <p>1 できる限り速やかに移行すべきである</p> <p>2 教員不足や教員の過重労働、休日勤務など、以前から教員の労働改革が一向に進まない現状である。実際、部活動が教員の本来業務を圧迫しており、放課後はもちろん、休日も部活動やそれにとまなう大会などに参加することにより、休める日がないことはもちろん、質の高い授業ができていないのではなからうか。また、部活動は熱中症や怪我などかなりのリスクを伴うにもかかわらず、責任が教員に偏っており、手当も低いことから、部活動を積極的に担当する教員は激減するばかりである。教員個人の自己犠牲の上に成り立っている現状の部活動の在り方は大きな問題であり、またそれをいつまでも放置している国、県、市、各学校管理職の怠慢であることは明らかである。教育委員会等の行政が積極的に進めなければならない最重要課題の一つであるとともに、各学校管理職は、自分たちが一教員のときとは明らかに時代が違うという認識を強く持たなければならない。神奈川県は特にSDGsに力を入れているが、持続性のない現状をいつまで続けるつもりか。若い人が将来教員にないと思う労働環境になるよう強く望む。</p> | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 442 | 5 | 教員の負担を考慮すると外部委託するべきである。無償の奉仕等時代遅れであり、他の先進国は学校とクラブ活動は別として考えられている。懸念事項として特に競技においては勝利至上主義とならないよう注意すべき点もある。部活動という観点から生徒の成長を促すための活動であるので、勝利を目指すことも重要ではあるが、ここだけに囚われることのないように注意が必要だと思う。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択できるよう、方針は取組の方向性を大枠で示すこととしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 443 | 8 | 全ての部活動ではなく、希望制にした方が良いと思う。 | 3 | 当面は地域への移行が可能なところから順次取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 444 | 9 | コロナ前の状況に戻していただきたい。そして、子どもたちが有意義な生活を送れる場として取り組んでいただきたい。 | 5 | 子どもたちのスポーツ・文化芸術等活動の環境作りに向け、地域移行の取組を進めてまいります。 |
| 445 | 9 | 部活動の顧問をすることの負担が、教員のなり手不足や授業の質の低下などに繋がっているとしたら、早急に解決すべき事案であると感じる。多少部活動に関する費用が今までより上がったとしても、もともとただ同然で指導を受けられていたこと自体が特殊なことだったということを社会全体が認識をする必要がある。同時に、外部指導員に委ねることになった場合に部活動の在り方が変わってくる可能性があることについて学校側も保護者側もしっかりと自覚する必要がある。前まではこうだったのにとすることは当然発生するし、双方がそういったことに対して寛容でないと、何かあるとすぐ叩くといったようなことがあれば、今度は外部指導員が集まらなくなることをしっかり理解しておく必要がある。一方で、教員は負担が減る分、授業の質などが向上していく必要があるというのは言うまでもなく、ただ部活の顧問やらなくてよくなったからラッキー、とだけならぬように、授業内容の評価方法なども見直すべきと感じる。教室内での授業に対する評価体制というのはあまり確立できていないのではないかと思いますので、これを機にそういった仕組みもぜひ構築していただきたい。 | 3 | 授業の評価方法等については、本方針に反映することはできませんが、部活動の地域移行に係る理解が進むよう、周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 446 | 4 | 先生方のオーバーワークなどには本当に頭が下がる思いである。しかし、頑張ってくださいている先生方の手助けをする形で、私は子供達の部活動に保護者として関わっている。先生方にしかできない部分もあるかと思うが、保護者もお手伝いできることはあるかと思う。今、我が子は吹奏楽部ですが高2の息子は「自分も吹奏楽部で指導したい」という夢を持ち今、高校教師になるべく勉強に励んでいる。しかし、この先部活動が外部の方に委託となると我が子の夢は叶わず、心配である。臨機応変にできるのが1番理想的かと思う。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しております。 |
| 447 | 4 | 地域に移行して変な顧問が減るならとてもいいと思う。 | 3 | 地域クラブ指導者を対象とした研修の実施、参加や資格取得の促進等、指導者の資質向上に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 448 | 5 | 地域連携できる部活動とできない部活動の差が出てきそう。地域連携で費用がかかることになりそうなので、ひとり親など低所得の家庭だと部活に入りたくても入れない、などないよう配慮をお願いしたい。車を所有してないので、練習場所まで車でないといけない場合など送迎があるとありがたい。 | 2 | 御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」「市町村の役割」に記載しており、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。 |
| 449 | 8 | 教師の負担軽減になるのであれば、地域移行も良いと思う。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 450 | 9 | 部活動に関して、今現在中学校にてスポーツの部活動に子どもが所属している。先生方の多大なご尽力のおかげで、日々勉強との両立を含めて楽しんで参加している。部活動のあるおかげでスポーツにも邁進出来、そのためのサポートスクールにも通って部活動での活躍を目指している。部活動を頑張る事で、勉強にも休みやる気を持つことが出来たり、志望校も部活動が強いという視点から視野を広げて目標校を掲げている。引き続き、子どもたちの心身の健康も学力向上のため部活動を継続して頂きたい。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。なお、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 451 | 3 | 私は学生時代運動部に所属してたため、その残りの筋力と体力で日々の業務をこなしている。貴重な財産なので、今後も子供たちが自由に選択出来る制度をお願いしたい。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しております。 |
| 452 | 5 | 部活動が土日(大会等含め)行われることにより休みが確保されず、平日の通常業務に支障をきたしている。悪循環である。平日では、私は特別支援学級の教員だが、通常級の教員と比較すると授業の空きコマというものもなく、常に生徒から目を離してはならない状況の為、一度も椅子に座ることのない毎日である。そして支援級の生徒下校後は、すぐに部活動があるため、ひと息つく暇もなく部活動へ向かう。部活動解散後、職員室に戻るの大体19時。そこから授業準備等の本来の業務にあたるため、職員室を出て自宅に帰宅するのが22時を過ぎるのが当たり前である。こんな生活を続けていたら、人間潰れる。この現状を知って、教員になりたいと思える若者はいるか？部活動は、教員の中でも「部活動を持ちたいか、持ちたくないか」希望制を取り、そこで部活動を持ちたい、やりたい人だけが行うのがいいと私は思う。そして残りを補うような形として、地域移行という専門的な知識を持つ人たちの力を借りることが教員への負担を軽減し、本来の教員としての業務に集中し、生徒一人一人に目を向けられる時間が確保できるのではないかと思います。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 453 | 4 | 私の姉が横浜市の中学校で教師をしていて、バドミントン部の顧問をしている。とにかく忙しそうで、大変そうである。休日にも自由に時間を使わずに、部活動の指導をしている。姉はなんだかんだで楽しんでいるようだが、若い先生はかなり大変な状況らしい。私も小学校で教員をしているが、日々の忙しい業務と部活動の顧問を考えると考えたら、ゾッとするとし、教員として続けていける自信はない。昔は部活動を教えたいから中学の教師になりたいと思うこともあったが、家族ができた現在は絶対に中学校に行きたくないと思うようになった。学校はもっと地域を巻き込んで運営していくべきだと思う。それぞれの分野でプロフェッショナルがいると思うので、部活動も外部委託するべきと考える。教師が部活動指導する時代はとっくに終わったと思う。もちろん部活動の顧問をしたい教員もいると思うので、やりたい方にはお任せしては良いのではないかと考える。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。 |
| 454 | 8 | 部活動は今後友達との関係など築く機会だったりするので自分たちで選べる環境にしてあげて欲しい。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 455 | 8 | 教員の負担が減るのであれば仕組みをきちんと作って地域に部活動を移行してほしい。放課後や休日の業務の負担が大きい。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 456 | 4 | 指導者を決める時はセクハラパワハラなどハラスメントが起きない仕組みを初めから盛り込んで欲しい。指導者を外部から選考した時に教わる側がどうしても弱くなるので、昨今ニュースで良くみるように変な人が先生になってしまった時に何人かで、監視出来るような仕組み、いつでも変更出来るオープンな仕組み。反対に悪い事をしていない、先生が守られるような仕組み。保護者の負担が増えるのであれば土日に子どもは部活動しなくて良い。大会もしなくて良い。地域で活動しているのは高齢者ばかり、地域に移行したとして誰もやらないのではないか？いやいや引き受けたら、活動が適当になり事故が起きないか？したく無い事は辞めてしまえば良いのでは。 | 3 | 地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修の実施し、指導者の資質向上の取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 457 | 3 | 部活動の業務は教員の仕事ではない。教員の負担軽減、労働時間削減のためにも部活動の地域移行には賛成する。 | 2 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 458 | 8 | ・教員の負担軽減、超過勤務は正が当初の目的であったはずだが、素案を見る限り、負担が増えている（外部指導者との連携や報告、地域クラブ参加生徒の把握、地域クラブ等の相談窓口）。 ・部活動として活動がない競技や活動への配慮がない。例えば、コンクールへ参加する場合、吹奏楽部なら公欠扱いだが、ピアノ等個人参加するコンクールは欠席扱いとなる。部活動に対する優遇を是正してほしい。 | 3 | 学校教育の一環として生徒が参加したと認められる場合には、校長が公欠の扱いとすることもできます。なお、部活動は学習指導要領に位置付いた教育活動の一環であるため、公欠として扱っているものと認識しています。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 459 | 4 | 指導を委託するだけではなく、子どもたちの成長に寄与できる体制作りをして欲しい。 指導を委託したが、学校施設を利用するために、結局休日出勤することになっている現状をしっかりと認識して、改革に取り組んで欲しい。 | 2 | 御意見については、P17「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「市町村の役割」に記載しております。 |
| 460 | 6 | 体操の県大会を観てきた。昨年度よりはるかに増えたクラブチームの参加で、これはクラブチームの大会ではないか？と思わせる感じがした。この大会を中体連がなぜ学校の先生が運営してやらなければならないのか、先生方が気の毒だった。全く学校で練習していない、部活動でもない種目である。おかしいと思う。大会は、学校で活動している種目だけで良いのではないか？ほとんどクラブチームで練習している水泳や体操は、クラブチームの大会があれば良いのではないか？ | 3 | 大会主催者が定める参加資格等に関する内容のため、方針には反映できませんが、今後の地域クラブの参加状況やニーズ等に応じ、必要に応じて改善については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 461 | 4 | 地域コミュニティのなかで、学校・学年・年齢を超えた関わりをもつきっかけになるので良いと思う。コーチ・プロフェッショナルな立場の人に教えてもらうことで、有意義な経験になる。 | 3 | 指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 462 | 4 | 地域に移行していただき学校の負担を減らし、先生方には授業を充実させていただきたい。部活動をやりたくなくて仕方なく顧問を持つ先生がいた。やる気はなく、保護者が手伝うにしたり手伝うと伝えた保護者の子どもに嫌みを言ったり、雰囲気がとても悪くなった。生徒には部活動を休むなと言うが、顧問本人が部活動に全然来なかった。先生の態度や行動により生徒のモチベーションもダダ下がり、部活動に参加しなくなる子も出た。生徒にとっても先生にとっても保護者にとっても最悪な出来事だと思う。こんなことになるなら顧問を持つのを拒否していただきたいかった。持つなら覚悟を決めて最低限の事はやってほしいし、保護者の好意もうやむやにしないでほしかった。こんなことがこれからも起きるくらいなら地域に移行してほしい。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 463 | 4 | 専門の方に教わってレベルが上がるなら 外部の方に教わるのもいいと思う。 | 3 | 指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 464 | 5 | 地域の方にお支払いをしてでも、専門の方に指導していただきたい。そうでないと、専門のジュニアチームに入らなくててはならない。仕事していると送迎も難しい。中学でお支払いしたい。 | 3 | 指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。いただいた御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 465 | 1 | 保護者としてお手伝い出来るなら運動不足解消の為にもぜひやってみよう。 | 3 | 指導者の確保については、保護者等様々な関係者を想定しております。いただいた御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 466 | 9 | うちの学校のバレー部はもともと弱小校だが、去年強豪校の先生が赴任してきて、その先生についていった生徒が今の1、2、3年合わせて13人来た。それで急にうちの学校が強くなって、もともといた生徒がめちゃくちゃ不満を持っている。その先生や生徒が来たせいで部活の活動方針が変わったり、支配されるようになり凄いブラックになった。住所を学校近くのアパートを借りて住んでる風にしてるだけで、本当の家は結構遠くにあって毎日親に送り迎えされてる所をよく見る。 | 5 | 方針に関する御意見ではありませんが、該当する市町村に情報提供しました。子どもたちの多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。 |
| 467 | 9 | 部活地域移行賛成する。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 468 | 5 | 中学校の部活動の地域への委託は賛成だが、部活動にかかる、物品やユニフォームや練習着、遠征費がかなりかかっている。地域へ委託した場合、今よりも費用がかからないことを願っている。もしくは任意でやりたい人だけにしたい。費用以外にも応援への参加もノルマのようになっており片親家庭にはかなり厳しく感じている。 | 3 | 保護者の負担については、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」に記載しておりますが、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 469 | 3 | 部活動の地域移行は基本的には反対である。先生の負担は分かるが、学校での活動だからこそ先輩、後輩、顧問の先生との絆や信頼関係が出来て、大人になっても地域を愛する気持ちが育まれると思う。4代になった今でも集まるのはクラスの仲間ではなく、部活の仲間でもある。3年間毎日会う仲間(同級生、先輩、後輩、顧問)とはやはり色々良い事も悪いことも乗り越えた経験値が違うからである。親としても放課後に学校外に活動しに行くよりは校内で活動してくれていた方が安心。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 470 | 9 | クラブ活動へ移行することはあまり賛成できない。仲間を作るための部活動で十分だと思う。昔よりも今の子供達は、塾に通い平日はハードスケジュールに思える。部活動がクラブ活動になると、平日休みもなく、土日も遠征で朝からといった話をきく。その活動をしたくないものが部活動ではなくクラブ活動を選び入会すればよく、部活動は、土日は完全に休み、平日は週1から2回休みを作る感じで行うでも良いと思う。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 471 | 5 | 子供達がやりたい部活動が廃止になり、クラブチームに行けたとしてもかなりの腕前がなければ試合に出れる確率はほぼ0である。高いお金を払い必死にクラブで練習したとて出なければ子供達もやる気はなくなる。大人の都合で本当に悲しい思いをするのは子供達だ。少しは考えてもらいたい。クラブチームにも人が溢れてもっと難しくなると思う。 | 3 | 地域クラブ活動において、生徒それぞれの志向に合った活動や誰もが一緒に参加できる活動を行うこととしておりますが、運営に当たり配慮するよう働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 472 | 8 | 地域の外部協力者の利用には賛成である。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 473 | 6 | 大会運営に関して、現状は夏の一番暑い時期に地区総体、県総体が行われており、暑さ指数が31を越えても日程の都合があり、大会を中止することができないでいる。運動中止のほすなほに、運動をさせ、熱中症で倒れるプレーヤーだけでなくスタッフ、観客がいて、重篤な後遺症など残ってしまったら取り返しのつかないことになる。すでに他県では夏の部活動での対応に不備があり、学校を相手どって長きに渡って裁判で係争している例もあり、神奈川県でそのような事態を起こすわけにはいかない。総体の時期をずらすか、またはずらせないのであれば、スポットクーラー等の購入の補助を県が負担するなど、財政面での支援をすることを明記すべき。 | 5 | 本方針は地域移行に係る取組の考え方をまとめたもので、熱中症対策に関する御意見は、方針に反映することはできません。なお、県中体連主催の大会においては、様々な熱中症対策が行われています。 |
| 474 | 5 | 子供の部活動の様子を聞いていると、部によって顧問のスキルが大きく違うので専門スキルを持った指導者に当たるとそうでないのとでレベル差が大きく、そのスポーツのやりがいにも関わってくると考える。また、顧問が属人化していて、偏った考え方の指導者がおり、臍負もよく聞く話で、子どもたちの間でも、納得が行かずモチベーションも下がっていた。以上などの理由から土日だけでも地域のクラブなどに委託するのは賛成である。その反面、学校以外で活動するとなった場合、行き帰りの安全性や、出欠連絡など不安な面もある。 | 1 | P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に、地域クラブ活動に参加する際の出欠連絡や緊急時の連絡の対応について追記しました。 |
| 475 | 8 | 神奈川県で教員をやっている者である。普段は土曜か日曜どちらかは練習で、大会のシーズンになると土日両日で1日の勤務となる。つまり、換算すると週7の連日勤務、最悪の場合は週14以上の連日勤務となります。これは当たり前のことなのか。二言目には「子どものため」と言うが、まずは「教員のため」も考えてもらえないか。部活完全移行、そしてそこには引率も大会運営もなし。平日の部活動のみ。こちらの考えを是非とも徹底していただき、良き知らせを待っている。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 476 | 3 | 自分の娘が今現在所属している部活動はまさに顧問がそのスポーツに関して初心者である。先生なりに頑張ってくれているとは思いますが、技術的な事を教えてくれることは全くと言っていいほどない。中学校で初めて、やりたかったスポーツがやれると意気込んで入部したが、ボール拾いで半年が終わり、その後も見よう見まねでやるしかなく、基礎もできないまま、時間が過ぎて行く。外部コーチが来てくれる学校はやはり全然違う。全学校でそうなってほしいと切に願う。人数が足りないから、部員が集まらないから学校によっては部活動数が少なくてやりたいスポーツが出来ない、という残念な状況も、地域全体でやることができればなくなるのではないか？来年度からでも、今すぐにもやって欲しい。 | 3 | 指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。また、部活動の地域移行については、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めることとしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 477 | 3 | <p>教員の善意に頼った部活動は続けるべきでない。地域移行を段階的に進めるべき。ただでさえ、忙しい教員に部活動まで背負わせて、果たしていい授業が成立するのであるか。無理だと思う、結局教え込みの授業になる。そのような、無理のある部活動より、教員本来の授業を充実させるべき。何でもかんでも学校に負担させるべきでない。</p> <p>魅力ある学校をつくらないとこれからも採用試験の倍率は下がり続けるし、辞めていく教員が出続ける。部活に取り組める人材しか生き残れないような組織でいいのだろうか、そこに多様性や、持続可能性はあるのだろうか。今まで放置してきたことを真摯に反省し、持続可能な教育を本気で取り組んでほしい。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 478 | 5 | <p>部活動が地域移行になることで金銭面が心配である。部費よりも高額になる予感がある。あとは学校以外の場所での活動になると送迎の心配もある。金銭面、送迎が家庭の負担になるなら部活動を諦めることもあるかもしれない。その場合受験などに影響がないようにしてほしいと考えている。</p> | 2 | <p>御意見については、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」に記載しておりますが、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。</p> |
| 479 | 5 | <p>素案では運動部の例のみが挙げられており、文化部の地域移行についてはどのようにお考えなのか。文化部は校舎内で行わなくてはならず、セキュリティ面(施錠など)を考えるとどうしても学校職員が活動に同席せねばならず、完全に地域指導者に委ねることは現状難しい。そうすると教員は結局休日を確保できなくなり、指導面での負担感は減るものの、ライフワークバランスの問題が残る。吹奏楽部は大きな楽器を運ぶとなると、学校以外での部活動は現実的ではないと思う。行政は運動部ばかりに目を向けているようだが、その他の部活動についても同等に考えたい。そして、一刻も早く教員が本来の仕事である授業やクラス経営に力を入れられるよう、他の行政に先駆けて抜本的な対策を打ち出していたくことを強く望む。</p> | 2 | <p>文化部における楽器の運搬等の課題についても認識しており、活動内容を踏まえた施設の配慮や鍵の受け渡し等に教職員が係わらないような施設整備について記載しており、活動内容に応じた有効な方法を検討してまいります。</p> |
| 480 | 9 | <p>何が大事かを考えると、中学校教育は義務教育であり、選択制とはいえ(選択しないことも含め)部活動もまた義務教育の一環のように感じている。少子化、多様性、教員のなり手不足、働き方改革、確かに課題だが、手を入れるべきは、部活動の地域移行ではなく、本来的な義務教育の見直しではないか。高校受験を考えると現在の中学校教育は、塾依存が高く、存在意義が希薄化している。さらに部活動の地域移行となると、教員業務は楽になるかもしれないが、中学生の帰属意識はどうか。</p> <p>教員を考えても、本当にやる気に溢れた、教育者として求めるべき人材が、中学校の先生を希望するか。部活指導員、外部指導員で中学生の教育を受ける権利は守られるのか。教員が絶対の存在ではないが、いきなり学外者で事件・事故のリスクは回避できるのか。子どもたちにとって、小学校、中学校の義務教育はその成長過程の根幹をなすものだ。安易に枝葉の問題と捉えて改善を図るより、義務教育そのものの問題に踏み込むことが、子供たちのために我々大人の責務と考える。</p> | 3 | <p>教員が授業に向かうための時間を確保する上でも、部活動指導に係る負担を軽減することが必要と考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 481 | 9 | 特に無い | 5 | <p>地域の実情に応じて取組を進めてまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 482 | 5 | 部活動の地域移行の運営形態は市町村運営型の地域団体・人材活用型か任意団体設立型のどちらかが良い。地域団体・人材活用型は市町村が運営し情報発信や受信も市町村でわかりやすいと思う。任意団体設立型であれば、市町村を経由する形になるので保護者的にはあまりメリットが見えないが、市町村側からすれば、負担が増えずに委託できるのではないかと考える。また、任意団体に指導者を一括で管理することができるので人材確保がしやすいとも考える。地域スポーツ団体は今よりもう少し本格的にスポーツを取り組みたい生徒には向いていると思われるが、生徒のアンケートを見ると友人と楽しく活動したいと多くの回答があることを考えると地域スポーツ団体は不向きだと考える。また、本気でスポーツに打ち込んでいる生徒はクラブで練習に励んでいる。ただ、どちらにしても人材確保が大変だと思われ、部活動が縮小していくのではないかと心配である。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 483 | 5 | コロナ禍の中、地域との交流も減り色々な活動が制限されてきた。活動は徐々に再開しているが、再開と同時に先生方の負担も増えている。休日の活動は地域の方に完全に委託するなどし地域の方との関わりを増やすことも大事だと思う。試合や大会の引率なども全て先生方が行うのはかなりの負担があると思う。子供たちにとっても外部の方との関わりは活動の幅も広がり内面的にも成長にも繋がると思う。 | 1 | 御意見のように、地域移行によって子どもたちが地域の方々とつながる機会が増えるというメリットもあると考えます。御意見の趣旨について、P1「はじめに」に、地域との関わりの中で子どもたちの活動や視野の広がりについて追記しました。 |
| 484 | 4 | 地域移行と言ってるだけで、金を出さないのだから実現するはずがない。かと言って先生たちに任せるのは違うと思う（やりたくない人も多数いるはず）。とりあえず、部活動をやりたくない先生はやらない、やってもいいよと言ってくれる先生たちにはしっかりと報酬を払うこと（副業可）、それに加えて地域指導者を見つけることから。先生たちを都合良く使うのはもう終わりにすべき。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。地域クラブ活動での指導を希望する教員等を把握するとともに、指導を希望する教職員等が、円滑に兼職兼業の許可を得られるよう、規定や運用の改善について検討し、運用することとしております。 |
| 485 | 9 | 学校で部活動がなくなると、上手な子達はクラブチームでやっていけるが、上手でなくてもやりたい子達の活動の場所がなくなるので、学校での部活動を存続してもらいたい。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。なお、当面は、学校部活動と地域クラブ活動が共存するものと考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 486 | 9 | そもそも部活動って必要か？生徒に聞いてみたか？内申に響くので仕方なく所属、活動している生徒もいる。機会の平等で、行っているのであれば、全員チケット制にして、活動したい生徒はチケットを使い、運動系なり文化系なり好きなレッスンを民間企業や個人の講師へ習いに行けば良いのではないか。 | 3 | 部活動は、学習指導要領に位置付いた教育活動の一環であり、なくすことはできませんが、御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 487 | 6 | 私は反対である。先日、とある地区大会での出来事で、(各中学校の主力が集まった)クラブチームと(そこに抜かれてしまった)中学校が試合をして、クラブチームが勝ち県総体へ出場、中学校チームが最後のひと枠に入れず引退するという試合を見た。選手は大泣きをしていて、とても複雑な気持ちで見ていた。先生方の変さもわかるが、部活動を通した子どもの成長は絶対に途絶えてはいけないと思う。学校生活も含めて、一緒に活動してきた仲間同士で成長させて欲しい。クラブチームが入ってきたことによって、より勝利至上主義を加速させている気がする。せめて、その学校に無い部活動であればクラブチームに入って大会へ参加することは良いと思うが、通っている学校に部活動がある生徒のクラブチームとしての大会参加は禁止にすべきだと思う。 | 3 | 大会主催者が定める参加資格に関する内容のため、方針には反映できませんが、今後の地域クラブの参加状況やニーズ等に応じ、必要に応じて改善について働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 488 | 3 | 学校の先生はそもそも忙しいので外部に頼むのはすごく良い案だと思う。先生の負担も減るし、子供達が経験者から教えてもらえる事も良いし両方にとって良い事だと思う。うちの女子バレー部顧問は知識と経験もあるが、普段から忙しく、去年まで子ども達はあまり練習を見てもらえず。それに増して今年度、部活動懇談会で顧問がものすごく忙しいからあまり練習に顔をだせませんがご了承ください、と校長から話があった。でも、それは子ども達には関係のない事で、子ども達はものすごく意欲もあり指導に飢えていた。結局体制は変わらず引退を迎えた。本当にかわいそうだった。今でも子ども達は「最初から別の顧問だったら」とか「もっと教えてもらえたら絶対もっと上手くなれたのに」と言っている。知識と経験のある顧問でも部活動の練習を見なければ意味がない。教えてもらえない、指導してもらえないのでは楽しくもない。先生の負担を減らすため、生徒に応えるためにも指導員や外部指導の導入を早急に切に願う！ | 2 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 489 | 4 | 部活動の地域移行について、賛成です。顧問の先生には日々の練習や試合帯同には感謝しています。教諭の働き方改革の面というよりは、部活動の指導の仕方からの意見をお話したい。熱心な顧問の先生は有難いが、指導がエスカレートし生徒に厳しく、言葉の暴力で子供たちは日々傷つき耐えて練習している。子供たちの為ではなく、いつの間にか自分の為の勝利のためになっている。まだ中学生の心は未熟で、スポーツパフォーマンスは可能性があるにも関わらず、それを伸ばすことは考えているようには見えない。このようなことから外部の冷静でスポーツの技術を指導することに徹するプロの方をお願いしたい。 | 3 | 指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 490 | 4 | <p>中学3年生の陸上部（長距離）の息子の親である。ランニングクラブチームに週2回通っている。（DeNAランナーズ）指導者の外部委託賛成である。部活動の顧問に専門性がないので、練習メニューが定まらず生徒が伸び悩んでいる状態。中学スポーツの指導者による競技者（この場合生徒）の上達への影響は大きいと、認識している。いい選手、強い学校には良い指導者がいて、練習メニュー、メンタル面への指導が自然とカバーされている。陸上は個人競技なので集合時間、アップのスタート時間等、競技者それぞれであり、指導、スケジュール立案は専門性が必須だと感じた。良い指導者との出会いが、中学生の将来、競技への関わり方、可能性を決めてしまうと考える。競技者としてのピークは高校、大学と捉えており、中学時代の導入時期の指導者との出会いはすごく重要。（私も中学生の時最高の指導者先生との出会いのおかげで、今でもその時の仲間とサッカーを続けている）良い指導によって生徒の未来が開ける、先生の負担減少、雇用の活性化、良いことだけではないかもしれないが、是非トライしてほしい。</p> | 3 | <p>指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 491 | 5 | <p>公立中学校に希望の競技の部活動がないことにより、その競技を諦めたり、外部団体に入会することになり、時間面や金銭面のやりくりが大変になる（個人的状況だがサッカー部である）。中学生の生活リズムを考えても、部活動のような形態であれば、時間的場所的にも参加しやすく、生活リズムや勉強との両立がしやすくなる。すべての中学校に設置するのは難しいと思うので、市内区内の中学校に1つ設置して、学校の枠を超えて参加可能にしていただけたら大変ありがたい。</p> | 3 | <p>御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 492 | 5 | <p>小中学生の保護者です。中学の先生に多大な負担がかかっていることは目に見えているので、以前より地域移行などになると良いのではと思っていた。最近テレビでも、水泳授業を地域のスポーツクラブに委託していると見たが、中学部活動もそれを何か参考にしてはどうか。やりたくて部活動に入るのではなく、内申のためやむなく何かの部活動に所属する学生も多いのではないかと。週2、3回なら、どこかのスポーツクラブまたはカルチャーセンターなどに委託し部活動として認める、などでも良いのでは。例えば私の子は、部活動の種類が極端に少ない中学に進学予定ですが、卓球部がない。卓球スクールに行っているが、そのまま部活動したとして認められるシステムにならないものかと思う。また、そのスポーツに経験なくても父兄にお世話係（大会へ引率したり、雑用）のボランティアを募ったり、地域の経験者のボランティアを募ったり、ボランティアでなくても経験豊富ならいくらかのお月謝を払ったりとか考えていかなければいけない事だと思う。</p> | 3 | <p>他の自治体の取組では、地域クラブ活動を学校の部活動に位置付けている取組もあると認識しております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 493 | 5 | <p>地域移行は構わない。事故が起きたときの責任の所在を明らかにしてほしい。そして、熱中症の危険があるため夏休みの部活動は中止してほしい。</p> | 2 | <p>御意見については、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」に記載しており、地域クラブ運営団体等への周知を図ってまいります。</p> |
| 494 | 5 | <p>地域移行も金額によってだと思う。今の部活動でさえ、クラブチームのようなのに。子供の心の余裕と親の金銭面。</p> | 2 | <p>御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」「市町村の役割」に記載しており、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 495 | 9 | 私は地域移行に反対である。理由は、ジュニアの人が大会に出ることで高い目標は持てるが、中学から始めた初心者の生徒たちにはとても高い目標になってしまい、大会に出ても負けてしまうと、試合をする前から気持ち的にも下がり、部活動としての楽しみも無くなってしまおうと思ったから。さらに学校の先生ではなくちゃんとした指導者の方とできるのは、自分としては技術向上につながり、とても良いと思うが、部活以外での夜練やクラブでの練習などを活用し、自ら強くなるとういう意志を持つこともこれからの人生においてとても大事なことで、このことを考えられるのは今の部活だからこそであると考えたので、今まで通り学校の先生方をお願いしたい。これらことから、私は地域移行に反対し、今の部活のまま、大会、練習を頑張っていきたい。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 496 | 4 | 教員の超過勤務が全国的にも問題となっている中、超過勤務の一因となる部活動指導について、神奈川県が、県をあげて地域移行を進めることは、とても良いことと思う。一部保護者で、教員から指導を受ける方が安心、との声もあるかもしれないが、教員の不祥事を減らすためにも、教育課程外の部活動指導をさせるべきではない。特に、公立学校は様々なお子さんが在籍しており、部活動で実績を作るために学校へ行く子や、部活動は趣味程度に楽しみたい子など、熱量の差も大きい。部活動指導は、競技が不得手な教員が実施しているところもあり、指導基準もあいまいなので、一定の技術をもつ外部講師が指導するのが良いと思う。それでももし、教員の方の中で、部活動のために教員になっている方、部活動を指導したい教員の方がいれば、外部講師に支払う講師料を支払い、部活動指導はやらないというのをベースにすることで、本当に部活動を指導できる方の確保にもつながると思う。そのためには、中体連の理事会のあり方も考えなければならないと思う。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。 |
| 497 | 3 | スポーツ指導の専門家でもない教員に顧問を任せ、指導させている現状はおかしい。先生方も自分の経験したことのない部をいきなり任されて、一から勉強されて頑張っている様子を見ているが、あまりにも負担が大きいと感じる。熱中症や怪我から子どもたちを守るために、専門家であるスポーツクラブと地域指導者を活用していくべき。市によって対応が異なると、保護者の間でも「〇〇市は朝練もやってるのに」「〇〇市の先生たちは熱心にやってくれるのに」という不満感・クレームに繋がり余計先生たちを追い詰めてしまうので、県がリーダーシップをとって部活動環境の改善に取り組んでいただきたい。 | 3 | 指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。また、地域移行の取組は、各地域の実情に応じて、できることから進めて行くこととしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 498 | 5 | <p>中学校から部活動の実施場所への移動手段が課題。自転車を解禁するか、送迎バス等を準備しないと、本当は部活動やりたいのに、通えず帰宅部が、増えると思う。</p> <p>指導は、プロを、雇うべき。半分ボランティアみたいな、地域の人だと、口ばかりの指導者で、人により、怒鳴って否定ばかりする昭和の時代錯誤コーチも多い。実際、小学生のサッカーや野球はほぼコレである。生徒の力を伸ばせる、自身も生徒から憧れられる、プロの指導者に指導してほしい。</p> <p>また、学校卒業後もその子の人生は続くものであり、在学中の好成績だけに、とらわれると子どもの体を壊すため、子どもの好成績を自分の手柄として前面にだすようにはなってほしくない。こどもが成人後もスポーツを楽しめるような関わりを指導者にはしてほしい。できれば指導者教育を受けた人物が望ましい。</p> | 2 | <p>御意見については、P19 「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動に係る費用・保険」「市町村・学校の役割」、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。地域クラブ活動等に生徒が参加する際の移動については、安全かつ費用負担の少ない利便性を考慮した交通手段を検討することとしております。また、地域クラブ指導者を対象に日本スポーツ協会・日本パラスポーツ協会公認指導者制度等の周知を行うとともに、地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修を実施し、指導者の資質向上の取組に努めてまいります。</p> |
| 499 | 4 | <p>部活動の指導がしたくて教師になったという方も少なくない中で、もし上からの一方的な善意の押し付けで、そういった先生方からやりがいや活躍の場を取り上げるようなことになるのなら、それはすこし違うのではないかなと思う。現場の先生が自由に選択出来るようにされたらいいと思う。吹奏楽部で例えるなら、「私は1からすべて指導して生徒たちと一緒にこの学校のサウンドを作り上げていきたい」という先生ならその先生にやっていただいたら良いし、一部パート毎の指導者を入れるのも先生の方針で選択したらいいし、「大会の出場届けやトラックの手配等事務的なことはするけど、音楽的な指導は外部にお願いしたい」という先生であれば、多くの高校の吹奏楽部がそうしているように、専属の指揮者や指導者に入っただけが良いと思う。専門的な知識や技術を持った方に指導していただくのは、生徒たちにとっても非常にプラスになるし、教員でなくても指導が可能になることで、音大を出た方たちの活躍の場が広がることにもつながると思う。いずれにしても、生徒や先生にとって良い方向へ進んでもらえたら嬉しい。</p> | 2 | <p>御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載をしており、希望する教員が引き続き部活動を指導できるような仕組みづくりを進めてまいります。</p> |
| 500 | 9 | <p>部活動の地域移行に係る方針について、熱中症対策も検討を希望する。県教育委員会として、早急に全ての中学校に対し、熱中症アラート発表時は部活動中止を指示頂くことを希望する。暑さ指数の計測はきちんと学校が行っているか、指数を超えた場合の部活動中止も徹底すべき。校庭で行う部活動はもちろん、体育館で行う部活動も同様に中止にしたい。体育館は風が抜けず、蒸し暑く非常に危険な環境である。ガイドライン破りをする部活動指導者への厳しい懲戒処分も必要と、現在の部活動の実態から指摘せざるを得ない。県内に部活動の死者が出なければ変わらないのか。「熱中症アラート発表時は原則部活動中止」ではなく「例外なく中止」して頂きたい。原則という言葉が大会の前なら良い等と逃げに使われる事を防ぐ為に。</p> | 3 | <p>熱中症対策については、別途「熱中症予防運動指針」（公益財団法人日本スポーツ協会）に応じて、教員がどのような状況の時にどう判断し行動すべきか、危機管理マニュアルに沿って対応することとなっています。</p> <p>この方針は部活動の地域移行に関するものであるため、熱中症対策に関する御意見を方針に反映することはできませんが、外部指導者の資質向上に当たり、生徒の命や健康を守る視点での内容を盛り込むことについても検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 501 | 9 | <p>よろしくお願ひしたい。</p> | 5 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 502 | 5 | バスケットボールクラブを運営している者である。地域移行することに関しては賛成。ただ、その指導に対しての報酬がしっかりと払われることが条件。お金に余裕があれば、指導にかける時間に余裕ができる。結果、子供達に十分な時間を割くことができる、心の余裕があるので、体罰などの問題はなくなる、報酬に見合った指導をする責任が伴う、などメリットがある。デメリットとしては、その報酬にかかる費用をどこから出すかによるが、子供のためにかけるお金に躊躇すべきではない。また、エンジョイスポーツをする場としてクラブ活動の場も用意すべき。部活動を見たいという方は、クラブも部活も見ることが条件として、両方に報酬を与えることがいい。また、部活動を見たい先生もいると思うので、その先生方が部活動を見やすい業務量に減らすことなどの環境整備も必要。かけるべきところにお金をかける。これが全てかなと思う。 | 3 | 指導者の報酬は、受益者負担を基本とすることになると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。また、指導を希望する教員については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しております。 |
| 503 | 9 | 学校の先生方には、ちゃんと休みを与えるべき。生徒の数も減ってきていることもあり、地域で指導できる民間にゆだねたほうが良い。何で中学校の部活動は強制的なのか。子供は小さい頃からテニスをしてきても、学校のつまらない部活動に入らなければならない、仕方なくテニスをやめた。また、日本は複数の部活動に自由に行き来出来ないで、いろんなスポーツなどに参加できない。活動の楽しさがそっちのけで、強制加入で三年間硬直した拘束時間がやたら長い運動部が多い。日本においては野外の運動もそうだが、屋内の環境も悪く、夏のスポーツはもう体調を崩し命に係わる危険が高すぎて、現状ではやるべきじゃない。 | 3 | 競技・大会志向だけでなく、子どもたちの志向や体力、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 504 | 5 | 朝練、土日は基本的に必要なし。土日にあるとしても、半日でよい。指導者を地域へ委託するのは賛成。しかし、それに伴って活動場所が学校以外になるのは望ましくない。 | 2 | 活動場所については、活動内容や生徒の移動、経費負担など様々な観点から選定することを記載しております。 |
| 505 | 5 | これから、もっと酷暑になると思うので、外部委託にするにしても外の競技は16:00-18:30 など日が陰ってくる時間や日陰を工夫して頂けると安心。体育館にも冷房が出来ると良い。 | 3 | 部活動の活動時間についても、今後、様々な工夫が考えられます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 506 | 4 | 地元の小学校の野球チームに息子を入団させたことがあるが、地域特有のしきたりや、ノリがあり誕生日プレゼントを請求されたり、お茶だし、買い出しは当たり前、活動中なのに、指導者（監督以外）の私用の送迎をしていた。先生方の負担もあるので地域移行は賛成だが、例えば基本、指導は地元以外の地域で指導する。5年毎に近隣へ異動（長すぎると馴れ合いになるため）いきすぎた指導者への奉仕の止める講習を受けていない人は勝手に指導をしない（顧問とコーチの指導が違くと学生が混乱してしまう）など立ち上げるなら、細かなルールを作った方がよい。 | 3 | 地域クラブ活動の実施に当たっては、保護者との連携体制を整備することとしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 507 | 8 | 公立中学1年の娘がいる。卓球部に入っているが、顧問2人のうち1人の男性の先生は時短勤務で部活動には参加されない。もう1人の女性の先生は卓球ができず技術的な指導はない。部活動も平日のみ週に1、2回。全くない週もある。夏休みは公式戦のみに参加し、部活動は一切ない。このような練習で公式戦に参加しても一回戦敗退は当然だと感じている。先生の働き方改革の為、部活動が少ない事と指導が受けられない現状を理解はしているが、部活動を楽しみにしていた娘が不憫。中学校生活の半分の意義を失っているように感じる。部活動の仲間と個人的に集まり、練習をしているが限界がある。民間に部活動を委託する事で少しでも娘が指導を受けられるなら、是非お願いしたい。 | 2 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 508 | 9 | 私は藤沢市で学童野球の指導者をやっている。卒団をした選手が中学での野球の選択肢として、中学の部活動にするか、硬式クラブチームを選ぶのが現状となっている。硬式クラブチームを選択する人の多くは部活動では顧問の先生の質・指導不足・活動日数に満足できずに、硬式クラブチームへと入部する人が増えている。しかしながら、硬式球は軟式球に比べ、怪我のリスクが高くなったり、硬式クラブチームの指導にはついていけないなどの問題もあり、結局部活動へ入るとい選手も多い。神奈川県内には硬式野球クラブチームは多くあるが、軟式野球クラブチーム数が全然ない状況。今後、先生の働き方改革に伴って、部活動がどんどん衰退していってしまう。軟式野球クラブチーム数が増えれば、より選手の選択肢が増えるのではないかと、そのためには行政とクラブチームが一体となり、中学校のグラウンド提供などが必要になってくるのではないかと。子供たちがスポーツを続けられるインフラ整備をしていかなければならない状況下になっている。子供達の未来の為に対策をせねば行けない状況。 | 3 | 学校施設の使用については、地域クラブが利用する場合の手続を簡便にするなど、地域クラブが利用しやすいよう環境の整備に努めることとしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 509 | 4 | 教員の負担を減らす為に地域移行をすすめるべき。もしもこのまま教員に行わせるならば、地域・民間に支払う以上の手当てを支払い、必要以上の残業を強いていると認めるべき。 | 3 | 地域クラブ活動での指導を希望する教職員等については、兼職兼業の許可を得ることで、報酬を受け取って指導できるようになります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 510 | 9 | 綾瀬市在住ソフトテニス部 2年。私は地域移行に反対。地域の方々と部活動を作り地域との仲を深めるとい考えはとても素晴らしいと思う。ですが、今私は顧問の先生や部活動の仲間が大好きである。このような楽しく部活動をさせて頂ける環境を作ってくれているのは顧問の先生や副顧問の先生がいてくれて、部活動を盛り上げてくれているからだと思う。私にとって顧問の先生はとても頼りになる存在である。中学校生活では人間関係に多く悩む時期。そんなとき普段から部活動でお世話になっている顧問の先生に相談するのが一番良いと考えている。自分のことをよく知ってくれている先生の存在がいなくなるのは悲しい。また地域によってより格差が生まれてしまったと考えた。ソフトテニスやバドミントンはジュニアチームから始めている方が強かったりする。ジュニアチームが多くある地域の方が強くなってしまい、中学から始めた人が上位を狙えなくなってしまうことや勝つ事への喜びがわからなくなってしまうのではないかと不安がある。 | 3 | 地域移行によって、教員は部活動以外の教育活動において生徒に係わる時間が増えると考えています。なお、県中学校体育連盟の主催大会への地域クラブ活動等の大会参加要件の見直しが行われておりますが、不断の見直しについて、働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 511 | 4 | しかし、顧問を持っている先生にはとても負担がかかることだと思う。なので、私からここで一つ提案がある。『顧問部活の部員、そして地域の人で作り上げる部活』。顧問の先生は忙しい。休みの日も生徒のために時間を潰して部活動を教えてくださっている。なので、その負担を少しでも減らすために、たまに地域の人が協力してくれるような部活動はどうか。顧問の先生が仕事や大切なプレゼン発表を控えている前、そういう時、そのスポーツを経験したことがある人に教えてもらう、欲張りな提案ですが、今の楽しい顧問がいる部活動にプラスαとして地域との仲を深める、これがどっちの意見も取り入れた私の考えである。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くことになります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 512 | 7 | 素案を熟読とまではいかないが内容の把握をした。 【部活動は学校教育から切り離す】これが私の意見である。素案中にもあるように「部活動は学校教育の一環として、教師の献身的な支えにより…生徒の自主性で多様な学びの場として、教育的意義を有してきた」とあるが、現代の実態として様々なデータやアンケート結果が示すように、もはや教育的意義はない。もうひとつ、特に運動部活動ですが過度な練習時間・内容が社会問題となり、ブラック部活として扱われている。行き過ぎた部活動は本方針から外れた行為であり、それらが加入率低下・イメージ悪化につながっている。課題は[生徒]と[教諭]の2つにあります。 [生徒]～多様なニーズに対応すること。 [教諭]～労働環境を整備すること。 部活動を学校教育から切り離すことで、新しいことを取り入れる必要がある。 【エンジョイクラブの導入】 生徒全員、週に1、2度の運動・文化振興を授業の一環として取り入れ、楽しく活動を行う。 *導入運営にあたり、行政・民間団体大学・企業への協力、連携を求める。 *基本、教諭はクラブに参加しない。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くことになります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 513 | 4 | 公立中学校の教員である。現場を見ていると方針の調査結果にもあるように、部活動を負担に感じている教員が多い。私も負担に感じている一人。しかし、一方で部活動を生きがいとしてやっている教員もいる。部活動の会議などでは、やりたい側の意見が強く、負担と思っている人は我慢するしかない状況。それが苦で退職を選んだ教員も多くいる。教員不足が深刻となっている現状で、お互いに学校現場を支えていくためにはお互いにとって良い環境にしていくべき。なので、やりたい人は外部コーチという形で顧問を続ける、負担と思っている人は顧問は続けず休日は出ない、という形で分けていけたら良い。外部コーチも見つからない難しい現状だとは思いますが、教員不足を解消するためにも、学校ごとでの取り組みとは言わず、県や市から統一の方法を早急に出してほしい。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。なお、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 514 | 9 | 地域部活動と学校での部活動では活動の幅や仲間との交流の違いがあるため、引き続き地域は地域、学校での部活動は部活動と分けるべき。 | 5 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 515 | 5 | 中学で部活動が偏りがあり、通学する中学にもっと増やして欲しい。 | 3 | 学校内で部活動を増やすことが難しいため、各地域の実情に応じた方法で、取組を進めてまいります。御意見については、今後の参考とさせていただきます。 |
| 516 | 4 | 先生の負担が大きいのは分かるが、部活動に力を入れたい子供達がいる事も確か。でも、部活動に力を入れる入れないは顧問次第となるため、成績を発揮できないまま終わる部活動も多数ある。そのため、やってもいいというボランティアや地域の方、さらには専門のスポーツ指導者をお願いする仕組みを作っていただきたい。その分、部活動費をしっかりと徴収する事も必要。それでも先生方、子供達、好きでやっていただけの指導者、皆んなにとって良いのではないか。学校の先生でも熱意のある指導者はそのままに、担い手のない部活動は募集をかけるなど、いろんなやり方で皆が納得いく部活動に変わってほしい。 | 3 | 御意見の趣旨については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しておりますが、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 517 | 8 | 地域クラブ活動の指導を希望する教員が行う場合、兼職兼業で活動を行う教師は、その活動の為に公務の負担を軽減する（＝他の教師に公務を振る）ことができるのか。それとも、教師が兼職する場合の活動は勤務時間外に限られるのか。 19ページ ・「○大会等の運営に従事する教員等の服務上の扱いの明確化や兼職兼業の許可について、適切な服務監督を行う。」とあるが、大会の運営は教員が行うのが前提なのか。 20ページ ・フローで「当面は現状継続」という部分があるが、この「当面」が改革推進期間の2027年までではないのか。それを超えての「当面」があつてよいのか。 | 5 | ○基本的には教員の本来業務に影響が出ない範囲において、兼職兼業を許可することになります。 ○大会の運営に多くの教員が関わっていることから、このような表現になっています。なお、中体連の大会では、地域スポーツクラブの指導者が運営に係わることを条件としている大会もあります。 ○検討フローの「当面」について、時限を定めるものではありません。 |
| 518 | 5 | 顧問経験者である。財源がないのであれば、土日の部活動を廃止すべき。教師はいつ休めば良いのか？教師にだって家族がいる。私は、顧問が我が子の子育ての壁になり、他校種に異動した。平日の勤務時間内の活動にすれば、教師希望者が増える。地域指導者を全ての部にあてがえる訳がない。外国を見てもこのようなことをしている国はない。生徒も休息できない。今は休息もトレーニングだという考えの時代。部活動以外の経験も生徒にとって大事。読書もろくにできず、部活動反対で私立中学を受験するかたも増えている。このやり方で、金メダルが量産できるか？ | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 519 | 4 | 部活動を指導する方が教育的に適した方になるのかが心配。現代の部活動は、かつてのような熱血な取り組みとは異なるので、指導者自身が学生の頃の部活動をイメージして指導するのではないかと懸念している。また、地域の方は学校の先生と違い教育者としての知識や配慮などを学んだり確認したりする機会が少なくなると考えている。そうすると体調不良や怪我やアレルギーなど万が一の時の対応が遅れる可能性が高くなるのではないか。学校の先生方の負担軽減も大切なことは理解していますが、今のところ地域移行した活動の場に子どもを安心して預けられるとは思えない。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しており、指導者の資質向上に努めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 520 | 3 | 部活動を地域移行する事には賛成。やる気のある子とただ所属先してる子の練習意欲が剥離しすぎているし、顧問の先生もその部活内容に精通してるかで、学校での取組方も違い、現時点の部活動の在り方には不公平なものを感じる。少なくともやる気のある子が一生懸命活動できるような形にしてほしい。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 521 | 4 | いいとは思いますが、セクハラ、パワハラなどが心配。1人の指導者を崇拝するようになりそうなのも、指導者が道を踏み外しそうで怖い。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しており、指導者の資質向上に努めてまいります。 |
| 522 | 4 | 顧問の先生は残しつつも、実指導は外部指導者に移行して、学校の部活動は残してほしい。しかしながら、必要な日時に毎回参加できる外部指導者を都合よく見つけるのは難しいのではないと思う。教育実習生や大学生など協力してくれたら頼もしい。競技経験のある親などに積極的に参加を求めたり、ケガなど緊急時に備えた見守りなど保護者の協力も必要になると思う。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しており、指導者の確保・資質向上に努めてまいります。 |
| 523 | 4 | 小学生の保護者である。出来るだけ外部の経験した選手・元選手にお願いして、楽しむ活動をしていただきたい。勝つための部活は、今は習い事のできるもので、初めての子も楽しめる、生涯スポーツを意識した活動に変更していくのはどうか。教諭の負担を減らして、教諭は子どもたちの気持ちのフォローにはいる。外部のコーチだと子どもたち一人ひとりの対応が難しい所もあるかもしれないので、実際の学校の先生が子どもたちの精神的な面をサポートしていく。学期ごとにアンケートして、コーチの感想を書いてもらう。外部のコーチには、準備の時間から片付けまで、きちんとお給料をお支払いする。サッカーなら、クラブ経験者がいると思うので、元選手にお願いして学校で指導に入ってもらおう。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 524 | 9 | 部活動は、学校単位で仲間意識を強め上下関係を作るととてもいい機会だと思っていた。地域移行となり、クラブ活動。中学生になり、新たにスポーツをしようとする子供達にとっては、新しい一歩が不可能。スポーツをしようという機会もなくなり、体力不足・生活の乱れが多発するのでは。実際に、部活動をしてない子供達は生活の乱れがすごい。地域移行でも、学校単位でできるのが1番子供達にとったらいいのでは。今年度中学2年生の子どもがいるが、とても不安にかられている。地域移行と聞いて、とてもショックのよう。自分達の代で、自分達がよくわからないことをされ、これからどうなるのか不安の毎日のよう。子供達の意見は聞かないのか。中学校は子供を育てる場所ではないのか。という疑問が親としてもある。意見書が今というのは遅いのでは。もう決まっているのか。第一に子供達の不安を解消してほしい。 | 3 | 各市町村において、地域移行を進めるに当たっては、該当校や部活動単位でアンケート等を実施し、意見を聞いた上で進めることとしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 525 | 8 | 中学の部活動も年々減っていき、クラブ化も進んできているので平塚市もどんどん進めてもらえると子供も選択の幅が増えるので、お願いしたい。 | 3 | 部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 526 | 8 | クラブ化が進んでいかないと、結局部活動を選択することになるので平塚市でも早めに進めてもらいたい。 | 3 | 部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 527 | 3 | 横浜市で教員しているものである。昨今、教員の時間外労働が取り沙汰されているが、部活動だけが邪魔もののように扱われていることに疑問を感じている。意見としてまとめると以下の2つである。 1 時代のニーズが変わってきており、部活動の考え方や意義がかわってきつつある。ただ、部活動は教育活動として生徒との信頼関係を結ぶ一つの方法でもある。顧問になる方の得意、不得意にあわせた選択ができる制度があると良いなど思っている。(野球経験者だから顧問になり、柔道部を教える人がいないから地域連合のような部活動にするなど。) 競技人口が減っている競技からすると良い政策でもある。自治体で実施しているモデルケースをスピーディーに神奈川でもしてほしい。(やはり色々な組織が絡むとスピーディーにいかない。今年は特にそれを感じた。) 2 そもそも残業80時間を目標にすることに疑問を感じているが、労働時間にフォーカスするなら部活動だけではなく、組織的、抜本的な仕組みの構築が必要なはず。(長すぎる会議の時間の削減、委員会等から多すぎるもしくは難解な調査の回答の緩和など。) | 3 | 1の御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しており、本方針の事例集で他の自治体の取組を紹介するなど取り組んでまいります。 2の御意見は、部活動に関する御意見ではないため、本方針に盛り込むことはできません。今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 528 | 5 | 部活動の為に別の公立中学へ通っている。あえて外部のクラブチームへ進まなかったのは、学校で毎日部活動が放課後直ぐにスタートでき、授業含め先生が目で見守っているため。部活動には外部コーチにも入っていただき、部活動メンバーとクラブチーム活動も充実していて子どもたちは毎日活動できる喜びで生き生きとしている。完全外部委託になったら、毎日部活動できないかも、不安だけ。 | 3 | まずは休日の部活動の地域連携・地域移行を目指し、地域の実情に応じて取組を進めていくこととしており、多くの場合、当面は平日の活動は学校で行うことが想定されます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 529 | 4 | 顧問の先生の熱意や経験で指導方針が変わるので是非とも、ある一定の指導経験のある方の指導をお願いしたい! | 2 | 関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者を確保してまいります。 |
| 530 | 4 | 部活動の数が年々少なくなっていっていき、部活動だと、決められた時間、限られた日数での活動になる為、思う存分活動する事が難しい。地域のクラブチームなどは活動する場所(体育館、グラウンド)などの練習場所を確保するのが困難なので、学校の部活動として使用している部分をもっと地域のクラブチームの方に譲って頂き、学校側が、もっと地域のクラブチームとの連携を持って子ども達がよりよい環境で活動できるように進めて欲しい! | 3 | 活動場所の確保について、地域クラブが利用しやすくなるよう取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 531 | 8 | 児童数、市区町村の税収等により地域差が出るのでは。児童減少により希望の部活動が無い等々の意見に対しては。学区の範囲を拡充等対策できるのでは。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 532 | 5 | ぜひ、地域移行していただきたい。中学校の先生方の負担軽減を優先してほしい。 | 3 | P13「基本的な考え方」に記載のとおり、子どもたちの活動の環境を整備していくことで、教員の負担軽減につながると考えております。 |
| 533 | 9 | 地域移行も一つの方向性としては良いと考えるが、先生の処遇を改善し、今と同様の方法をとる方向に関しても検討をしてほしい。地域移行ありきに思える今の進め方には疑問を感じる。 | 3 | 教員の処遇については、国の動向を注視してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 534 | 5 | 娘が今年茅ヶ崎市の公立中学に進学したが、部活動の数が少なく驚いた。女子が運動部に入りたいと思ってもテニス部もバトミントン部もなくやりたいものがないと結局文化系の部活に入り、彼女の性格からしても時間を持って余してる様子。また今ある運動系部活も部員が少なくて入部したら即レギュラー、努力して勝ち取るといった経験もできなさそう。是非これは改革をお願いしたい。先生が大変ならコーチを雇うなど必要かもしれない。子供たちの大切な青春時代を充実したものになるよう、改革をよろしくをお願いしたい。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めていきます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 535 | 9 | 教員の負担軽減になる。生徒も専門性のある指導を受けられる。2点大きなメリットがあると思われるので、地域移行は良い。 | 2 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 536 | 4 | 現在こどもが文化部に加入しているが、通学している学校に希望する部活動はない。外部のリソースを利用して、もっと魅力ある文化部を作ってもらいたい。例えば神奈川県立中等教育学校にあるような部活動である。また、体育会系の部活動に関しても、専門の知識を持った人材が正しい練習方法や指導方法で行うことにより、事故も減ると考える。現在のよう、専門知識のない教員が休日出勤をしながら部活動を行う必要性が理解できない。部活動をやりたいと希望する教員は、単身者だったり、家族に負担を強いているということ。単身者は、いつか家庭を持った時に部活動が負担になる。また、その教員が他校に異動するとその部活動が立ち行かなくなる。教員の負担軽減も考慮し、1日でも早く専門の人材による部活動を実現して欲しい。 | 3 | 関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者を確保してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 537 | 4 | 外部委託した場合、子供への安全性をどのように確保するかを明確して欲しい。学校の知らないところで何かが起きないようにしてもらいたい。学校の先生が対応している現在も同様かと思うが、まだ、入学前のため説明を、聞いた事がなく不安になっている。 ・体調 暑さ（熱中症）や寒さに関する判断、身体の酷使による故障 ・遠征 ・部活動内でのトラブル いじめや金銭など ニュースでも体罰など報道されている。習い事であれば保護者とコーチとのコミュニケーションが必要であり、責任は保護者にも向く。ですが、学校での活動となると保護者は学校側に責任があると考えられることが多い。学校側と外部はどのようにかかわるのか明確にして欲しい。 | 3 | P15「地域移行を進める体制づくり」 「指導者の確保」に記載のとおり、指導者の資質向上に努めてまいります。地域移行後は、地域クラブにおける事故等のトラブルについては、基本的には地域クラブ及び市町村で対応することが基本となります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 538 | 8 | <p>激務の先生方の負担を減らすのは大賛成。部活動の指導は地域に移行すべき。</p> <p>しかし、以下の4点を満たす必要があると考える。</p> <p>1. 指導者講習の実施 指導者の資格とまではいかないが、指定した講習を受けた者等の制約は必要かと思う。生徒の健康管理、負傷時や災害時の行動など、ある程度知識を得た方でないとならざる可 能性が高まる。</p> <p>2. 最低賃金以上の報酬の提示 無償ではなく最低賃金を考慮した報酬を提示しなければ、募集しても希望者が集まらず、結果的に教師が代行することになってしまう。</p> <p>3. 県での財源確保 費用に関しては、県で財源を確保し賄うことを強く希望する。保護者に請求となると、そのことを理由に部活動に参加しないという判断に至る保護者もいるのではないか。</p> <p>4. 個人契約ではなく、業務委託契約 契約については、個人間ではなく業務委託すべき。個人ですと指導者の都合・体調不良等で急に休日となってしまう可能性がある。業務委託であれば、契約先が代行の指導者を見つける責任が生じる。</p> | 3 | <p>1の御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しております。</p> <p>2、3の御意見については、受益者負担を基本としながら、国への支援の要望をしつつ、持続可能な活動の取組を検討してまいります。</p> <p>4については、地域の実情に応じた方法で地域移行を進めることとしておりますので、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 539 | 8 | <p>地域移行は、指導者に問題行動があった場合、罰則はあるか。指導者講習会などあるか。相談機関は学校以外か。お金はたくさんかかるのか。クラブチームと何が違うのか。子供達を守るための様々な整備をしてからの地域移行を望む。</p> | 3 | <p>地域クラブの指導者の問題行動については、当該指導者が所属する団体の規定により行われることとなります。クラブチームは学校外の活動、部活動は学習指導要領に位置付けられた教育活動です。子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができるよう、発達段階やニーズの多様性を踏まえた、持続可能な活動の環境を整備してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 540 | 5 | <p>専門性の高い部活動指導が受けられる。教師の負担軽減。学校生活との連携課題。財政課題。地域移行に賛成だが、課題は多いと思う。まずは始めてみて改善策を講じていってほしい。教師の負担軽減が主な移行理由になっていると思うが、児童生徒を最優先に考えて欲しい。</p> | 3 | <p>子どもたちの活動の環境を整備していくことで、教員の負担軽減につながるかと考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 541 | 5 | <p>授業がない日、夏休みは極力外部の方にコーチしてもらうのが良い。その分、学校内での生徒の対応を充実させてもらえるのではと考える。が、平日は学校顧問の指導、土日・長期休み中の練習試合や大会は外部コーチが指導、というのは生徒も外部コーチも戸惑いが大きい。そのデメリットの解消法があれば良いが。平日も関われる外部コーチがいれば良いが。</p> | 3 | <p>地域クラブと顧問教諭の情報共有については、様々な方法が考えられますが、先行的な事例を収集し、有効な方法を検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 542 | 8 | <p>地域移行しても教員の負担はある。子どもが怪我をしたらどうするのか？大会などの引率は？上げたら沢山ある。教員の負担軽減を考えるなら下校時間の一年間統一。17:00を完全下校にすれば負担は減るのでは。後、「原則」は、守らなくてもいわれないので、決め事に「原則」を使わない。など、これれも上げれば沢山ある。</p> | 3 | <p>地域クラブにおける事故等のトラブルについては、基本的には地域クラブ及び市町村で対応することが基本となります。また、まずは休日の部活動の地域移行を進めて行くこととしており、御意見については今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 543 | 3 | 趣旨も部活動の存続のためにこの方針が必要なことも理解できるが、であるならばそもそも中学校の部活動自体の意義は何なのか？という疑問も生まれる。 | 3 | 部活動は教員の献身的な支えにより、子どもたちの学びの場として教育的意義をなすものと考えます。 |
| 544 | 9 | 近年の異常な暑さで死者もでているので、学校側には臨機応変な対応をお願いしたい。また、暑さ指数がどれくらいなら部活動禁止等の明確な指標を出してほしい。でないと多少なら無理をしてしまう、我慢してしまう、ツライと言い出しにくい年代の学生が犠牲になると思う。個人の感覚にたよると先生によって対応にも幅が出ると思うので。5月6月の校外学習、運動会も然りで、わたしの子の学校は暑い日に3キロ近く歩かせ、熱中症を多数出し、それも次年度に改善されるかという期待は今のところない。(毎年同じスケジュール)暑さに対しての対応が遅すぎるので、迅速な対応をお願いする。 | 5 | 部活動運営において、生徒の安全管理は重要であることから、適切な熱中症対策を講ずるよう、引き続き周知を図ってまいります。 |
| 545 | 4 | 現場の先生たちはとっくに限界に達している。「この部活動の顧問はできない」は言えない。生徒たちも先生たちもそれぞれが生き生きと活動できるようにするには、地域移行が最重要。そのために、県は活動環境の整備と地域クラブの適性な運営体制の整備を進めていくべき。 | 2 | 御意見については、P17.18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」に記載しております。 |
| 546 | 3 | 長男が中学1年生で、公立中のバドミントン部に所属している。現在は顧問の先生の熱心な指導の下、卒業生や経験のある保護者がコーチをしてくださり、とても良いご指導を頂いている。しかし、先生の異動があると維持できない。卒業生も学生なので、社会人になるとコーチはできない。外部コーチになる場合、報酬も必要でしょうから、県や市で補助してくださると助かる。特に神奈川県は家庭の負担が多い。学習塾に通う子や中学受験をする子も多いし、先日の学力テストの結果で英語の成績は良かったのも、各家庭で英語教室に通わせているからだと思う。また、公立中にも英語部があると良いと思う。近隣でも私立しか英語部が無いようなので。プロに教わることは大変良いこと。子供はどんな指導者に会おうかで、その後の人生が変わることもある。また、たとえその道に行かなくても、社会に出た時に教わったこと(礼儀やマナー、心構え等)が必ず役に立つと信じている。これからの神奈川県での部活動がますます活発になることを期待している。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。 |
| 547 | 4 | 地域移行をする際に学校教職員と地域指導者の線引きを明確に分離すべき。組織の管理なども全て地域指導者及び地域組織が管理し、学校との明確に住み分けをすべき。学校教職員の部活動の指導は公務ではない。また、公務と認定されずに過労死した教員もいる。しかし、部活動をやりがいとしている教職員もいる。部活指導がしたい職員のために、部活指導がしたい職員が地域指導組織には入れるように配備もしてほしい。 | 2 | 地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 548 | 5 | 地域移行を進めるに当たって、なかなか人材の発掘、確保ができていないのが、現状である。指導者の保険や運営費用、報酬など、具体的な数値が示されなければ指導者のなり手は見つからないと思う。また、顧問と外部指導者が活動内容などの共有をはかるとあるが、これでは顧問が休日に練習場所まで来るか、勤務時間外に外部指導者と連絡を取らなくてはならないため、教員の負担がかえって増えてしまうのではないか。情報共有のシステムを、県として確立すべきだと思う。 | 3 | 地域クラブと顧問教諭の情報共有の方法については、教員の過度な負担とならないよう、様々な事例を収集し、有効な方法を検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 549 | 4 | 現在、地域指導者登録をさせていただき、時間のある時に部活動に参加している。本年子どもは、3年最後の大会を終えて、引退した。指導は、顧問の先生の他、卒業OB、卒業した生徒の保護者等が来て、子ども達を教えている。今後、地域移行する中で、懸念されることの一つに、指導者と生徒の距離の問題。 実際にあった話です。卒業生の父親が引き続き部活動に参加していたが、女子生徒と個人的に連絡先の交換を行っていた。当の本人は、悪びれを感じていなかった。母親としては、なんとも不快な感情を覚えたのは事実。地域移行するにあたっては、健全な育成に反する行為に対するペナルティや、節度を持った対応ができる大人、ガイドラインをしっかり整えて、未来ある子ども達の足かせに大人がならぬように、取り組んでいただきたい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。地域クラブ指導者を対象に日本スポーツ協会・日本パラスポーツ協会公認指導者制度等の周知を行うとともに、地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修を実施し、指導者の資質向上の取組に努めてまいります。 |
| 550 | 4 | 今年度川崎市立の小学校にてスクールコーディネーターとして活動させていただいているが、お題にある指導者の地域住民活用は、コミュニティスクールにも位置づけられるような素晴らしいものだと思う。時代が変わりコロナウイルスというパンデミックもあったことにより、仕事の取組方、社会生活の変化が大きく見られる昨今。子どもたちの育成、教育には公立校とは言え、高い水準のものが必要不可欠となっている。教員の皆さまにとって「部活動」は今後さらに雑務に位置づけられる。その為、地域の活用は児童への教育水準を上げるためにも必要。ただし、地域住民の協力を得ても、その指導者が趣味の延長上で関わると必ず事故が起こる。部活動指導者になる方には、指導者講習、登録を川崎市（または区）で行うこと、救命講習を含めた一定のマニュアルを指導者になる方には配布、その勉強会が年1回は必要。それ等をクリアすることにより、教員免許の有無は問わなくてもよいかと思う。 | 3 | 地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修の実施し、指導者の資質向上の取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 551 | 6 | 娘は現在6年生であるスポーツをやっている。中学校ではその部活動に入ろうと決めていた。しかし、その部活動が娘の行く中学校にない事が判明した。今所属しているクラブチームのコーチに相談した所、中体連の大会に出られない事が判明した。コーチも色々な所に問い合わせしてくださり、私も違うルートから中学校に部活を増やせないか聞いた所、増やす事はできないので違う中学校に行く事をすすめられた。お友達と一緒に近くの中学校に通うのは自然な事だと思うし、まず娘が望んでいない。他校に行くと言う事は、親や子供の負担が増える事をわかっていない発言だなどと思い残念に思う。部活動がないからどうしたら良いかわからないから諦めて違う部活動に入る。そういう子供が多いのも事実。しかし部活は増やせない、中体連の大会にはクラブチームから出られないでは子供に我慢させるしかないのが現状。色々なご事情があるが、子供が我慢する事がないよう、クラブチームや中体連と連携を取って、やる気がある子供たちが安心して続けられるようにして頂きたい。 | 3 | 御意見については、P20.21「大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」に記載しておりますが、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 552 | 9 | 学校の教育活動と部活動は完全に切り離すべき。 | 5 | まずは休日の部活動指導等の負担を軽減することとしており、当面は平日の部活動には教員も係わることを考えております。 |
| 553 | 5 | 子供の部活動に関しては、放課後に非常に良い経験をさせて貰っていると感じている。本人は中学で野球部に入ることが夢だったので非常に楽しんで活動している。しかしながら、平日は朝練と夕練、土日は試合や1日練習があったり先生方の負担になっていることは事実。そのため、部活動が地域移行になることは概ね賛成。しかしながら、地域で団体で行うスポーツとして「保護者の手伝い」があるかと思う。保護者の手伝いの主な内容として、当番制（選手たちのケア、お茶当番、コーチ陣のケアなど）、車の送迎など任意とはいえ「強制的」な手伝いがある。昨今の共働きが一般化した家族構成では非常に負担だと考えている。子供がやっているのだから保護者が手伝うのは当たり前という考えが一般化しているため、もし部活動の地域移行をするのであれば、保護者の手伝いに依存するのではない活動方針を求める。 | 1 | P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に、地域クラブ活動の運営・活動に伴う保護者への負担が、過度にならないよう配慮する旨を追記しました。 |
| 554 | 9 | 県の役割として、「国に財政的な支援を要望する」とあるが、国の財政支援がなければ地域クラブ活動は進められないのか。県として財政負担を行い地域クラブ活動を推進しながら、国の支援も要望し続けるなどの、スピード感優先で取り組む姿勢をもつべきではないか。 | 3 | 部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 555 | 4 | <p>地域へ移行することは重要なことだろうと考えている。現在までの課題は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部活動に対して科学的な理解を持っていない指導者が指導を行う比率が高い ・部活動自体が、学外活動が多くなるのにもかかわらず、責任の所在がはっきりしない ・費用負担が少ないことによる無報酬での家族支援が強制されるなどが挙げられる。 <p>特に医学的知識がない運動指導はとても危険であり、トレーニング理論も経験・体験でしか提供できないことに、未成年の体がどれだけ負担を与えるか検討が必要となる。一方で、民間への委託になった場合、一番行ってはいけないことが「低価格化」である。専門的に活動している指導者は、高いレベルの技術と指導力を持ち、適切な支援ができることに責任をもっているために報酬額は高くなる。民間に委託することで、費用がかさむことは予算案に入れておく必要があるし、これらを参加した生徒の家庭がそれぞれ負担するようになれば不公平感が生まれることも大きな課題である。無料とは言う必要はないが、学費に入れ込むなど全学生に平均して負担させることが望ましい。</p> | 3 | <p>指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。また、保護者にとって過度な負担とならないよう適切な会費を設定することとしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 556 | 4 | <p>まず、地域のスポーツクラブのインストラクターを派遣していただく。そのためにかかる経費は保護者から徴収する。次に、教職員の勤務時間内に部活動を行う。勤務時間外には一切行わない。もし、勤務時間外に行う場合は、外部指導者登録をし、時間に応じて保護者から費用を徴収する。(神奈川県最低賃金に準ずる。)また、大会等の運営を民間に委託する。中体連は解散する。中体連の仕事内容はすべて勤務時間外の内容であり、教職員のボランティアとしかいいようがないため。</p> | 3 | <p>外部指導者に関する御意見は、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しております。大会の運営に関する教員の負担については認識しており、今後も主催者等と協議を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 557 | 5 | <p>施設の整備や使用料について、市町村の役割として、国の支援がなくても、県の予算措置により、利用しやすい環境整備に努められるようにしていただきたい。</p> | 3 | <p>部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 558 | 9 | 早く地域移行をすべきだと思う。ニュースでも教師の部活動の負担が多いと聞く。場合によると、人数の関係で未経験でも何かしら部活担当が割り当てられる。未経験だと生徒のモチベーションも下がり、怪我も心配だ。そもそも、生徒の成績をつける立場の先生が、部活の顧問をやるべきなのだろうか？生徒の成績に不平等が起こらないのだろうか。逆に生徒同士も、先生を選べるわけでもなく、先生が嫌だからと言って辞めれば、仲間から嫌なことを言われることもあり、いじめの温床になっていないだろうか。部活動でいい成績を残すと先生の立場も安泰なのか、授業の準備どころか、部活動中心の先生がいらっしゃる。新しい学習指導要領ではICT機器の使用や探求学習といった授業改善が求められているので、本来なら授業準備で忙しく部活動など携わる時間などないはずである。最近では生徒間のトラブルも多く、対応できているのか。先生たちは、好意で部活動の時間を割いているのか、授業改善をする意思がなくて怠慢で部活動に没頭しているのか。国や地方自治体は、一刻も早く先生に部活動を辞めさせるべきで、生徒の話の聞いたり、授業改善の準備をしたり、本業に集中するべきだ。 | 3 | 教員の負担軽減につながるよう、地域移行の取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 559 | 4 | 先生の負担などから、部活動の種類が少なく人数が過多になったりしているので、地域移行する事で選択肢が増えるならば嬉しいと思う。地域移行する事で時間などの負担が増える事は避けてほしいと思う。あくまでも部活動とするならば、外部指導者と学校とのコミュニケーションは重要で、オープンでなくてはならないと思う。 | 2 | 外部指導者と顧問教諭との情報共有について、P17「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」に記載しており、適切に行われるよう働きかけてまいります。 |
| 560 | 3 | 部活動のメリットは、スポーツや習い事などの経験者や初心者に関わらず、入部できることや部の活動や試合、発表などを通して子供達が継続して取り組んだことの成果や達成感を得ることができたり、逆にうまくいかないことも体験していくことでの成長、人との関わり方などを経験できることである。何かを頑張りたい子供たちの意欲を持って取り組みたい気持ちが尊重されること、活動日数が極端に減ったり、制限が多くなることのないように学校と地域が協力して活動を継続できるよう体制整備を整えてほしい。 | 3 | 子どもたちの志向や体力の状況に適した活動が確保されるよう取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 561 | 8 | 部活動は学校でやらず、地域に任せた方が良い。そもそも中学教諭は部活の専門家では無いため、無駄な負荷になるし、子供への悪影響を与える懸念もある。地域に指導者がいない場合は部活動を無理に設定する必要は無い。今は時間の使い方も多様性に溢れており、部活動の重要性も薄れているのだから。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 562 | 4 | 県及び市町村の役割に「適切な指導等の研修を実施」とあるが、それぞれの役割が不明確である。県が市町村と連携して研修を実施することを明記すべし。 | 3 | 研修については、県、市町村が単独で行う、あるいは連携して行うことも考えられます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 563 | 8 | <p>公立中学校教員であり、小学生2人の保護者である。吹奏楽部の顧問でコンクールも指揮するため、毎週土日のどちらかに低学年の下の子どもを職場に同行させ、音楽室の近くの教室で勉強などをさせながら、生徒たちの指導をしている。</p> <p>時々、子どもも自分も体調を崩し、他の顧問に迷惑をかけたらしながらでも、7月の吹奏楽コンクールへ向けて保護者も生徒もヒートアップしてくるので頑張り続けた。育休から復帰して6年間ずっと。主人も中学校教員のため、いつも部活動で土日の大会や練習に出ている。高学年の上の子は、少年野球をしている。公式戦に練習試合、遠征など土日は家にいないが、その送迎や役員も自分がやっているの、平日の夜のスポーツ少年団の会議や市の行事の手伝いなどで土日の部活動以外の時間も取られている。また野球部の部員が減り、保護者も減ったので1人あたりの負担もかなり大きいと感じる。もうすぐ中学生になる子が、野球を続けるにあたり、部活動かクラブチームか悩んでいる。高校受験と両立でき、学校に限らず続けられる場所を求めて検討中。自分の子どもも大事にできる生活を送りたい。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 564 | 9 | <p>教員の働き方改革で良い。</p> | 5 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。</p> |
| 565 | 8 | <p>公立中学校における部活動指導は、教員の熱意やボランティア精神により成立している。多くの時間外勤務は、それに見合った対価なく続けられている。このような状況を改善するのは喫緊の課題である。そのため、今回の地域移行の方針に賛成する。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 566 | 4 | <p>教師の負担軽減のため、教師の拘束時間を減らすべきと思う。それに伴い、部活動時間自体を減らすか、もしくは顧問を外部委託にするかは、当事者である生徒で話し合い、匿名アンケート等で生徒の本音を引き出しやすくする環境を整える。試用期間を設けて、定期的にアンケート実施を続ける事も重要。外部委託者は教員免許を持たない場合、適切な指導ができるか不明なので、必ず透明性やアンケートが必要。また、極端な指導やプロ育成のような行き過ぎた指導で生徒の楽しい活動を妨げないよう、最初に学校と外部委託者で活動方針も目的を一致させる必要もある。何よりも、生徒が勉学や家庭生活と両立できる程度で楽しめる部活動が好ましいという前提を忘れないで欲しい。</p> | 3 | <p>各地域クラブ活動運営団体・実施主体が活動の運営方針等を明確にすることとしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 567 | 9 | 絶対に地域移行するべき。学校の先生が顧問として子供にスポーツを教えるのは今すぐ辞めるべき。学校の先生は部活動での成績や特に運動部においては高校受験の内申にわざと悪くつけたりする先生が存在する。第三者の専門の方が第三者的な見方で指導をするべき。そして、座間市の中学校の部活動を増やす。座間市に1校もないスポーツもある。体操部やバドミントンなど。教えられる外部の人がいるのに、先生で教えられないから、と部活自体がなかったり、教えられる先生が他校に異動することによって、その部活自体が突然休部に追い込まれている。子供に対する差別をせず、子供に罵倒したりする先生が多すぎる。ガイドラインに沿って部活動ができない先生、下手な子には練習させない、気に入った子にしか指導しない。熱中症で亡くなる子供が山形県で出ました。先生では子供をここまで健康管理に留意しながら指導するというのはもう限界だと思う。今すぐ、来年度からでもすぐにでも教師顧問制度を廃止してほしい。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 568 | 9 | 息子は、文化部だが、運動部の保護者から最近、学校先生顧問に対しての不満や攻撃ばかりをよく耳にする。先生方もボランティアで休みもなく、日々の業務外なのに手厚いご指導いただいているのに、ばかな保護者からの攻撃や悪口や不満など、かわいそう。うちは、文化部で、顧問先生とコミュニケーションがとれ放課後の部活動時間にほかの先生からの声かけなど学校の先生にやってほしいと強く願う反面ばかな保護者がいるから、熱心に心身育成のために、ご尽力いただいている先生が疲れて、ダメージにならないかも心配でたまらない。子供たちの様子を放課後の部活動で察知してくれ問題を解決してくださったり、先生に部活動をしていていただきたい。ただ、保護者も気を付け、感謝もたないと、だめ。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 569 | 9 | 本市の小中学校の教員はじつにグータラだ。働き方改革と称して、授業時間数を減らし子どもを早く家に帰し、自分たちが楽をしようと必死である。中学校の部活動に対しても同じで、サッカーでも水泳でも、何でもクラブチーム任せにし、教師として積極的に指導しようとしていない。少しでも自分たちの仕事を減らすべく躍起になっているだけで、教育に対する熱意が全く感じられない。いったい、誰の為何の為の『教師』なのか？ | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 570 | 9 | 子どもが亡くなるたびに意見を募集しますが、亡くならないと分からないのか。市内で危険なので外出しないようにと放送があっても、子ども達は炎天下で部活動をし歩いて帰宅する。ろくに休みもない。ガイドラインは全くと言っていいほど守られていない。命を守る為のルールではないか。現在のガイドラインでは日常生活にも支障をきたして、勉強も両立が難しく毎日疲れ果てて眠り込んでしまっている。命も将来も大事です。勉強する時間が欲しい。辞めたいけど辞められない。先生や他の部員が気になると言って毎日部活動に行く。私のような親ばかりでもなく、暑いけど頑張れという人もいる。子ども達は自分で選択出来ない。一部の大人のエゴで子どもが危険にさらされている。明日も危険な暑さである。誰かが亡くなってもおかしくない。また子どもが無くなる前に指針でもガイドラインでもなく、条例など拘束力の強いものにしてもらいたい。アンケート結果を集計してる間に子どもが亡くなる。 | 3 | 学校ごとに作成した部活動の方針に基づき、生徒の休養等の視点も踏まえて部活動実施計画を立てることとなっています。各学校の方針が遵守され、適切な運営が行われるよう、県が作成した「神奈川県各学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 571 | 6 | 夏の大会があるために練習をせざるを得ない部活動もあるので、夏の大会をやめ、大会の時期をずらすべき。熱中症アラートが出ている時は部活動はすべきではない。するとしたら、室内のエアコンの効いている部屋のみ。時間も1時間程度など、子供たちの命を守るガイドラインが必要。 | 2 | 御意見については、P20.21「大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」に記載のとおり、大会主催者等と協議を進めてまいります。 |
| 572 | 9 | 旦那が中学校のサッカー部顧問だが、人数が足らなく、他の部活も2つほど兼任している。最近特に忙しく、体調を崩した。中学校の先生が部活動をやるのではなく、地域のクラブなどがやってくれるようになれば、とても有り難い。また、やったことのない部活の顧問をするよりも、地域の方でその部活動の顧問をしてくださる人がいれば、そちらの方が生徒にも先生にもいい気がする。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しております。 |
| 573 | 8 | 地域活動への移行には賛成。今までのままだと先生も大変だし、専門でないのにクラブ活動の顧問になると活動する子供達も可哀想。専門の先生に教えて頂く事により、子供の可能性を見出す事が出来、上達も早く子供達も専門的にクラブ活動に取り組みめると思う。また、名を残せるチームになる可能性も秘めている。是非早くに移行して頂きたい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しております。 |
| 574 | 9 | 公立中学校の教員である。部活動の地域移行に賛成。ただ指導者や場所の確保や、保護者の金銭的な負担の問題もあるので、やりたいと希望する教員のみで指導させて欲しい。その際には、その教員の他の業務を減らすとか、部活動のみを副業として認めるなど、対応すると良い。学校の通常業務とは切り離して考えていけると良い。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しており、地域クラブ活動での指導を希望する教職員等が、円滑に兼職兼業の許可を得られるよう、取組を進めてまいります。 |
| 575 | 9 | 中学校の先生は授業と生徒指導、部活動で余裕がないようにみえる。最近、先生の過労死や自殺といったニュースも見かける。可能であれば、外部に部活動は委託し、先生も休日は会社員のように休める方が良い。先生の負担を減らさないと、今後教員の成り手も減る。先生の働きやすい環境づくりのために、部活動の外部委託をお願いしたい。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 576 | 3 | 今は少子化なので自分が通う学校と他の学校が同じ部活動であっても、やり方は場所によって違うと思うので、子供が行きたい学校を選べる方がいい。ほんとにやりたい事はクラブとかに入る子も多いし、顧問の方が大変なので、学校が休みの時は部活動も休みで良い。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 577 | 9 | 教員の負担を減らす、より専門的な指導ができる、などメリットが多いと思うので、この案に賛成。 | 2 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 578 | 9 | 賛成。先生方の、仕事量が多すぎる、大変だと思うので賛成！ | 2 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 579 | 7 | 中学校の先生には、部活動よりも普段の授業や進路指導に尽力していただきたい。部活動の外部委託は早急に進めて欲しい。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 580 | 5 | 指導料の金額による。負担が大きいのであれば、部活動より習い事とを考えてしまいます。 | 2 | 御意見については、受益者負担を基本とすることになると考えおりますが、費用の負担軽減については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」に記載しております。 |
| 581 | 4 | 娘は剣道部にいたが、顧問はやる気もなく、3年間防具もつけずろくな指導もなかった。一方、強豪と呼ばれる所は、公立中学校でありながら、市を跨いでまで越境して人が集まり、しっかりした顧問が常につく状態。こんな状況でやる中学校体育連盟の試合は、ただの出来レースとしか思えなかった。同じ土俵に立たせるためにも、顧問が指導できない状況があれば気持ちよく外部顧問に指導を譲って欲しい。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」に記載しております。子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができるよう、発達段階やニーズの多様性を踏まえた、持続可能な活動の環境を整備していくことで、休日の部活動指導に係る教員の負担軽減を目指してまいります。 |
| 582 | 3 | 地域移行は賛成！ただ部活動は教育の授業の一貫であることを指導される方への研修をお願いしたい。スポ小の流れで、勝利至上主義、親の応援必須、サポート必須のような雰囲気の団体にならないようお願いしたい。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載のとおり学校部活動の意義を継承する形で、環境整備に取り組んでまいります。また、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載のとおり、外部指導者の資質向上にも取り組んでまいります。 |
| 583 | 4 | 部活動は、住んでいる地域によって部活の種類の違いが出てしまい、子ども達は選択の幅が減り、人数が少ないと練習内容も薄いものになってしまい、地域格差がでていく。先生への負担も増え、業務に支障が出たり精神的、身体的に厳しいものになってしまう。外部のコーチをお願いした方が、専門的知識もあり真面目に技術を磨きたい子にとってもメリットしかない。ただ、コーチの質は問われると思うので人選は慎重にした方がいいのではないかと思います。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載のとおり、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者の確保に努めてまいります。 |
| 584 | 3 | 地域部活動の導入には賛成。しかし、一部導入されている活動では、結果重視になり、勉強と部活動の両立ができない（テスト前部停が遅い、夜練を強制ではないがある等）、完全休養日がないのが現実。また、結果重視のため、協調性や苦手・不得意でも努力する等、クラブチームでは認めて貰えないコトを学校教育の一部の部活動だから身につけ、認められ子どもの内面、体力面、社会性などあらゆる成長に結びつくと考えるが、足切りされ3年間続けることさえ許されないのが現実。中学生時代に中学生らしく継続して、努力でき、達成感や社会性を感じられ学べる部活動を望む。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載のとおり、学校部活動の意義を継承する形で、環境整備に取り組んでまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 585 | 5 | 部活動に参加させていただいている。コロナが落ち着き、朝練や、土日練習、他校との練習試合など経験させていただき、先生方には大変感謝している。先生方の負担が減るのであれば、地域移行で外部コーチなど謝金など支払って行っていただけたらいいのではと思っている。 | 2 | 指導者の謝金については、受益者負担を基本とすることになると考えおり、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」に記載のとおり、保護者負担に配慮して取り組んでまいります。 |
| 586 | 4 | 地域移行に賛成。その際、安全性の確保に関する費用は惜しまず、コストをかけて行ってほしい。また、地域移行した結果、子どもの体面や健康面、スポーツの技術力の向上などのほか、教員の業務負担の減少率、負担軽減に伴う離職率・休職率などにKPIを設けて評価していただきたい。 | 4 | 本方針は、現時点で考えられる方向性の大枠を示すものであり、KPIを設定することは考えておりません。 |
| 587 | 9 | 地域移行に賛成。部活動は教職員のサービスの範囲外。各市町村や区の中で、人材を探し、その人物に手当てを出し、活動を学校外の組織とする。全ての運動部、文化部の人材が見つからなければ活動はなしとすれば良い。学校からは一度、切り離して考えた方が良い。教職員の負担が増すばかり。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 588 | 9 | 教員の妻である。平日夕方、土日の殆どが部活で子育てが出来ない。どこかへ出かけることや旅行にも行けずリフレッシュ出来ないままである心身ともに休める方法を教えてほしい。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 589 | 9 | 休日や夏休みに外部研修会、勉強会に行きたいが、部活動の予定が当たり前のように入り自身の技術向上にならない。土日の活動日に外部研修会や勉強会で部内別顧問にお願いするが、生徒からはこの先生は部活動に来てくれるのに、あの先生は部活動を休むと顧問間の差をつけられ、決して部活動を手を抜いている訳ではないが、正直部活動によりやりたいことが出来ない。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 590 | 3 | 先生の負担を減らすのはもちろんのこと、専門的な方に教えていただけたらというのはとても贅沢なことで素晴らしいこと。実際に娘の中学校の器楽部では外部の方が部活動だけを教えに来てくれるようになり、吹奏楽コンクールの金賞常連になった。 | 3 | 関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者の確保に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 591 | 5 | 地域移行されることによる教育者の負担軽減が見込まれることは大きなメリットである。しかし、経済的な負担増や指導者がいないなどの理由で部活を行えない子ども達が大幅に増えてしまうことが懸念される。行政の対応としては、経済的な援助を検討し、地域移行を進めていただきたい。また、指導していただける教師の方には、それなりの報酬をお渡しし、現状の部活を継続していただきたい。 | 2 | 外部指導者の謝礼については、受益者負担を基本とすることになると考えおりますが、費用の負担軽減については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」に記載しております。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 592 | 3 | 娘はバトミントン部に所属している。いままで運動を好まない娘だったが、母親の勧めもあり1年の頃より部活動をしているが、試合には一度も出たことがない。幼年期より本腰(ガチ)でやっている同級生2名は、高学年にまじり試合にでている、3年生になればヘタでも誰でも試合に出れるといい。また、昔と違い毎日部活がなく、スキルアップするため外部のクラブに通わせている。本人にとって試合に出れないのは悔しいそうだが、親も活躍をみられずつまらない。もう少し試合経験を今、積ませたい、親も、楽しみたい、もう少し試合をマッチさせる工夫と、少ない活動時間でのスキルアップを希望する。 | 3 | 競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動の確保に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 593 | 9 | 土曜日、日曜日、祝日、長期休暇、特に夏休みは部活動がない。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 594 | 3 | 中学生の保護者である。現状では先生たちの負担が大きすぎると思うので地域移行には賛成。また中学校生活全体的に子どもたちの生活も忙しすぎると感じている。地域移行と同時に部活動の時間や日数を見直しをして欲しい。量より質を重視して満足度を高めるなど方法はありそうかと…。朝練+放課後部活+塾だと保護者の負担も大きい。部活は3年間続けるという縛りをなくし、1年ごとに色々な部活動を体験できるスタイルにする等も検討してほしい。やりたい部活動が自分の学校にないのに3年間続けなきゃいけないのもつらい。 | 3 | 子どもたちの志向や体力の状況に適した活動の確保に努めてまいります。また、各学校において適切な部活動運営がなされるよう、県が策定した「神奈川県中学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 595 | 6 | まず、運動部に関して、中体連を中心にした全国大会や地区大会をなくすことが地域移行の最重点になる。文化部のコンクールなども含めて、学校対抗の意識を除去しない限り、土日の地域移行も含めて結果的には勝利至上主義から脱却することは不可能。図表8の結果の「大会・コンクール等で良い成績を収める」の約18%の中学生の受け皿として、中体連等の傘下での学校対抗ではない地域のクラブチーム・団体の設置を求める。そのための人材の育成や人材発掘に力点を置いてほしい。クラブチーム・団体の設置ができずとも、まずは冒頭に記述したとおり、学校対抗の全国大会・地区大会をなくすことに尽力していただきたい。 | 3 | 大会については、各主催者が判断するため本方針には反映できませんが、主催者等と協議を進めてまいります。また、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者の確保に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 596 | 3 | 先生の負担を減らすだけでなく、子供の負担を考えた上でも大賛成。部活動のために公立中学を越境進学して毎日長時間かけて登校するのは、時間的な負担だけでなく体力面や登下校での安全面にも不安が大きかった。学区内進学に比べ、時間を確保するのが難しく、その時間のしわよせは朝ごはんがとれなかったり自宅学習の時間が確保しにくくなるなどが想像出来る。私立中学は登校時間が遅かったり、個別のフォローも手厚いかもしいないが、公立中学では越境進学しても部活に所属出来る事以外のメリットが無い。現在中学1年生の息子は、この春から地域移行の指針に従い学区内進学した上で地域のクラブチームで活動しているが、不利益や不都合を感じずスポーツ活動に集中出来ている。学校の先生も校内部活に所属していないからと無関心ではなく、日々応援して励ましてくれている。地域クラブチームに実力のある子供が集まり学校部活チームが大会等で活躍する機会が減ったり、そもそも地域クラブチームが周囲に存在しない地域もあるだろうとは思う。小規模の大会を開催するなど対策も必要かもしれない。 | 3 | 子どもたちの志向や体力の状況に適した活動の確保に努めてまいります。また、各学校において適切な部活動運営がなされるよう、県が策定した部活動に関する方針の周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 597 | 4 | いつも熱心に、学業に関してもその他活動に関しても子どもたちをご指導いただき感謝している。部活動に関しての意見としては、この過渡期に過ぎたことを、運が悪かった、と済ませてしまうような事態にだけはしていただきたくない。クラブ参入について、子供の取り合いのようなあまり良くない状況もあり、親の立場からすると外から見守るだけでは不安になるような事になっている。クラブでのスポーツ活動は、学業（塾や家庭学習など）との両立も難しく、私はあまり賛成できない。希望としては、部活動はこのまま存続していただき、指導や顧問に関して、部員の家庭からお金を徴収して、お支払いの発生するコーチにお願いするのが良いと思っている。コーチは外部でも、先生でも、熱意のある方にやっていただき、きちんと対価をお支払いするべき。何かをご教授いただくのに、人の力をお借りするのに、無料ではないかなと思う。 | 3 | 御意見のように、指導者の報酬は、受益者負担を基本とすることになると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 598 | 3 | 子供達は小さいころから地域にある道場に週4から5日通っている。続けたくても部活動としてある学校はほぼなく、学区の中学校の部活動の数もとても少ない状況で自分にできる部活動も選びにくい状況。また部活動と習い事の両立は厳しいが、受験のことなど考えると部活動に入らないことも不安なよう。学校の先生方のご苦勞もわかるため、部活動の減少も理解できる。外部の方が中学校の部活動の指導に関わることも同様に、外部の習い事が学校において、部活動と同等に扱われることを望んでいる。子供達が好きなことを続け、それを専門のかたに学び続ける機会を。 | 3 | 子どもたちの多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 599 | 9 | 地域への移行は賛成だが、現実問題として指導者不足の中、無理があると思う。 その分野で進学を考えた際に、私学中学への入学、クラブチームへの加入が出来れば良いが、経済的セレクトション不適合など問題があり入学できずに公立中学校へ進学、さらには指導者不足でまともな練習が出来ないなんて子供達が不憫でならない。幼いころから続けてきたものをここで諦めるのか。学校と協力してというのが体育館の取り合い、登録の難しさ、保護者への負担、どれも現在抱えている問題、地域の格差も問題、その分野に長けている指導者がいればいいが、そうでなければ意味がない。他校との合同練習、人数によっての体育館の割り振り、地域体育館の料金の減免、そのあたりを考慮して欲しい。学校の部活動でも、地域移行ではなく、部活動とクラブチーム、子供に選択肢をあたえ両方で活動可能にしてもらいたい。熱心な先生方もおられる。 | 3 | 部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択していくこととしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 600 | 9 | 保護者である。顧問の先生のお子さんが誕生した翌日から部活動の指示にいらしていた。余計なお世話だが、ご家庭は大丈夫なのか心配である。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 601 | 3 | 部活動の地域移行には大いに賛成。我が子が中学生だが、運動部で土日の大会などに行くと、一日中先生方は運営や指導に関わることになり、本来の業務以外の仕事に割く時間が多く本当に大変だと感じる。子どもたちにとっても、スポーツを生涯学習として楽しみ、続けていくには、専門の指導者を確保し、余裕のある中での指導が必要。地域によって、または部活動の内容によっては、移行がスムーズに行かない場合もあるかもしれないが、県の素案に示されていたように、様々な環境体制づくりを検討して、ぜひ早期に実現させていただきたい。また、県として、市区町村や学校現場に任せきりにせず、指導者への研修（体罰の禁止、事故防止や子どもたちを伸ばす指導）なども合わせて行っていただけるとありがたい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。地域クラブ指導者を対象に日本スポーツ協会・日本パラスポーツ協会公認指導者制度等の周知を行うとともに、地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修を実施し、指導者の資質向上の取組に努めてまいります。 |
| 602 | 5 | 地域に移行する際は、学校の部活同様、月謝などはなく無料で行い、活動費もなるべく抑え経済格差が子どもの活動に影響が出ないようにしてほしい。また、地域移行した場合でも活動は今まで通り学校内で行ってほしい。全ての部活動を地域移行するのではなく、学校の先生が行えるものは引き続き学校の先生がやってほしい。 | 3 | 外部指導者の謝金については、受益者負担が基本となると考えおりますが、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」に記載のとおり、保護者負担に配慮して取り組んでまいります。 また、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 603 | 9 | 教員が家族と過ごす時間がとれないため、地域移行を早急に進めていただきたい。県立高校も同様をお願いしたい。平日も休日も夫は仕事、部活動で不在のため母親1人での育児が非常に大変。子どもも父親と過ごす時間がなくてかわいそう。部活動の手当は安いし、おかしいとは思えない。また部活動の専門委員会の活動もあり、そちらに関してはかなりブラックである。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。なお、まずは公立中学校の休日の部活動について地域移行の取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 604 | 4 | サッカーをしているが、部活動にするか外部チームにするか判断やセレクションは6年春くらいには必要。中学校見学時に入りたい部活がないという情報をもらうのは遅く、だったら部活は外部に委託と決め専門の指導者から学びたい。一方費用負担の面で兄弟もいると厳しい家庭もある。補助が出たらありがたい。 | 3 | 外部指導者の謝金については、受益者負担が基本となると考えおりますが、保護者負担に配慮して取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 605 | 4 | 部活動の地域移行に賛成。やる気も経験もない学校教師が顧問になり、5類になってもなおコロナを理由に子供達をお願いしても朝練もしてもらえない現状がある。学校の先生には、子供達の家庭の事、勉強の事などをお願いして、部活動は経験のある指導者へ是非お願いしたい。休日などは顧問も研修などもあり、大変なもの分かるが、子供達が夏の大会に勝ち上がっている中、顧問不在ではあまりにも子供達が気の毒。また平日も会議などがあるのか活動への参加はほぼしておらず、何かあったら…と熱中症アラートが出れば部活動が中止…でも野外なので試合になれば暑かろうが雨が降ろうが試合はやる。熱中症が怖くて中止にしている試合では勝ち抜けない。そうではなく、熱中症にならないように、水分をこまめに取らせる、氷などを活用する、など熱中症に負けないような方法を子供達にご指導願いたい。学校の先生もお忙しいと聞く。休日しっかり休んで頂くことも必要。わざわざ指導力のない先生に頼まずともマンパワーがあれば他を活用して頂きたい。 | 3 | 指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 606 | 4 | 私達世代は、部活動を強制させられていた。自由にガツガツ活動せず、家族との時間も大切にしたい。後は、外部に依頼する事により参加費が嵩み過ぎて諦める生徒が居る出てくるのは可哀想。後は、とんでもない指導者が出て性被害等が無いようにしたい。厳格に指導して貰いたい。指導者の身辺調査は厳格にして貰いたい。 | 3 | 地域クラブ活動においては、保護者にとって過度な負担とならないよう適切な会費を設定することとしています。また、指導者の資質向上に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 607 | 4 | 地域で部活動の監督ができる人が居たら良い。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。 |
| 608 | 4 | 私学のように平日週〇日と言った（休日活動はなし）活動日で十分ではないか。平日の夕方数時間だったら外部指導者の確保しやすくなるのでは。本気で上手になりたいとこどもたちが思えば土日でも自主的に練習場を見つけて練習するはず。 | 3 | 地域クラブ活動等に取り組む時間、休養日について、競技・大会志向の強い生徒も含め、生徒の志向や体力等の状況に応じた適切な活動時間とすることが重要であると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 609 | 9 | 私は部活に入っていないが、先生の負担を減らすために地域移行することに賛成。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 610 | 3 | 部活動は、日本が誇るべき教育文化だと思う。ただ、その制度に無理が生じていることは確か。子どもたちの競技に親しむ機会を減らさないように、やりたい人が一生懸命になれる地域移行の制度をつくるべきだと思う。 | 3 | 子どもたちの多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 611 | 3 | 部活動の地域移行に賛成。可能なら早急に対応していただきたい。平日休日ともに部活動の指導や、大会の運営や打ち合わせ、競技審判など、教員ではない仕事に追われ、本来教員として力を入れなければならない仕事が手に付かない現状。また、指導できる・経験のある教員がいる学校とそうでない学校などで地域格差ができてしまうのも子ども達が競技をしていく上で不公平感を拭えない。しかし、部活動には生徒指導的な側面もあり、部活動で輝ける生徒や、部活動だから伝えられた事などもある。それが部活動の地域移行でなくなってしまうのはどうなのだろうとは感じている。部活動を地域移行し、地域と学校そして保護者の方々が協力し合って子ども達がのびのびと成長していける環境を作っていけたらと思う。 | 3 | 子どもたちの多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 612 | 3 | どんどん地域移行を進めるべきだ。やりたい人がやりたい時にやれることをやる。これが持続可能な取組ではないか。 | 3 | 子どもたちの多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 613 | 6 | 地域移行において中途半端にやると、万が一何かあったとき（怪我をした際など）結局教員の負担になると思う。適当にやるのではなく、切り離すなら完全に学校外のものとする必要がある。それに伴い、私自身が思う教員の部活動における1番の負担は日頃の活動よりも大会運営である。大会運営を地域移行できてこそ、教員の負担が減るのではないかと思う。 | 3 | 大会の運営方法については、各主催者が判断することになりますが、P20.21「大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」に記載のとおり、主催者等と協議を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 614 | 4 | 適切な指導者の確保と受け皿になる団体などがどれだけ確保できるのか？特に秦野市では確保が難しいのでは？また学校とは異なる場で教員以外の指導者が担当している際に、体罰がふるわれたり、事故が起きたりする可能性もある。部活動費は教材費等の実費負担のみだが、そのような団体に移行されれば、平均月額数千円の参加費を徴収される事になり、大会となると更なる保護者への負担もあると思う。遠方のクラブへの移行の場合には公共交通機関の運賃負担も必要。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しており、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者の確保に努めてまいります。費用負担については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」に記載のとおり、保護者負担に配慮して取り組んでまいります。 |
| 615 | 4 | 部活動を行うために中学校教諭を選択した。教員には異動がある。今まで見てきた部活動が異動先の学校では地域指導者がメインとなっていたりする場合、納得がいかない。クラブ活動に国費を使う前に教員へ手当の充実を行うべき。 | 3 | 地域クラブ活動での指導を希望する教職員等については、兼職兼業の許可を得ることで、報酬を受け取って指導できるようになります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 616 | 4 | 地域移行賛成。親御さんが中学、高校時代に所属していた部活動を指導することをお薦めする。諸大会出場経験された方、楽しく活動されていた方、子育てがひと段落した方など、ボランティアで子どもたちを支えたいと思っている方はたくさんいる。ちなみに私は強豪校に所属していたので（レギュラーにはなれませんでした）指導者として子供達の役に立ちたい。 | 2 | 関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者の確保に努めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 617 | 9 | 中学校教員の部活動指導による負担感をとにかく軽減できることが第一かと思う。 | 2 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 618 | 5 | 中学生、小学生の子供を持つ親である。地域移行した場合、指導者の方がいない部活動については閉鎖などになるのか。習い事のように費用がかかると、毎日参加することは、経済的に難しくなる。また、別の場所への送迎があると参加することが、我が家は難しい。中学で行う部活動だから参加できているので、費用負担を税金でして各中学校に指導者の方がきていただけるのであれば、地域移行に賛成である。指導者の方にもちゃんと仕事として費用を支払う形にされたらよい。 | 2 | 費用については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」に記載しており、保護者負担に配慮して取り組んでまいります。また、指導者の報酬は、受益者負担が基本となると考えています |
| 619 | 9 | 地域でまとまって活動する背景には、先生方の負担を減らすことや顧問になってもそのスポーツを多少の経験で指導する厳しさ、少子化問題における運動部の人数不足などから致し方ないと思えるかも知れないが、私は反対である。例えば、野球部に例えると、A中学には15人いて活動が可能 B中学には5人しかいない…でも、C中学には7人いる この場合、BとCの中学校が合同になって、BC中学として大会などに出場すればよいのでは無いか？高校野球の地区予選でも4、5校が合同チームとして参加している。仮に、地域統合チームにして、外部から指導者を招いた場合、賃金等は発生しないのか？ボランティアでやってもらうのか？ | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 620 | 9 | 地域移行は賛成である。これだけ世の中が多様化している中で、部活動を同じ形でやり続けるのは特に教員側にとっては負担が多すぎるかなど。子ども教員もやりたい人だけ行えるような制度や仕組みを進めてほしい。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 621 | 9 | 通う中学校の部活動が少ないのもあり、保護者同士や子ども達とも部活動について話題があがるが多くなった。先生方の負担もわかりますし、専門的な方に教えてもらえる機会があって小学校の友達と同じ中学に通いながら部活を楽しめるのなら、とても良い取り組みだと思う。高学年になりとても悩んでいるので、少しでも早く施行されたら嬉しい。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源などの実情や課題は様々ですので、地域の実情に応じて多様な手法の中から、それぞれの地域に適した方法を、できるところから取り組んでいくこととしています。無理な移行によって生徒の活動に影響が出ないように、配慮して進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 622 | 9 | 神奈川県で公立学校教員をしている。業務過多で体調を崩したり、現場に復帰できなくなってしまう方を身近に見ており、少しでも負担が減ることを求める。そのために、専門的な知識を持つ方が担うことでよりよい活動になるであろう部活動の地域移行化は、積極的に進めていただきたい。できる限り早期の決定と実施をぜひお願いする。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 623 | 9 | 部活動の地域移行をお願いしたい。理由は練習、それに伴う大会準備や大会のための出張に多くの時間と自費をつかっているから。大会では朝早くに役員集合の時間に間に合うために、高速や駐車場代といった自腹をかなり切ってきた。旅費や生徒が出場していれば特勤がつくが、それでは足りないので自腹を切っている状態。事前に家庭の予定を決めていても、大会を行うための出張も(休日に)入ったことがあり、家族に申し訳ない。その他に学校の事情などで、専門外の顧問をやったこともある。そういった経験をして負担を抱えている人は少なくない。他にも様々な問題があると思うが、部活動の地域移行をお願いしたい。 | 3 | 外部指導者が十分に確保できれば、大会の生徒引率業務の負担軽減が可能になると考えます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 624 | 4 | 子どもたちにとってより良いスポーツの経験をするために、できる限り専門の知識がある人が指導をするべきだと思う。現状、専門でない人でも顧問として指導しなければならないのは双方にとってメリットが少ないと感じている。生徒指導の面で部活動が有効な場面もあるが、学校会場で部活動を行ったり、平日に教職員が無理のない範囲で見学したりすることで段階的に学校現場から離れていきつつ、生徒の心身の向上を近くで見られるようにすれば、生徒指導の面でも課題を解決できるのではないかと思う。 | 3 | 外部指導者が十分に確保できれば、御提案のような方法も手法の一つであると考えます。指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 625 | 4 | 部活動は、学問、運動ともに黄金期とも言える大事な時期の時間を使っている。素人やただの経験者に指導してもらいより、お金を払ってでも最新の知見を持つ指導力のある専門家に指導してもらいたい。全ての部活動に専門家というのが難しいならば、一部でも良い。小学校も同様。習い事、という枠でよい。お金や送迎の問題で才能を埋もれさせている子が多いと思う。運動は学問の向上にもつながる。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。 |
| 626 | 9 | 外部委託に賛成。入りたい子は外部クラブへ。学校の部活動だと多くの子どもが部活動に入るため、部活動に入るべき、と、子どもが勝手に感じてしまっていた。部活動に入らなくてもいい、という選択をしづらくなっていた。部活動をやりたい子は外部クラブを。やりたくないなら入らなくてもいい、という選択をし易い空気であって欲しい。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」記載しており、子どもたちの多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。 |
| 627 | 5 | 運動部に子供を入れている。放課後の活動や土日のどちらかには試合を組んでくださり、顧問の先生方には感謝しかない。しかし、運動部活動種目の経験者ではないからか、生徒も未経験者やそれに近いと部員は強くなれない。部員次第でもあるが、ご指導いただく方は経験者や未経験でも指導がうまければ強くなれると思う。ただ、学校生活全体として考えると、学校生活と部活動を完全に切離す事で、外部指導者は学校生活にかかわりが無いため情報共有がされない(例:学校生活でいじめがありそれを部活動でも情報共有、または逆もあり)という事が起こらない様にはしてほしい。 | 1 | P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に、顧問教諭と外部指導者等が部活動の内容や必要に応じて学校生活の状況等について、個人情報に留意しながら情報共有を図る旨、追記しました。 |
| 628 | 1 | 先生方の負担軽減にもなりますし、地域人材が学校に関わっていただくことで、「地域で子どもたちを見守る」ことに繋がるのではないかと思います。積極的に地域の方に入って頂きたいです。 | 2 | 御意見については、P1「はじめに」に記載のとおり、子どもたちを取り巻く様々な主体が連携・協力し、子どもたちのより豊かなスポーツ・文化芸術等活動の環境整備に取り組んでまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 629 | 9 | 中学校の部活で学べることは沢山ある。同じ仲間、顧問の先生と一緒に練習したり、大会に出て、優勝の目標に向かって練習し、優勝できれば、みんなで喜び、負ければ、皆んなで悲しみ、次の目標に向かってがんばる。これから、大人になって行く子供達には、とても大事な事だと思う。地域移行すればと言う体験ができなくなります。その部活動を続けたい子供が、親の都合でできなくなる。その部活動を教えてくれるクラブチームを探さなければならないし、お金もかかる。送り迎えもできない親もいる。先生も部活動の顧問になる事を覚悟して教師になったはず。なので、部活動地域移行は大反対。心の素直な子がいなくなる。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。また、移行に当たっては、学校部活動の意義を継承しながら、子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 630 | 9 | 移行するにあたり、地域によってばらつきがあるようなやり方はやめてほしい。ある程度同じ部活動があるようにしてほしい。特に近い学校で、陸上がない等があるのは不公平さを感じる。子ども達は、部活動を通して学ぶことが多くあると思うので、子ども達のやる気をつぶさないように、子ども達をきちんと管理できるところをお願いしてもらいたい。 | 3 | 部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 631 | 4 | 指導者の報酬をしっかりと明記して、人材の確保に向けた取り組みの強化を切に願う。 | 3 | 指導者の報酬は、受益者負担が基本となると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 632 | 9 | 賛成です。部活動の活動日数が多いと感じる。また、夏休みの猛暑日の活動や、活動日数の多さによって、体調の不安や、学業との両立が負担になっていると感じるので、地域移行をきっかけに、活動日数や夏休みの部活動について改善を求めたい。 | 3 | 子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保する必要があることから、適切な活動時間の設定が必要です。各学校において部活動が適切に運営されるよう、県が策定した「神奈川県和学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 633 | 9 | 先生の負担を軽減するのであれば、今のままの体制で、土日の部活動を禁止することで良いと思う。土日は子供にも自由に選択肢を持たせることができる。さらに追加で実施したい希望者のみ、スポーツクラブなどに加入することで良いのでは？今、うちではそのようにしている。学校はサイエンス部、土曜日にテニス。正直、保護者に負担が増えるのは厳しい。部活動とは無関係だが、検討をお願いしたいのが、現在2学期制で、定期テストの範囲が広すぎて、能力のない子供には勉強しきれない状態。今、単元テストに移行する学校が増えてきているとのことだが、神奈川は取り組みが遅れているのか。その方が学力は上がるのではないかと思う。それから、先生の違いによる格差の解消も検討お願いできると。あまりに差が大きい。塾頼りになっているのが現状ではないか。映像教育にお金をかけて、標準化し、先生はフォローにまわるなどして負担を軽減など、最新の技術を教育現場にももっと取り入れても良いと思う。 | 3 | 子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 634 | 5 | 義務ではないので、個々人ご家庭に任せる。昭和のお母さんより、今は、働くママの都合上、子供の課外活動に参加が物理的に困難です。 | 3 | 子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 635 | 5 | 子どもの希望や、担当教諭の負担も解るが、共働き家庭が増加している昨今の環境を考えると保護者負担の軽減についても配慮していただけるとありがたい。私自身の経験から、部活動は同じ方向性の思考をもった者同士が集まって活動するのが部もまとまりやすく、担当教諭や部員に対する不満や人間関係問題などは生じにくいのでは。生徒の部活動に対する考え方で活動内容を選択できるとよい。実力を付けたい生徒は、指導力のある所で結果を残すための活動を行い、エンジョイ目的の生徒は学校終わりに活動して帰宅する（学校が休みの日は活動なし）。スポーツ施設等の指導者に指導を仰ぐ場合は、指導料などが発生すると思うのでそこは一部助成するなどして経済的負担の軽減を図る（必要時は休日も活動あり）。友人との交流は学校内に限らず広く持ち、大会への参加も学校単位でなくても可能になれば、より高みを目指せる環境にもなると思う。それぞれのアイデンティティを尊重できる活動になる事を期待している。 | 1 | P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に、地域クラブ活動の運営・活動に伴う保護者への負担が、過度にならないよう配慮する旨を追記しました。また、子どもたちの志向や体力の状況に適した活動の確保に努めてまいります。 |
| 636 | 9 | 部活動をやりたくない先生や専門でない先生に指導してもらうより、きちんと指導できる人に、見てもらいたい。なので、指導者が見つからない活動に関しては、廃部で致し方ないと感じる。また、部活動を学校から完全に切り離して欲しい。そのため名称も部活動ではなくてクラブ活動等に変更して差別化を測るとともに、市外の活動でも魅力を感じれば参加できるようにして欲しい。なお、その部活動を専門で続けていて、部活動に意欲的な先生には引き続き指導してほしい。そのため、地域の方と同じ扱いで先生も入れるようにして欲しい。あくまでも、先生として指導に当たるのではなく地域の方の一人として指導に当たって欲しい。先生としてだと、やりたくない先生が、指導者がいない等でやらされて、現状の部活動と変わらない状況になりそうで不安である。また、地域移行にあたって県から幾らかの予算をつけてもらえると嬉しいが、基本はクラブ活動同様に保護者負担による月謝制にしていけないと持続可能な活動になり得ないと感じる。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載のとおり、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者、及び地域クラブでの指導を希望する教員が引き続き指導できるよう、取組を進めてまいります。また、外部指導者の報酬は、受益者負担が基本となると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。 |
| 637 | 9 | 平日、土日又は土日のどちらか部活動をしている先生方のお休みはあるのか、ちゃんと取得出来ているのか心配である。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 638 | 9 | 部活動は学校教育の一貫ではないと言うが、同じ学校の仲間と、先生と、学校の名前を背負って、頑張るものだと思っている。地域に移行したら、部活動ではなくクラブチームと同じ。指導してくれる方もそんなに簡単に見つかるのか。地域移行に反対です。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。また、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者の確保に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 639 | 9 | 部活動は、自分の学校でやるから部活動であって、授業が終わってから他の学校行って部活動をやるのはクラブチームのようで嫌です。学校内でやるのが部活動と考えています。 | 3 | まずは、休日の部活動の地域移行に取り組むこととしており、多くの場合、平日は今まで通り学校内で活動を続けていくことになります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 640 | 9 | まず、公立であり私立でない為、外部からの生徒を受け入れる必要はない。部活動の意味は？小学生からのチームメイトと同じ学校で同じメンバーでチームを組んで成長が見られるのか？経験者が未経験者を教えてあげ、指導者が全体を見て精神的にも支え合うのが本来の部活動。いきなり外部の生徒が来たら本来の生徒は何を思うか？考えた事がありますか？閉鎖的な考えで部活動をしていても進歩はない。関東大会や全国大会に行く事は学校にとって名誉なのか？所詮、神奈川県代表となっても高校や大学、実業団、プロになっても通用しない。精神的な成長がないから。外部の生徒を受け入れるメリットを教えてください。関東、全国大会に出場に援助する気にもならない。 | 5 | 地域移行によって、地域で同じスポーツや文化芸術活動等を行う中学生同士が、切磋琢磨し成長できる環境が得られることはメリットであると考えております。 |
| 641 | 9 | 休日の活動において、段階的な地域移行とうたっていますが、平日の活動はこれまで通り、教員が行うのか？勤務時間は、ほとんどの学校で8:30から17:00。部活動の最長活動時間は、ほとんどの学校で18:00まで。その時点で、1時間の残業です。特殊勤務手当が支給されていますが、500円である。県の最低賃金以下の支給額で働いている。これを善意の上に成り立つというのではないか。善意で労働は成り立たない。平日も段階的に地域移行を進めていくべきではないか。まずは、休日の活動から。そのあと、平日の活動も。では、遅い。その間、善意を銘打ち、教員に負担を強いるのか。教員の働き方改革も地域移行の要因であると掲げるなら、活動を地域に移行するだけでなく、労働に見合った手当の支給も検討すべき。教員は、本来の勤務時間内に教材研究、学級経営に係る業務、生徒指導・支援、家庭との連携などの本来の業務を行うべき。 | 3 | まずは休日の部活動の地域移行を進めることとしていますが、平日の活動の地域移行を否定するものではありません。地域の実情に応じて平日の取組を進めていくことも考えられます。なお、教員の各種手当に関するご意見については、方針に反映することはできません。 |
| 642 | 6 | P.13 3(2) 休日を使った大会の運営や日時の設定、役員の手伝いへの動員など生徒への指導だけではなく半強制的なボランティアとされる顧問の仕事など、各関係団体・機関と交渉、調整をすることについてもぜひ言及していただきたい。 (3) ”検証”が必要ではないか。実際に導入したものの、勤務時間が増えてしまっている、長時間労働を助長してしまっているという可能性もある。 P17 この役割の中に、「学校職員に過大な要求や負担をかけることのないよう調整を図る」などという考え方をぜひ入れていただきたい。実際に指導員を導入するが、夜に連絡が来たり、過剰な要求があったりもする。また部活動時間や日数について、「大会前だから1日練習いいだろう」いまだにそのような学校がある。「学校の実情に応じて」は本当に抜け穴だらけで、言葉巧みに言い換えられる。こうすることで大会で上位になる学校は、ガイドラインを守っていない学校が上位で評価され賞状を受け取る。健全に部活動運営が行われているか検証をつづけていく考え方を、どの項目でも良いので入れていただきたい。 | 1 | 大会の運営等に係わる負担に関する御意見は、P20「大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」に記載しており、主催者等と協議を進めてまいります。 検証に関する御意見については、P14「地域移行を進める体制づくり」「協議会等の検討体制の整備」「県の役割」及び「市町村の役割」に、地域移行の取組の進捗状況や課題等を把握し、助言や支援を行う旨を追記しました。 また、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に県や市町村及び学校の方針を遵守することが記載されています。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 643 | 3 | 夏の部活動の制限をしてほしい。引退試合を春休み、GWにするなど。 | 5 | 各学校では、部活動ごとに大会や生徒の休養などを踏まえて計画を立て、運営しています。保護者会等を通じて、学校に相談してはいかがでしょうか。 |
| 644 | 3 | 部活動では集団で何かをする大切さをおしえほしい。得意な生徒やできる生徒だけではなく、できなくても参加している生徒全員も含めて認め合える環境をできるだけいいので作って欲しい。そのためには指導者が精神的な支柱となって互いを認め合う指導もして欲しい。息子は今年部活動を引退しましたが、部活動の競技に興味を持って入部したはずが、その競技(野球)を嫌いになって引退した。勝つことや入賞することだけが目的ではない部活になるような専門家の指導を望む。 | 3 | 子どもたちの多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。費用については、保護者負担に配慮して取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 645 | 9 | 部活動の地域移行に賛成。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 646 | 3 | 質問意見書 5/5 希望する部活動がその中学に無い場合、クラブチームに入れれば良いとのことですが、我々が生活している地方では、圧倒的に部活動の競技種類の方が多い。綾瀬市で協会が存在するスポーツ団体ですら、中学生の指導に抵抗があるのがほとんど。この為、中学校の部活動がなくなれば、結果として路頭に迷う生徒が多くなる。送迎や金銭的な問題も大きい。非課税世帯も多くある。部活動という社交場がなくなり、人としての成長をする機会を失えば、ますますその生活から抜け出せなくなる。私の子供も学区内に希望する部活動がなかったが、市長と面談を行い、隣の学区の中学校へ通っていた。本人は少し遠いと言っていたが、何も問題なかった。メリットを真のメリットとするために、今一度協議していただきたい。すでに移行期間に入ったが、全体的に情報伝達が良くないと感じる。顧問の先生方への情報の入り方、保護者への説明不足、どこが原因なのかわからないが、最終的なし寄せは、保護者や生徒たちにくるので、前広かつ、スピーディーに情報を共有していただきたい。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」に記載しておりますが、あくまでも地域の実情に応じた段階的な取組を推進するものであります。しかしながら、情報共有は重要ですので、P14に保護者との連携に関する内容を追記いたします。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 647 | 5 | <p>質問意見書4/5</p> <p>◎費用の負担を本当にすべて保護者に負わせるのか？非課税世帯の会費を安く等はできない。既存のジュニアチームの月謝を基準にすると月々5～7倍の負担増になる。有資格者を指導にあてることを考えると既存のジュニアチームよりも高額になる。金銭的な理由で入会できない家庭が出ることは避けたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市や県から中学生を育成する団体への助成を用意する考えはあるか？ ・各中学校が外部コーチに支払っている金額を置き換えることができるのでは？ <p>◎中学生大会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中体連が中心となって大会を開催しているが顧問が居なくなることで消滅するのか、もしくは顧問ではなく職員を中体連に派遣して運営自体は続けていくのか？ <p>バドミントン協会では中学生だけのオープン大会を開催し始めています。</p> <p>最後に、全体としてメリットとデメリットを今一度議論してほしい。米国にならって日本も地域に移行していくことは良い動きである。教員の長時間労働は確かに問題。教員の世代交代が起こり一部に部活動を持つことが苦痛に感じる、その声を黙認するわけにはいかないのは理解できるが生き甲斐とを感じる教員もいる。</p> | 3 | <p>活動の運営にかかる費用等は、受益者負担が基本であると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して進めていくこととしています。また、保護者にとって過度な負担とならないよう適切な会費を設定することとしています。</p> <p>大会運営等については、各主催者が判断することになりますが、主催者等と協議を進めてまいります。</p> <p>なお、地域クラブ活動の運営団体等に対する助成は、現時点では未定ですが、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 648 | 4 | <p>質問意見書 3/5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移行期間で市内に5校あるすべての学校に最低2名以上の有資格者をおくために、年間2名の補助ではなく、4名分の補助をいただきたい。(補助を受けるにあたっての方法も不明確である) ・移行期間中は有資格者が教育を行って、認定した者も指導にあたることを承認いただきたい。 ・2年ごとの更新費用についてどのようにお考えか？ 行政から助成するつもりはあるか？ ・部活動指導士の認定協会が複数あるようだが、どれでもよいのか？ <p>◎現在指導にあっている顧問をサポートとして一緒に指導していけるような仕組みにする。公務員の副業は禁止されているため、仮にジュニアチームでの指導が始まった場合、コーチという枠では既存の部活動部員を指導することができない。中には顧問が好きで部活動に参加している生徒もいる為、競技を辞めてしまう生徒も少なくない。また、事の発端である教員の時間外労働であるが、“生きがい”として顧問を持っている先生もいることを今一度理解していただきたい。</p> | 3 | <p>部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択していくこととなりますが、御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 649 | 5 | <p>質問意見書 2/5</p> <p>私たちと行政のゴールは同じ。顧問の先生方は本当に身を粉にして部活動を受け持ってくれている。私たちはボランティアなので、そこまでの力には及ばないが、その助力となり、生徒たちに健全な中学校生活を送らせてあげたい。</p> <p>◎市内の中学校体育館の使用についての確認。</p> <p>1、現行の市内の小学校体育館のように登録制で無償使用できるという事になるか？</p> <p>2、移行期間において、平日を含む体育館の使用は、他の中学校部活動より優先的に曜日と時間を指定できるか？もちろん、他の協会の方々とは調整をさせていただく。(指導者を派遣する際に、固定した時間帯であることや、時間的制約が無い方が、手配しやすいため)</p> <p>◎学校運動部活動指導士以後、有資格者について、私たちは、今ある部活動をそのままの形として、中学校ごとに有資格者をおき、会員を指導していく構想である。こうすることにより、生徒たちは今までと変わりなく、自分の中学校の部活動に通う感覚で続けられる。(バドミントン部が無い学校は新設となる)</p> | 3 | <p>学校施設の利用に関する規定等は、各市町村によって異なります。また、地域クラブ活動の運営については、地域の実情に応じて取組を進めていただければと思います。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 650 | 3 | <p>綾瀬市バドミントン協会 質問意見書 計5ページ 1/5</p> <p>初めに…</p> <p>私たちバドミントン協会は、3年前からバドミントンにおける中学生育成活動を始めている。市内のすべての中学校顧問と信頼関係を築き、十年以上ある小学生ジュニアクラブの育成実績をもとに活動を行ってきた。よって、地域移行については、すぐにでも行える準備がある。しかし、今部活動に通う生徒たちは、家庭環境なども含め、生徒一人一人には複雑な事情がある。この為、改革を行うには行政とより深く話し合いを重ね、不幸を被ってしまう保護者や生徒が出ないように進めなければならない。私たちとしても、この改革は競技人口を増やし、技術力を求める生徒には必要な指導が与えられる良い機会になると思っているし、現在、県外へ流出してしまっているハイレベルな小学校卒業児童をとどめることができ、綾瀬市のバドミントン協会が活発に発展していく希望さえ見える。</p> | 5 | <p>御意見のとおり、部活動の地域移行が地域のスポーツ・文化芸術等活動の充実・発展につながることは理想的であると考えます。</p> |
| 651 | 5 | <p>市民センターで行なっている、習い事同様、月会費を設けて、外部委託するのが良い。費用の負担が厳しいご家庭には支援は必要。</p> | 3 | <p>地域クラブ活動の参加費は、受益者負担が基本となると考えおりますが、費用については保護者負担に配慮して取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 652 | 3 | 部活動はソフトテニス部に入っているが、先生の負担軽減という理由で今年男子テニス部が廃部に、来年は卓球と陸上部が新生募集廃止になった。男子テニス部は近くの中学校にあるので廃部にする、という理由もわからなくはないが、卓球も陸上も人気の部活だと聞いている。陸上は個人競技もあるが、リレーなど団体もあり、団体種目は諦めてくれと部活懇談会で校長に言われた、と友人が話していた。先生にとって部活の負担は大きいのは分かるので、学校に外部講師をお願いしたらどうかと提言したが、金銭的に難しいと言われた。先生の負担軽減も大事なことだが、そもそも部活動は教育の一環だと思うし、子どものための部活動なのに、何の対策も考えずにいきなり部活動を廃部にするのはあまりに一方的すぎるし、こちらは決まったことを報告されるのみで、抗議しても決まったことだからとはねかえされた。指針や方針を考える人は、机上だけでなく、ぜひ現場に足を運んで、現場の課題や要望を直接聞いて欲しい。 | 1 | P14「地域移行を進める体制づくり」「協議会等の検討体制の整備」「市町村の役割」に、地域移行の検討に当たり、アンケートやヒアリング等を実施する旨を追記しました。 |
| 653 | 3 | 部活動が学校の先生の負担となっていることは理解できるが受け皿となる地域移行先（クラブチーム）に対応能力があるかどうかの事前確認をしてほしい。いきなり移行されても試合に出れない状況（親が審判できない等）もあるかもしれない、子供たちが不利益を被ることになる。先生が部活動を見ない＝学校の時間（夕方まで）部活動できない＝土日および夜活動になる＝親の負担が多くなる、のは目に見えているので時間や金銭面でもクラブ活動に参加させることができない家庭が多くなり、運動できない子供が増えるのではないかと気軽に運動できる状況を整備してほしい。 | 3 | 地域移行に当たっては、P13「基本的な考え方」「地域の実情に応じた取組」に記載のとおり、それぞれの地域に適した方法で、できることから取組を進めることとしています。また、費用については、保護者負担に配慮して取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 654 | 6 | 中学3年生の保護者である。3年間運動部で活動した。小6の時の説明では「部活動は平日一日休み、土日どちらか半日程度」という説明だったが、クラブ活動としても活動しており、結局土日はほぼ休みなしだった。ほとんどの部活動が県の方針にしたがい活動を縮小している中、「クラブチーム」という抜け道で活動している部もあるのが実態。その中学校に勝つには同様の練習内容でないと相手にならない。結局、先生も生徒も保護者もハードな昔ながらの部活動をしていた。地域移行も良いと思う。しかし学校における部活動も人間関係を学ぶ場として必要。本当は学校のみで部活動を成立していくのが良いが、地域移行を地域や学校の実態に合わせて並立していくしかないのかなと思う。ただ中体連の大会などはクラブチームとして活動していない、純粋に部活動として活動している中学校と地域移行のクラブチームとは分けて開催するなど配慮する必要がある。今回夏の総合体育大会で目の当たりにした。クラブチームでない学校は悲しすぎる内容だった。リーグを分けるなど、配慮してほしい。 | 3 | 大会については、P20「大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」に記載しておりますが、今後の取組の参考とし、主催者等と協議を進めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 655 | 5 | <p>これまで公立中学校の部活動が、なぜこのような状況で放置されてきたのか、ひとえに教職員の「定額働かせ放題」に行政が甘えてきたからに違いない。安倍政権で始まったいくつかの悪施策も重なって、教職員の労働環境は劣悪を極め、結果として教職を希望する人が激減、教員の質が劣化している。授業の準備や生徒と過ごす時間を確保し、教員本来の業務に専念できるように、部活動の地域移行を確実に行ってほしい。かけ声ばかりで一向に進まないのではないかとの不安も大いにある。その理由は必要な予算が計上されないまま議論されるから。ぜひ、必要な予算の計上し部活動の地域移行を確実に実現してほしい。</p> | 3 | <p>部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 656 | 9 | <p>現役公立教員である。まずは、集計していただいたデータと、示されているいくつかの指針に感謝する。そして、これらをもとに言えることは、業務が多種多様化している教員が、少額の特別勤務手当のみで今までのように部活動をやっていくことは不可能ということ。去年度、私の同僚は2人療休に入った。どちらも部活動で残業・休日出勤をしていた。一人は正雇用一年目で辞職した。全てではないと思うが、多様化する業務の上のしかかっていた部活動担当業務が健やかな精神を奪ってしまっていた。生徒の成長を考える上でも、地域移行をして横のつながり（他中学）と縦のつながり（年上から学ぶ）を強めていく方がいい。他中学の生徒と関わることで意見交換ができるし、高校生が中学生に教えることで、高校生に教える技術が備わり中学生は容易に新技術を習得できる。お金があれば、地域指導者や受け入れ団体が名乗りを上げるはず。そのために、全予算に対する教育予算の比率を高め、特別勤務手当を地域にスライドさせ、参加希望の教員は今まで通り指導ができるようにすることを提案する。</p> | 3 | <p>部活動指導に係る教員負担については認識しており、軽減が図られるよう取り組んでまいります。また、予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 657 | 4 | <p>子供3人スポーツをさせている。小学校からクラブチームに所属し、中学で入部しなかった。その理由に人数が少なく、他学校の子もそのような傾向があり、上を目指すには部活動にメリットがなかった。なのでこのような取り組みは良いと思うが、指導者によっては暴言のような言い方をする方も多い。発達障害(グレーゾーンの子)も多くなっており、性格や指導方法、相談役として先生との連携は大事。指導者への定期的な研修のような体制もきちんとした方が良い。今回には関係ないかもしれないが、練習する環境として体育館の冷房はこれから必須ではないか。外でのスポーツは仕方ないが、練習したくても危険な暑さで制限されては可哀想。体育館は避難所でもあるし、導入しているところも増えている。</p> | 2 | <p>御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しており、指導者の資質向上に努めてまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 658 | 3 | <p>学校生活では、教えられないこと・学べないことの延長に部活動があると思っている。サークル（遊び）での活動なら、平日のみでの活動で十分。上の大会を目指しているなら、土日・休日も活動をしなければ勝ち上がることができない。でも、ただ活動をしているだけでは上の大会に出場することはできない。技術はもちろん礼儀もしっかり出来ていなければ勝ち上がることができない。外部コーチを招いたり、地域移行にするのであれば、過去にそれなりに結果を残してる人、指導力がある人を採用して欲しい。また、大会や遠征するときは教師が付き添わないといけないルールがあったり、大会の進行を現在職員がやってくれてるが、地域移行にした場合はどうするのかも考えないといけない。</p> | 3 | <p>指導者の資質向上に努めてまいります。また、大会運営については、各主催者が判断することになりますが、主催者等と協議してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 659 | 9 | <p>地域移行とあるが学校と切り離して考えるべき。手当もろくに出さない。生徒を人質にとり教員の時間を搾取するようなやり方はおかしい。</p> | 3 | <p>部活動は学習指導要領に位置付いた教育活動の一環であるため、完全に切り離すことは難しいと考えますが、P13に記載のとおり、まずは休日の部活動について、外部指導者等を活用して地域移行の取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 660 | 4 | <p>1. 練習場所の確保 各種目に複数のクラブチームが設立された場合、地域の公民館や体育館の数が足りず練習時間が確保できない現状がある。 練習場所が確保できなければ、メンバーの募集もできないので新たなチームの発足の壁となっている。</p> <p>2. 指導者の管理 地域に移行し、教師ではない人が指導者を務める場合、指導者としての資質等の管理が心配。一般のクラブチーム等では古い考えがまだまだ横行しており、ハラスメントのような指導が行われているチームもあると聞く。そのようなチームがこれから増えてしまい、そこに子供たちが行くことに不安を感じている。定期的な練習の抜き打ちチェック、指導者のセミナー、講習会等の整備が必要。</p> <p>3. 収入の差による機会の損失 地域移行した場合、月謝等が発生すると思われる。家計が厳しく月謝が支払えず、機会を得られない子供たちが出てきてしまう。そのような事態にならないよう、市や県からの援助金等で子供たちが基本的に無償や一部負担のみで活動ができるようにして頂きたい。</p> | 3 | <p>地域ごとに部活動指導を担う人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めることとしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 661 | 5 | <p>「子供たちが生涯に渡りスポーツや文化芸術等の活動に親しむことができるよう、持続可能な活動の環境整備していく」とあるが持続可能な活動の環境を整備するには予算措置が必要である。p14「2 地域移行を進める体制づくり」において改革推進期間以降についても、国や県による財政負担を明記していただきたい。</p> | 3 | <p>部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 662 | 5 | <p>土日や長期休暇中など毎日部活動をする必要はないと思う。近年の夏は酷暑でもあるし、夏&冬休みは週に2、3日の活動なり、『休みは休息』という意味も含めて適度な部活動をしてほしい。家が遠い児童は行き帰りだけでも熱中症のリスクがある。中学は勉強にも時間をあてたい。</p> | 5 | <p>各学校では、部活動ごとに大会や生徒の休養などを踏まえて計画を立て運営しています。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 663 | 3 | 地域移行には一部賛成。反対の部分は親がチームに口を出すことはデメリットが多く親はお手伝い程度なら可。賛成としては地域の人と年の離れた人と繋がりの一つとして活用できる。 | 3 | 地域移行に当たっては、学校部活動と同様に、保護者とも連携を図っていく必要があると考えます。御意見については、今後の参考とさせていただきます。 |
| 664 | 5 | 県の役割として「国に財政的な支援を要望する」とあるが、国の財政支援がなければ地域クラブ活動は進まないのか。県の役割として、財政負担をすべき。また、市町村で格差が生まれないように財政負担額においても配慮すべき。加えて、市町村の役割として、「コーディネーターなどを活用」と示されているが、人数と役割を明記したほうがよい。 | 3 | 部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 また、コーディネーターについては、自治体ごとに様々な活用方法が考えられます。今後、県内外の情報を収集し、役割等を例示してまいります。 |
| 665 | 5 | 土日の部活動は先生方の負担が多いので、外部の専門の方が部活動を指導する方向に少しずつ変わると良い。ただししっかりとした情報の共有が必要。 | 2 | 御意見については、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「学校の役割」及び「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。 |
| 666 | 3 | スポーツを競技として取り組みたい児童と、友達と楽しく活動したい児童が混在することは指導者側からすると、かなり難しい問題だと考える。線引きを明確にし、児童が選択できるようにしてほしい。 | 3 | 各地域クラブ活動において、生徒の志向に合った活動環境が整備されるよう働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 667 | 5 | 子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動を親しむことができるよう「持続可能な活動の環境を整備していく」とあるが持続可能な活動の環境を整備するには予算措置が必要。文化活動の指導者への謝礼は市や県が思っているより沢山の金が必要なので、十分な予算措置がほしい。 | 3 | 部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 668 | 5 | ・「子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動を親しむことができるよう、持続可能な活動の環境を整備していく」とあるが、持続可能な活動の環境を整備するには予算措置が必要。「2 地域移行を進める体制づくり」において、改革推進期間以降についても、国や県による財政負担を明記していただきたい。 ・県の役割として、「広域的な人材バンク等を整備」、市町村の役割として、「人材を発掘」とあるが、それぞれの役割が不明確である。県として、市町村と県の人材バンクを連携させるとともに、指導者の報酬について一定の基準を明記すべき。 ・学校の役割として、「顧問と外部指導者等が、活動内容の報告をするなど、情報共有をはかる」とあるが、これでは顧問が休日もくることになりかねない。情報共有するためのシステムを、県として確立してほしい。 | 3 | ・部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 ・市町村が自治体の枠を越えて指導者を確保できるよう人材バンクを整備します。また、市町村の指導者を多く人材バンクに登録できるように努めます。指導者の報酬については基準については今後の検討課題としています。 ・顧問と外部指導者との情報共有の方法は様々考えられますが、事前協議により相互の負担とならない体制を構築することを追記しました。 |
| 669 | 9 | 部活動はあった方がいいと思いますが、土日や平日の5時以降にあるのがつらい。 | 5 | 各学校では、部活動ごとに大会や生徒の休養などを踏まえて計画を立て運営しています。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 670 | 5 | 学校内での部活推進派と否定派の溝が大きすぎて非常にやりづらい。月の予定が部活動で左右されたりして仕事に影響がある。やるならしっかり金銭面の仕組みを整えてほしい。1時間900円とかバイトした方がマシ。部活動をするために教員をやっているわけではない。もっと時間をかけたいことがある。家族がいて、帰るのが22時以降、部活動がなければ、もっと早く事務作業が終わり早く帰れる。とにかく、やらせるなら金銭面を充実させる。それ以外は、学校から切り離す。 | 3 | 教員が部活動指導に従事する場合に支給される特殊業務手当の支給額については、方針に反映することはできません。地域クラブ活動での指導を希望する教職員等については、兼職兼業の許可を得ることで、報酬を受け取って指導できるようになります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 671 | 5 | 地域移行にして先生達の負担が減るならよいと思う。私が住む葉山町の小学校はサッカークラブがあり、パパたちがほぼボランティアで運営している。これだと先生かパパかの違いしかなく全く意味がないと感じる。地域移行ならそれをみる方々は有償であることが必須。ただそれがクラブだとクラブ代で家庭には負担がある。県からの補償や金銭的なサポートを望む。 | 3 | 保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 672 | 9 | 先生方が時間外に部活動の業務を担当するのは負担が重すぎる。外部に委託して欲しい。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 673 | 3 | 教職員の負担軽減や、地域の方が関わることは子ども達にとって良い。しかしながら、中途半端にボランティアを募るような形では部活動の衰退が避けられないので、自治体がしっかりと財源を確保して、意欲と知識のある方がそれなりに報酬をもらい、活動頻度や質を維持してもらうのが理想。部活動では、仲間との関わり、目標をもって努力する大切さ、成長できる喜びなど、計り知れない学びがあるので、ぜひ大切にしていきたい。現在、神奈川県ではジュニアチャレンジプロジェクトなどアスリート育成に力を入れている。公立中学においても、強豪部活動に越境入学し頑張っている子ども達の話を目にするが、市内の越境は「該当する部活動がない場合」、市をまたぐ越境は「住民票を移して該当市民として入学」など、本当にその種目に打ち込みたい子が不可抗力や経済的理由で諦めざるを得ない場合が出てきている。「入学前に練習参加し、実力が認められた場合」など条件付きでもいいので、もう少しシステムを考えないと、せっかくの才能が他県や私立にどんどん出て行ってしまう。 | 3 | 指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。また、部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。ジュニアアスリートの育成については、今後の施策に当たっての課題といたします。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 674 | 9 | 公立中学校の部活動であれば、希望者のみが部に所属し活動に励むようにすること、外部の指導者もしくは希望する教員が有償で責任を持って行うこと、所属の有無により受験の内申に影響を及ぼさないことの徹底を最低限望みたい。入学時にはなんの説明もない保護者負担（金銭的だけでなく、試合会場への送迎など時間的な負担も）にも困っている。運動部での活動を望まない子もいるので、各個人が集中したい勉強や学校外での活動に影響が出ないよう尊重してほしい。公立の中学校の部活動はここまで、という線引きをはっきりしてほしい。教職員の顧問負担も本当に割りに合わないと感じる。まさか部活指導=無償労働ではないか？練習試合や試合会場に引率している場合は当然休日もつぶれている。教員の仕事とは別として扱うべき。 | 3 | 生徒の活動の保障はP13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、指導者の確保についてはP15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しております。教員の負担については、まずは休日の部活動の地域移行を進めることとしており、軽減に向けて取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 675 | 4 | 部活動の顧問の先生がご自身の意思に基づいて顧問を引き受けていらっしゃるのであれば、その意思を尊重し、ぜひともお願いしたい。一方で、公立中学校の先生方は授業の準備等で忙しいから、不本意ながら部活動の顧問を引き受けていらっしゃるのであれば、地域移行を積極的に進めるべき。部活動の部員(生徒)にとっても、部活動の顧問を不本意に引き受けていらっしゃる先生に指導を受けることは、あまり良い影響を与えない。幸いにも、私の子供が所属している部活動の顧問の先生は、ご自身の意思に基づいて積極的に指導してくださっている印象を受けており、とても感謝している。 | 2 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。なお、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。 |
| 676 | 4 | 「地域移行」という言葉だけだと、地域にも人材が十分いるわけでもないし、また平日の午後に部活として教えられる人は高齢者メインだと思うのでやや抵抗感がある。なので、地域移譲というよりは、「専門家への移譲」とし、きちんとしたコーチをお願いするなど、現実的なスキームでぜひ先生の働き方改革を推進していただきたい。また本来であれば学校単位ではなく、公民館などの単位として、そこで一部の部活動を行えば必要な指導者の人数も抑えられるのではないかと思った。生徒は一度家に帰り、習い事のような感覚で部活に臨んでもらっても良いのではないか。最後だが、市町村に人材コーディネートの丸投げだけはご勘弁願いたい。 | 3 | 県として市町村の取組を支援していきます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 677 | 9 | 中学校の部活動は地域移行して、高校は無視か？なぜ中学校だけが対象なのか、その説明も必要ではないか。 | 3 | 高等学校段階においては、多様な教育が行われている状況や、部活動が学校の特色となっている場合等もあることから、実情に応じて取り組むこととしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 678 | 9 | これだけ教員の多忙が言われている中で、神奈川県部の活動に対する動きは遅すぎるのではないか。部活動をなんとかすればそれは教員の質の低下の防止につながるはずである。喫緊の課題であると思う。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 679 | 9 | わたしは野球育成をしてきたので、地域の中学生の部活動の野球の指導をしたい。ただ本業をおろそかに出来ないので、土日などに専門コーチとして入れたらいい。日給も頂きたい。 | 5 | 地域移行の取組に是非御協力をお願いします。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 680 | 3 | この度、部活動の地域移行についての意見募集との事で、三人の子どもを持つ母として、子どもに関わる職の者として、社会を担う大人の一人として思いを述べたい。 部活動における子どもの育ちへの影響に関しては、とても良いものも多く、やりたい子にはその環境を与えてあげたい気持ちはあるが、それを学校側に求めるのは、先生方の負担があまりに大きい。また、部活動に入りたくない、入らなくていいと思う子や親も一定数いるので、そちらの思いも注視して受け止めてほしい。個人的な意見としては、地域移行も人が居なければ押しつけ合いや無理な運営になると思うので、従来の部活動という形ではなく、スポーツに励みたい子は個人で外部のスポーツクラブに入り、成績によっては内申としてその活躍も汲み取るようにすればいいのではないかと。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めていきます。内申との関わりについては、本方針に盛り込むことはできませんが、今後の取組の参考にさせていただきます。 |
| 681 | 5 | 我が家はまだ小学生の子供だが、少年野球をやっている。夏場も変わらず土日は1日練習である。先日、熱中症で亡くなった中学生の事件を耳にし、本当に、法律で夏場の2時間以上の活動は禁止とや30度を超える日は活動禁止とかせてほしい。結局、勝つために練習してしまうし、皆が練習している中、うちの子だけ参加させない、というのも正直できない。でも、熱中症も本当に怖い。中学生から法で整備してもらい、順番に小学生にも広めていただきたく意見させていただいた。一人の子供の命が亡くなっても、なお、法が変わらないなんておかしい。法で決めないと指導者には保護者は意見できない。指導者任せでは、変わらない。 | 5 | 学校における熱中症対策については、「熱中症予防運動指針」（公益財団法人日本スポーツ協会）に応じて、教員がどのような状況の時にどう判断し行動すべきか、危機管理マニュアルに沿って対応しています。 |
| 682 | 4 | 地域移行に伴い、クラブチームでの登録を余儀無くされた。細かい説明はなく、指導者がそちらで登録するから当然のように半ば強制的だった。全国大会などへの金銭的補助も公立中学校でないのだからとだけ聞かされ、その時になるまで知らなかった。試合に出るために新しい試合着を買わなくてはならず、宿泊、交通費の補助もなく、地域移行というのは金銭的余裕がない家庭にはキツイ。また、細かい説明もなく、選択の余地もなかったことに憤慨している。中学校に部活動がなく中体連の試合に出れない子には地域移行はありがたいのかもしれないが、そのために私立中学に通わせた家庭もある。試合会場も、保護者や指導者のヤジやマナー違反が多かった。中学校の教師であるならばもっと節度を持って試合に望むと思う。確かに部活動となると顧問によって熱量が違う。私立中学ならば当たり前なのが公立中学ではできなかったり、公立中学でも差があることは理解している。ですが、なぜ学校はやらない方に合わせていくのかが理解できない。私は子供に最後の年を中学の名前で出させてあげたかった。 | 1 | P15「地域移行を進める体制づくり」「協議会等の検討体制の整備」「市町村の役割」に、地域移行の取組を進めるに当たり、学校や地域等に対し、地域移行に係る理解を深めるための説明会等を実施することを追記しました。 |
| 683 | 3 | 学生の部活動は、本人の成長・人との関わり方・沢山の思い出ができることなど、自身の学生時代を思い返しても良い面がたくさんあるが、昔と違い現代の子ども達は遊ぶ時間もない程忙しい生活を送っているため、大会に出て上を目指す部活動と大会等には出ずに楽しむ部活動を分けられるといいのかな、と思う。楽しむ部活は週に2日や3日でも良いし、土日の活動をお休みにすれば先生の負担も多くない。暑すぎて危険な夏や、土日でも休みなく活動をしている方々を見ると、数年後に中学生になる自身の子供が心配になる。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 684 | 8 | これまでの部活動を支えてきた学校や教育委員会が移行の主体になっていては、思い切った変更はできない。生涯スポーツや文化振興の観点で、首長部局が中心となって学校や教育委員会に働きかけるという構図にしなければこの問題は進まないと思う。 | 3 | 御意見については、P14「地域移行を進める体制づくり」「協議会等の検討体制の整備」「県の役割」及び「市町村の役割」に記載しております。部活動の地域移行に向けては、首長部局と教育委員会が連携して取り組んでいくこととしていますが、御意見については、今後の参考とさせていただきます。 |
| 685 | 7 | 教育現場で働いている身としては、早急に地域移行を進めていただき、少しでも子どもの学習の充実に力を入れられるようにしてほしい。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 686 | 7 | 単純に時代とそぐわない運営体制になってきている。団体行動も大切だが、かつては部活動などで主に培われていたきらいがある。しかし、やることも選択も多様化してきた今、あえて部活動だけにフォーカスするのは何だか違う気がする。部活動だけでなく、学校運営そのものを包括的に変えていく、その一歩として今回の案が出たのでしたら賛成。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 687 | 9 | 学校の先生はとても忙しく、休日返上で部活の顧問をするのはいかがなものかと思っていた。学校の先生にも家庭があるので、プロに外注することに全面的に賛成。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 688 | 7 | 学校の先生の負担も大きいので、完全に地域移行と言うよりも、地域の方と学校とで分担したりなどの方法も有り。あとは、この時期の部活動の有無を問題視して頂きたい。熱中症で亡くなってる方もいる中で、熱中症アラートが出ていても部活動をやっている。休憩を多めにしたり、水分を取らせたりと先生方も色々工夫はして頂いてるが、そもそもアラートが出たら部活動は中止とするなど、市や県の方で徹底した決まり事をして頂きたい。学校や先生によって考え方も違うので。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。なお、熱中症対策に関するご意見については、方針に反映することはできません。 |
| 689 | 9 | 夫が教員の妻としては地域移行は賛成。私自身、中学、高校と部活動では土日、夏休みなど当たり前に練習があり、先生も指導してくださっていた。今、思うと先生のご家庭はどうだったんだろう？大変だったんだろうなど。先生方が土日はしっかり休める環境がととのいますように。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 690 | 9 | 平日は生徒との関わりを深くするためにも勤務時間内で部活動指導をしたいと思うが、土日は平日の仕事のパフォーマンスを向上させるためにも自己研鑽や休養に努めたい。なので、地域移行を早急に進めてもらいたい。また、部活動はその競技や活動の専門的知識が必要になり、負担が大きい。もし、今後も今の部活動の活動方針でいくならば、研修の機会や、賃金の見直しをし、働きにあった給料をいただきたい。 | 3 | 部活動指導の地域移行は、それぞれの地域に適した方法によって、できることから進めて行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。なお、教員の部活指導に関する手当については、本方針が地域移行に関するものであるため、反映することはできません。 |
| 691 | 5 | P.16,17「3 段階的な地域移行に向けた取組」(1)適正な運営体制の整備において、学校の役割として「顧問と地域指導者等が、活動内容の報告をするなど、情報共有をはかる」とありますが、まず、共有の手段を確立していかないと休日に顧問が出勤し、責任を持って使わせるようなことになりかねないので、県としての手段の確立を求める。また、仮に確立された時、顧問不在時に起こったトラブル等の対処はどのようにすべきか。仮に地域指導者とともに生徒指導にあたるのであれば、どのようにすべきであるのか、学校としての役割を更に明確にしてもらいたい。 | 3 | 地域クラブと顧問教諭の情報共有の方法については、多様な方法が考えられますが、教員の過度な負担とならないよう、様々な事例を収集し、有効な方法を検討してまいります。本方針は、現時点で考えられる方向性の大枠を示すものであり、具体的な役割や手段を示すことはいたしません。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 692 | 9 | 部活動は教員・学校がみるものという考えを、社会全体で変えていかなくてはならない。教員が引率しないと大会に出られないという仕組みも変えていく必要がある。また、部活動を無理やりやらせられてると思っている生徒がいることも問題(友達が入ってるから部活動に入らないといけなく思ってしまう)。地域の方に関わっていただけるのは、子どもたちの成長にとっても良いものとなるが、地域移行によって、教員の仕事負担増にならないようお願いする。様々な指導の問題・ケガの時の責任の所在・引率の問題・活動に関わる集金等の問題など。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 693 | 9 | 中学校教員である。放課後の時間がとても大切。1日にあったことに対して対応を考え、今後の流れを決める。それなのに、部活動があつたりするとその時間がとれない。自分は部活動が休みでも同じ学年の教師に相談したくても部活動でいい。部活動が生徒の成長にとって有意義なことは認める。それならば、学校の授業の時間を減らし、放課後の時間を確保してほしい。夏は18時までの部活動なんて、ありえない。勤務時間はとくに過ぎているのに、部活動で事故があったら教師の責任になる。はっきりいって顧問を持ちたくないのに、顧問を持つか持たないか、を聞いてもらえない。持って当たり前、という認識を改めてほしい。また、同じ学校の中で熱心に活動をする教師がいると同じようにやってもらいたい、と思う保護者が出てきて非常に全体のバランスが悪くなる。地域移行で外部のチーム主体に早くしてほしい。学校から部活動をなくすのであれば中途半端にせず、切り離れた形で実施してほしい。中体連の解体もやむを得ない。 | 3 | 部活動の指導に係る教員の負担については認識しており、軽減につながるよう地域移行を進めてまいります。しかし、地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、できることから進めることとなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 694 | 3 | 地域の大人と混じるより、市内の学校との統合で、同世代での部活動を経験してほしい。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 695 | 4 | 県の役割として、「広域的な人材バンク等を整備」、市町村の役割として「人材を発掘」とあるが、それぞれの役割が不明確である。県として、市町村と県の人材バンクを連携させるとともに、指導者の報酬について一定の基準を明記すべきだ。 | 3 | 市町村が自治体の枠を越えて指導者を確保できるよう人材バンクを整備します。また、市町村の指導者を多く人材バンクに登録できるように努めます。指導者の報酬については基準については今後の検討課題としています。また、先行的な自治体の事例等を紹介してまいります。 |
| 696 | 5 | 地域との関わりを増やすためには良いこと。ただ、そのために保護者負担、他のトラブルが増えるのではないかと不安にも思う。 | 1 | P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に、地域クラブ活動の運営・活動に伴う保護者への負担が、過度にならないよう配慮する旨を追記しました。 |
| 697 | 3 | 進めるにあたって、様々な面で予算と役割・責任の所在が、はっきりすることが重要であることを感じた。誰が見てもわかりやすい具体的なガイドラインがあり、子供にとってより充実した活動になることを願っている。 | 3 | 本方針は地域移行に係る取組の考え方をまとめたもので、具体的な整備の取組等は、各市町村の実情に合った形で検討し、進められていきます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 698 | 3 | この近年生徒数も減っている中、部活動の数も減少している学校もある。部活動において近い地域の学校が合併し、活動できれば先生の負担も減り消滅しないで済む部もある。一方、ある部活動に部員が集中した場合、顧問の必要人数や活動場所など増やさなくてはならない問題も出てくる。全部の部でなく、部員数が少なく活動維持が難しい部だけでもよいかもしれない。生徒が本当に心から楽しく、一生懸命力を注げることができる活動となるよう、また関わる先生達の重すぎる負担にならないような配慮をぜひお願いしたい。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 699 | 9 | そもそも部活動自体古い考えではないか。海外では部活動という概念はない。 | 5 | これまでに学校部活動が培ってきた教育的意義はあると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 700 | 4 | 外部指導者を強く望む。技術経験のない部活を受けもつストレスは非常に高く、その下で活動する子どもにとって何のメリットがあるだろうか。地域経験指導者に是非お願いをしたい。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。 |
| 701 | 4 | 地域以降に賛成 主な課題 ・委託する指導者の経歴と質 ・学校及び顧問との関わり方 ・指導者の権限の範囲 以上 | 3 | 「指導者の経歴と質」についてはP15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に、「学校及び顧問との関わり」については、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」に記載しております。「指導者の権限の範囲」については、実践的な取組を通じて、適切な範囲を整理してまいります。ご指摘の課題については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 702 | 9 | 子ども達の意見が一番重要だと思う。大人の都合で決めないでほしい。ただ、先生の負担が増えているのは部活だけが理由ではないと思う。定期テストの見直しであったり、紙の配布物削減など色々あると思う。学校にそれぞれ指導者が来校し、先生も当番制で見守るのがいいのではないかな。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 703 | 9 | 部活動の地域移行は賛成である。 今年中学1年生の娘の部活動を見ていて思うことを書かせていただく。 安定した専門家による指導 競技のプロではない先生が多く、小学生から続けている子供たちはその指導方法に疑問や不安を抱えたまま続けている。心も体も成長していく子供に適切な指導をうけられるようにしてほしい。 先生方の負担軽減 週末も朝早くから駅や会場で子供をまとめることが仕事の一環？ 休日は外部指導者に連携委託することで、平日の教師のパフォーマンスも上がると思う。 生徒一人一人に向き合う時間をとっていただきたいのに、半分を部活動にとられてしまうと、教師としての指導も半分になってしまうのでは？ 将来子供が教師になりたいと思えるホワイトな職場に早急にすべきだと思う。 保護者からみても、先生の働き方ではよい指導が出きるとも受けられるとも思わない。 中学の内申との切り離し 内申点がほしい。という理由で部活動に所属する生徒と、純粋にそのスポーツが好きで所属する生徒の熱量の差を埋めるため、もっといい方法はないかな？ | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。内申との関わりについては、本方針に反映することはできませんが、御意見については、今後の参考にさせていただきます。 |
| 704 | 4 | 学歴、職務実績（医療職や体育学部など）がある程度しっかりしていることは外部から委託する場合、最低限規定してほしいと思っております。 | 3 | 指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 705 | 7 | 保護者と先生の関係性が時代とともに変化してきているのに、部活動の形は変化がないままのため、顧問に負担が多いのしかかっている。 地域移行は前向きに進めるべきだが、課題も多い。 1. どの地域にも移行先があるのか？施設、環境など 2. 地域に指導者はいるのか？指導者の適正は？子どもを安全に任せられる人か？ 3. 部活動よりも活動にかかる金額が上がるのが予想される。貧困家庭や親の協力困難(学校での部活動だから参加できていた)など本人以外の理由でその実力があるのに諦めなくてはなくなる者を取りこぼしてはいけない。 では、そのサポートはどのようにするか？ 4. 学校、地域、保護者、何より子どもたち本人との連携が欠かせない。意見交換が必要。同じ気持ちにしていく。共有しやすい風通しのよいまちづくりがこの問題には関わり深いと思われる。と同時にうまく行けば、とても素敵なまちになっていけると思う。課題はたくさんあり、難しいことばかりですが、よろしく願います。 | 1 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見4については、P15「地域移行を進める体制づくり」「協議会等の検討体制の整備」「市町村の役割」に、地域移行の取組を進めるに当たり、学校や地域等に対し、地域移行に係る理解を深めるための説明会等を実施することを追記しました。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 706 | 9 | <p>外部委託には賛成である。三浦市在住だが、資料によるとすでに総合型スポーツクラブが設置されているのだが、初めて知った。まず、それがどのようなものか？知らないの良いも悪いも意見が言えないので、その存在が見えるようにしてほしい。また、自分は、中学校の体育館を借りて行っている競技のクラブに関わっているが、中学校と何か連携するということがないので、そのように学校施設を使用する団体と連携し、生徒の指導に手を貸せるのでは？と思う。現在、孫の部活動は、顧問が変わったばかりで、指導らしいことは受けられていない。経験のない先生が顧問になる場合は、市内の競技団体から指導者を派遣していただく、土日には他校と合同練習をしていただくなど、未経験の先生の助けになるようなシステムが必要。それを、先生同士が知り合いだからというようにことなく、教育委員会や、校長会などに、希望をだし、マッチングさせていただけるといいような、システムとしてできるようにしてほしい。地域格差のないように、子ども達が平等にスポーツをするチャンスが与えられるようにしてほしい。</p> | 3 | <p>総合型地域スポーツクラブとは人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。</p> <p>御提案いただいた方法も手法の一つだと思います。各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できることから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 707 | 9 | <p>勉強だけではなく、部活動から学ぶことも多い。しかし、部活動によって教員の時間が取られ、疲弊し、本来の学習の質の向上ができないのが実状である。他の自治体の取組を参考に、抜本的な改革を求める。弊害や反対意見も予想されるが、未来の子どもたちために、断行してほしい。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 708 | 9 | <p>中学校の部活動ガイドラインって誰のため・何のためにあるのか。スポーツ部の熱心すぎる顧問(先生)の中には、保護者にクラブチームを立ち上げさせて、部活動の活動時間を増やすという看板の掛け替え行為を行なっている部もあると聞く。また学校の管理者(校長先生や教頭先生など)もその状況を知っていても容認している状況。保護者も自分の子供たちを強くさせることに一生懸命になり盲目。クラブ活動のメンバーは部活動と一緒に指導者は顧問の先生。欠席の場合も顧問の先生にするとの事。このクラブ活動を利用して休日丸々2日間練習や練習試合を行っている。当然部は強くなるがこれで良いのか？このような活動は地域移行を目指す地域クラブとは全く異なるもので、そのような行為は許されるものではないと私は考えている。本来の目的に沿った地域クラブであるかの見極めをしていただきたい。教育の一環で行う部活動、ルールを守って同じ条件の元、行なって欲しい。きちんと部活動規定を守って一生懸命にやっている学校が損をするような状況は避けていただきたい。</p> | 3 | <p>地域移行を進めていくに当たって、部活動を取り巻く環境は今までにない課題が出てくることが予想されます。御意見についても、その一つと考えております。各自治体や関係団体と、課題を共有しながら取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 709 | 9 | <p>中学校の先生の負担を考えると地域移行は良い。だけど、地域クラブに移行とあるだけで、どの程度の移行なのかかわからないが、仮に既存にあるクラブに入部するイメージだとクラブ費用がかかったり、中学校の団結がなくなったり、そもそもやりたいスポーツのクラブがない、あっても小学生から始めている子とのレベルの差で入部を躊躇してしまうなど、学校単位の部活動より気軽に入れられないのでは…と感じている。今ある体制で部活の顧問を外部コーチに委託すれば、顧問の先生の負担が減る。すべてを地域クラブに丸投げは反対。また今年からクラブチームが中学校の大会に出場出来るようになったが、かなりの差があるように思った。お金を払ってクラブに入部しているので、強いのは当たり前なのかもしれないが、近隣にクラブがなく通えない子はどうしたら良いのか？そういう地域差も考えて制度を改正してほしい。</p> | 3 | <p>地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めることとしています。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 710 | 4 | <p>中学校の先生の負担が多いので、外部講師を呼ぶのは賛成。外部講師にきちんと報酬を支払うこと、講師選定にはスポーツハラスメントがない方が、チェックをお願いしたい。</p> | 2 | <p>御意見については、P19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動に係る費用・保険」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。生徒や保護者、地域住民等の理解を得つつ、活動の維持・運営に必要な範囲で、保護者にとって過度な負担とならない適切な会費を設定することとしております。また、地域クラブ指導者を対象に日本スポーツ協会・日本バラスポーツ協会公認指導者制度等の周知を行うとともに、地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修を実施し、指導者の資質向上の取組に努めてまいります。</p> |
| 711 | 3 | <p>学校の先生方の激務を考えると、地域の力を借りていくことはいいことであると考えます。しかし、この時、留意してほしいこともある。あくまでも学校の部活動であること。部活動に参加する生徒の参加目的は個人によって異なっていることへの理解。多様な生き方のできる世の中で、誰にも参加の機会を持つことができることへの理解。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者やクラブチームのコーチに活躍いただくことは、まずマンパワーというところでは非常に助かる。 ・上記のように参加目的は個人によって異なる。活動を極めて、試合で勝ち抜きたい生徒、活動内容が好きで、本人なりに楽しんで参加した生徒。様々な目的があり、それぞれの目標が達成できるような参加の場所になるような配慮は必要なのだと考える。そうでないと、部活動がクラブチーム化してしまう、上記で述べた後者の生徒はやる気のない者とみなされる可能性がある。このことが生徒間の人間関係にも影響を与える恐れがある。 | 3 | <p>競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動の確保に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 712 | 3 | <p>中学校の記憶は部活動しかない。地域移行するにしても、子どもたちに不利益のないよう、受け入れ先の確保ができてからにしてほしい。部活を頑張っている教職員への応援も忘れないでほしい。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 713 | 9 | 部活動は一刻も早く地域移行すべき。教職員の人権無視をした強制顧問活動は教育の質を著しく下げただけではなく、在校等時間を過労死ラインまで引き上げる大きな原因となっているのは言うまでもない。また、教員による専門スポーツに対する専門的知識の無い素人の感情論で大切な少年期のスポーツ活動を行うことは極めて危険であり、教育的効果から見ても悪影響である。特に昨今の熱中症に対しても、毎日休まず練習すれば上手くなると勘違いしている顧問が熱中症指数を無視して練習をさせてしまい、結果生徒たちに大きな健康上の問題を与えてしまっている。専門的知識を持った指導者が適正な労働環境で行う地域行を迅速に進めることは3年と言わず早急に行うべきだ。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、地域の実情に応じ、適した方法で、できるところから取組を進めて行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 714 | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校や地域によって、外部のスポーツ団体にすぐに移行する地域と、今まで通りの学校の教諭が顧問となり行われる部活動がある2極化になるのが、良くない。 ・神奈川県全体で、運動部も文化部も一斉に地域移行にすべきである。そうしないと、すぐに地域移行できる場所は良いが、神奈川県の過疎地域では、何年経っても地域移行が進まず、結局は教諭が顧問として、ずっと部活動指導を続けることになりかねない。 ・学校の先生の成り手がいない、新年度4月に先生がいないなどの状況がある中で、部活動の顧問をやることで、先生達が長時間労働がますます助長している。国や県が働き方改革を民間企業に進めているのであれば、まずは、国家公務員や地方公務員も積極的に働き方改革に必要な政策を行うべきです。その一環として、素早く部活動を民間の地域移行にすべきである。 ・また、今回の素案は、中学校の部活動についてですが、高等学校の部活動や特別支援学校の部活動も素早く地域移行にすべきである。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、地域の実情に応じ、適した方法で、できるところから取組を進めて行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 715 | 5 | 素案について、おおむね了承する。専門性のある方が監督となり、地域と連携し、子供たちがやりたい部活動を行えることを期待する。現在、中学校の部活動の顧問の先生は、ライフワークバランスが取れていないようで、「家庭の事業で休むのであればレギュラーにしない」「教えたことが出来ないのであれば、お前がここにいる意味がない」「家庭を犠牲にして顧問をしているのだから、お前たちも自分の時間を犠牲にしろ」と中学生に話をするほど精神的に余裕もなく苦痛を味わっているようだ。お互いの為にならない事、心に傷がついてしまう事を考えると、早急に意向をお願いしたい。また、高校受験の制度が変更される中、勉学を強く求められる昨今、一週間休みのない部活動がある。顧問の方針によることであり、テスト休暇もなく成績もよいとは言えない。そういった部分についても、子供たちの負担を軽くしていただける様、願います。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、地域の実情に応じ、適した方法で、できるところから取組を進めて行くこととなります。また、地域クラブ指導者を対象とした研修の実施、参加や資格取得の促進等、指導者の資質向上に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 716 | 8 | この素案に意味を感じられない。成果は求めず、とりあえず形だけだしてみました、というやる気がない印象。地域移行を進めるためのものであるはずなのに、なぜフローチャートの選択肢に「現状維持」があるのか。しかも期日さえないのはおかしい。現状維持は一ーまで。〇ヶ月指導者が見つからなければ部活動の継続はできない。など具体的に書けないのか。これでは全ての学校が「現状維持」を選び、何も変化がない。この案で地域移行は進むか？県が労力を尽くしてこれを制作している意味はあるのか？学校が速やかに行動に移せるよう、県がもっと強く方針を示すべきだ。また、見つける指導者の欄に退職した教員だの兼業教員だの希望する教員だの…結局教員を入れ込みすぎである。県が学校と部活動を切り離す気が一切ないように見える。土日でも働きたい教員はそんなに多いのか？これだけ学校の人手不足と長時間労働が問題になっており、部活動がその原因の一つであることは明らかであるのに、この素案では解決どころかなんの進展にもなっていない。神奈川県が全国に先駆けるくらいの意気込みで案を出してほしい。 | 1 | 本方針は、現時点で考えられる大枠の方向性を示すものであり、無理な地域移行によって生徒の活動に影響が生じないよう、また、各市町村が実情に応じて進められるよう、目標や時限を設定しないこととしています。 P23「地域移行に向けた様々な選択肢」 「学校部活動及び地域クラブ活動の環境整備に向けた検討フロー」「図 検討フロー」の「現状維持」は、地域の環境が整わない状態での無理な移行によって生徒の活動に影響が出ないよう、当面の間は現状維持もやむを得ないが、学校部活動として運営しつつ、外部指導者を活用するなどして、生徒活動の保障、教員の負担軽減等の取組を行い、中長期的に対応を検討していくことを想定しており、その旨追記しました。 |
| 717 | 6 | 大会の運営が、学校の職員の負担になっているのが問題だと思う。最終的に平日も地域移行になったとしても、運営は学校の職員が行い、中体連はそのまま残っていくのかがよくわからない。また、今の1歳の人数を調べたら今の中学生の人数の半分だった。13年後に種目数も減る状態でどのような運営をイメージしているのかもよくわからない。 | 3 | 県中学校体育連盟の主催大会への地域クラブ活動の大会参加要件等の見直しが行われておりますが、不断の見直しについて、働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 718 | 5 | 子どもたちが生涯にわたってスポーツ等の活動に親しむことができるようにするためには、予算措置が必要であるので、国や県による財政負担を明記していただきたい。 | 3 | 部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 719 | 4 | 先生方のご負担を考えると、地域移行に賛成。 【心配な点】 (1)「中学校の部活動」なのか、「地域のスポ少(中学生版)」なのか。 (2)特別な配慮を要する生徒の扱いについて、学校からは引き継ぎがあるのか？ (3)(2)の場合、先生方の負担が増すのではないかと？ (4)特別な配慮を要する生徒についての研修などはコーチたちに実施されるのか。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。これまでに培ってきた学校部活動の意義を継承しながらも、競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保してまいります。また、生徒それぞれの志向に合った活動や、障がいのある、なしに関わらず、すべての子どもが共に学び、共に育つことを通して、お互いを理解し、尊重し合える活動を行うなど、適切な運営が行えるよう、規約の策定、人員体制の整備等を行うこととしております。 |
| 720 | 7 | 部活動に対して地域の力を借りていく方針に対して賛成。細かい点ですが、1点懸念がある。地域のスポーツ団体は、少年野球クラブなど、競技志向が強いように思う。一方、エンジョイ志向の生徒が選びやすい団体があるかに懸念を覚える。エンジョイ志向の団体の指導者になろうとする方は少ないのでは？と思うから。エンジョイ思考の団体探し、または設立、それに関する指導者探しなどの方針や実例集など準備いただけないか。 | 3 | 地域クラブ等の役割として、生徒の志向に合った活動や、誰もが一緒にできる活動を提供することを記載しており、周知を図ってまいります。また、実践事例集で先行的な取組を紹介してまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 721 | 4 | 実際問題として、地域指導者の数が足りないと思う。また、部活動は学校教育の中での取組として、学校生活と連携して指導できるメリットがある。地域に移行すると、そのメリットがなくなってしまうのは残念に感じるし、学校側としてはやりにくさ（見えないところが多くなって指導のしにくさ）が生じると思う。 | 3 | 人材確保に関する御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しておりますが、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 722 | 9 | 神奈川県立高校の教員である。部活動は廃止してほしい。そのために教員になった訳ではない。 | 5 | 部活動は、学習指導要領に位置付いた教育活動の一環であるため、廃止は困難です。部活動の適正運営により教員負担の軽減が図られるよう、県が作成した「神奈川県の学校部活動に関する方針」等の周知・徹底に努めてまいります。 |
| 723 | 9 | 軌道に乗るまでは大変。放課後の時間に子どもの指導ができる人は限られている。また、責任問題が大きい。何かあったときに、誰がどう責任をとるのか。子どもへの配慮ができるのか。しかし、教員の負担は減らすべき。部活も仕事に入れて指導すればよいと感じる。私立の学校ではそのような取組をしているところもあると聞いたことがある。教員を増やして、部活動も質を落とさないようにするのが理想。 | 3 | 教員数は、義務標準法に基づく標準定数を標準として算定されています。人材確保に当たっては、関係団体等と連携し、生徒のニーズに応えられる人材の確保に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 724 | 5 | 直ちに外部化するために、必要な財政措置をすべきである。スポーツを楽しむことは権利である。一方で、それを支える教員にも、健康に生きる権利があり、今のカリキュラムでは勤務時間に指導をすることは不可能である。よって、校区にとらわれず、広域に総合型地域スポーツクラブ等をつくり、その活動に補助を出すべきではないだろうか。休日の部活動に教員が関わらなくてよくなった今、このままでは受け皿がないままに、こどもが学校から放り出されてしまう。 | 3 | 部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 725 | 5 | 経済的に困窮する家庭で、出場するために必要な費用を払えないため大会に参加できない生徒が実際にいる。経済的に困窮する家庭でも、不自由なく参加できるような財政確立を県に求める。 | 3 | 保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 726 | 9 | 休日返上や、通常業務を圧迫してまで頑張っている教員に対して、熱中症やケガ、場合によっては部内での人間トラブルなどが起きた時に教員が責められたり、解決を図るためにさらに仕事をしないといけないという現状を打破して欲しい。そのために、地域移行もしくは教員数を増やして一人一人の負担を軽減させるなどの対策方針を明記してほしい。 | 3 | 教員数は、義務標準法に基づく標準定数を標準として算定されています。人材確保に当たっては、関係団体等と連携し、生徒のニーズに応えられる人材の確保に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 727 | 6 | <p>バドミントンの大会で感じたことなどを記載させていただく。3月に発行された地域クラブの県大会の参加について、湘南ブロックはクラブチーム内で1、2位決め、中学の2、3位と決定戦を行うと記載されていたが、実際にはクラブチームの選手が、地区予選の1回戦から、エントリーしていたので、もしシードレベルの選手だった場合（今回は違ったようですが）、地区大会1回戦から参加するクラブチーム選手によって、中学生が市大会を戦ってきて決まったシードの優位性が、無意味になってしまうと感じた。クラブチームによる移籍の勧誘が行われていると思うので、状況を受け入れるのに子供たちが悩み苦しむ場面がみられており、きちんとした、ガイドラインを望む。先生方の負担を減らすためにも、中学校へ外部コーチを招くことが望ましいのではと思う。保護者ではサポートできる部分は限られるかもしれないが、サポートできる保護者もいるのではないかと思うので、在校生、卒業生問わず、ボランティアチームを作って、何か、週末の練習のサポートなどできればうれしい。</p> | 3 | <p>県中学校体育連盟の主催大会への地域クラブ活動等の大会参加要件の見直しが行われておりますが、不断の見直しについて、働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> <p>人材確保に関する御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しております。</p> |
| 728 | 4 | <p>部活動という教育現場の活動のひとつが運動部などの勝利至上主義や商業的な動きが入る隙を作らないように以下の条件などが必要ではないかと考える。</p> <p><地域移行について></p> <p>一律に全中学校、全部活動に適用するのではなく、各中学校及び各部活動に地域移行の選択肢を設ける＝教員の選択肢として従来通りの活動をするか否か、地域移行の選択肢を設ける。部活動の顧問、副顧問などを担当している教諭に対しては、地域移行時と同等の報酬を供与する（残業手当、休日出勤手当などは付与しない）</p> <p><地域移行の人材について></p> <p>教諭の代わりとなる人材の利用について一定の最低条件を教育委員会として設定し地域に応じた追加条件を各中学校及び各部活動に付与する。可能であれば人柄や地域の情報なども含め。例として、元教諭であり同部活動の指導経験を3年以上有している、地域において部活動同様の競技などの商業的活動を行っていないなど。人材については県教育委員会並びに各中学校側から一方的に（理由無く）契約の解除（顧問解除）の示達が可能であるなど、中学生の心理的負担を発生させないためにも、契約等についての法整備は必須である。</p> | 3 | <p>指導者の報酬は、受益者負担を基本とすることになると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。</p> <p>外部指導者の要件に関する御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p> |
| 729 | 3 | <p>息子の中学では、息子本人はもっと練習をしたいのに、顧問の先生はほとんど出てこない状態。先生も時間外で見てくださるので、強制でもっと子どもたちを指導して下さい、とは保護者からは言えない。それでも子供たちは指導を待っている。やりたいことを自分で見つけ、仲間を見つて、知識、技術を覚えたい。一番成長がのぞまれる時に、それぞれの学校で指導の熱量があまりにも違い、大会の成績にも影響が出ており、本人のモチベーションにも影響がでている。そこで、どの学校でも平等に技術習得ができるようにするためにも外部委託をしていただくことに賛成。部活動に出てこれられない先生を責めるのではなく、もっと子どもたちに平等に指導を行える施策を考えていただきたい。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 730 | 6 | <p>方針の策定を含めた日ごろの活動に感謝する。部活動の地域移行が掲げられてから数年、指導者探しや新しい活動の在り方が見えてこないまま一切進んでいる実感がもてない。一方で、大会等の地域クラブの参入に対する対応ばかりが、中体連や大会運営に関わる人間への業務として増えており、現在業務改善どころか一部の業務増大まで招いている始末である。</p> <p>P18 県の取組において、県中体連等の大会において、、、協議するとあるが、これらの地域クラブ等の対応は、本来的には中体連の範疇ではないのではないかと。今後これらを進めていくにあたり、中体連、というくくりで行われてきた大会のあり方や運営母体を行政含めた別の組織が窓口となり、運営するような形も模索していかなければ、すべての教職員の業務改善とはなっていない。また、教員が大会運営等に休日返上しているという実態も変わらない。子どもの活躍の場を設定する大会は大切である。一方、地域クラブが参入する中で、果たして大会運営などは教員が担い続けなければならないのか、地域移行を進める上での視点でぜひ検討いただきたい。</p> | 3 | <p>県中学校体育連盟の主催大会への地域クラブ活動等の大会参加要件等の見直しが行われておりますが、不断の見直しについて、働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 731 | 4 | <p>部活動の地域移行は賛成。しかし、町のスポーツ少年団の様な保護者コーチには反対。民間企業が週何日か来る制度にして欲しい。理由としては、町のスポーツ少年団の様な保護者ですと教育方法や子供の発達児童心理など学んでおらず、怒鳴る、暴言、体罰をやっているつもりで行われているケースが多いから。また熱中症や怪我に対する知識も乏しい場合があり放置や帰ってから対応のような事になりそうで心配である。地域移行と言ってもあくまで中学校の生活の一部である部活動はボランティアコーチではなく、きちんと指導資格を持った方や民間企業にお願いしてほしい。部活動を通して心身ともに成長して欲しい願いが、暴言や体罰、間違った指導の心配がある環境では安心して通えない。</p> | 3 | <p>地域クラブ指導者を対象とした体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修の実施し、指導者の資質向上の取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 732 | 4 | <p>プロやアマチュアでもその道に長けている人が指導してくれるのはありがたい。ただ、そういうリーダーが果たしているのか、地域格差はできないのかなど、不安はある。</p> | 3 | <p>指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有る指導者を確保し、市町村が自治体の枠を越えて指導者を確保できるよう広域的な人材バンクを整備してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 733 | 6 | <p>【意見】 藤沢市立中学校における課外活動（水泳競技）参画機会の学区間格差を是正願いたい</p> <p>【陳情】 藤沢市立中学校に通う息子は小学校時代よりスイミングクラブの選手コースで活動をしている。所属クラブの先輩選手が中学入学後、中体連主催の各競技会で活躍される様子を見ており、自身も中学入学後にはそれら県中体連主催各大会への出場を楽しみにしていた。しかし、今年度「教員不足」を理由に学校支援での競技会参加が認められたのは、全国中学・関東中学大会予選の一度だけだった。一方で、息子と同スイミングクラブで選手活動をしている他中学在籍生徒は、学校支援で全中・関東中学予選の他、市大会、県総体予選ブロック大会など様々な競技会への参加が許されている。（計4、5回。参加希望生徒が1名であっても先生が引率して大会へ参加させている。）同市内の公立中学間にて学区の違いから課外活動への参画機会に差異が生じている現状は、生徒にとって著しく公平性を欠くだけでなく、各生徒の情操教育上悪影響を及ぼすものと考えるので、このような事態を生まない施策を構築願いたい。</p> | 3 | 大会主催者が定める参加資格に関する内容のため、方針には反映できませんが、今後の地域クラブの参加状況やニーズ等に応じ、必要に応じて改善について働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 734 | 3 | 地域のクラブ活動は限定されたスポーツしかなく部活の地域移行は難しいと思う。学校の先生も忙しく、うちの子供の中学校も部活動が非常にすくない。また各地区で複数のクラブ活動をするほど指導者もおらず、スポーツ人口が更に少なくなると感じている。学校で放課後生徒に決められた時間まで、自主的に部活をしてもらい、代表の先生が時間になったら、生徒を帰らすなど、生徒主体の部活動にするのはダメか？ | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 735 | 3 | 部活動が教育の一環という時代はすでに終わっている。集団で何かをなすということ自体が今の生徒には向いていない。スポーツでも文化的なものでも磨きたければ自ら専門家のもとへ通えばいい。それでも学校で、と言うなら、教員の待遇を改善するべき。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 736 | 9 | 昨今の先生方の負担をみると、部活等を地域に移行することに賛成。我が子達は小学生だが、中学生になるころには先生たちには授業以外の負担は極力無くし、その分勉強や生徒のケアに当てていただきたい。大会などがある部活動は地元のクラブのコーチなどに来ていただき、趣味の範囲になる部活は無しでもいいのかなと思う。私は中学アメリカで過ごしたが、部活動はやりたい人だけがやるもので大半はやっていなかった。部活動は青春ですが、先生たちの負担を増やしてまでやる必要はない。先生方の残業が無くなり、良い仕事環境にいち早くなることを願っている。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 737 | 3 | 確かに子供が減少傾向にあるのは事実。その為先生の数が増えるのも仕方ない事だと思う。しかし子供がやりたいスポーツをやらせてあげられない事は親にとって胸が痛む。簡単にクラブチームがあると言うが、場所によっては保護者が送迎をしないと難しい地域もある。ここ何年かの課題になっている事だが、子供が一番犠牲になっている事も少し考えてほしい。このような思いをした子供達が大人になった時どんな未来がまっているのか？子供がのびのび生活環境を作ってあげたい。 | 3 | 多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。また、保護者負担に配慮した取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 738 | 7 | 現職教員である。部活動は教職員の犠牲の上に成り立っている。速やかに予算を計上し、地域移行がなされることを切に願う。その際、学校単位ではなく、市町単位で取り組んでいただきたい。学校、個人の努力ではどうにもならない。現場の声を聞いていただきたい。 | 5 | 部活動指導の地域移行は、それぞれの地域に適した方法でできるところから進めて行くこととなります。なお、どの学校の部活動を地域に移行するかについては、市町村が主体となって取り組むものと考えております。 |
| 739 | 5 | 地域クラブ活動運営団体.実施主体の役割として、『適切な運営が行われるよう、規約の策定、人員体制の整備等を行う』とあるが、県として、休日における部活動の地域移行を担うための指導者の人件費の補助を行うことを明記すべき。 | 3 | 指導者の報酬は、受益者負担を基本とすることになると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 740 | 3 | 入部したソフトテニス部の顧問の先生2人は未経験者というので3年生の親がコーチをやってくれているが、3月までの予定である。1年生は未経験者ばかりで一からの指導が必要とされるなか部活動の練習も少なく土日どちらかのみとかなり制限されていてびっくりしている。先生方の働き方改革が検討されているとのことで難しいとは思いますが、子ども達が中学に入り期待、楽しみの一つに部活動があることをもう少し理解して頂きたい。9月には新人戦も始まり一番焦っているのは子ども達である。練習が足りずコート予約をして欲しいと言っている。現にコーチや親が予約して練習している。部活動は大会に勝つ為だけのものではないという事はわかるが、それと同じように子ども達が勝ちたい！だから練習したい！と思っている。地域連携は良いことだとは思いますが、指導者がいなければ成り立たない。子ども達のやる気を思い、まず、学校先生方が動くべきなのは。子ども達が卒業する時に部活を続けてきて良かった、やり尽くした！と思えるように、と願う。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。外部指導者については、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者の確保に努めてまいります。 |
| 741 | 3 | 部活動を通じて新しいスポーツの楽しさを知ったり才能を開花させる子もいると思うので、部活自体は続けるべき。顧問の先生も負担が大きいと思うが、熱心に教えてくださる先生には民間の会社と同様に対価を支払うべき。地域移行するのなら、多少の月謝を払ってもいいので学校で練習できる環境を整えてほしい。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。なお、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。指導者の報酬は、受益者負担が基本となると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 742 | 4 | <p>地域移行し、保護者負担費用が増えると部活動に入る子供が減ってしまう可能性があるため、部費範囲でできたらいい。何着ものお揃いのユニフォーム代を、指導料に使うなどに変えるなど。中・高校生ぐらいの年齢で体力作りしておくことは成人になってからの体力にも関係してくると思うので、試合等に関わらず体力作りの為だけに部活動に入るという選択肢もあっていいと思う。(試合に出るかを本人が選択できる)等、地域移行に伴い部活のあり方も変化した方がよいと思う。私の子供の部活顧問は「大人がせっかく時間作ってる」や、部長に、〇〇さんが来てるか確認し、来てたら〇〇さんをこっちに呼べなど、何かはき違えてるような顧問のようなので、無理矢理顧問をやらされている感がある、それを子供達にぶつけるような先生ならば、地域移行して1人ではなく複数人でローテーションするなど、部活環境を報告したり、共有したり、情報開示したり、外部からも確認できる等、仕組みも変えていって欲しい。</p> | 3 | <p>地域クラブ活動においては、保護者にとって過度な負担とならないよう適切な会費を設定することとしています。また、保護者が安心して地域クラブに子どもを任せられるよう、活動に係る費用や健康・安全面、緊急連絡先の確認等、保護者との適切な連携体制を整備することとしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 743 | 3 | <p>部活動については子供達にとって勉強だけでは得られない様々な経験を積める機会である。また、得意なことを見つけられる機会と同時にその後の人生でも話題の幅を広げられる機会でもある。一方で進路のためや競技志向が強かったり、昔ながらの上下関係やイジメなどの必ずしも所属しなければいけないと言った事でもないと思う。選択の幅ややり直しが出来るようにする事は必要。地域移行となるとこれらの課題に対する配慮の差は広がる。また、低廉な活動費で家庭環境にとらわれず、広くスポーツや活動の機会を得られる機会も差が激しくなり難しくなることも考えられる。費用面や活動への人的負担で断念する家庭も現れると予想される。部活内容によっては経験者を募るのも難しくなると思われるが、先生方のこれまでの負担を考えると仕方ない。</p> | 3 | <p>保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 744 | 6 | <p>移行期の今、学校側からは地域移行の方針だから大会引率できない、地域側からは大会引率できる体制が整っていないと両方か出られないと言われて大変困っている。受け皿と柔軟な対応を早急にお願したい。部活はたいして費用はかからないが、地域、民間は費用がかさみ、負担が大きい。家庭の経済状況で参加できない子もいるかもしれないので不公平だ。開花する可能性の芽を潰すことになるかもしれない、補助金などの対応をして欲しい。</p> | 3 | <p>大会引率については、今後の地域クラブの参加状況やニーズ等に応じ、必要に応じて改善について働きかけてまいります。また、費用負担については、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 745 | 4 | <p>部活動を楽しんでやっている教員はともかく、全員がそうではなく、仕方なくやっている教員がいる現状は良くないと思う。特殊勤務手当の額をせめて最低賃金と同等になるくらいにしてほしい。</p> | 3 | <p>指導者の報酬は、受益者負担を基本とすることになると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 746 | 9 | <p>地域以降の話が出てからずいぶん経つが、現場では何かが進んでいることを一向に感じられない。それどころか教員数が減っているにも関わらず、複数掛け持ちしたり、特殊勤務手当も金額が減らされたりもしている。部活動をやりたくなくてもやらざるを得ない現状が続く。休日を返上して働いていても体調を崩したり自分の時間が取れなかったりと理不尽なことばかりである。</p> | 3 | <p>県内の各市町村は、地域移行に向けた検討段階であると認識しております。子どもたちの持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 747 | 9 | <p>各地域で地域移行の状況他が統一できない事も踏まえて、平日の部活動の入部届と土日の部活動の入部届から別立てに考えて頂きたい。希望によってどちらかであったり、両方の入部届を選択するだけである。学区校内だからこその生活時間や安全を考慮して部活を考えてたり、環境、体制が合わなかった時それだけで活動そのものの機会を諦めることになるのは、ただ、もったいなくそれは子供に非は全くない。また、土日の部活動は1日、定めた時間内と明記もお願いしたい。ただのガイドラインと変わらないが、外部参加のスタートとして関わる全員が再度共通認識が必要と考える。他に予想される点として合同チームの意義と制限も考慮して頂きたい。各競技見ればそのまま一目瞭然。メリットは極めて少なく現場は子供たちの負担と犠牲で成り立っており、成績のため、大会のためといいながらこれといった成績も出せず、これは校内同好会で総じた目的は達成でき、生徒が自分達の工夫で部員数増やす活動等にも意義はある。管理する体制での発起と理解はしているが、子供たちやその視線にも配慮願う。</p> | 3 | <p>御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 748 | 4 | <p>地域移行のあるなしにかかわらず、部活動の指導自体を教員の仕事から無くしてほしい。地域移行できない場合、今の状態がずっと続くのではと思うとゾッとする。部活動指導という専門職採用にするなどして、指導者は専門性のある人、やりたい人がやるべき。もちろん給料を払って。地域移行した後もお金の問題が発生する。習い事の一つとして、しっかりお金を取って指導すべき。無料奉仕の体制は無くして行った方がよい。</p> | 3 | <p>指導者の報酬は、受益者負担が基本となると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 749 | 4 | <p>地域移行は先生のためにも生徒のためにも賛成。先生は授業が終わったらすぐに部活動に行ってしまうため、生徒が話をしようとしても聞いてもらえないから。提出物も、締め切り日に放課後先生が不在で渡せず、他の先生に渡して貰うこともできず成績だけ落ちていくという事が現実になっている。ギリギリだった理由が前日まで具合が悪くて学校を休んでいたとしても、これはあまりに酷である。先生にもっと余裕があれば、先生が放課後職員室にいれば生徒も助かり、先生もそんなにピリピリしないのでは？なのでぜひ地域の各方面の専門の方にもご指導をお願いしたい。</p> <p>ただ、地域移行で、学校の教員以外の方が指導者になるなら、</p> <p>1:定期的に研修を受けていただく機会を設け、子どもたちに対してしてはいけないこと、子どもたち1人ひとりを伸ばす指導方法を学んでいただく。</p> <p>2:曜日は決めず回数も決めず予告もせず、学校の教員が立ち会い、適切な指導ができているかを判断し報告する。</p> <p>最低でもこのような事は必要。何より子どもたちが安心安全の中で思いっきりやりたいことに打ち込めるのが一番。</p> | 3 | <p>御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しておりますが、適切な指導の管理・監督については、今後の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 750 | 3 | 子供が好きな部活動で活動できるなら、地域移行に賛成。最近、部活動の活動日が、少なくなったり、担当してくれる先生がいないということで、入りたい子供がいても部活動がなくなるという話も聞いた。今はネットで見るとテクニック等学べるので先生に専門的な知識は、求めている。顧問の先生がいるなら、完全に地域移行にしなくてもいいが、地域と協力して、子供が入りたい部活がなくなるのは避けて欲しい。中学校の男子軟式テニス部がなくなるという話を聞いた。人気がある部活動で子供達も悲しむし、先生の負担も減るので、早急に部活が完全になくなる前に地域移行の枠組みを作ってテニス部がなくならないようにして欲しい。 | 2 | 御意見に関する内容は、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。 |
| 751 | 4 | 少子化などによって、対応出来ない部分は外部の協力が必要。入りたい部活動がなかったりして選択肢が少ない学校も多いので。中には部活動の顧問をされたい教員もいらっしゃると思うので、個人的には意欲のある先生にはやって欲しい。足りない部分は補ってもらいながらやっていくのがいい。顧問をする教員としない教員とで差が出来てしまったり、勤務時間などで問題が出てしまう場合は、その分手当てなどをつけて欲しい。 | 3 | 将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。なお、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 752 | 9 | このようなアンケートをしたところで、実際に部活動が地域移行するにはあと何年かかるのか。私は数年前に部活動の負担が原因でうつ病になり、教員は退職したが、その頃から地域移行は叫ばれていた。神奈川県はあまりにこういった動きに時間をかけすぎだと思う。正直、現場は誰も教委には期待していない。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 753 | 6 | 教員の負担を減らす面においていいと思うが、現段階において、大会にこれまでの学校ごとの参加ではなくクラブチームも同じ土俵で参加するのに対しては、練習量や指導者等の差が生じるのではないかと疑問を感じた。地域移行が進むまでは、大会はこれまで通り学校ごとの大会が望ましいと感じた。 | 3 | 大会主催者が定める参加資格に関する内容のため、方針には反映できませんが、今後の地域クラブの参加状況やニーズ等に応じ、必要に応じて改善について働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 754 | 3 | 公立中学の部活動における外部委託には大賛成。先生は学校の授業以外の負担が増えるし、生徒はやる気があっても指導者が素人に近い場合など、頑張っても成果が出にくかったりもする。それに、日頃成績を付ける先生が顧問というのも、生徒にとっては内申に関わる問題もあり、ハッキリと意見が言えなかったりもする。外部委託すれば、割り切った関係性で部活に打ち込めるし、練習の成果も出やすく、楽しめる。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 755 | 7 | <p>1. 家庭学校地域すべての方が働き方改革をして心身共にゆとり持てば子供達に健全で優しい教育することができる。</p> <p>2. 休日出勤、諸々対応で学校、家庭共に負担がかかり、それが原因で子供達に八つ当たりするようになると悪循環。学校のつながりによる遠征は車遠距離送迎、何か事故があった際の責任問題で皆にとって負担。</p> <p>体調体力心身学業を考慮せず、強制強要で何よりも部活動優先、練習、試合をやればやるだけ良いという時代錯誤な考えは心身の体罰。現代は体調体力心身学業優先、健康、コミュ力向上の為に部活をおこない、短時間でそれぞれの課題を行えば良いという効率的、合理的な考えも増えている。自己満足、自分の存在意義の為に子供達の心身体力体調、各家庭の事情無視の人権侵害、何よりも部活動優先という時代錯誤な強制強要は廃止、改善を望む。女性は生理を男性には言いにくい。生理の体調面で部活動を休まなければならないことを理解してもらえないこともある。命、心身より人権侵害、強制強要して優先させる部活動は存在してはならない。他人事、大袈裟ではなく犠牲者がでた際誰が責任をとるのか重く受け止め強制強要しないよう早急な改善対策を望む。</p> | 3 | <p>子どもたちの多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 756 | 7 | <p>1. 先生方は子供達に世界に通じる器の大きい人格者にする為の教育がしたくて先生になったと思うので、先生方の休日出勤、部活対応での負担を減らし心身の健康、家庭安泰を確保し、子供達にとって時代にあった勉学、中立健全平等な心豊かな人格形成をする教育に専念していただきたい。</p> <p>2. 地域のプロにお任せすることにより、その都度の時代にあった心身命優先の正しい練習、試合の効率化、技術の向上、送迎等負担軽減効果がある。草むしり、コート整備も地域のそれぞれの職種方に有償仕事、又は有償無償ボランティアとしてやっていただければ、先生、子供、保護者の負担も減り地域の方の生きがい、やりがい、収入にもつながり良い循環で経済もまわる。</p> | 3 | <p>部活動の指導に係る教員の負担軽減を図るとともに、指導者の確保について各地域において専門性や資質を有する指導者を確保してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 757 | 4 | <p>(懸念事項)</p> <p>熱中症対策、ハラスメント等について懸念している。無念で過去にもあったことだが、有望な若い世代の方に犠牲者もでている。夏の部活は熱中症警戒アラート発動、猛暑の場合中止、又は日数時間を軽減する等の改善を早急におこなう英断が必要。ルールを決める方は冷暖房のきいた部屋で会議しているので現場の気持ちが分からないのか。何度か現場で子供達と同じことをやれば体感で分かると思うし早急に改善しなければならないと実感できると思う。プロの方はドーム、室内、快適な時間等でプレーしている。なぜ子供にはそれができないのか。自分達も辛い中頑張ってきたが、感情論での意味のない我慢は合理的、効率的、美德ではない。虐待ではないか。世界ではどのような環境でクラブ、部活動をやっているのか。参考にし改善しても良いと思う。</p> | 3 | <p>学校における熱中症対策については、「熱中症予防運動指針」（公益財団法人日本スポーツ協会）に応じて、教員がどのような状況の時にどう判断し行動すべきか、危機管理マニュアルに沿って対応しています。</p> <p>外部指導者の資質向上に当たっては、生徒の命や健康を守る視点での内容を盛り込むことについても検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 758 | 4 | <p>(懸念事項)</p> <p>中立平等で人格者の良い先生も勿論沢山いるが、ハラスメント等に関して現代の世の中で時代錯誤も甚だしく信じられないことだが根性論等いまだに行われているところもある。部活動自体は好きなのにハラスメント等により辞めてしまう子供達もいる。無意味な圧力で本音を言にくい雰囲気は誰にとっても悪循環。忌憚なく本音を話せる風通しの良い雰囲気作りはとても大切。大人が見本となり率先して風通しの良い世の中を作り、子供達に良い影響を与えることを受け継いでいかなければならないと感じている。そして子供達、家庭学校地域子供達にとっての負の遺産は廃止、改善していく英断は早急に必要ことです。時代に合わせ人間性を高めそれぞれを尊重し、誰もが気持ち良く安心安全な生活を送れるようにするのが健全な世の中です。老若男女問わず人権を無視したことによる弊害の少子高齢化、いじめ、ハラスメント、不登校、学級崩壊も懸念している。保護者の方にとって皆様命がけで出産した大切な子供達なので、他人事、大袈裟とらず二度と犠牲者をださないように日本中、世界中で時代にあった健全な活動にするよう早急に改善することを望みます。</p> | 3 | <p>指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 759 | 7 | <p>市のガイドライン策定や地域移行の検討に携わってき元中学校長である。課題は多々あったが、部活動指導員制度とガイドラインのセットは、勝利至上への過熱を抑える効力と顧問を希望しない教員の働き方を担保する上で良策だったと感じている。ところが部活動指導員の拡充が始まったばかりのコロナ禍で部活動がほぼストップした時期に、突然降りてきた地域移行。現場では様々な意見が出た。部活動の意義を正しく認識し現状の中で努力している教員からは「自分達がしてきたことは間違いだったのか」と問われた。また小学生の保護者からは「我が子が中学に上がる時には部活が無くなっているのか」という声も聞かれた。教員にも保護者にも理解周知が足りていない状況が感じられる。そして何より問題なのは地域に受け皿がないことと保護者の経済的負担が大きくなること。これらを解決するためには、行政がサポートしていくしかないのではと思う。また吹奏楽部は練習場所や大型楽器の管理面から、活動拠点が学校から離れるのは難しいと感じる。子供達と教員にとって良い形で着地するよう、現場を混乱させるだけで終わらないようお願いしたい。</p> | 1 | <p>P15「地域移行を進める体制づくり」「協議会等の検討体制の整備」「市町村の役割」に、地域移行の取組を進めるに当たり、学校や地域等に対し、地域移行に係る理解を深めるための説明会等を実施することを追記しました。また、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載のとおり、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。</p> |
| 760 | 5 | <p>「子どもたちが生涯にわたりスポーツや文化芸術等の活動を親しむことができるよう、持続可能な活動の環境整備をしていく。」とあるが、持続可能な活動の環境を整備するには予算措置が必要である。p.14「2 地域移行を進める体制づくり」において、改革推進期間以降についても、国や県による財政負担を明記していただきたい。</p> | 3 | <p>部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 761 | 3 | <p>経済的な問題を抱える子どもたちの運動機会の確保を基本に、本来成長期に必要なとされる運動量の科学的視点からの考察を踏まえて、すべての子どもたちに参加の機会を提供していただきたい。</p> | 2 | <p>P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載のとおり、子どもたちの志向や体力に適した活動を確保していくよう努めてまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 762 | 3 | <p>中学生のバドミントン部所属の娘がいる。中学校では働き方改革のためか、部活動の実施回数がとても少ない。そうするとどういった事が起きるか…。もともと運動神経の良い子、運動経験の豊富な子が、レギュラーとして選ばれ、一年生の頃から活躍し、その他はほっとかれるといった事が起きている。初心者でも練習を通してうまくなる。そういったことは今の娘の中学校の練習体制では無理なようである。中学校間でも顧問の先生の熱意の違いで、強豪校は練習日程も試合に出られる人数も多く、強い所はますます強く。昔は練習回数だけは平等だった。けれど今の平等はどこなのか？やる気があっても発散する所のない娘がかわいそう。地域移行により練習回数が増えるのなら大歓迎。ただそれも顧問、関係者の熱意により差が出てしまうのなら残念。また、勝つための部活になり、教育的配慮のない部活、人格形成の一環としての教員活動という視点がないかも知れないというのも心配。部活動を通して、3年間継続した自分の努力に自信をもち、共に努力した仲間を認め合える心を育ててほしい。そんな部活動にしてほしい。</p> | 3 | <p>子どもたちの志向や体力に適した活動を確保していくよう努めていきます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 763 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・管理責任がどのようになるか、事故が起きた時はどう対応するのか？学校なのか、団体？なのか？ ・教員が兼業した場合、報酬がどうなっているのか？ ・指導をしてくれるところがそもそもあるのか？ | 3 | <p>管理責任は実施主体によって変わりますが、地域クラブ団体等についてはP18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。</p> <p>指導者の報酬は、受益者負担が基本となると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。</p> <p>指導者の確保については、生徒の多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。</p> <p>御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 764 | 4 | <p>顧問教師の負担軽減、モチベーションの高い生徒への良質な教育の提供を目的とした外部コーチへの指導委託が良いと思う。地域クラブ活動とは、向上心の高い生徒が所属運動部プラスアルファで指導を希望する場合に、追加で参加できる仕組みが良い。運動部においては、成長期における身体能力の限界へ挑む経験は、その時でないと味わえない貴重なもの。文化部においても、感受性豊かな思春期に、適切な指導を行えるような指導者と出会う機会の提供は、未来を担う若者の成長に大きなプラス要因になる事は間違いないと思われる。各部活動が切磋琢磨出来るような体制を整えて頂きたい。ただ、外部コーチに支払われる謝礼(指導料?)に関して、安すぎるという話を聞いたことがある。義務教育課程の生徒の指導にあたるという重責に見合う様な報酬体系が無ければ良い人材は集まらない。他方、一度就任してしまえば簡単には変わらない様な硬直化した人事でも、弊害が出てくると思われる。十分な報酬体系と、指導に関して常に評価され、問題があればすぐに対応される様なシステム構築が必須。</p> | 3 | <p>指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。また、指導者の報酬は、受益者負担が基本であると考えておりますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討することとしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 765 | 9 | 中学校教職員である。速やかに地域移行を進めて頂きたい。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 766 | 4 | 娘が中学に入学後、学校になかったダンス部(チアダンス)を作れないかと学校に相談したが、具体的に話が進まなかった。指導資格のある指導者の方の登録制のようなものを作り、学校側から要望があったらマッチングするというものを作って欲しいと思う。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握し、市町村の枠を超えた広域的な人材バンク等を整備し、子どもたちのニーズに応えられる人材の確保に努めてまいります。 |
| 767 | 3 | 小学6年生の娘がいる。来年度中学に入学したら友達と一緒にバスケット部に入部するんだと楽しみにしていた。しかし、部員数の減少と先生の働き方改革の影響によって来年度は廃部が決定した。私達の地域の中学校では、同様の理由で軒並み廃部となっており子供達が運動をやることを諦めざるを得ない状況になっている。中学側としてはクラブチームへの入団を勧めているが、保護者の参加(指導者へのお茶出しやグラウンド環境整備、遠方への遠征による車出し)が必須なことや経済的理由により、そちらに進む選択をするのは稀。スポーツをすること自体、ハードルが上がってしまっている。部活動を継続して、もっと身近にスポーツができる環境を残しておいて欲しい。廃部ではなく休部で来年度の部員を待つという手もあるはず。それには先生方の負担を軽減する事は必須なので、地域の指導者を募り部活動自体は継続すること、大会運営に関してももっと地域を頼ってもいいと思います。ボランティアでも子供のために活動したい人材はたくさんいる。地域大会、県大会も変わらず継続し子供達の成長のために良い方向に進む事を願う。 | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。 |
| 768 | 9 | 教員である。部活動の地域移行の話が出て何年経ったか。いまださらこのようなアンケートを行って、地域移行の実現には更に何年もかかるでしょう。勤務校の同僚はみんな嫌々部活顧問をしているが、正直今回の地域移行の動きには現場はだれも期待していない。 | 5 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。 |
| 769 | 9 | 地域移行は大事だが、部活動がなくなる、ということにはならないようにして欲しい。ただ、教員の休みがほとんどない現状は改善すべき。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 770 | 5 | <p>P15. 「地域クラブ指導者を対象とした体罰や～資質向上の取組を進める。」という文言が県の役割と市町村・学校の役割に記載されている。どのようなすみ分けを想定しているのか。</p> <p>P15. 市町村・学校の役割中、「参加者が居住する地域の特性について、指導者が理解を深めるための取組」とはどのようなことが想定されるのか。研修ばかりが増えてしまい、市町村の事務負担の増加が懸念される。</p> <p>P17. (2) 地域クラブ活動に係る費用、保険、県の役割に「広域に移動する際の手段(バス)などの財政的支援」を加えることを検討していただきたい。人口減少の中で、近隣市町との広域連携による部活動の取組も想定されると思われるが、市町村の財政規模では難しいと思われる。</p> <p>P19. 指導者の大会等の引率の際に発生する旅費や宿泊費の負担についても記載する必要があるのではないか。</p> | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・指導者研修については、県・市町村がそれぞれにおいて実施し、資質向上に努めるものと考えております。 ・指導者が理解を深める取組については、指導者に対する情報提供等を行うことを想定しております。 ・財政的支援については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 ・指導者の報酬(旅費等含む)は、受益者負担(会費から賄われること)が基本となると考えています。 |
| 771 | 3 | <p>中学校の部活動は、外部のスポーツクラブとは全く異なり、体を動かしたい、友達を作りたい、なんでもいから何かに打ち込みたい、ちょっと興味があるくらいの軽い気持ちで入部している子供も多い。外部のその道に詳しいコーチは熱心すぎて、軽い気持ちでやっている子供を部活動から締め出す可能性が大にある。(経験済みです)。勝ちを目指してとにかく上手になりたいと思う子供はクラブチームに入っている。今の部活動の在り方、意義が将来変化してしまっていて、締め出されてしまった子供達に必要なない劣等感や居場所が失くなってしまったなどが絶対に起きないようにしてもらいたい。もしそれが出来ないならば、外部委託には反対であり、これまで通り先生にやっていただきたい。勉強以外での先生と生徒との心の交流や信頼・信用を学ぶ機会も格段になくなってしまいうから。</p> | 2 | <p>御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。</p> |
| 772 | 9 | <p>40年近く運動部を指導する教員である。行政は現場の部活動の生の姿にもっと接し、多くの部活動指導者の生の声を聴いて改善案を策定する必要があり、〇〇ありきの形を「押し」進めることがないよう求める。</p> <p>1. 私たち教員が最も負担に感じて苦勞していること。 (1) 教員としての正規の業務が多すぎる。(原因: その業務を行うに必要な教員数が足りていない) (2) 残業代が事実上ないに等しい。(給与の4%の支給。これを現内閣が発出している10%案にしても解決にならない。レジ打ち1時間1000円以上と比較しても全く理不尽)</p> <p>2. 私たちが求めること。 (1) 部活動を外部に委託することではなく、教員数を増やすこと。(2) 労働に見合った支払いをすること。(3) 学校内で毎日の指導者である教員が部活動を行うことの意味、真の教育効果を理解していただきたいこと。(校外のクラブチームとは全く意味が違う。生徒は通常の学校生活では経験できない深い関係を学校の友人と持ち、先生と一緒に好きなことを夢中で継続して極める経験の大きさ、そして教員がもっとも大切にしている人格形成である。)</p> | 3 | <p>教員数や教員の給与に関する御意見は、方針に反映することはできません。地域移行に当たっては、これまでに培ってきた学校部活動の意義を継承しながらも、競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 773 | 9 | <p>地域移行案について考える問題点</p> <p>1. 運動部を念頭に置いているように見られるが、吹奏楽部、美術部、家庭部、演劇部、邦楽部、合唱部など、学校に設置された部活動であるからこそ生徒が選んで活動できているが、地域でそれだけのニーズに応えられるとは考えづらい。</p> <p>2. 今回の移行案に、部活動の根本的な意義が反映されていない。</p> <p>ア) 放課後そのまま活動して帰宅できることで、外部に出る負担がない。 イ) ほぼ無償で、希望するすべての生徒に活動が保障される。 ウ) 学校内だからこそ、多様な部活動が提供できる。 エ) 学校の友人、先生との活動であることによる人間関係の深まりと信頼 オ) 学校内であることによる安全性</p> <p>3. 日常の指導者と、土日の活動の指導者が異なることは、指導・活動の一貫性が失われ、現実的にはあり得ない。</p> <p>4. 地域移行とはいえ大半の活動場所は学校になるであろう。管理上、結局は教員がつかなければならないことになる。</p> <p>5. 土日の活動に教員が指導者として任意で携われれば、結果的に部活動に関わる時間は変わらない。部活動削減で教員の負担の根本解決にはならない。</p> | 3 | <p>地域移行後も部活動の意義を継承して活動確保に努めてまいります。また、指導者の確保・育成については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しております。</p> <p>指導の一貫性については、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」に記載のとおり、外部指導者等と顧問教諭の情報共有により、円滑な活動が行われるよう取組を進めてまいります。地域連携や指導を希望する教員が引き続き指導できる環境を作っていくことも想定しております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 774 | 9 | <p>部活動を地域移行するためには、地域に人材が必要である。各専門部に人材を確保するのは難しいので、チーム数を減らすために、クラブ化するなどの動きが必要になるであろう。いくつかの学校を合同にしたり、市内で一つのチームにして行く事も考えられる。今までは考えた事もなかったが、選手の数が減少している事を考えると移行する時期なのかもしれないと思う。しかし、合同チームを進めるには、違う学校の教員同士の意思の疎通が必要だし、地域指導者との連携も難しくなる。活動場所の確保や大会運営の役割なども今までにはない動きが求められる。また、生徒間の問題が発生した時の対応も難しいであろう。地域移行は進めても円滑に進むようになるためには多くの問題があり、話し合いにはたくさんの時間を要すると思う。大変な動きになるかもしれないが、生徒が充実した部活動を行えるように協力していきたい。</p> | 3 | <p>多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 775 | 4 | <p>現在、小6の保護者である。少年野球をやっており、来春、中学の部活動に行くか、外部のクラブチームに行くか迷っている。理由は、活動時間が大幅に減ったこと。また、それを嫌って、少年野球で同じチームだった現中1がすべてクラブチームに行ってしまう、学区の中学野球部は2年しかおらず、市内の他チームと合同になって活動している。働き方改革や、先生方の熱意でもっているという現状は理解できるし、それを推奨するつもりもない。ただ、部活動に力を入れたい先生もいるはず。地域移行といっても、地域には現役で対応できる指導者もいないでしょうから、先生たちの手助けにはならないかもしれない。妙案があるわけではないのですが、来春、クラブチームではなく、できれば中学で先生たちの指導のもと、部活動を体験させたい、と考えている。当方は野球だけしかわかりませんが、野球経験者の大学生などを活用できないか？中学で楽しく活動できる場を、練習できる時間を、確保してもらいたい。</p> | 2 | <p>御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 776 | 4 | <p>この機会に感謝する。我が息子は20代、部活顧問がやりたく中学校教員になった。が、今後部活顧問ができないかもと教員を諦めた友人もいます。50代後半の教員で部活顧問がやりたいと校長昇進試験を受けていない方も何人も知っている。全員が負担と思わないでほしい。顧問やるやらないは選択制を希望する。全教員が強制的に顧問をやる負担はなくし、教員と地域の方々とうまく連携して、顧問希望の教員は地域の方の助けを頂きながら主体でやり、顧問不在の部活には地域の方が主体になり活動。教員の都合で練習休みにする柔軟性も必要。息子は「部活動を学校から離すと、部活動中に起きた出来事(人間関係や試合後の心のケア等)を知らないで翌日に学校生活を過ごすのは教師として不足な部分が出る」と言っている。生徒第一。大人の都合だけで移行を決めない。子供達の為に教員も保護者も地域の方も大人達は出来る限りで構わないので協力して頑張ってもらいたい。部活動顧問は臨機応変に対応する事を望み、顧問教員にはもう少し手当をつけてほしい。息子は土日の部活動にヘトヘトなる事もあるが一切文句は言わない。やりたい仕事だから。</p> | 2 | <p>将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。なお、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。</p> |
| 777 | 7 | <p>地域移行して頂くのはすぐにでも。早い方が良いと思う。中学校の例を上げさせて頂く。厚木市立中学校男子バスケット部の例。部活の顧問はもちろん学校の先生が受け持っている。部活顧問は完全なサービスで受け持ってくださいるのは重々承知の上だが、先生と言う立場を利用し、理不尽なえこ贋員、選手達に暴言、プライドを傷つけるような発言を遠慮なく行う先生がこの時代もある事を知ってほしい。一生懸命、指導してくださっている先生の方たちも沢山いらっしゃるのはわかっているが、一部の心無い指導者のために傷ついている選手がいる。このままではバスケットボールを嫌いになってしまう。いち早く、地域の有資格者の方や指導を出来る地域の有志の方に移行した方が子供の為だと思う。</p> | 3 | <p>地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 778 | 4 | <p>是非地域に移行していただきたい。教職員は、専門的な知識をもっていない方が部の担当となり、「成長したい」「上手になりたい」「専門的な知識のもと正しいトレーニングをしたい」という生徒の願いが叶わないのが残念であり、部活動に取り組む時間が勿体なく感じる。私自身も生徒時代、専門性のない教師に部活動の指導をされ、科学的でなく専門性のない練習を行い、勿体無い時間を過ごしたと後悔している。そんな中で指導する先生もまた苦しかっただろうと今になって感じている。生徒だけでなく教職員も専門性がないまま指導することに対する負担もあり、両者にメリットを感じない。</p> <p>そのため、生徒の思いや願いも込め、部活動は専門性のある指導者が責任をもって行える地域への移行が理想だと考える。</p> | 2 | <p>P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載のとおり、関係団体と連携し、各地域において専門性や資質を有する指導者の確保に努めてまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 779 | 7 | <p>1. 素案の全体を通して、スポーツと文化が、並列で記載されているように感じる。スポーツと文化について地域で稼働している人たちの実情を考えると、文化芸術団体の運営においては、活動されている方々の高齢化という課題があり、一部の方（幹事等を担われている方）の活動によって支えられている傾向があるように思う。また、美術、華道、写真、書道などの文化種別や、またその中における各流派なども考え方もあることから、スポーツほど、開かれた活動ではないことも考えられる。したがって、スポーツ団体と、文化芸術団体を一緒に考えるのは、地域移行を進めるにあたっては、課題があるのではと考える。</p> <p>2. P21（2）地域クラブ活動への移行における運営形態の類型（国のガイドライン）表中に、文化団体と、文化芸術団体が、混在しておりますので、統一したほうが良い。</p> | 1 | <p>運動部、文化部ともに多種多様な部活動があるため、地域移行に向けた考えは、全ての部活動に当てはまるように示しています。実際に、各市町村が、部活動をスポーツ団体や文化芸術団体等に地域移行していく際には、一つずつ、個別に対応していくことになると思います。御意見のとおり、活動の分野によって状況は異なりますので、各文化芸術団体等と意見交換をしながら、地域クラブ活動を整備する市町村の取組を支援してまいります。</p> <p>P24「地域移行における様々な選択肢」 「地域クラブ活動への移行における運営形態の類型」の標記については、「文化芸術団体」に標記を統一しました。</p> |
| 780 | 4 | <p>財源確保をどのようにして進めるべきか提言する具体案が乏しい気がする。また、人材への報酬が発生するのであれば、現職の教員はその分無給労働の時間が明確になるおそれ（地域指導者と教員の時間換算した際の賃金格差が生まれる）が考えられる。特別休暇や残業手当（超過勤務手当）の補充の要望も必要ではないか。</p> | 3 | <p>部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 781 | 9 | <p>私は公立中学校の40代の教員である。バドミントン部の指導歴15年。現場で指導する教員としての意見を伝えたい。私の市は部活動が盛んな市で、生徒指導の一助として部活動の時間で生徒と教員の信頼関係を作ってきた経緯がある。勉強が苦手でも運動や文化的活動で、生徒が輝く場面がある。本校でも教員不足が起きており、1人で顧問をしていたり、若い教員に部活動指導を頼っていたりする現状である。本来、教科指導や学級経営の研修に時間を割きたいが、できていない。自分の時間を持ってない教員がたくさんいる。根本的に教員数が足りていないことが問題である。今回の素案で、市教育委員会が組織を立ち上げ、各学校と連携するようフローチャートが書いてあるが、結局は所属の教員が休日も指導を担うように見える。本校は設置がない競技の生徒を校長の許可により教員が引率している。まずは設置がない部活動を教員が引率しないという方針を保護者に示してほしい。また、大会運営に各競技団体の参画をお願いし、地域スポーツとして持続可能な神奈川モデルを進めていただきたい。</p> | 3 | <p>県中学校体育連盟の主催大会への地域クラブ活動等の大会参加要件等（外部指導者の引率、役員としての参画等）の見直しが行われておりますが、不断の見直しについて、働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 782 | 5 | <p>長く吹奏楽部を外部から見えてきたが、問題を多く感じている。何より、長時間に及ぶ活動時間と吹奏楽コンクールによる指導の過熱である。教員の負担感が大きいと言うが、自ら必要以上に負担を増やしている教員が多いのも事実である。コンクールで良い成績を得るために、怒鳴るなどのハラスメントによる指導も問題になることがあった。楽しめれば良いという生徒は苦悩することがある。学習指導要領には生涯音楽を愛好することのできる心情や基礎的技能を育てるとあるが、多くの生徒が吹奏楽コンクールを中心とした活動の過熱でバーンアウトすることがある。また、外部指導員に移行すれば安心というわけではない。ますますコンクールへ向けて過熱することも考えられる。その原因に、コンクールを中心とした音楽ビジネスが肥大化してきたということがある。学校でも全国大会出場などは高く評価されるが、子供たちの地域での音楽活動には関心が薄い。まずガイドラインの遵守を求める。部活は学校教育の一環とされるのであれば、学習指導要領の「音楽」に準ずるかたちでの指導方針が吹奏楽部にも適用されるべき。</p> | 2 | <p>御意見については、P17「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」に記載しております。各学校においては、部活動の方針を策定し、当該方針に基づき部活動ごとに計画を立てて実施しており、生徒のニーズに応じた適切な運営が行われるよう、県が作成した「神奈川県各学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。</p> |
| 783 | 5 | <p>参加する生徒等の保険加入に係る費用負担については、個人ではなく県として負担すべき。</p> | 3 | <p>現在、ほとんどの生徒が加入している日本スポーツ振興センターの災害共済給付掛金は保護者負担であり、同様に土日の部活動の保険についても保護者負担が基本となると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 784 | 4 | <p>中3の子がソフトテニス部に所属している。6月、7月に地区、ブロック、県大会を観戦した感想を踏まえて意見する。まず、「…地域連携や地域移行について、…地域の実情に応じて、段階的且つ柔軟に取り組んでいく…」という考え方に賛成だが、ソフトテニス部のある学校は多く、学校単位で団体戦を行っており、地域移行を急ぐ必要はないと思うので、「地域の実情及び種目ごとの活動状況に応じて…」としたらいかがか。顧問教諭の負担軽減については、休日の指導や大会引率における外部指導者の活用は有効だが、熱心な先生方のモチベーションに配慮し、顧問教諭の意向尊重が重要と考える。一方で、働き方改革の視点から、「土日のどちらかは部活動を行わない…」等の上限設定も重要。ただし、練習時間に直結するので、特定の地区だけ強化されないよう、県内の各学校に徹底することが必要。最後に、外部指導者について。先日の県大会で生徒に、「あんなプレーするやつはいらない…」と言っている外部指導者を見かけました。体罰やハラスメントのない適切な指導等の研修受講を外部指導者に義務付けるべきだと考える。</p> | 3 | <p>地域の実情には、学校や部活動ごとの実情も含まれております。また、部活動の適切な運営がなされるよう、県が作成した「神奈川県各学校部活動に関する方針」の周知と、指導者の資質向上に努めてまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 785 | 4 | <p>将来的に地域クラブ活動へ移行していくことはこれからの少子化対策、また指導してくださっている教職員を守るためにもよいことだと思う。ただ、教職員の方の負担軽減ももちろん大切だが、一番に子どもたちのことを考えて進めてほしいというのが保護者としての思いである。子どもたちは通常は決められた学区の学校へ進学するので、その学校に希望する部活動がない場合、基本的には他の部活動で妥協や我慢することになる。その学校に部活動があって部員数が少ない場合は、既に連合チームという形で試合に出ているのかもしれないが、学校にその部活動がない場合はそれすらできない。もし自分の通学する学校に希望する部活動がなく、近隣校にあるのであれば、放課後に部活動のために近隣校へ通うことを公に許可してもらえたら、将来的に地域クラブとなる前段階になるのではないかと考える。</p> | 3 | <p>御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 786 | 5 | <p>【予算措置に関する件】 ○ P.16～17「3 段階的な地域移行に向けた取組」 方針素案では、P.14地域移行を進める体制づくりの目標として、「すべての公立中学校の生徒が、持続的にスポーツや文化芸術活動を行うことができるよう、地域移行の新たな環境の整備を目指す」としているが、予算措置に関する記載がなく、自治体の財源に頼った体制づくりでは、目標の達成はできない。また、p.13「1 基本的な考え方（3）地域の実情に応じた取組」に示されている、「できるところから」という考え方では、地域移行は進まない。 素案で示されている課題「自校だけで活動できない場合の環境整備」では、校外での活動も増え、交通費がかかる。外部人材の活用についても報酬が必要になる。公共の施設を利用すれば、使用料もかかる。国の微々たる予算内で十分な支援がされるとは考えられない。県として予算措置をしなければ、地域移行は実現することはなく、市町村教委や学校現場から部活動を切り離すことは不可能である。</p> | 3 | <p>部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 787 | 5 | <p>P.17「3 段階的な地域移行に向けた取組」（2）地域クラブ活動に係る費用、保険について、以下4点意見を述べる。 1. 県立施設の使用料について、県の役割として、「国の支援を活用し、低廉な額とする」とあるが、国の支援の有無にかかわらず、県立施設の使用料を低廉な額とし、利用しやすい環境整備に努められるよう、県の予算措置をしていただきたい。 2. 施設の整備や使用料について、市町村の役割として、国の支援がなくても利用しやすい環境整備に努められるよう、県の予算措置をしていただきたい。 3. 経済的に困窮する家庭の支援について、市町村の役割として、「国の支援を活用し、～取組を進める」とあるが、経済的に困窮する家庭でも、参加できなくなることはないよう、県としての財政確立をしていただきたい。 4. 参加する生徒等の保険加入に係る費用負担については、個人ではなく県として負担していただきたい。</p> | 3 | <p>1、3について、部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 2について、地域クラブ活動に係る費用については、保護者にとって過度な負担とならない適切な会費設定や、県立施設の使用料を低廉な額とすること等を記載しています。 4について、現在、ほとんどの生徒が加入している日本スポーツ振興センターの災害共済給付掛金は保護者負担であり、同様に地域クラブに参加する際の保険も保護者負担が基本となると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 788 | 5 | <p>(労務管理に関わる内容)</p> <p>P.16「3 段階的な地域移行に向けた取組」 (1) 適正な運営体制の整備について</p> <p>方針素案では、段階的な地域移行に向けた取組の目標として、「教員の働き方改革に資する取組を継続的に進める」としているが、労務管理に関する記載がない。厚労省「副業・兼業の促進に関するガイドライン」において、「市町村教委、学校長が責任をもって兼職兼業を含めた労働時間を把握、管理すること」が示されており、本方針においても、その旨を明記する必要がある。そのうえで、働き方改革の観点から、週1日週休日が確保できるようにするなど、土日の地域移行も含めて労務管理をすることが必要。</p> | 1 | P16「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「学校の役割」に、兼職兼業の許可を得た教員等の負担が増加しないよう、適切な服務監督を行う旨を追記しました。 |
| 789 | 9 | <p>賛成。教職員の負担軽減につながるし、専門指導になると思うので。ただ学校としての部活はやはり学校生活の延長になるので地域指導者としてしっかり話し合っ欲しい。地域移行は教職員希望者の増加にも繋がるのではないか。経験したことのないスポーツの部活の指導は大きな負担。公立の教職員は異動が当たり前なのでそこも含めて。</p> | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 790 | 5 | <p>P.16「3 段階的な地域移行に向けた取組」 (1) 適正な運営体制の整備について</p> <p>方針素案では、段階的な地域移行に向けた取組の目標として、「教員の働き方改革に資する取組を継続的に進める」としているが、労務管理に関する記載がない。厚労省「副業・兼業の促進に関するガイドライン」において、「市町村教委、学校長が責任をもって兼職兼業を含めた労働時間を把握、管理すること」が示されており、本方針においても、その旨を明記する必要がある。そのうえで、働き方改革の観点から、週1日週休日が確実に確保できるようにするなど、土日の地域移行も含めて労務管理を徹底することが必要である。</p> | 1 | P16「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「学校の役割」に、兼職兼業の許可を得た教員等の負担が増加しないよう、適切な服務監督を行う旨を追記しました。 |
| 791 | 6 | <p>P.19「4 大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」</p> <p>クラブ活動を運営するためには、スポーツや文化芸術活動の指導だけではなく、生徒の引率や会議への参加、関係者との連絡調整、スケジュール管理等、多岐にわたる役割が必要になる。また、現状の部活動の顧問は、大会運営役員や協会登録、資格の取得を含む審判等、周辺業務も担っている。活動を維持するために、最低限どのような役割があり、どれだけの人員が必要か整理しなければ、地域移行の実現はあり得ない。地域クラブ活動として学校から部活動を切り離すのであれば、これらの役割を誰が担うのか明記しなければならないと考える。</p> | 1 | 大会参加については、P19「大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。大会運営を誰が担うかについては、各主催者が判断することになりますので、本方針には反映できませんが、P20「市町村の役割」に、大会運営に従事することが指導者の過度な負担にならないよう要請する旨を追記しました。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 792 | 4 | <p>市町村の役割に関わる内容について (P.16「3段階的な地域移行に向けた取組」(1)適正な運営体制の整備)</p> <p>部活動の地域移行において、市町村の役割として「地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実を支援する」とあるが、現状、教育委員会のみが懸命にとりくんでおり、各行政部門・機関が協力して取り組めていないとの声が聞かれる。国の施策として取り組む中、市町村教委がその役割を一手に請け負うことには限界があり、結果としてその役割は学校に返ってくる。それでは、地域移行の目的を果たすことはできない。社会教育や生涯学習の観点から、各行政部門や機関をこえた連帯のもと、他団体に働きかけ、とりくみをすすめることが重要だと考える。そのためにも、市町村各行政部門・機関が連携してとりくむことを本方針に明記する必要がある。また、体育振興会や各スポーツ・文化活動における協会等、社会体育・文化活動の振興に関わる団体に働きかけ、各部1名は実施主体に参画する者を指名する等の体制を整えなければ、市町村全体でそれぞれが責任をもって取組を進めることができないと考える。</p> | 1 | <p>P14「地域移行を進める体制づくり」</p> <p>「協議会等の検討体制の整備」「県の役割」及び「市町村の役割」において、「協議会等を設置し、連携体制を構築するとともに、各関係者がそれぞれの役割において、新たなスポーツ・文化芸術等の活動環境を整備し、取組を推進する」に修正しました。</p> |
| 793 | 9 | <p>部活動の外部委託というよりは、中学生が地域の様々な大人に出会う機会の一つと捉える方が、長い目で見て彼らのためになると考える。今の中学生が出会う大人はほぼ学校の先生と保護者である。多様な大人が関われば、自分の人生のロールモデルを見つけやすい。</p> <p>現在は教員が部活動の顧問をし、レッスン代は無料である。しかし、一般的にはレッスン代が必要。一部を自治体が負担するのは可能か。地域にユニークな活動があるのに、経済的負担のせいで参加できないのはもったいない。最近、体験格差の話題が大きく取り上げられた。部活動の地域移行がその解消につながってほしい。財源については、国の動向はさておき、個人的には調整手当4%を廃止にして、兼業申請をした部活動顧問の手当てや、各団体への助成に回せればと思う。</p> <p>例えば、地域の産業を活発にするため、地域の農家の方に協力してもらって農業部など、多様な部活動があってもいいのではないか。</p> <p>学校と各団体や個人を引き合わせるなどのコーディネートが教員がする、では業務が増える。学校も地域も知る誰かを雇う必要がある。</p> | 3 | <p>子どもたちの活動を地域全体で確保し、サポートしていく体制が整えられるよう、多様な取組を検討してまいります。指導者の報酬は、受益者負担が基本となると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。</p> <p>その他の御意見については、参考とさせていただきます。</p> |
| 794 | 3 | <p>説明の中に休日についてと有る。休日の学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への円滑な移行に向けて方針等を示すことから、と有る。休日だけでと有るが、全てか？どうしてこの様な話が出たのか分からないが。学校で管理が難しかったら、休日に関しては保護者たちが管理すれば良いのでは、ここにルールを作っておけば良いのでは。できれば、教育のレベルを下げない教育にしてもらいたい。</p> | 3 | <p>国のガイドラインにおいても、まずは休日の部活動の地域移行を進めるとしてまいります。本県においても、休日の部活動指導のために教員の在校時間が多い現状を踏まえ、休日から取り組むこととしました。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 795 | 9 | <p>中学校の管理職、教員が壁をつくっているように感じる。外から支援しようと試みているが、忙しい・変えたくない・受益者負担などを理由に壁をつくっている。そもそも教員側の意識を変える必要がある。</p> | 3 | <p>部活動の地域移行に係る理解を深めるための説明会等を開催し、意識の醸成に取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 796 | 9 | 実際にどこまで進んでいるのか全く見えず、子どもたちは部活動を継続していて問題ないのか、困っている。教員も本当に負担軽減になるのか？中体連自体はどのような扱いになり、廃止されるのか、存続するのか明確な方向性が見えない。やりますって言うだけで明確な指針や方向性もなく市町村単位に任せるだけでは何も中身の無い形骸化されたものにはかならないのではないかと。やるなら地域にも教員にも保護者にもプラスになるものと考えて欲しい。「やるだけやりましたから後は市町村でお願いします。」「部活動減りましたから研修増やします。出張増やします。」ではなくスクラップ&ビルドでちゃんと考えて欲しい。 | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 797 | 4 | 神奈川県が目指すとして指針が出たとして、各市町村は教育委員会が担う事が予想される。現段階では、神奈川県内、教育委員会以外で検討している市町村がどれ程あるのかが疑問。社会教育関係、スポーツ関係等の各課が動くべきだが、もっと具体的に示し、市町村の自治体が、学校関係以外にも働きかける必要がある。 | 3 | 各市町村で方針等を策定する場合、どの部署が主体になって検討するかは、それぞれの判断になりますが、地域のスポーツ及び文化芸術活動の環境整備については、当該部局が積極的に係わる必要があると考えます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 798 | 6 | 地域移行を進めているが、学校の教職員が大会運営をしているところに、地域クラブも参加できるようにするのであれば、運営母体を学校が担わないよう、明記すべき。 | 1 | 大会参加については、P19「大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」「地域クラブ活動運営団体・実施主体の役割」に記載しております。大会運営を誰が担うかについては、各主催者が判断することになりますので、本方針には反映できませんが、P20「市町村の役割」に、大会運営に従事することが指導者の過度な負担にならないよう要請する旨を追記しました。 |
| 799 | 7 | 川崎市宮前区・川崎区で2つの総合型地域スポーツクラブを運営しているマネージャーである。平日、夕方の競技指導者で指導力・人間性共にしっかりしている現役コーチ達は、この時間帯はゴールデンタイムで収入的にも中学校での部活指導での収入を考えると誰も興味を持っていないというのが、私の周辺の状況である。コーチとしてチームビルディングなども考えると「片手間では出来ない」と思っていることも事実。 部活動単位と言う考えだけでなく、トレーナーが「運動部全体のトレーニング指導のメニューを作成する」事で怪我の減少や競技力向上につながるのではないかと。週1～2回程度で行えるだけでなく、中学生達に競技に関して考える機会をつくり、さらには変なトレーニングをしてカラダを壊すなどのリスクを少し軽減できるのではないかと。 昨年度、宮前区役所と協働で某川崎市立中学校全運動部で社会実験も行った。部単位だけでない方法もご検討していただければと思う。 | 3 | 御提案の方法は、外部人材の活用の一例として、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 800 | 6 | <p>1. 大会・コンクール等への出場・参加は基本的には学校単位での申し込みとなっているはずであるが、部活動を地域移行した場合の出場・参加要件はどの様に考えているのか？地域移行した団体には出場・参加権は与えない？自治体が設立した団体には出場・参加権を与える？等どの様な方針とするのか。</p> <p>2. 今まで部活動は学校における内申点に少なからずとも影響を与えてきた。学校での部活動は内申点に反映されるが、地域移行した団体に所属している生徒は内申点に反映するのが困難になるはず。部活動は内申点に含めない等、学校と地域移行した団体間で格差が出ない様な取り決めが必要であると考えます。</p> | 3 | <p>1の御意見については、各大会主催者において、地域クラブの参加を認める方向で見直しがされていると認識しています。</p> <p>2の御意見については、本方針に反映することはできませんが、今後の参考にさせていただきます。</p> |
| 801 | 3 | <p>中学生の部活動を、高校みたいに希望者のみにしては？やりたい人は、外部のスポーツクラブにでも行ってやれば良い。教員も日々の業務に追われ、かつ、家庭の事もあるので、部活動をやらなくても良い時代になってほしい。これ以上、教員を苦しめないでほしい。子ども達も、興味無いのに部活動やらされ、練習試合があれば保護者の車出し、応援、荷物持ち。日々の練習では、先輩が来る前に体育館前で整列し挨拶。終了後は先輩が帰宅後にやっと帰る。甘々小学校クラブ活動から突然の体育会系。そんなのやっても良い思い出は無い。どうしても中学で部活動やりたいなら、週2～3回にして、短時間で軽くやる程度で良い。</p> | 3 | <p>競技・大会志向だけでなく子どもたちの志向や体力の状況に適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 802 | 9 | <p>同調圧力、強制管理は子供の考える力を奪い指示なしだと動けない人間にならないか懸念している。髪型を自由にして結果を出しているチームもある。子供、若い方は柔軟、効率的、合理的、先進的な考えなので一方的強制的なコミュニケーションではなく、双方向の視野を広く聞く耳を持つコミュニケーションはとても大切。学校は昔からのやり方にこだわり変化を嫌う保守的な考えがいまだに根付いている。少しずつ日本中で柔軟で良い方向に改善されているので昔からある皆のことを考えて良い物は残し、子供にとって良くないものは廃止していく英断が早急に必要。地域移行すれば学校の四角四面の繋がりのしがらみもなくなり先生方の土日出勤、諸々対応の負担も減る。先生方には心身にゆとりを持ち子供達に健全な勉学を教えることに専念していただくことが最善。部活動での過去の負の感情で教職につくことを懸念する人もいる。誠実な対応の教員ほど心身を病んでしまい無念ながら退職される方もいる。教員が足りないことについて重く受け止めそちらも早急に改善を望む。地域移行は専門家が教えるので、自由度、柔軟性、効率性、合理性、先進的な活動にすることが可能になる。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 803 | 4 | <p>部活動は極力外部(地域からの指導者)を入れた方が良いと思う。内部(学校職員)のみの指導は、職員の負担が大きい事も理由としてあげられるが、生徒に対しての接し方に問題がある職員も少なくないと思っている。例えば、理不尽な叱責や罵倒、無理な部活動スケジュール等。生徒が意見を言えない様な雰囲気を出さず顧問も存在するため、生徒にとって成長過程で悪影響(精神的な苦痛)を与えかねない場面も少なくないと感じている。外部(地域)からの正しい指導ができる人を招く、もしくは部活動の地域移行をすることによって、生徒の技術の向上や自己肯定感の向上を期待したい。</p> | 2 | <p>御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 804 | 5 | 秦野で中学校部活動の外部指導員をしている。土日に週1回程度の指導ではあるが、やりがいを感じ楽しく活動させていた。それと同時に土日に部活動に縛られる先生方の苦勞も感じる。しかし土日に部活動は地域に移行というのは理解できるが、多くの外部指導員は普段仕事をしている。金銭的にも少額の謝礼のような形で請け負ってるので、ブラック状態までが地域に移行している。多くの指導員は金銭を期待していないが、先生の仕事を移行させているのであれば、それ相応の給与体系も必要と感じる。 | 3 | 指導者の報酬は、受益者負担が基本となると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 805 | 4 | 賛成。専門の方にみていただいた方が上達もする。 | 2 | 御意見については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」「県の役割」に記載しております。各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。 |
| 806 | 5 | <p>1、地域移行する→総合型NPO？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公認総合型地域スポーツクラブを第1優先に優遇すべきだと思うが？ ・それともNPOなら良いと考えているか？ <p>【具体的に？】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移行する時期は？ ・今後も意見書の募集をすべきだと思うが？ <p>2、地域移行する→必要経費？</p> <p>【費用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者はじめ経理の助成費用は？予備費として事前建替振込金要！ ・一般職パート1,200円/時給や交通費などの報酬では対応する人材確保は難しいが？ <p>【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その場合の施設使用料、減免は？ ・その場合の施設利用枠は優先的だが？ <p>【人材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種目を増やすために専門コーチ要だが、人材紹介などサポート準備は具体的にどう考えているか？ | 3 | <p>1について、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法、時期に取り組んでいくこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> <p>2について、指導者の報酬は、受益者負担が基本となると考えています。施設利用についてはP17.18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」に、外部人材については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しております。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 807 | 5 | <p>中学部活の地域移行についての意見！ 【以下、ご回答願う】</p> <p>1、地域移行する→総合型NPO？ ・公認総合型地域スポーツクラブを第1優先に優遇すべきだと思うが？ ・それともNPOなら良いと考えているか？ 【具体的に？】 ・移行する時期は？ ・今後も意見書の募集をすべきだと思うが？</p> <p>2、地域移行する→必要経費？ 【費用】 ・指導者はじめ経理の助成費用は？ 予備費として事前建替振込金要！ ・一般職パート1,200円/時給や交通費などの報酬では対応する人材確保は難しいが？ 【施設】 ・その場合の施設使用料、減免は？ ・その場合の施設利用枠は優先的要だが？ 【人材】 ・各種目を増やすために専門コーチ要だが、人材紹介などサポート準備は具体的にどう考えているか？</p> | 3 | <p>1について、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法、時期に取り組んでいくことになります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> <p>2について、指導者の報酬は、受益者負担が基本となると考えています。施設利用についてはP17.18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」に、外部人材については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しております。</p> |
| 808 | 3 | <p>今後は、少子化の影響で、各スポーツ団体は子どもの取り合いになる。にも関わらず、昔にくらべ、メディア等の宣伝の影響で、子どもたちがやりたいスポーツは、増え続けている。ただ、このやりたいを叶えるには、学校の部活動では限界がある。今後は、学校部活動で全てを補うのではなく、地域と共に、子どもたちの、やりたいを叶えていく必要がある。ただ、学校部活動の良さもある。そこに関しては各保護者が選べるような、システムの導入をお願いしたい。恐らく地域によっても様々だと思うが、保護者としては、とにかく子どもがやりたいことが思いっきりできるよう、大人が仕組み作りをしてくれたら助かる。</p> | 3 | <p>多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 809 | 9 | <p>教員のありがたさも、分かるよう伝えてほしい。今までの教員は、本当に子どもたちのために、頑張ってきた。ただ、最近では、働き方改革で当たり前のように部活動を業務時間でやらない教員もいるかもしれない。これは、普通に考えたら当たり前のこと。この教員のボランティアありきの仕組みだったことをしっかりと伝えて、教員ができることとできないことをはっきりさせていただきたい。ただし、教員にも部活動がやりたくて教員になる人もいます。今後は、部活動をやりたい教員は、部活動をする。やりたくない、教員はやらない。子どもたちも、やりたいスポーツや活動が少しでも多く選べる環境を整えるようにしていただきたい。各学校にまかせるのではなく、各市の行政レベルで、仕組みを作り、各協会や団体と調整し、先生方の負担も考えながら進めていただきたい。最後に、ぶしつけですがこのネーミングも少し長い気がする。神奈川のみならず、今後の子どもたちのために、神奈川は、子どもたちの放課後をそれぞれの形で進めていくようなネーミングがいい。例えば、「子どもイキイキプロジェクト」とか、「公立学校放課後プロジェクト」などがよい。</p> | 3 | <p>教員の負担軽減及び希望する教員が引き続き部活動指導に関われるよう、取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 810 | 3 | <p>少子化の進む中、知人のお子さんがある中学校で小学校卒業まで続けていたスポーツの部活動がないため、別の部に入らざるを得なかったという話をきいた。また、私の娘の学区の中学校にも今がんばっているスポーツの部活動がない。多感な時期にやりたいことができない子どもたちがかわいそうに思う。また、中学の先生方もやったことないスポーツの顧問をしたり、休日練習や引率のためにお休みの日に部活動に時間を割かなければなくなること、大変だと思う。子どもの意思で地域の団体に所属できれば、やる気のある子どもたちが集まり、専門性を高めることができますし、より有能なスポーツ技能や芸術性など磨けるのではないかと思う。私はこの案にとっても期待している。難しいかもしれませんが市の域を超えて、地域で団体が選択できればなおいいと思う。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 811 | 4 | <p>先生方に時間が無いのはそうだが、より専門的な指導を受けるといえるのであれば、外部や地域の指導者に依頼することは有益だと思う。文化部は専門性が高いものも多く、学校内に有識者がいないことも多い。結果、部活に入っている、指導も受けられず、やる気もなくなり、おざなりな時間を過ごすことも多くなっているように思う。熱意のある先生方ばかりでは無いし、力のかげどころがあるのも理解している。ですので、外の力を借りることはいい事だと思う。ただし、外部に委託する限りは、しっかりと成果なり実績を把握する必要がある。大会の成績ではなく、生徒や保護者の満足度などの視点が重要。でなければ、部活は無くすべき。</p> | 3 | <p>指導者の確保に当たり、各地域において専門性や資質を有する指導者を発掘・把握してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 812 | 3 | <p>ガイドラインに書かれている内容、とても良かった。納得できた。このガイドラインを基に各校が部活動の地域移行を段階的に進めてほしい。今年度、我が子がバドミントン部に入部した。〔県西地区の中学〕特設ではあったが、来年度以降の話は特に出ていなかった。しかし、入部して2日後、突然学校側から来年度はバドミントン部はなくなることを一方的に聞かされた。急な話だということで、中学校に説明を求めたが、決まったことだからと誠意のない対応をとられ、親子共々落ち込んでいる。国や県の指針、ガイドラインが全く無視された今回のやり方については憤りを感じている。願わくば、中学校には今一度、ガイドラインを読んでいただき、対応を改めて欲しい。おそらく、保護者や地域の理解を得ることなく、地域移行を進める学校が他にもあるのではないか。ぜひ、調査をしていただき、また私たちの声にも耳を傾けていただきたい。中学校と地域、保護者が連携し、子ども達が継続的に運動に親しむことができるように、段階的に地域移行が進むことを願っている。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 813 | 3 | <p>(長いので2通に分ける: 1通目)公立中学校の部活動の地域移行についてのガイドラインはとても熟考されていて、この流れで進めてほしい。県西地区の中学校の特設バドミントン部にこの4月に1年生が5人入部した。「特設部」ということで、地域の「バドミントンクラブ」の指導者の方に指導していただき、中体連などの大会のみ、中学校の顧問の先生に引率していただいている。中体連の大会に関わる部分では、引率だけではなく、事前のエントリーや打ち合わせ、当日の運営に関わる業務等もちろん顧問の先生にご負担いただいている部分はこれ以外にも多々あると思うが、練習や指導は外部指導者の方がしてくれていて、部活動の地域移行をすすめる中でのモデルケースになれるのではないかとも思っていた。ところが、2023年度から、中体連の大会にクラブチームも参加できるという話からなのか理由は分からないが、入部した直後の、主に新生生の保護者が多く参加する「部活動保護者会」の場で、突然「部を令和5年度から全て廃止します」と言われた。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 814 | 3 | <p>(2通目 ※入部直後に、今年度で廃部になると言われた話の続き) 入部前には、もちろん何の話もなく、入部届も受理された数日後の話である。これから部活がんばろう！と希望に満ちていた新入部員の1年生が5人いたのにも関わらず…。その後保護者側から要望をし、話し合いの場は設けてもらったが、誠意ある対応はしてもらえていない。生徒数減少に伴い、教職員の数も今後減っていくこと、先生方の超過勤務が問題であることなどは、重々承知している。ですが、このような強引で性急、そして一方的に学校側から切り捨てられるようなやり方は、県教委から出されているガイドラインを無視していると思わざるをえない。県教委の目指す「教員の働き方改革」と「生徒が、将来にわたりスポーツ・文化芸術等の活動に親しむことができる機会を確保すること」の両輪ですすめていくことの、片方の車輪(後者の部分)は無視されている。このようなやり方は学校への不信感しかうまれず、今後の地域移行についても悪影響だと思う。ぜひ今一度このガイドラインを読んでいただき、生徒や保護者、地域とも連携した段階的な移行を望む。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 815 | 3 | <p>今、5年生の子供がいる。幼稚園の頃から、ダンスブームで周りに習っている子供も沢山いる。しかし、中学校の部活にダンス部がない。その為、私立の中学校も検討しているが、近くの中学校にお友達と通わせたいとも考えている。K-POPやJ-POPなどのダンス部が出来るといい。外部委託でダンス講師賛成する。</p> | 3 | <p>子どもたちのニーズに応じた多様なスポーツ・文化芸術等の活動を確保できるよう取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 816 | 7 | <p>藤沢市で、小学生バレーボールチームを主宰している50代男性である。近年、文部科学省より2025年度に中学校の部活動を地域移行するとされているが、藤沢市においてはその動きが見えてこない。地域移行するには、その受け皿を早急に整備するべきであり、そちらが最優先だと認識するが、神奈川県としてどのように考えていらっしゃるのかも見えない。このままでは、単に中学校の先生から部活動の負担を減らすだけで、子供達の立場に立っていないと思う。このままでは、スポーツに限らず文化系の部活動を楽しむ機会を失い兼ねない。地域移行には、受け皿である組織をどうするのか？その原資をどのように調達するのか？指導者をどのように集めるのか？指導者にしても、無償でやるような殊勝な人物はいない。また、若い指導者をどのように確保するのか？先に記したように無償で集めるのは難しいでしょう。その点ではやはり国なり県が主導権をもって、その指針をもっと分かりやすく示すべきであり、道筋をつけることが肝要かと存ずる。子供達は国の宝です。国民の居ない国は存続できない。もっと子供達への手厚いケアをするべきではないか。</p> | 3 | <p>地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。</p> <p>受け皿については、地域のスポーツ・文化芸術団体等、学校関係者、保護者などと連携し、新たなスポーツ・文化芸術等の活動環境を整備し、取組に努めてまいります。市町村の状況や意向を把握しつつ市町村を支援してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 817 | 3 | <p>学校の中だけだと人数が足りなくて、やりたくてもできないことがある。 やりたいことをやろうプロジェクト！ 1つの部活動以外にも参加できる時に出来る活動があるといいい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術部に入っていないなくても行事（体育祭、文化祭）のパネル作りに参加 ・試合が目的ではなく、放課後に運動がしたい ・生徒が決めたイベントを放課後にやる（eスポーツ、フリスビー、ドッジボール、大縄など） <p>自分の学校にない部活動や地域の活動に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街や海のゴミ拾い ・環境にいいことをしたい ・物物交換会 ・高校生の部活にも参加してみたい。（音楽やゲーム） | 3 | <p>地域クラブ等の役割として、生徒の志向に合った活動や、誰もが一緒にできる活動を提供することを記載しており、周知を図ってまいります。御意見については、参考にさせていただきます。</p> |
| 818 | 9 | <p>サッカー部の部員たちに息子が虐められました。携帯で写真を撮りながら「お前不審者なんだよ」と息子に言っていたのです。わたしが間に入ってイジメないでとお願いしても、子供たちはわたしの言葉を聞いてくれなくて、とても困りました。</p> | 5 | <p>方針に関する御意見ではありませんが、該当する市町村に情報提供しました。子どもたちの多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。</p> |
| 819 | 7 | <p>今、教職員の仕事量の多さは先生方から感じている。顧問の先生には多大なる負担をおかけしている事も子供から聞いている。ただ全てを外部の先生に預けるのは保護者として不安。多感な成長期の子供達は学校生活と部活が連動していることが多い為、やはり顧問の先生に見ていただけると安心。補助的に外部を入れて頂けたらと思う。</p> | 3 | <p>将来にわたる中学生の活動保障と教員の負担軽減の側面から地域移行を進めて行くこととしています。なお、地域クラブでの指導を希望する教員については、兼職兼業の許可を得ることにより、引き続き指導を行うことが可能です。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 820 | 3 | <p>県西地区中学校の保護者です。来年度から地域移行に伴い、働き方改革の一貫としても教職員の負担を減らすために現特設部の4つを廃部にするとのことだった。意向は、納得できるものの新入の一年生が入部したての入部説明会で一部の保護者に話があったのみで、生徒、保護者は混乱の形のままとなった。話し合いの機会を保護者と学校側で作って頂いたものの学校の方針は固まっていて廃部は確定とのこと。現段階は外部コーチ委託のため土日は学校側には負担はなく、顧問の業務を減らす＝廃部になったかと思うが、クラブチームとして成り立つのかもわからないままの話し合いとなり、学校に不信感が募る一方、今後の進め方、子どもたちの試合の出場の頻度も減るのではないかと疑問しかない。段階的ではなく、この様な形になることは仕方ないのか？保護者、子どもたち、地域、学校で寄り添いながら話しを進める環境ではないことに親として何かできないのか、子どもたちの気持ちのやり場、希望を捨てるしかないのかと思い、ありのままにお伝えさせて頂いた。</p> | 3 | <p>子どもたちのニーズに応じた多様なスポーツ・文化芸術等の活動を確保できるよう取組を進めてまいります。御意見については、町教育委員会にお伝えします。</p> |
| 821 | 2 | <p>4頁 本県の中中学生について、「友達と楽しく活動する」ことを部活動の目的として加入している生徒の割合が最も多い。一方、好成績を収めることを目的に部活動に加入している生徒は、2割に満たない。(図表8) 次のように、パーセンテージを記載し、文言を修正することを提案する。 本県の中中学生について、「友達と楽しく活動する(32.7%)」ことを目的として加入している生徒の割合が最も多い。また、「好成績を収める(17.8%)」ことを目的に加入している生徒の割合は3番目に多い。(図表8) 理由としては、(図表8「部活動に所属している最大の目的」)は、8項目の合計の回答率が100%になる設定のため、最も多い回答でさえ「友達と楽しく活動する(32.7%)」は、全体の3割弱。4頁の記載では「割合」を触れておらず比較ができない。そして、3番目に多い「好成績を収める(17.8%)」は、「チームワーク・協調性・共感を味わう(15.5%)」よりも多いにも関わらず、「一方」や「2割に満たない」との記載により、「好成績を収めるニーズが極端に少ない」ようにミスリードしている感じが強い。</p> | 1 | <p>P4「少子化の進行状況とその影響」「生徒のニーズと教員の負担感」の文言を修正しました。</p> |
| 822 | 9 | <p>学校の先生方の仕事がどれだけ大変なのか外部の者には分からないが、部活動の顧問であれば平日は夕方まで土日も練習、試合等で時間外勤務や休日なくなる事は容易に想像がつく。一昔前よりは部活動が休みの日も多いようだが、それでもまだまだ時間外勤務は多い。ですので、人件費等の問題もあるが、地域移行していくのはいい事だと思う。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 823 | 3 | <p>素案の内容について、まず「楽しい」の定義がなされないままの部活動に対する取組方のアンケート結果が生徒の意見を反映されているかどうか？について疑問があった。また、教員の働き方改革に付随して、教員の労働超過について部活動がその大きな要因たる根拠が示されていないことも気になる。個人的には部活動の地域移行については(特にスポーツ部活動について)賛成であり、段階的にでもよいので地域移行を達成させることに意義があると考えている。ただ、文化部においては例えば楽器や演奏場所などのハード面をどれだけ教育行政の支援が約束されるか？が大きな部分であると思う。総じて部活動の再定義が必要であり、ハード面とソフト面を官民協力しながら横断的に部活動もしくはそれに代わる団体を支援するというのであれば、その許認可を含めた判断を学校長を中心とすることに固執するのは大きな障壁になると考える。</p> | 3 | <p>部活動の「楽しさ」は人それぞれであり、多様なニーズに対応した活動を確保していくことが大切であると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。教員の労働超過については、P7「少子化の進行状況とその影響」「生徒のニーズと教員の負担感」図表12に記載のとおりです。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 824 | 9 | <p>1/5 部活動地域移行の目的は県教委説明にある通り、大きく二つある。</p> <p>1つ目は子どもの数の減少により、各部活動の人数が少なくなり、学区を超えてのチームを組まざるを得なくなってる上記への対応。</p> <p>2つ目は教員の働き方の是正。</p> <p>現在の状況では、一つの学校あたりの部活動を少なくして、部活動あたりの人数を増やすことが現実的。ここ数年、教員の働き方改革が叫ばれる中で、部活動ガイドラインが作成、施行された。それはとても大きな改革だった。が、現場では多少の労働時間の軽減にはなったが、大きく変わったわけではない。「多少の」という言葉を使ったのは、部活動ガイドラインで軽減された以上の〇〇教育（様々あります※）が社会の変化とともに必要とされ、常に対応しているから。</p> | 5 | 県の考え方は、3/5～5/5にまとめて示します。 |
| 825 | 3 | <p>公立中学では各学校の部活動が揃っておらず、女子部、男子部しかない、等の希望する部活動がなかった、という話をよく耳にする。これまで続けてきたスポーツを、学区の中学に部活動がないことで継続できない、という地域による不平等さを強く感じている。我が家の息子は数年前から市外のバドミントンチームで練習に打ち込んでいるが、中学校に部活動はなく、市内で続けられるクラブチームもない。大会などでは、公立中学での部活動としては部員が多数参加できるのに対し、クラブチームとしての大会参加は人数制限が厳しい、という格差もある。この草案では、近隣校に連携が可能ならば合同部活動も可能とあるが、合同部活動として学区外参加が可能ならば、校区人数関係なしに、部活動としての範疇で、現実的に通いやすい学校、施設で練習場所への受け入れ態勢を広げてもらえることを強く希望する。地区格差も解消でき、子供たちのコミュニティも広がる。チーム編成のためだけでなく、個人競技においても広く、施設の整った学校へ受け入れを可能にするなど、校区関係なくスポーツに取り組める環境を作って頂きたい。</p> | 3 | 地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 826 | 9 | <p>2/5 日々、社会の変化に対応して教育を実践することは未来社会を生きる子供たちにとって必要なことであり、教員としての責。一方、部活動の負担は軽減されたものの、まだ旧態のままのものが多くある。例えば、多くの部活動の大会では、顧問である教員が自校の生徒の引率、指導を行いながら大会を運営し、さらには審判も行う。プロでもないのに、審判をすることで他校の顧問や保護者から怒号が飛ぶことも少なからずある。子ども達は自分のやりたい活動をやっているかもしれないが、多くの教員は違う。組織のなかでやらざるを得ない状況で、子どもたちのために顧問をし、子どもたちのために大会の運営や審判を行なっている。それらは時に教員の気持ちを削ぎ、教員という職業に魅力を感じなくなってきている要因の一つでもある。現に、教育実習の途中で辞めてしまう学生や、教育実習をしたことで教員を目指すことをやめた、という学生を実際に目にしてきた。</p> | 5 | 県の考え方は、3/5～5/5にまとめて示します。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 827 | 8 | <p>3/5 部活動は、子どもたちが興味あることを仲間と共に追求する、授業とは違う、主体的な学びの場だった。仲間作りをはじめとした社会性の育成、加えて、鍛錬・継続・目標達成することを学んできた。保護者は今もその形を望んでいるかもしれない。しかし、部活動をこのまま続ける限りは、教員の働き方は改善しない。教員を目指す人がいなくなる、またはなっても辞めてしまう、という状況を変えていくことが必要不可欠。</p> <p>そこで、提案します。全国でできれば良いが、神奈川モデルとして考えていただけないか。</p> <p>1. 部活動のクラブ化 子どもたちに様々な体験や仲間づくりをする場を学校として提供しながらも、教員の働き方を是正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週2日程度 ・教員の就労時間の30分～1時間前まで（生徒が帰宅する時間くらいまでは机上の職務） ・単年度更新（異動によって左右されない） ・その教員が意欲をもって教えられるものをクラブとして実施 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くことになります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 828 | 9 | <p>4/5 2. 教員の就労時間を実情に合わせる 現在、就労時間は8:30-17:00(休憩45分)とされているが、休憩が取れることはまずない。また、生徒が登校を始める8時には多くの職員は教室で生徒を迎える準備、連絡事項の確認、安全点検、欠席連絡対応、ICTを含む授業準備などを行っている。これらは勤務と認めていただきたい。勤務時間を実情に合わせる（例えば8時から4時）ことで、教員自身の就労時間に対する意識を変えることが必要。金融機関と同様、顧客のいる時間と準備や整理の時間を勤務とする。また、社会の変化に合わせた研修や研鑽をしたい教員にとって、自己研鑽をする時間ができる。4時以降の時間帯があれば、教員として研鑽を図りスキルを伸ばしたり、または兼職兼業の部活動で子供達への指導など活かしたりすることができる。面談などの時は、一定の時間を勤務延長し、その分を夏休みで振り替えるなどの措置で対応できる。</p> | 4 | 教員の勤務時間等については、労働基準法に則った運用を行う必要があります。 |
| 829 | 9 | <p>5/5 面談などの時は、一定時間を勤務延長し、その分を夏休みで振り替えるなどの措置で対応。</p> <p>3. 地域での活動 前項2がある前提で、週2、3回（休日を含む）体育施設を開放し、地域と共に練習する。それを部活動とはせず（例えば放課後自主活動など）、新たな事業として神奈川モデルで行う。休日だけ指導ができる方や、放課後の生徒の見守りなど地域で子どもを育てることはできる。教員が指導可能とし、その場合はチーム内からまたは行政からの報酬を得る。家族内で複数在籍する場合の軽減措置など、指導にかかる金額としては、先行例を参考にして協議、部活動等で支払われている教員の特別勤務手当を充当。地域、保護者が望んでいない状態で、進めていくことは難しい。でも、クラブ化と放課後自主活動で地域と学校、保護者がそれぞれの役割をしていくことで、より子どもたちの経験を増やし、健全な育成ができるのではないか。</p> <p>※最も大きく占めているのは支援教育と思われる。個への対応そのものは大変だが、その視点を持つことで、より丁寧な教育ができています。</p> | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法で、できるところから進めて行くことになります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 830 | 9 | <p>「教師は自分の専門性や意志に関わらず顧問を担わされている」や「休日の引率に強い負担を感じていることがある」との記載があるが、これは地域移行の進展を待つまでもなく、今すぐ根絶しなくてはならない。3年間の改革推進期間は、上記のような現状は維持したまま、教師に我慢を強いることを声高らかに伝えている案である。</p> <p>神奈川県は全都道府県の中では外部委託がしやすい（民間のスポーツクラブの数もそれなりに確保されている）県である。であれば、競技志向の高い生徒もエンジョイ生徒も丸ごと全て地域移行し、学校から切り離すべきである。既に一部外部委託（インストラクターや部活動指導者）され、顧問教員が活動の調整をおこなっているケースを県内外の学校複数で見聞きしているが、生徒と外部指導者の関係性の構築や、教育活動への理解の乏しい指導者との調整に苦慮するなど非常に顧問の負担が大きいケースを知っている。同じ部活動を複数の指導者（教員・外部）が持つのではなく、全く別組織として活動しないと、教師の負担は決して軽くない。</p> | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法をできるところから進めて行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 831 | 9 | <p>中体連は学校とは直接的関係はない外部組織のはずであるのに、その運営に多くの教員が駆り出され、またクラブチームの大会参加は一部しか認めないなど、おこがましいにもほどがある。土日に開かれることも多い大会に教員の引率を原則とするなど、労働基準法も無視した運営をしている。全国でも東京や神奈川は他県の範となつて地域移行をすすめるべきだが、これから参加資格の緩和を主催者と協議するなど悠長な姿勢でいるのであれば、地域移行には全く期待できない。県や競技団体の動きがこんなに鈍い以上、教員が結託して顧問や引率を拒否する行動に出たとしても仕方がないという焦りを、県も中体連も感じた方がよい。</p> | 3 | 県中学校体育連盟の主催大会への地域クラブ活動等の大会参加要件等の見直しが行われておりますが、不断の見直しについて、働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 832 | 9 | <p>スポーツ庁のq&aにあるように、顧問がそもそも希望制である旨が書かれていない。</p> <p>実質勤務時間中にやる余地のない部活動の顧問をするかしないかは、各教員に任されている。月45時間の残業規制は、当然部活動を含むが、平日2時間程度、休日3時間程度従事すれば、45時間はほぼ消化される。このことから、部活動指導から教員を切り離すのは当然と言える。前提条件の中に、顧問は希望制である旨をしっかりと明示し、県民に理解を求める努力をすべきではないだろうか。あわせて、県の部活動ガイドラインを弱体化させ、独自の解釈で部活動をしている自治体がある。そのような自治体は大会等から排除し、ガイドラインを守ることで損をするような実態を改める必要がある。部活動はルールの中でのみ行われることも明示すべきではないか。</p> | 3 | 生徒の休養日や教員の負担軽減の観点なども含め、各学校において適切な部活動運営が行われるよう、県が作成した「神奈川県の学校部活動に関する方針」等の周知に努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 833 | 3 | <p>教員の負担軽減のために地域移行することは賛成。ただ、移行した場合各家庭に金銭的負担が掛かるのではないかと心配している。部活動には入部できていた子供たちが家庭の事情で入部できなくなる事はとても悲しいこと。全ての子供たちが平等に入れる事が守られれば良い。放課後や休日が暇になり、ネット依存になったりしないか…。うちの子供は1年の時に運動部に入ったが、3年生が引退すると人数が一気に減り練習内容もつまらない、公式戦に出られるかも分からないとのことで2年からクラブチームに移った。個々にあった活動ができれば良いと思うが中々難しい問題。</p> | 2 | 御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。また、P18「段階的な地域移行に向けた取組」「適正な運営体制の整備」に記載のとおり、保護者負担に配慮して取組を進めてまいります。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 834 | 9 | 神奈川県公立高校に勤務している者である。部活動は早急に地域移行にしてほしい。勤務時間外ありきでの業務はおかしい。手当も微々たる者でやりがいを感じない。個々人の意思やワークライフバランスを尊重した、持続可能な制度を確立してほしい。 | 3 | 子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。なお、まずは、中学校の休日の部活動について、地域移行の取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 835 | 7 | 小田原市で小学生バレーボール少年団に所属する6年生の保護者である。現在我がチームには中学に進学予定のメンバーが6人いるが、いずれも進学先に男子バレー部はなく、部活動としてバレーを続けることができない状況。先日男子バレー部設置について、既存する女子バレー部との合同活動や、外部指導者の導入など、今後の地域移行に向けて地域クラブと連携していく意向を中学校へ提案したが、学校側は生徒のニーズに答えて部活動を設置することができないという回答だった。我々クラブチームが最大限のバックアップをする体制ができていても、学校側は連携の形ではなくクラブチーム単体で実施して欲しいという考えで、県や市など上層部からの通達や指示がなければ動かないのが現状である。今後地域移行に向けては、関係各所の連携や協力体制が不可欠である旨をもう少し前面に押し出して欲しいのが希望。また、素案の中で運営形態の例が示されているが、まず直面している問題を打開するために何から始めればいいのか、最初に相談すべき窓口はどこなのか、コーディネーターとなりうる人材を探すためにはどうすればいいのか、具体的に示して頂きたい。 | 3 | 本方針は地域移行に係る取組の考え方の大枠をまとめたもので、具体的な整備の取組は、各市町村において検討し、進められていきます。御意見については、小田原市に情報提供させていただきます。 |
| 836 | 7 | 素案を拝読しましたが完全な地域移行ではなくエンジョイ型の内容で選択制の授業として運用されたいかがか。結果、授業数が増えて良いと考える。ここまで、公立中学の教員の業務範囲が良い。また、競技型については地域に委ねることの良い。結果、文科系も運動系もバランスの良い経験ができる事になる。地域に移行された部活は民間での質の高い習い事に吸収される。費用は可能な限り企業に対する補助金支給とし国や自治体で負担する事で良いと考える。 | 3 | 授業で実施する内容については、学習指導要領で定められているため、部活動を授業として実施することは難しいと考えますが、御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 837 | 3 | 今現在、地域移行問題で大会に出場できない状態である。学校側からもクラブチームからも引率者がいないと言われエントリーできない。地域移行にしなければならないことも理解できるが、どのように進めるか何も決まってない状態ではじまってしまっていて大変困っている。人数の少ない学校と多い学校と不公平感をとても感じる。教育委員会などに相談しても校長の判断でと言われる。校長の意見だけで物事が決まってしまうのも不公平だ。少しでも子どものやりたいことができる環境を一緒に考えていただきたいかった。 | 3 | 大会の運営方法や参加要件は、主催者が判断することになりますが、県中学校体育連盟の主催大会については、地域クラブ活動等の大会参加要件の見直しが行われており、不断の見直しについて、働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 838 | 9 | 私は公立中学で教員として働いている。採用されて十年以上経つが、そこから感じたことを意見として書く。現場には部活に全てをかけている教員がいる。そんな先生方の中には、通常の業務と部活指導の優先順位を間違えている人がかなり多いと感じている。そして部活動を優先する先生方の穴を埋めるのは、他の優秀な先生方である。それは、どの学校、どの学年にいても毎年感じる。部活を優先することで他の先生に負担が偏るのはいつも疑問に感じる。これを解決するには、顧問と指導者を別にする必要がある。そして、互いの領分を明確にすることが必要。顧問は部費の管理、部員の入退部の管理、平日の活動を担当し、指導者は基本休日の指導と大会の引率を担当し、可能な範囲で平日放課後の指導も行う状態にするのはどうか。希望する教員は顧問に加えて指導者も兼ねることができるが、基本的に指導者は2人以上の体制とし、教員だけの配置にはしないほうが良い。理由としては指導者のなり手も普段別の仕事をしていることを考えると、まずは土日祝日を基本にしたほうが良いと考えた。 | 3 | 御提案の方法も手法の一つと考えます。地域ごとに部活動指導の人材や施設等の地域資源、生徒規模等の実情や課題は様々であることから、各地域の実情に応じ、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択し、できるところから取組を進めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 839 | 3 | 小さい頃から、所属しているものと、中学から所属するものとの対応の差が出てしまうのではないかと、不安に感じた。中学から新しいことにチャレンジすることも可能な状況にしてもらいたいと感じた。正直、もう少し詳しい案がないと、意見が出しにくい。 | 3 | 本方針は地域移行に係る取組の考え方を大枠でまとめたもので、具体的な整備の取組は、各市町村において検討し、進められていきます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 840 | 2 | P3【図表1 公立中学校数と生徒数の推移】に関して図表の下限が15万人からとなっているため、視覚的にピーク時からR4までに生徒数が1/3程度になったように誤解される懸念がある。ピーク時(S61)が36万でR4は19万なので、実際は1/2を切っていない状況である。調査統計をグラフで示す方法として適切でないと思われるため、グラフは正規の表記を使用すべきだと考える。 | 1 | P3「少子化の進行状況とその影響」 「学校数、生徒数、部活動数等の推移」 「図表1」について、最小値0のグラフに修正しました。 |
| 841 | 2 | [意見] P3(1)学校数、生徒数、部活動数等の推移 ■地域によっては生徒数の減少に伴い・・・(図表2)に関して 1つ目は【図表1】がピーク時のS61からR4の比較であったことから、この【図表2】も可能であればピーク時からの比較にしたほうが適切だと思われる。実際、S61からR4までの生徒数の減少が約16万人に対して、H24からR4までの生徒数の減少は、2万人弱かと思わる。【図表1】と【図表2】を並列に考察するのは適切ではないと思われる。 2つ目は【図表2】の考察として「■地域によっては、生徒数の減少により学校ごとの設置部活動数を減らし・・・」とあるが、県全体では1校あたり0.5の減少、つまり2校に1校がこの10年で1つの部活動が廃部になったと読み取れる。つまり、『この10年間で2校で1つの部活動が廃部』という状況を「生徒数の減少により、部活動数を減らし・・・」という考察はあまり適切とは思えない。むしろ実際は、2または3人など少人数の部活動を、子どもたち・保護者の要望を受けて、教職員が粘り強く存続させてきている状況があることにフォーカスすることも必要ではないかと考える。 | 1 | P3「少子化の進行状況とその影響」 「学校数、生徒数、部活動数等の推移」 「図表2」については、昭和61年からのデータがないため、御意見を反映することができません。 「図表2」の考察について、データから読み取れる情報として文言を修正しました。 |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 842 | 4 | <p>教員の負担を減らす工夫は必要不可欠だと思うので、素案については賛成。地域に眠っている指導者はどの分野でもいると思うが、実際中学校まで定期的に通える人がどのくらいいるかアンケート調査してみたいか。社会人をしながらの活動は、とてもエネルギーが必要でしょうから、かなり人材は限られてくると予想する。大切なことは、ボランティアではなく仕事として請け負ってもらうこと。当然、人件費を市の予算から捻出することになる。仕事になることで、責任をもって活動に参加するようになるのではないかと。</p> | 3 | <p>部活動地域移行に係る予算については、国の予算措置状況を注視しながら、県及び各市町村においても予算措置を講ずる必要があると考えております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 843 | 2 | <p>〔意見〕 P4（2）生徒のニーズと教員の負担感 ■本県の中学生について「友達と楽しく活動する」ことを部活動の目的として加入している生徒の割合が最も多い。一方、好成績を収めることを目的に部活動に加入している生徒は、2割に満たない（図表8）について 【図表8 部活動に所属している最大の目的】のアンケート項目をみると「体力・技術を向上させる22.4%」という結果がある。つまり32%は「楽しく部活動をしたい」という目的とともに、22%の子どもたちは「体力・技術の向上」を目的とし、17%の子どもたちが「成績を収めたい」という考察が適切かと思われる。特に「体力・技術の向上」を選択した生徒は、「成績を収めたい」の選択肢にも関連すると考えられる。「体力・技術の向上を目指して」「結果（成績）は気にしない」という子どもは少数かと思われる。このあたりも含めて考察にするべきだと考える。 素案の考察だけでは、子どもたちの部活動の目的が「楽しく活動する」ことがすべてであるような印象を（読み手が）うける懸念があると思われる。</p> | 1 | <p>P4「少子化の進行状況とその影響」「生徒のニーズと教員の負担感」の文言を修正しました。</p> |
| 844 | 2 | <p>〔意見〕 P4（2）生徒のニーズと教員の負担感 ■公立中学校の運動部活動顧問教諭のうち、4割以上が競技経験のない部活動の指導を行っている（図表10）についてまず、1つの学校にさまざまな部活動があるにも関わらず、55.6%、つまり半数以上の部活動が競技経験者で運営されていることにもう少しフォーカスすることも必要だと思われる。この数字が地域移行したときには「果たして何%となるのか」も疑問である。公教育のなかで、55.6%の部活動が競技経験者の顧問であることに、少ないと捉えるのか、十分に対応してきたと捉えるのか、そのあたりも客観的に考えるべきだと思う。また、未経験の顧問の方もその競技を学び、子どもたちに対して可能な限りのサポートをしていることにも着目することが必要だと思われる。この素案の文章が「教員の負担感」についてならば、もう少し上記の内容を加味すべきだと思うが、「生徒のニーズ」についてならば、「4割の生徒が専門的な指導を受けられない」という意味合いになると考えられる。「生徒のニーズ」についての文章なのか「教員の負担感」についての文章なのかが明確でない。</p> | 4 | <p>当該グラフのみで、競技経験のある顧問の対応が十分か否かについては言及できません。また、未経験の顧問であっても可能な限り生徒をサポートしてきた状況は想像できますが、グラフから読み取れる情報ではないため、記載できません。なお、当該グラフは、専門的な指導を受けたいという生徒のニーズ、専門的な指導ができないのに顧問になっているという教員の負担感、どちらにも関係する文章となります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 845 | 4 | <p>[意見] P18 生徒や保護者、地域住民等の理解を得つつ、活動の維持・運営に必要な範囲で、保護者にとって過度な負担とならないよう、適切な会費を設定する。 について 「保護者にとって過度な負担とならないような適切な会費」とは、月々いくらあたりを想定しているのか？また、年間で保護者の負担額がどのくらいになり、国や県からの補助がどのくらいになるのか？難しいところであることは重々承知しているが、そのあたりの財政面の見通しが無い限り、外部指導者の確保・民間企業の参入は難しいことは明白。現在部活動は、年間1万円以下（多くは5000から8000円か？）ほどかと思われるので、月々に換算すると保護者の負担は月約800円です。部活動の内容によってさまざまあると思うが、地域移行したときの年間活動費の目安は早急に見通しをたてる必要があるかと思う。</p> | 3 | <p>指導者の報酬は、受益者負担が基本となると考えていますが、活動の実施主体や活動内容、形態、規模は様々であることから、自治体ごとに多様な取組を検討してまいります。また事例集で会費についても先行事例を紹介してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 846 | 6 | <p>[意見] P19 大会等の運営に従事する教員等のサービス上の扱いの明確化や兼職兼業の許可について、適切な服務監督を行う。について まず、いわゆる「中体連」という組織が部活動に従事することはなくなるのか？部活動はそれぞれの地区の中体連の競技専門部がとりまとめている。地域移行したときに、その役割はどこが担うのか？それぞれの地区の中体連専門部が地区内の同種目部活動をとりまとめ、顧問総会や予算の計画・執行、大会の企画・運営、会場の確保、合同チームのマッチング、緊急時の対応など、すべてを行っている。これらの役割は、どこが担うのかが不透明。P18の4「大会等の参加の在り方の見直しと参加機会の確保」に「活動の成果を発表する場である大会やコンクール等に安全に安心して参加できる機会を確保します。」とあるが、その主体は誰がどのようにするのか？素案の記載では、教員が兼職をして大会運営に当たるということか？それとも、中体連という組織の活動が、兼職兼業となり、教員がそこに従事するということか？</p> | 3 | <p>各種大会の運営方法については、各主催者が判断することになりますので、本方針には反映できませんが、県中学校体育連盟の主催大会については、外部指導者の運営への参画等の見直しが行われており、不断の見直しについて、働きかけてまいります。将来的な組織の在り方については、日本中体連の動向を注視してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 847 | 7 | <p>学校施設を活用する。グラウンドの人工芝化、ナイター化。体育館などの活用。統廃合によって、空いている学校施設の再利用(売るのではなく、貸すことによって手を挙げるクラブは多い)学校施設を使いやすいように、また整備して地域クラブの拠点とする。それによって手を挙げる地域クラブや新設されるクラブは多いと思われる。totoなどを補助金に充当できるシステムをつくり、財源を確保する。複数校の合同部活動をクラブ化するモデル事業を実施し、県内に展開する。その際の事務作業などの簡素化。教えたい先生、活動したい生徒を後押ししてあげてほしい。地域移行によって日本の文化、スポーツ活動の基準を変えるチャンスです。</p> | 3 | <p>部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択していくこととなりますが、御意見は今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 848 | 7 | <p>素案の p 16. 17 「3 段階的な地域移行に向けた取組」 (1) 適正な運営体制の整備 について ・学校の役割として、「顧問と外部指導者等が、活動内容の報告をするなど、情報共有を図る」とあるが、これでは顧問が休日も出勤することになりかねない。実際、部活動運営には、欠席者の確認（コロナ下では発熱の有無等、体調不良の症状まで詳しく聞き取る必要があった）、活動中の事故・けががないか、活動中に生徒指導に当たるようなトラブルはないか、など、細かく気を配る必要があった。地域移行すると、同じ学校や他校の生徒が交じることで、より注意すべき点が出てくるように思う。そのような部活動内の情報を、指導者同士、また保護者としっかり共有していくことも求められ、情報を共有するためのシステムを、県として確立すべき。学校の関わり方が大変難しいので、今よりも負担が増えることのないようにしていただきたい。休日だけでなく、平日の放課後の活動も、通常業務に加えて大変負担となっているのが現状である。学校と切り離して、地域中心の活動になることを望む。</p> | 3 | <p>地域クラブと顧問教諭の情報共有の方法については、多様な方法が考えられますが、教員の過度な負担とならないよう、様々な事例を収集し、有効な方法を検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 849 | 7 | <p>部活動を週 2 回、または 3 回程度でクラブ化、教員が指導可、地域の場所を使用、見守りは地域または保護者、大会引率は保護者の責任、大会の運営はボランティアと有償の指導者で。 →子どもの体験機会を確保しつつ、教員の働き方改革につなげていく。</p> | 3 | <p>御提案の方法も手法の一つと考えますが、部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 850 | 3 | <p>中学生になる前の短いタイミングで、果たして児童が本当に自らの意思で「学区外進学」を望むのか、「保護者の希望」ではないか、学校（又は、児童を見守っていた地域）からの意見も、必要。児童は選択時まだ幼く「親の喜ぶ案＝自分の正しい道や未来」と思い込んでしまう子も多いのではないかと。それは本当に正しく、部活動だけが理由か（保護者が環境を変えただけで、誘導していないか）現代の子どもの環境は、昔とは大きく違い「不登校が増えている」、「SNSコミュニティの発達」など、危うく脆い部分も持ち合わせており、情報過多な不安定要素から逃げられない現状。部活動は、事前にパンフレットで知るのではなく、中学生になってから、土日や夏休み期間を利用し、他校と共有（生徒数も少なくなっているため、今後、A中学&B中学共同チーム編成を考案。その際コーチを用意し、学校教師の部活顧問負担も減らし、勉強、人格形成に時間を費やしてもらえる）等、お試し期間の猶予があっても良いのではないかと。試してみても、「失敗出来るチャンス」が得られるのは、未来を見つける、大事なプロセスだと思う。</p> | 3 | <p>P13に記載のとおり、子どもたちの多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|--|
| 851 | 2 | <p>現行の素案では、全体が運動部に偏りすぎていて、文化部の現状把握と将来展望が不明確。人数の多寡に関わらず文化部も運動部も同じ部活動であり、対等なもの。文化部のデータも調査した上で方針を策定してほしい。文化部の地域移行については、文化施設の不足が課題とされているが、それ以上に運動部における「地域クラブ」が文化においてどれほどあるのかという課題の方が遥かに大きく深刻である。各文化部における、受け皿の調査も行ってほしい。部活動改革において、生徒がどのように考えているのかについては、資料が提示されていない。特に、文化部については、現行の部活動を求める生徒が多いのではないかと推察している。外部指導員については、会計年度職員という非正規の立場が多いと思われるが、この先、部活動をはっきりと地域に移行する方針ならば、非正規公務員をこれ以上増やすことなく、正職員として雇用できる仕組みを作るべき。地域クラブに移行した場合、現行の「部費」にあたるものが、どれほど増えるのか、また保護者の関わりが、現行の部活動に比べてどれほど増えるのかについてもデータが必要。</p> | 3 | <p>文化部の受け皿となるクラブや団体等を把握することは重要であると考えます。現状では、運動部に在籍する生徒が多いこと、また、地域における活動では、総合型地域スポーツクラブ等があることから、素案において運動部の記述が多くなっていますが、御意見にある「文化部も運動部も同じ部活動であり、対等」は御指摘のとおりです。受け皿や移行後の費用及び保護者の関わりについては、市町村や文化芸術団体等の状況、意向を把握しつつ、受け皿づくりを行う市町村を支援していきます。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> <p>また、地域移行した際の「部費」については、活動内容や参加する団体によって様々であるため、一概に示すことは難しいですが、今後の参考とさせていただきます。</p> |
| 852 | 9 | <p>部活動は生徒にとってとても有意義な時間だと感じているが、それと同時に部活動指導に対する教師の負担を感じている。学校の1日の中で、勤務時間が8:30~17:00、1日5コマの授業、昼食指導等を行うと仮定すると、15:00までの間に1時間程度、放課後は2時間程度の空き時間がある。しかし、放課後の2時間を部活動に当てた場合、空きが1コマ。この1コマの間に、授業準備や校務分掌等の仕事を行う。現実的に不可能。残業ありき。学習指導要領の大部分を占める教科教育などの準備やそれに伴う生徒と関わる時間が減り、部活動の生徒とのやりとりに費やされる。本末転倒であり、変化の激しい時代を生き抜くための生徒を育てるための指導がなおざり・おざなりになっている。令和7年度までという目標がなくなったが、市町村に対する時期目標は必要。地域のチームと学校とをつないでくれる何かがないと、現場・部活動で動くのは難しい。全員顧問制の学校もあるが、全員が平等に負担感を感じる取り組み。指導ができる教師は地域指導者として登録し、できない教師は教科等に専念できる環境を整えてほしい。</p> | 3 | <p>部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法でできるところから進めて行くことになるため、統一の時限等を設ける予定はありません。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 853 | 4 | <p>本校では、外部講師を入れる事を拒むと、地域の指導したい方が言われる。外部講師を入れて欲しいと担任に伝えても、一向に進まなかったのが、地域移行大賛成。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 854 | 9 | <p>大賛成。</p> | 3 | <p>子どもたちが生涯にわたり、スポーツや文化芸術等活動に親しむことができる持続可能な活動の環境の整備が、教員の負担軽減につながるよう、取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 855 | 4 | <p>地域移行することで子供達が充実した部活動をできるなら賛成。ただ、現在外部コーチがいる部活動に子供が所属しているが、外部コーチと顧問の立ち位置が明白でなく、顧問の指示と違う事を外部コーチが言うなど子供達が困惑する場面がでてると聞く。部活動は学校主体なので、顧問の指示・考えが優先だと思うが、地域移行により現在起きてるこのような問題が生じると子供達も困惑するので、その辺はしっかりとしてほしい。また、外部コーチの指導に熱が入るのは有難いが、一部の生徒だけに声を掛けて、顧問・他の生徒に内緒で学校外で練習していることがあった。もし、その時に怪我をしたらどうなるのか…。そのコーチはそういったことまで考えているのか…。</p> <p>このような勝手な行為は許されるのか疑問に思った。部活動を通して学ぶことは沢山あるので、子供達の為、また先生方の負担を減らす為に地域移行は良いと思うが、上記に述べたように勝手な事をする方が指導に入ると子供達は困惑するだけなので、あくまで学校主体である等ルールを明白にしたい。</p> | 3 | <p>外部指導者の資質向上に努めてまいります。また、地域クラブと顧問教諭の情報共有が図られるよう、有効な方法について検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 856 | 4 | <p>部活動とは、子どもたちのスポーツや文化活動の教育的な活動であり、今回の外部委託の目的は教員の働き方の改善であり、そもそも目指すところが乖離しているところがある。サッカーを指導したくて、吹奏楽部を指導したくて教員になられる方は多い。また、外部の講師の選定はかなりのリスクが伴う。例えばサッカーの指導者として経験が長く、トレセン選考委員だったりしても、ろくでもない少年サッカー指導者は山ほどいるし、いち教育者として指導できる人を選考するのはものすごい労力であると容易に推察される。単純に教職員の残業代の支払いや人員の補充が第一で、アウトソーシングすれば何かが改善・軽減されるとは思えない。</p> | 3 | <p>指導者の確保については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載しているとおりですが、御意見については、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> |
| 857 | 4 | <p>1つ改善、追加をお願いしたい点は、この素案では、委託したスポーツ団体等で何かトラブル（パワハラ・いじめ等）があった場合、子供や親はどこへ相談すれば良いのか？どういう対処と流れになるのか？が明記されていない。また、地域スポーツ団体でこのようなトラブルがあった時に責任はどうなるのか？教育委員会または各競技の中体連から指導がその団体へ行くのか？警告や地域スポーツ団体の登録解除などの重い決断も出来るのか？明記されていない。学校の部活動とその競技と両立をしていた為、中体連の規定では試合日が違えば出られるはずなのに、指導者の勝手な考えにより、他の競技をしている者が別の競技の試合に出るのは失礼だと言い禁止していた。</p> | 3 | <p>指導者の資質向上に努めてまいります。各地域クラブ活動運営団体・実施主体は活動の運営方針、年間・毎月の活動計画、活動中のトラブルや事故の対応を含む管理責任等を明確にし、関係者に対する公表を適切に行うこととしております。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 858 | 9 | <p>教員の親族からの意見である。部活動の地域移行は進めていくべき。現在の教員は想像以上に多岐にわたり仕事量が多い。担当の教科、クラス運営、部活動顧問、それぞれの立場で保護者とのかわりもある。部活動以外にも休日出勤することもあり、代休などはない。部活動は生徒にとっても貴重な経験となるが、運動部の大会運営は長年同じやり方が続き、改革が必要。特に高気温で体調管理が難しい夏季開催は空調設備の整っている会場は少なく、野外スポーツは長時間にわたることもあり、夏季開催する必要があるのか？事故が起きる前に早い改革が必要。地域移行と合わせて、時代に沿った部活動のあり方を考えていただきたい。保護者も学校任せにせず、部活動に参加させることに責任を持ち、各自が改める必要がある。現在働いている教員が自分の教科や担任として集中し勤められる、そして教員希望者が増えるためには部活動に参加しなくてはならない現状は大きな壁になっているのは事実である。</p> | 3 | <p>教員の負担軽減につながるよう、取組を進めてまいります。また、県中体連主催の大会においては、様々な熱中症対策が行われており、各種大会においても対策が講じられるよう引き続き周知を図ってまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|--|
| 859 | 6 | <p>県内公立中学校に勤務している者である。現在は管理職だが、それ以前は運動部の顧問を務めていた。その経験から、部活動は極めて意義の高い活動だと感じている。しかし、学校教育の目的から考えると、対外試合はブロック大会までで十分にその目的を達成できる。それ以上の県大会・関東大会・全国大会はむしろ各競技の強化に目的がおかれている。この、各競技の強化は部活動の本来の目的ではない。学校教育としての部活動と、競技の強化を切り離せないために、部活動に従事する時間が長くなっている。顧問も強くしたいと思えば、練習日数を増やさざるを得ないし、他の学校が練習していると思えばなおさら。ブロック大会までであれば、平日週3回と土日どちらか1回の活動で事足りる。県大会以上は必要であれば中体連ではなく各競技団体が運営すべき。地域移行の前に、より一層の活動日数の制限と県大会以上の運営の切り離しを県が県内一律に指導すれば、教員の勤務時間減にかなりの効果があると思われる。少ない活動時間でも、県内一律に条件が同じであれば不公平感はないはず。今こそ指導力を発揮していただきたい。</p> | 3 | <p>大会の在り方に関する御意見については、現在、県中学校体育連盟の主催大会への地域クラブ活動等の大会参加要件等の見直しが行われておりますが、不断の見直しについて、働きかけてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 860 | 3 | <p>住んでいる場所によって、やりたいことができない、制限されているのは不公平だし大人の事情であって子どもには関係ないことだ。オリンピックに出てみたいと夢があっても、活動の場がなければスタートにもたてないのか？マイナー競技になればなるほどその可能性は高くなる。神奈川県大和市は、北部から南部にかけて縦長の地形である。北部はマンションも多く、人口は多い。北部より南部にかけて人口は減少していく。もちろん子供の数も違いがある。北部より南部の学校へ変更することは認められるが、逆は認められていない。道1本違い、学区が変わることにより運命が変わってしまう。越境は神奈川県の中でも認められているところもある。小学校より続けてきたスポーツ部が進学先になかった場合、諦めなければいけない。顧問の先生が異動してしまったら、廃部になってしまう。生徒数が少なく先生の数も少ないければ顧問を引き受けてくれる先生も減ってしまう。コーチはいても顧問がいなければ廃部。廃部になったら、そのスポーツを続けることはできない。部活動はあっても人数が足りない。でも、合同で活動してくれる中学校がなければ試合には出ることができない。しょうがないかもしれない。でも子どもにとっては不公平そのもの。どうにかならない。どこに住んでいてもやりたい環境を作ってあげたい。選択できる環境を作ってあげてほしい。</p> | 2 | <p>御意見については、P13「基本的な考え方」「持続可能な活動環境の整備」に記載しており、多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。</p> |
| 861 | 7 | <p>部活動の地域移行に賛成。中学校と地域と保護者等が連携を図り、子どもたちが生き生きと活動できる環境づくりを目指してほしい。</p> | 2 | <p>御意見については、P1「はじめに」に記載されております。</p> |
| 862 | 4 | <p>部活動が我が国の音楽文化を牽引してきたことは、多くの音楽家が発言しているところである。そうした中、少子化や教員の多忙化は何かしなくてはならない問題ということもわかる。部活動の地域移行を考えた時に、受け皿としての施設の問題が大きい。県や市でホールの休館や廃止が言われる中、本当にこれで学生が施設を低廉な額で自由に利用し、文化活動を行えるのか。また、教員の兼業申請の簡略化は検討されているのか。このことにより、事務手続きが煩雑化してしまっは本末転倒だと思い、質問させていただいた。</p> | 2 | <p>地域クラブ活動の活動施設・場所については、地域ごとに状況は異なりますので、地域クラブ活動を整備する市町村の意向を把握しつつ、市町村の取組を支援してまいります。御意見については今後の参考とさせていただきます。また、兼職兼業については、P15「地域移行を進める体制づくり」「指導者の確保」に記載のとおり、兼職兼業の運用や規定について見直しに取り組んでまいります。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|--|------|---|
| 863 | 7 | <p>学習指導要領では、『特に、生徒の自主的、自発的な参加により、行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。』と明記されている。「自主的、自発的」な活動であるならば、教員全員が顧問となるのはおかしいことだと思う。そもそも、教職員は、勤務時間の割振り等により、時間外勤務が生じないようにする必要があり、勤務時間外に業務を命ずる時には、超勤4項目に限定されている。部活動は『超勤4項目』の該当するものではないので、正規の勤務時間の割振りを行い、原則として時間外勤務を命じないものとしなければならないと考える。また、自分自身も勤務時間内であったとしても、本来勤務時間内に行うべき業務を後回しにして、部活動をしていたことがあった。重ね重ね記載するが、学習指導要領において部活動は「生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動」とされている。顧問も「自主的、自発的」に部活動に参加している状況である。今回の素案を拝見し、地域移行については大賛成。しかし、『平日と休日の活動が円滑につながるように、顧問教諭と外部指導者が活動内容を報告する』が土日祝日に行われてしまうのであれば、本末転倒になってしまうと考える。さらに、地域クラブチームでのトラブルが学校に持ち込まれてしまうのであれば、教員の負担増につながる。結果、今回の素案での運営形態の類型では、地域スポーツ団体・文化芸術団体等運営型がよいと考える。</p> | 3 | <p>地域クラブと顧問教諭の情報共有の方法については、多様な方法が考えられますが、教員の過度な負担とならないよう、様々な事例を収集し、有効な方法を検討してまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| 864 | 6 | <p>まず最初に、このように意見をお届けできる場を設けていただき大変感謝している。</p> <p>私が申し上げたいことは、中体連大会参加に際して各競技ごとに設定されている地域クラブの参加資格（条件）の緩和と基本理念の統一のお願いである。私の息子（中学2年）は小学生の頃よりバレーボールをしている。地元の中学校には男子バレー部はない。現在は町内の地域クラブに所属し競技を続けている。今年度より、地域のクラブチームが中体連の待機に参加できるということでもっと楽しみにしていた。しかし、地域クラブの指導者や関係者が手続き・問い合わせに尽力をつくしてくださったが、大会に参加することは叶わなかった。その理由が参加資格に該当しない個所があるとのことだった。令和5年度全国中学校体育大会地域スポーツ団体等の参加の特例競技部細則に掲げられている目標を達成するためにも、各競技款においてその基本理念を徹底していただき、適切な対応がされることを願っている。地域クラブの活動に対して、学校・自治体の協力はまだまだ得られていない状況。ボランティアで指導に当たってくださっている方は自費で指導者資格を取りに行き、仕事の日程を調整しながら、子どもたちの指導に当たってくださっている。学校の体育館を借りたくても、部活動優先で思うように借りることができなかつたり、学校へ協力を求めてもなかなか受け入れていただけないのが現実である。練習場所・練習時間の確保にも大変苦労している。今回の地域移行に関する一連の改革が、どうか部活動・地域クラブ分け隔てなく子ども（生徒）ファーストの志向で行われていくことを強く願っている。</p> | 3 | <p>大会主催者が定める参加資格に関する内容のため、方針には反映できませんが、今後の地域クラブの参加状況やニーズ等に応じ、必要に応じて改善について働きかけてまいります。御意見については、参考にさせていただきます。</p> |

| No | 意見 区分 | | 反映 区分 | 県の考え方 |
|-----|----------|---|----------|---|
| 865 | 5 | <p>基本的には、部活動を地域に移行することには賛成。しかし、学校の教育活動として生徒が主体的に行う部活動は、それなりに意義があり、私は、学校の部活動と地域のクラブ活動が併設されることが、子どもたちの選択肢を増やし、活動を保障することになると思っている。但し、現状としては、その両者の活動拠点は、学校施設に頼らざるをえないと思う。いずれにしても、日本のスポーツ振興や競技力向上を学校の部活動に委ねてきた日本のスポーツ振興や競技力向上に大きな問題があり、それを、学校の部活動だけ問題として進めることに大きな疑問を感じている。私は、部活動の地域移行は、日本のスポーツ振興の大きな分岐点になる大改革であると思っている。その上で、次の通り、意見する。</p> <p>1 「Ⅲ本県における地域移行について」</p> <p>「2 地域移行を進める体制づくり」の「(2) 指導者の確保」について、県の役割、市町村・学校の役割として、「地域クラブ活動での指導を希望する教職員が、円滑に兼業兼職の許可が得られるよう、規定や運用の改善」を図るような方向性が考えられているようだが、私は、次の2点の理由から反対する。</p> <p>1点目は、教職員は、職務に専念する義務を負っていることから、勤務外で兼職兼業をすることは、これまで厳に制限をされてきている。承認されるものも、単発の業務であったり、非常に限定的な業務に制限してきた。部活動が、地域クラブ活動に移行するからというだけで、これまで部活動顧問として指導していた教職員に兼職兼業を認めて、地域クラブ活動の指導に当たることを容認することになれば、これまで、放課後の部活動指導に大きなエネルギーを割いてきた一部の教員にお墨付きを与えて、地域クラブ活動の指導に従事することとなり、本来業務が疎かになる危惧を感じる。しかも、それなりの報酬を認めることも容認するわけだから、さらに地域クラブ活動の指導に拍車がかかり、地域クラブ活動の指導にかかるウェイトが大きくなる。本来業務である職務(学校の教育活動等)に専念させるためにも兼職兼業は反対する。</p> <p>1つ目は、今回の部活動の地域移行は、教職員の過重な負担を減らす、働き方改革が大きな目的になっている。しかし、兼職兼業を認めることは、時間外に、地域クラブ活動の指導という業務を許可して、勤務に就かせることにほかならず、しかも、その活動の主体が学校外にすることで、教職員の服務管理や労務管理ができず、一層過重な労働を強いることになる。それは今回一番に問題とされている教員の過重労働の解消、働き方改革に反することになる。以上のことから、おそらくは教職員の服務等を監督する担当課も安易に認めないと思うが、兼職兼業を許可する方針は、本来の部活動の地域移行の主旨に反することになると思うので反対する。本当に、地域クラブ活動の指導を教職員に担わせるのなら、教員としては、短時間(例えば20時間や30時間)勤務での任用として、併せて地域クラブ活動の指導者として、兼職兼業での業務を認めるような体制を作ることが良い。一番懸念するのは、子どもたちの活動にしわ寄せがくること。遅くまで好きなスポーツ活動等を多少の経費は掛かっても楽しみたい、競技力を高めたいと考えている子どもは良いが、経済的に恵まれない、遅くまで、あるいは毎日のように活動できない子どもには、放課後、すぐに活動に参加できる学校の部活動の存在は大切である。すでに、国が、学校の部活動は地域に移行するという方針を見直すつもりがないとなると、地域クラブがそうした幅広にニーズに対応できるようにしなければならなくなるので、一層、地域クラブ活動は、間口を広くしなければいけなくなり、運営も大変になる。そうした懸念も払拭できるような地域クラブ活動への移行を、時間がかかっても是非推進してほしい。</p> | 3 | <p>地域クラブで指導を希望する教員に対する兼職兼業の運用や規定について見直しに取り組んでまいります。また、費用についてはP19「段階的な地域移行に向けた取組」「地域クラブ活動等に係る費用、保険」に記載のとおり、保護者負担に配慮して取り組んでまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| No | 意見区分 | | 反映区分 | 県の考え方 |
|-----|------|---|------|---|
| 866 | 5 | <p>日本ではスポーツが縮小傾向の中、世界のトップクラスで活躍する卓球選手が増え、卓球人口もかなり増えているといえます。その最も多くの割合を占めるのが中学校の部活で日本中学校体育連盟の集計では、男女あわせ凡そ23万人だという。日本のスポーツ人気ランキングでもトップ5（世界では第3位）に入っている。中学校には卓球部がない。子供が将来、選手や指導者になりたいという希望や夢があるにもかかわらず、ないと知った瞬間愕然とした。息子は弟と共に近所のコミセンなど利用して日々頑張っていたが、絶望に変わった。大和市卓球協会主催による中学部活動の盛大な卓球大会もあり、同市他の中学校のほとんどが卓球部ある中、自分達の通う中学にはない。大会には個人として参加できたが息子以外は全て中学校部活動の団体だった。そのため、応援も凄く、息子が失敗すれば相手から総勢で大きな声援、相手がポイントを取ればまたこれも皆で大きな声援、息子がポイントをとればブーイング。</p> <p>息子はたった1人個人参加なので、応援や声援もなく、それでも1人立ち向かって頑張ってる姿を見ると涙が止まらなかった。また、団体戦においては1人の為当然参加できない。私は息子（当日小学校6年生で中学入学前の部活動案内のイベント時に）とともに中学校側へご相談したが、後日に連絡をいただく約束のところ、数ヶ月待っても返事がなく、入学も近づいていき、息子も嘆いていた。再度こちらから連絡をして、顧問や場所の問題、卓球をするためにも人数が集まらないと等といって取り合ってもらえなかった。それではいつまで経っても保護者側がアクションを起こさない限り、そして真剣に受け止めてくれない限り、今までなかったように、この先もずっとないだろう。様々な理由を挙げられて、終わってしまう。卓球部を作れば人数も集まる。市内の中学卓球大会であれだけ沢山集まっている訳だから。顧問がいなくても外部コーチを入れている学校が同市他校にはある、何故こんなにも格差があるのか。子供目線で真剣に取り合って考えてほしい。当事者にならないと本当に気持ちは分からないもの。日本国内において人気あるスポーツにもかかわらず、その学校にない部（卓球等）はいち早く活動できる場や機会を設けてほしい。場所の問題があるのならば、近隣の公共施設や地区センター（例えば市内ではボラリスなど）や公民館などを利用させてもらうなどやり方は色々あると思う。公共施設の体育館や公民館で活動をしている学校は他県でもよくあるのではないか。地域以降化するにあたり、色々構想も練りながら数年単位でかかるとも聞くが今卓球部がないという時点で時間がない。息子は今中学1年、下の子も再来年、中学に入学する。顧問がいなければ外部コーチなど入れて、県として、どこか一角でも子供が夢を見るスポーツ（卓球部）を導入して、環境整備し、他校平等に出来るようにしていただきたい。それでも難しい場合、クラブに通うための補助金制度を設けていただきたい。我が家は父子家庭で金銭的にも余裕がない。クラブに通うと定期代やレッスン料、大会手続き、保護者の引率、帯同（先生がいないので保護者が付き添います）大会の遠征料等がかなり重くのしかかる。親としてはお金がかかるから諦めろとは言えない。子供が卓球の指導者などになりたいという夢を諦めろとは言えない。今後、神奈川県は卓球が強いと言われる位になれば嬉しいと思っている。時間がないので是非自分の子供に置きかえて迅速な対応、対策していただきたい。</p> | 3 | <p>部活動指導の地域移行の方法は、多様な手法の中からそれぞれの地域に適した方法を選択して行くこととなります。多様なニーズに適した活動を確保していくよう努めてまいります。御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |